

東北自動車道
利根川橋耐震対策工事

桁遊間確保工 A
設 計 図

令和 8 年 8 月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社
関 東 支 社 加 須 管 理 事 務 所

桁遊間確保工 目次

	頁		
数量総括表（その１～その７）	1 - 7	舗設工	214
桁端部縦桁延長詳細図（その１～その１０）	8 - 17	撤去・設置工図（その１～その４）	215 - 218
橋台改築構造一般図（その１～その６）	18 - 23	仮設防護柵詳細図	219
エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その１～その１８）	24 - 41		
エレメント推進工 鋼製エレメント表面塗装一般図	42	橋台改築工施工順序図（その１～その７）（参考図）	220 - 226
エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その１～その８）	43 - 50	J E S工法架台配置図（参考図）	227
エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図（その１～その５）	51 - 55	動態観測工一般図（その１～その２）（参考図）	228 - 229
R Cパラベット配筋図（その１～その４）	56 - 59	作業ヤード整備工（その１～その２）（参考図）	230 - 231
橋台パラベット・ウイング取壊し工図（その１～その２）	60 - 61	既設仮設段差防止装置図（参考図）	232
断面修復工標準図	62	既設伸縮装置図（その１～その２）（参考図）	233 - 234
伸縮装置図（その１～その１０）	63 - 72	植栽管理図（参考図）	235
伸縮装置支持梁詳細図（その１～その２）	73 - 74		
延長床版配筋図（その１～その８）	75 - 82		
コンクリート表面被覆工詳細図	83		
構造物掘削図（その１～その１０）	84 - 93		
仮設覆工板工図（その１～その６０）	94 - 153		
伸縮装置基礎工（その１～その５６）	154 - 209		
車線シフト詳細図（その１～その３）	210 - 212		
切削オーバーレイ工詳細図	213		

数量総括表（その１）

名 称	区分	構造物掘削				コンクリート			型わく					鉄筋		
		普通部A	普通部B（夜）	特殊部A1	特殊部A2	A 1-3	A 1-4	D 1-1	A	A(夜)	C	C(夜)	D	A	A(夜)	B(夜)
		単位	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m2	m2	t	t	t
		区分番号	【1】	【1】	【1】	【1】	【2】	【2】	【2】	【2】	【2】	【2】	【2】	【2】	【2】	【2】
利根川橋																
上部工																
A 1							2.0		18.9	28.5				0.436	0.636	4.266
A 2							2.0		18.9	28.5				0.436	0.636	4.266
下部工																
A 1			76.5	23.8	133.5	61.4	44.0	1.9	3.7		72.5	3.0	1.0			
A 2			91.2	23.8	133.5	76.2	44.0	1.9	3.7		72.5	3.0	1.0			
附帯工																
合 計			167.7	47.6	267.0	137.6	88.0	7.8	7.4	37.8	57.0	145.0	6.0	2.0	0.872	1.272

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	数量総括表（その１）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

数量総括表（その2）

名 称	区分	鉄筋				伸縮装置	切削オーバーレイ工		防護柵	ガードケーブル 端末	防護柵撤去設置工				立入防止柵撤去設置工		眩光防止施設 撤去設置工	
		C	C (夜)	D	D (夜)	A (夜)	A 1 (t=4cm)	D (t=4cm)	G r - A - 2 B (B P)	端末G c - A - T 1	ガードレール G r - A - 4 E	ガードレール G r - S B m - 2 E	ガードレール G r - S B m - 2 E (S)	ガードケーブル G c - A - 7 E	一般型非積雪地 用A	一般型非積雪地 用B	眩光防止柵 A 1	眩光防止板 T y p e A i
		単位	t	t	t	kg	m2	m2	m	箇所	m	m	m	m	m	m	m	基
		区分番号	【2】	【2】	【2】	【2】	【3】	【4】	【5】	【5】	【5】	【5】	【5】	【5】	【5】	【5】	【5】	【5】
利根川橋																		
上部工																		
A 1				0.126	0.224	34,902.0												
A 2				0.126	0.224	34,902.0												
下部工																		
A 1		2.295	0.642															
A 2		2.295	0.642															
附帯工																		
合 計		4.590	1.284	0.252	0.448	69,804.0	265.7	265.7	16.0	2.0	40.0	70.0	220.0	1,058.0	16.0	82.0	90.0	22.0

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	数量総括表（その2）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

数量総括表（その3）

名 称	区分	路面標示工						視線誘導標 撤去設置工	距離標撤去 設置工	超速硬コンク リート	断面修復工	表面保護工	縁石工	コンクリートシール工	
		路面標示 標準型A1 (夜)	路面標示 標準型C1 (夜)	路面標示JIS 規格型A1 (夜)	路面標示JIS 規格型B1 (夜)	路面標示JIS 規格型B3 (夜)	突起型路面 標示B2-1 (夜)	A2-2	C2	B(夜)	A	コンクリート 表面被覆工	工場製コンク リート縁石	t = 10cm	t = 20cm
		単位	m	m2	m	m	m	基	枚	m3	L	m2	m	m2	m2
		区分番号	【6】	【6】	【6】	【6】	【6】	【6】	【6】	【7】	【7】	【7】	【8】	【8】	【8】
利根川橋															
上部工															
A1										10.9		73.7	3.8		
A2										10.9		73.7	3.8		
下部工															
A1										23.4	3,054.0	173.4	5.3		
A2										23.4	3,054.0	173.4	5.3		
附帯工															
		1,968.0	629.1	1,968.0	4,920.0	760.0	4,920.0	11.0	2.0					12.4	40.2
合 計		1,968.0	629.1	1,968.0	4,920.0	760.0	4,920.0	11.0	2.0	68.6	6,108.0	494.2	18.2	12.4	40.2

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	数量総括表（その3）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

数量総括表（その4）

名 称	区分	構造物等取壊し工						交通規制工					交通保安要員	
		コンクリート構造物 取壊し (Type A)	コンクリート構造物 取壊し (Type A) (夜)	コンクリート構造物 取壊し (Type B)	コンクリート構造物 取壊し (Type C)	アスファルト 舗装版取壊し (Type A)	アスファルト 舗装版取壊し (Type B) (夜)	路肩規制 A	一車線規制 A	一車線規制 B	一車線規制 C (夜)	二車線規制 C (夜)	交通誘導 警備員 A	交通誘導 警備員 B
	単位	m3	m3	m3	m3	m2	m2	回	回	回	回	回	人・日	人・日
	区分番号	【8】	【8】	【8】	【8】	【8】	【8】	【9】	【9】	【9】	【9】	【9】	【9】	【9】
利根川橋														
上部工														
A 1		0.4	4.8	0.2		13.1								
A 2		0.4	4.8	0.2		13.1								
下部工														
A 1		73.9	7.8	3.0	4.0	13.8	74.8							
A 2		73.9	7.8	3.0	4.0	13.8	74.8							
附帯工								4.0	328.0	328.0	8.0	138.0	61.0	389.0
合 計		148.6	25.2	6.4	8.0	27.6	175.8	4.0	328.0	328.0	8.0	138.0	61.0	389.0

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	数量総括表（その4）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

数量総括表（その5）

名 称	区分	補強部材の製作	補強部材の架設			エレメント推進工										
		A	A	高力ボルト 本締め工A 1	鋼製エレメント の製作A	鋼製エレメント の製作B	鋼製エレメント の製作C	鋼製エレメント 推進工A	鋼製エレメント 推進工B	鋼製エレメント 推進工C	コンクリート充 填工	J E S継手 防錆工	J E S継手グラ ウト充填工	裏込め注入工	エレメント表面 塗装C－5	
		単位	t	t	本	t	t	t	m	m	m	m3	m	m3	m3	m2
		区分番号	【10】	【10】	【10】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】	【11】
利根川橋																
上部工																
A 1		4. 278	4. 158	984. 0												
A 2		4. 278	4. 158	984. 0												
下部工																
A 1					29. 475	19. 402	28. 013	29. 5	29. 5	29. 5	204. 6	117. 8	0. 7	15. 3	44. 2	
A 2					29. 475	19. 402	28. 013	29. 5	29. 5	29. 5	204. 6	117. 8	0. 7	15. 3	44. 2	
附帯工																
合 計		8. 556	8. 316	1, 968. 0	58. 950	38. 804	56. 026	59. 0	59. 0	59. 0	409. 2	235. 6	1. 4	30. 6	88. 4	

数量総括表（その6）

名 称	区分	アンカー工		仮設覆工板工				仮設防護柵工				伸縮装置基礎工		路面標示 消去工				
		φ 2 9 (L = 0 . 3 9 m)	φ 3 5 (L = 0 . 5 1 m)	標準覆工板 設置・撤去	特殊覆工板 設置・撤去A (夜)	特殊覆工板 設置・撤去B (夜)	標準覆工板 賃料	仮設防護柵 設置・撤去A (夜)	仮設防護柵 設置・撤去B (夜)	仮設防護柵 設置・撤去C (夜)	仮設防護柵 賃料	A (夜)	B (夜)	路面標示消去 A (夜)	路面標示消去 B (夜)	路面標示消去 C (夜)	突起型路面標示 消去B (夜)	
		単位	本	本	m2	m2	m2	m2・月	m	m	m	m・月	基	基	m	m	m2	m
		区分番号	【12】	【12】	【13】	【13】	【13】	【13】	【14】	【14】	【14】	【14】	【15】	【15】	【16】	【16】	【16】	【16】
利根川橋																		
上部工																		
A 1																		
A 2																		
下部工																		
A 1		276.0	48.0									30.0	24.0					
A 2		276.0	48.0									30.0	24.0					
附帯工				42.0	115.6	207.4	1,134.0	2,018.5	20.0	2,956.1	199,784.0			3,936.0	9,253.3	252.9	586.7	
合 計		552.0	96.0	42.0	115.6	207.4	1,134.0	2,018.5	20.0	2,956.1	199,784.0	60.0	48.0	3,936.0	9,253.3	252.9	586.7	

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	数量総括表（その6）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

数量総括表（その7）

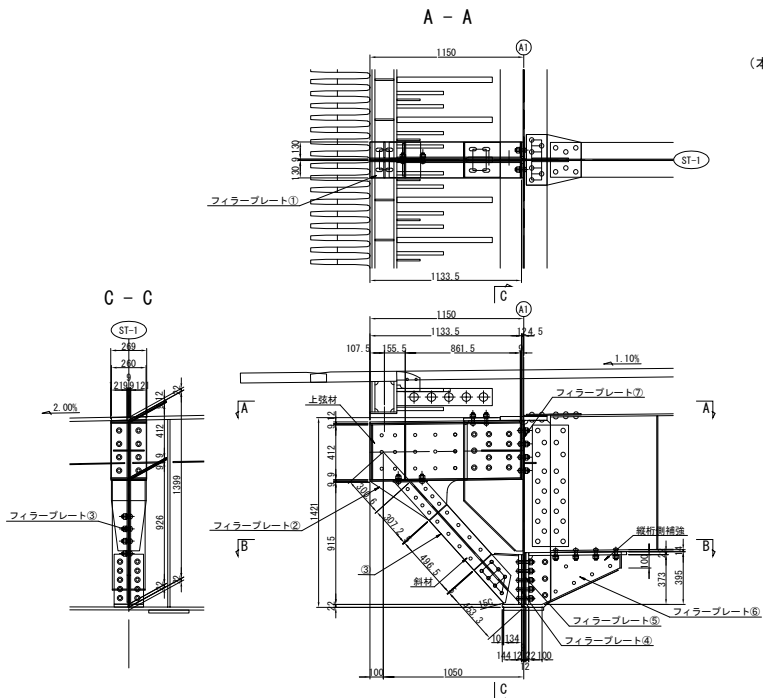
名 称	区分	工事標識工	舗設工	撤去工						撤去設置工						
		A	A (t = 6 0 cm)	伸縮装置(夜)	仮設段差 防止装置	樹木伐採	工事標識	ガードケーブル 端末 G c - A - T 1	ガードレール G r - A - 2 B (B P)	単柱標識	L E D 標識	排水管 A	コンクリートブ ロック	橋名板	橋歴板	
		単位	基	m2	m	基	m	基	箇所	m	基	基	m	m2	箇所	箇所
		区分番号	【17】	【18】	【19】	【19】	【19】	【19】	【19】	【19】	【20】	【20】	【20】	【20】	【20】	【20】
利根川橋																
上部工																
A 1				31.5												
A 2				31.5												
下部工																
A 1																
A 2																
附帯工		36.0	10.4	6.0	10.0	36.0	2.0	16.0	1.0	1.0	74.6	6.9	2.0	2.0		
合 計		36.0	10.4	63.0	6.0	10.0	36.0	2.0	16.0	1.0	1.0	74.6	6.9	2.0	2.0	

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	数量表括弧（その7）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

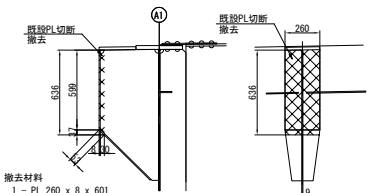
桁端部縦桁延長詳細図（その１） S=1/40

A1橋台 ST-1 [1組分]

(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)



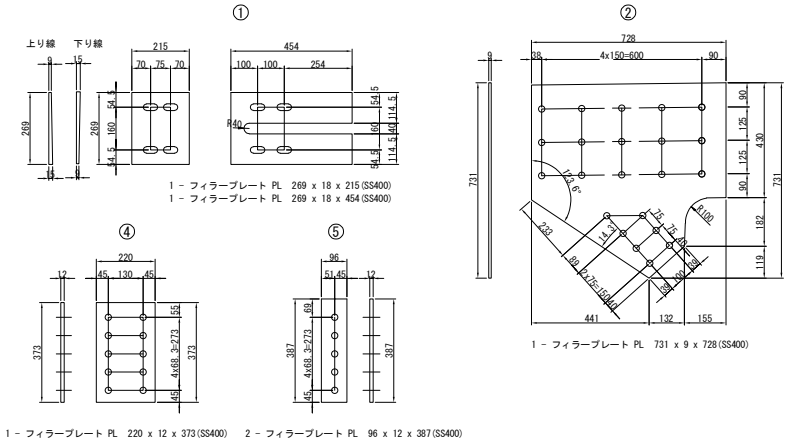
既設部材切断(撤去)箇所



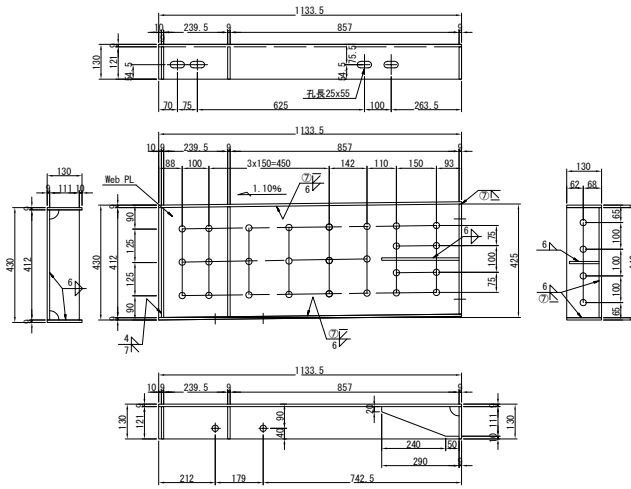
撤去材料

- 1 - PL 260 x 8 x 601
- 1 - PL 53 x 8 x 260
- 1 - PL 30 x 9 x 636

フィラープレート 詳細図 S=1/20



上弦材 詳細図 S=1/20



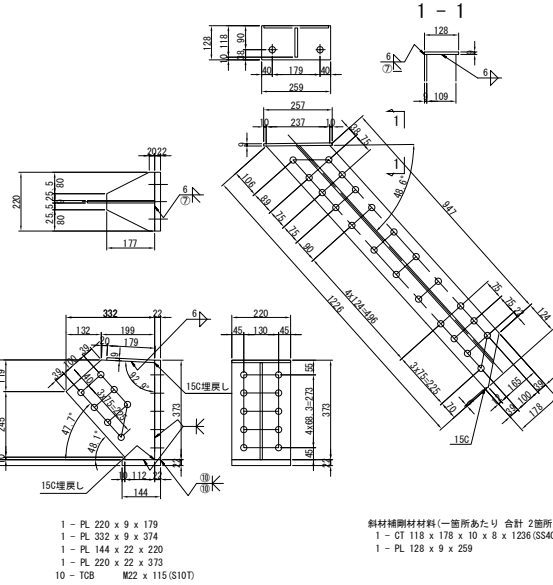
上弦材補剛材材料(一箇所あたり 合計 2箇所)
1. Wt. Pl. 425 = 0 = 1134

1 - Web PL 425 x 9 x 1134
2 - Rib PL 111 x 9 x 412
1 - End PL 121 x 9 x 412
1 - Uflg PL 130 x 9 x 1134
1 - Lflg PL 130 x 9 x 1134
1 - Rib PL 111 x 9 x 290

上弦材補剛のボルト本数
26 TCB M22 x 65 (S10T)

26 - TCB	M22 x 65 (S10T)
8 - TCB	M22 x 65 (S10T)
4 - TCB	M22 x 80 (S10T)

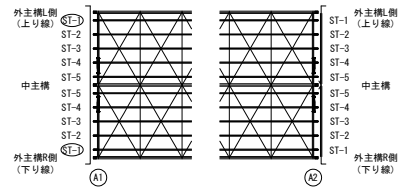
斜材 詳細図 S=1/20



1 - PL 220 x 9 x 179
1 - PL 332 x 9 x 374
1 - PL 144 x 22 x 220
1 - PL 220 x 22 x 373
10 - TCB M22 x 115 (S10T)

斜材補剛材材料(一箇所あたり 合計 2箇所)
1 - CT 118 x 178 x 10 x 8 x 1236(SS400)
1 - PL 128 x 9 x 259

配置図

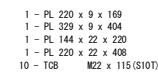
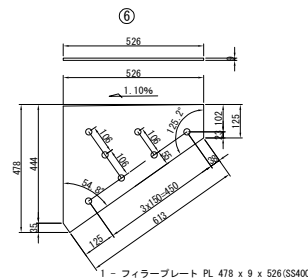
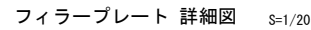
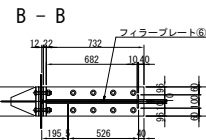
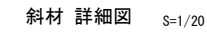
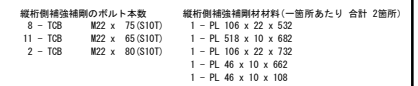
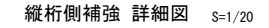
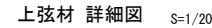


注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ~~ス~~の溶接記号は完全溶け込み溶接とする。
(F.P溶接)
3. 特記なきボルト孔径は $\phi 26.5$ とする。
4. 既設部は現地孔($\phi 26.5$)、新設取付部材は工場孔明($\phi 26.5$)とする。
5. ◎は既設桁への現場孔明箇所を示す。

東北自動車道			
利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	折衝部縦断長詳細図（その１）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

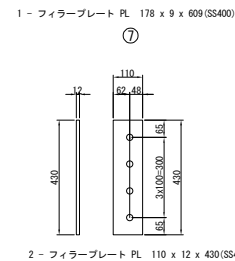
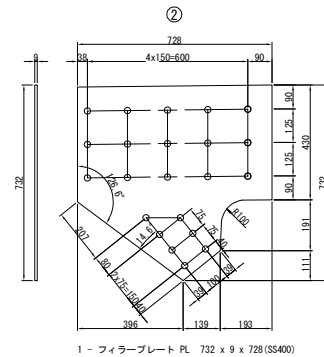
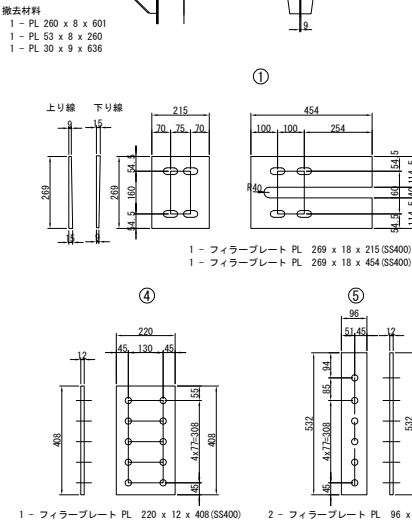
(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)



注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ~~ス~~の溶接記号は完全溶け込み溶接とする。
(F.P溶接)
3. 特記なきボルト孔径はφ26.5とする。
4. 既設部は現地孔明(φ26.5)、新設取付部材は工場孔明(φ26.5)とする。
5. 〇は既設折への現場孔明箇所を示す。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	桁端部縦桁延長詳細図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

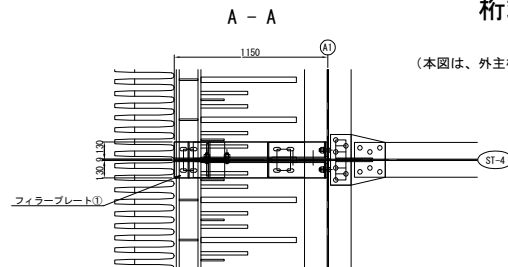


桁端部縦桁延長詳細図 (その4) S=1/40

$$S=1/40$$

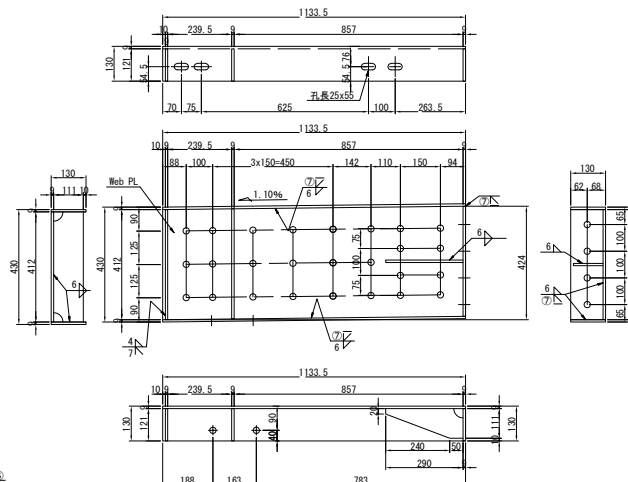
A1橋台 ST-4 [1組分]

(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)



上弦材 詳細図 S=1/20

S=1/20

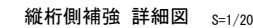


上弦材補剛材材料(一箇所あたり 合計 2箇所)

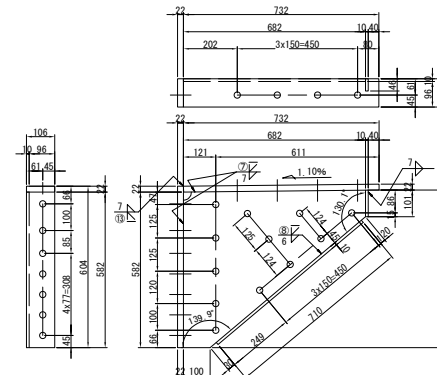
1 - Web PL 424 x 9 x 1134
2 - Rib PL 111 x 9 x 412
1 - End PL 121 x 9 x 412
1 - Uflg PL 130 x 9 x 1134
1 - Lflg PL 130 x 9 x 1134
1 - Rib PL 111 x 9 x 290

上弦材補剛のボルト本数

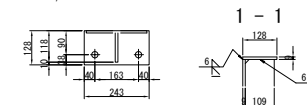
26 - TCB	M22 x 65 (S10T)
8 - TCB	M22 x 65 (S10T)
4 - TCB	M22 x 80 (S10T)



S=1/20

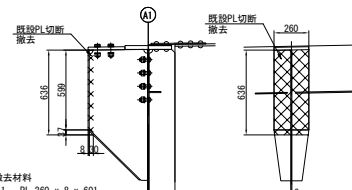


斜材 詳細図 S=1/20



縦桁側補強補剛のボルト本数		縦桁側補強補剛材料材(一箇所あたり 合計 2箇所)	
8 - TCB	M22 x 75 (S10T)	1 - PL 106 x 22 x 604	
12 - TCB	M22 x 65 (S10T)	1 - PL 590 x 10 x 682	
4 - TCB	M22 x 80 (S10T)	1 - PL 106 x 22 x 732	
		1 - PL 46 x 10 x 710	
		1 - PL 46 x 10 x 101	

既設部材切断(撤去)箇所

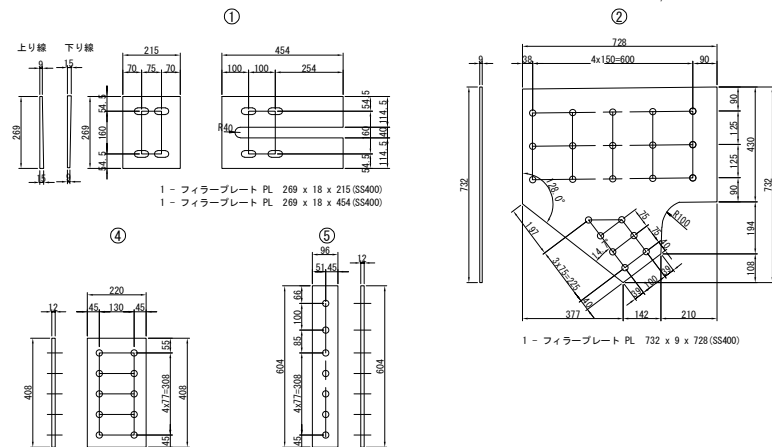


撤去材料

- 1 - PL 260 x 8 x 601
- 1 - PL 53 x 8 x 260
- 1 - PL 30 x 9 x 636

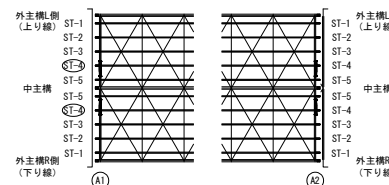
フィラープレート 詳細図 S=1/20

$S=1/20$



1 - フィラープレート PL 220 x 12 x 408 (SS400) 2 - フィラープレート PL 96 x 12 x 604 (SS400)

配置図



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ~~※~~ の溶接記号は完全溶け込み溶接とする。
(F.P溶接)
3. 特記なきボルト孔径は $\phi 26.5$ とする。
4. 既設部は現地孔明($\phi 26.5$)、新設取付部材は工場孔明($\phi 26.5$)とする。
5. ◎は既設桁への現場孔明箇所を示す。

斜材補剛材材料(一箇所あたり 合計 2箇所)
1 - CT 118 x 178 x 10 x 8 x 1378(SS400)
1 - PL 128 x 9 x 248

斜材補剛のボルト本数
4 - TCB M22 x 55 (S10T)
24 - TCB M22 x 65 (S10T)

	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事		
図面の種類	先端部縦折延長詳細図（その４）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社知能管理課橋梁係		

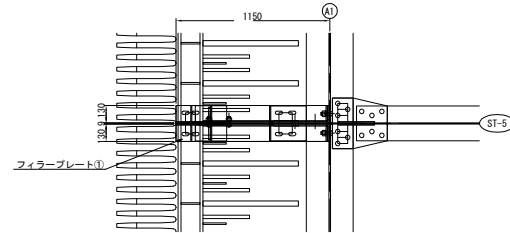
桁端部縦桁延長詳細図（その5） S=1/40

12 / 235

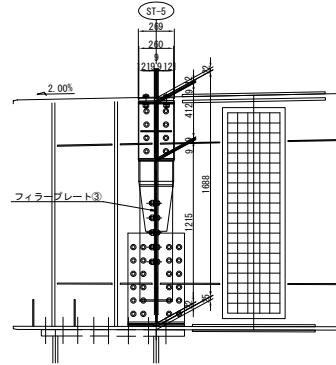
A1橋台 ST-5 [1組分]

(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)

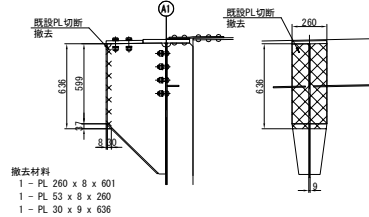
A - A



C - C

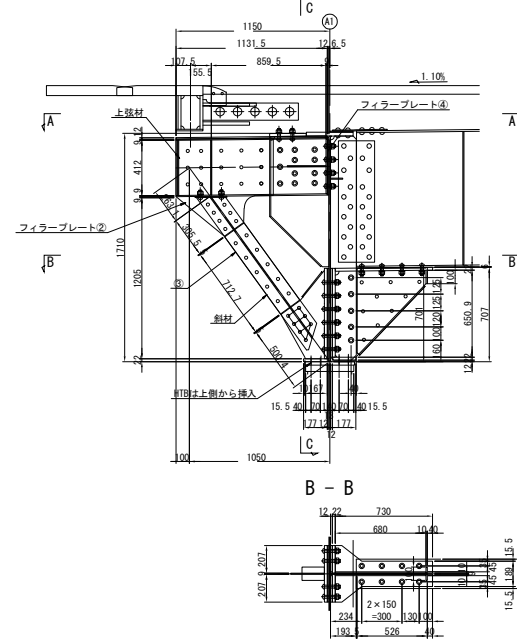


既設部材切断(撤去)箇所



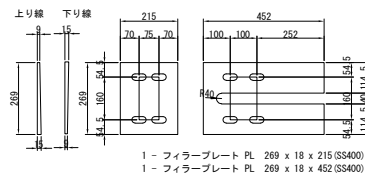
撤去材料
1 - PL 260 x 8 x 601
1 - PL 53 x 8 x 260
1 - PL 30 x 9 x 636

B - B



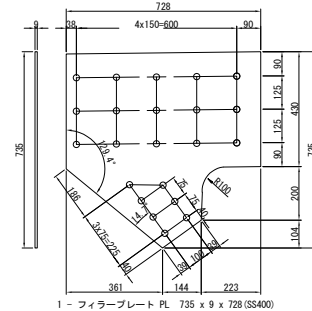
フィラープレート 詳細図 S=1/20

①



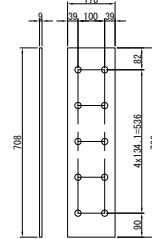
1 - フィラープレート PL 269 x 18 x 215 (SS400)
1 - フィラープレート PL 269 x 18 x 452 (SS400)

②



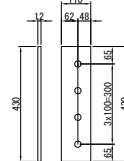
1 - フィラープレート PL 735 x 9 x 728 (SS400)

③



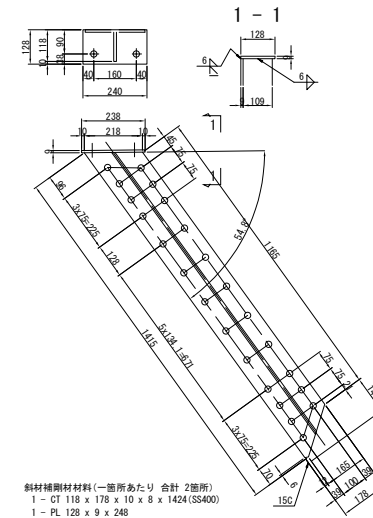
1 - フィラープレート PL 178 x 9 x 713 (SS400)

④



2 - フィラープレート PL 110 x 12 x 430 (SS400)

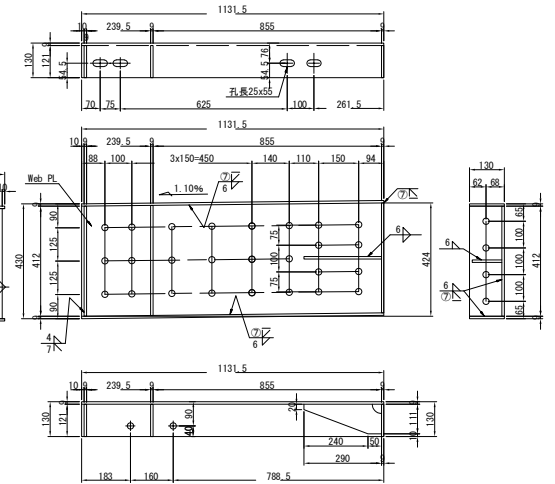
斜材 詳細図 S=1/20



斜材補剛材料(一面所あたり 合計 2箇所)
1 - CT 118 x 178 x 10 x 8 x 1424 (SS400)
1 - PL 128 x 9 x 248

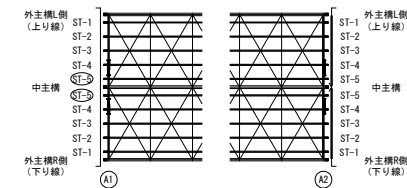
斜材補剛のボルト本数
4 - TC8 M22 x 55 (S10T)
24 - TC8 M22 x 65 (S10T)

上弦材 詳細図 S=1/20



上弦材補剛材料(一面所あたり 合計 2箇所) 上弦材補剛のボルト本数
1 - Web PL 424 x 9 x 1132 26 - TC8 M22 x 65 (S10T)
2 - Rib PL 111 x 9 x 412 8 - TC8 M22 x 70 (S10T)
1 - End PL 121 x 9 x 412 4 - TC8 M22 x 80 (S10T)
1 - U-flg PL 130 x 9 x 1132
1 - L-flg PL 130 x 9 x 1132
1 - Rib PL 111 x 9 x 290

配置図



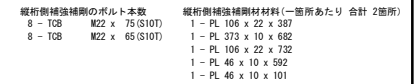
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 4- ϕ の溶接記号は完全溶け込み溶接とする。
(F: F溶接)
3. 特記なきボルト孔径は ϕ 26.5とする。
4. 既設部材は現地明(ϕ 26.5)、新設取付部材は工場孔(ϕ 26.5)とする。
5. $\odot$ は既設部材への現地明箇所を示す。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	桁端部縦桁延長詳細図 (その5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社加須管理事務所		

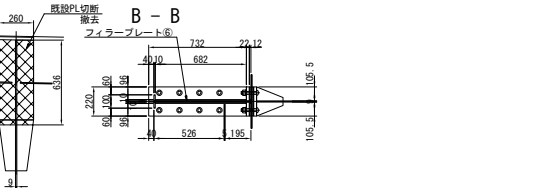
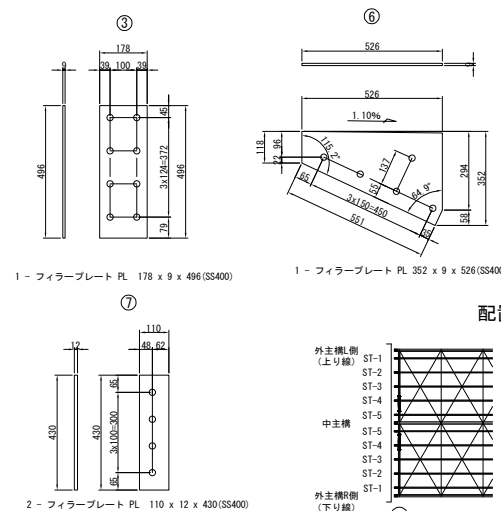
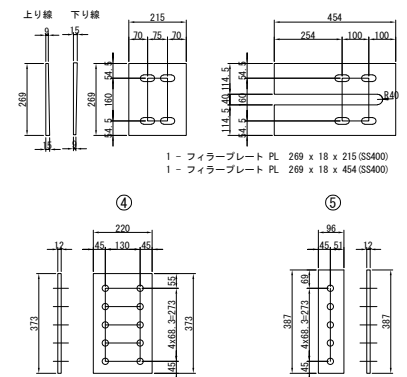
(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)

S=1/20

S=1/20


$$S=1/20$$


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	桁端部縦桁延長詳細図（その6）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		


$$S=1/20$$
[illegible]

1 - フィラープレート PL 220 x 12 x 373(SS400) 2 - フィラープレート PL 96 x 12 x 387(SS400)

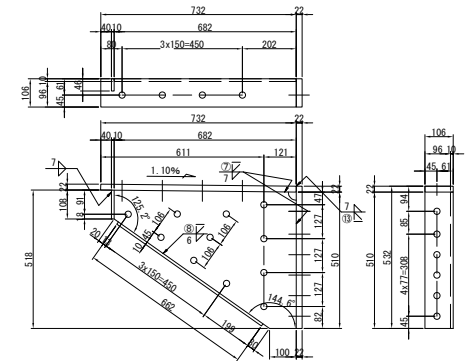
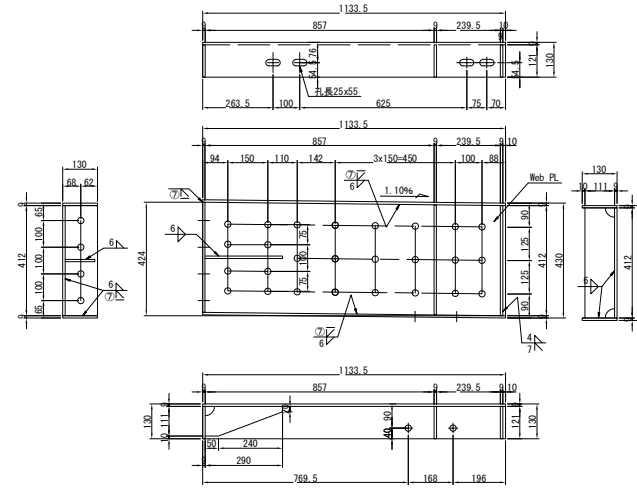
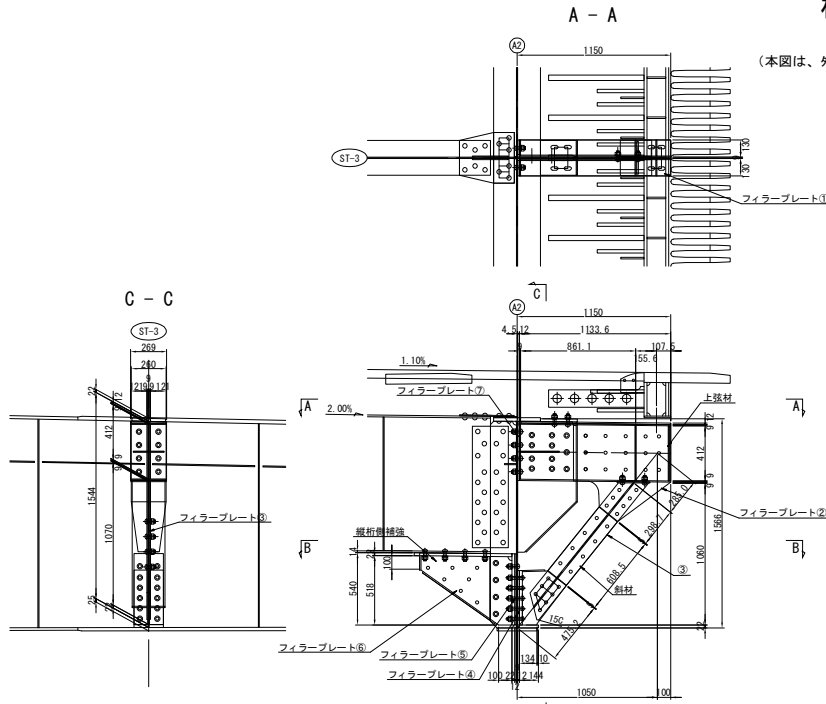
桁端部縦桁延長詳細図 (その8) S=1/40

A2橋台 ST-3 [1組分]

(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)

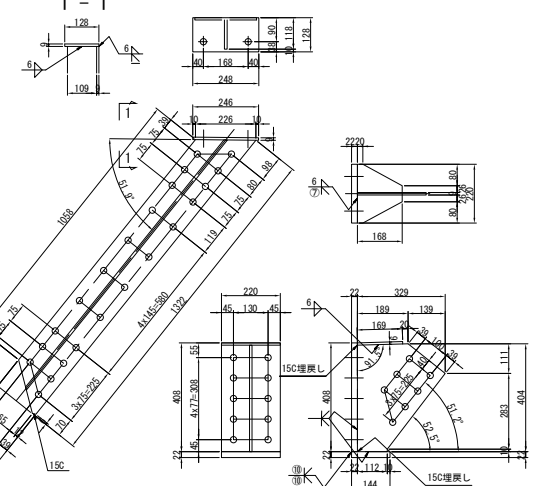
上弦材 詳細図 S=1/20

縦桁側補強 詳細図 S=1/20



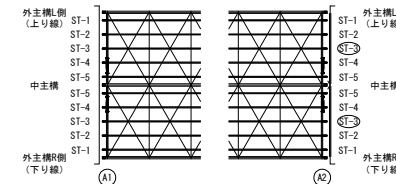
縦桁側補強補剛のボルト本数	縦桁側補強補剛材料(一面所あたり 合計 2箇所)
8 - TCB M22 x 75 (S10T)	1 - PL 106 x 22 x 532
11 - TCB M22 x 65 (S10T)	1 - PL 518 x 10 x 682
2 - TCB M22 x 80 (S10T)	1 - PL 106 x 22 x 732
	1 - PL 46 x 10 x 662
	1 - PL 46 x 10 x 108

斜材 詳細図 S=1/20



斜材補剛材料(一面所あたり 合計 2箇所)	斜材補剛のボルト本数
1 - PL 220 x 9 x 169	4 - TCB M22 x 55 (S10T)
1 - PL 329 x 9 x 404	22 - TCB M22 x 65 (S10T)
1 - PL 144 x 22 x 220	
1 - PL 220 x 22 x 408	
10 - TCB M22 x 115 (S10T)	

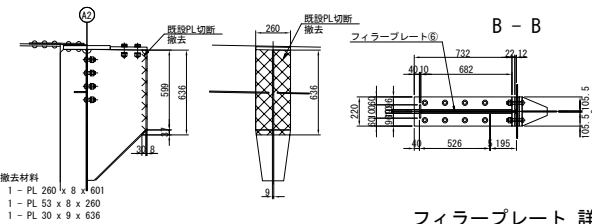
配置図



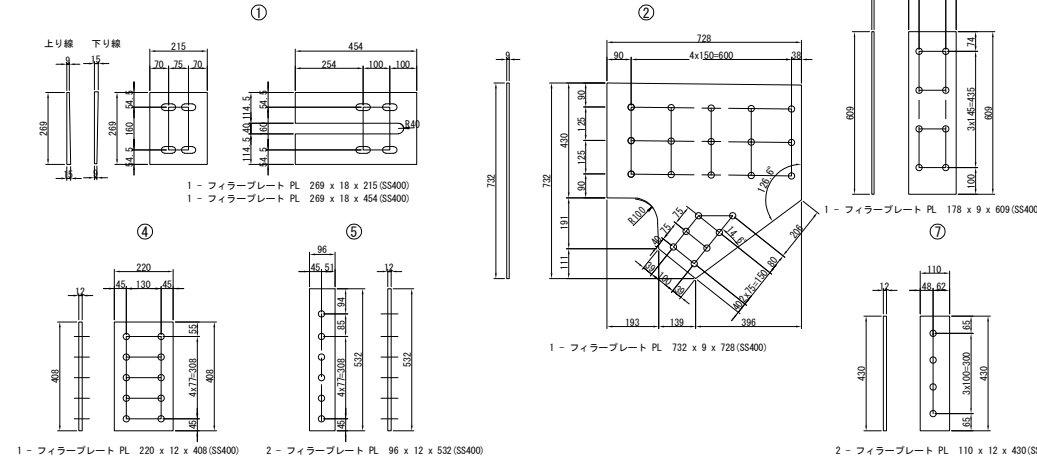
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 本図の溶接記号は完全溶け込み溶接とする。
- 特記なきボルト孔径はφ26.5とする。
- 既設部は現地明(φ26.5)、新設取付部材は工場孔明(φ26.5)とする。
- ◎は既設部への現場補明箇所を示す。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	桁端部縦桁延長詳細図 (その8)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタン株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 加須管理事務所		

既設部材切断(撤去)箇所



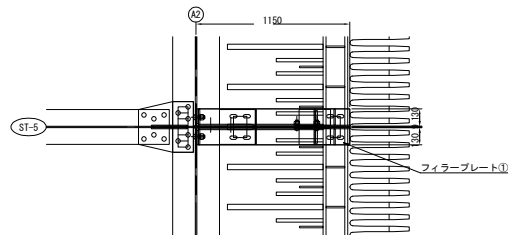
フィラープレート 詳細図 S=1/20



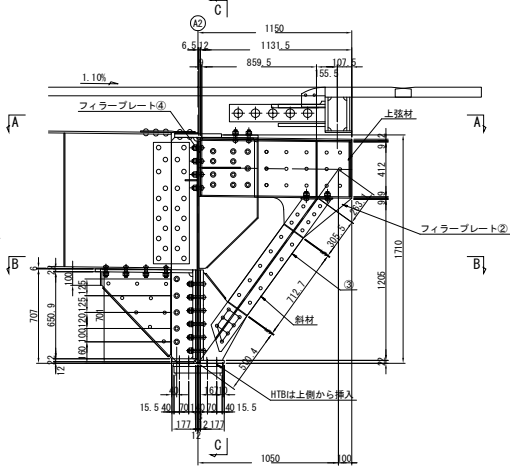
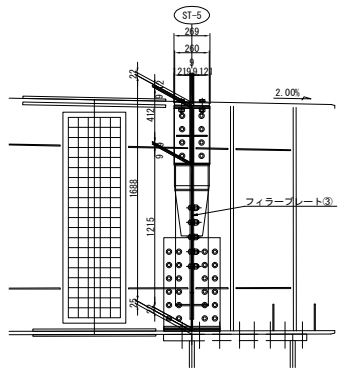
A2橋台 ST-5 [1組分]

(本図は、外主構L側を示し、外主構R側は中主構 (CL) に対して線対象として製作する)

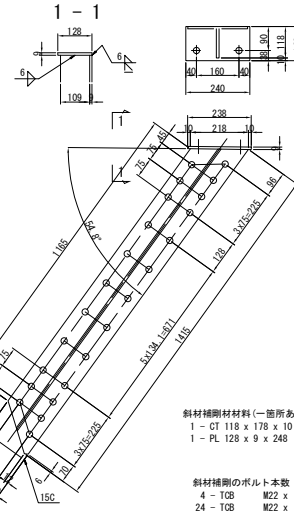
A - A



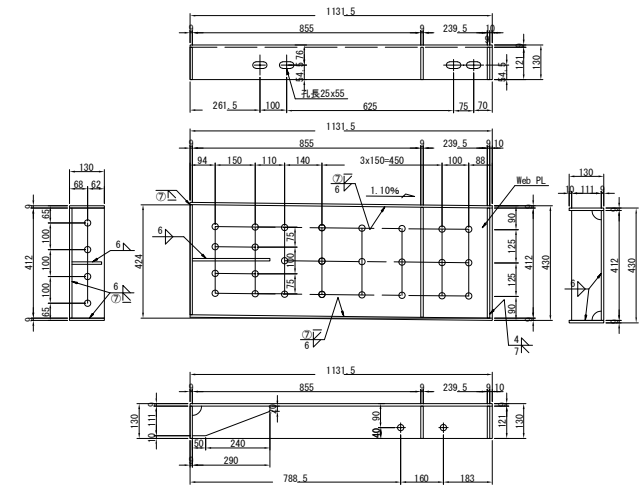
C - C



斜材 詳細図 S=1/20



上弦材 詳細図 S=1/20



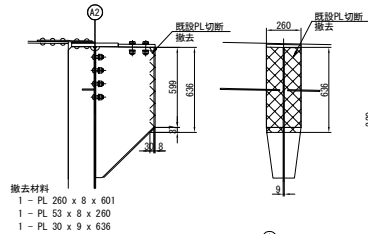
上弦材補剛材料 (一面所あたり 合計 2箇所)
 1 - Web PL 424 x 9 x 1132
 2 - Rib PL 111 x 9 x 412
 1 - End PL 121 x 9 x 412
 1 - Uflg PL 130 x 9 x 1132
 1 - Lflg PL 130 x 9 x 1132
 1 - Rib PL 111 x 9 x 290

上弦材補剛のボルト本数
 26 - TCB M22 x 65 (S10T)
 8 - TCB M22 x 70 (S10T)
 4 - TCB M22 x 80 (S10T)

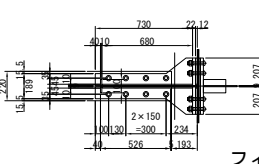
斜材補剛材料 (一面所あたり 合計 2箇所)
 1 - CT 118 x 178 x 10 x 8 x 1424 (SS400)
 1 - PL 128 x 9 x 240

斜材補剛のボルト本数
 4 - TCB M22 x 55 (S10T)
 24 - TCB M22 x 65 (S10T)

既設部材切断(撤去)箇所

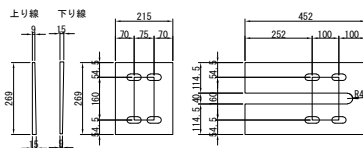


B - B



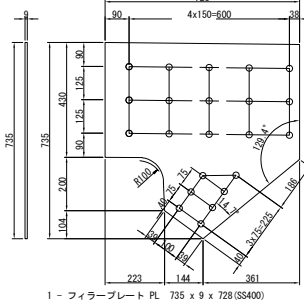
フィラープレート 詳細図 S=1/20

①



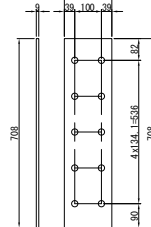
1 - フィラープレート PL 269 x 18 x 215 (SS400)
 1 - フィラープレート PL 269 x 18 x 452 (SS400)

②



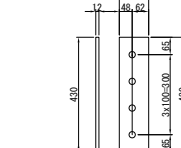
1 - フィラープレート PL 735 x 9 x 728 (SS400)

③



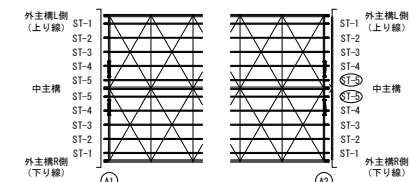
1 - フィラープレート PL 178 x 9 x 713 (SS400)

④



2 - フィラープレート PL 110 x 12 x 430 (SS400)

配置図



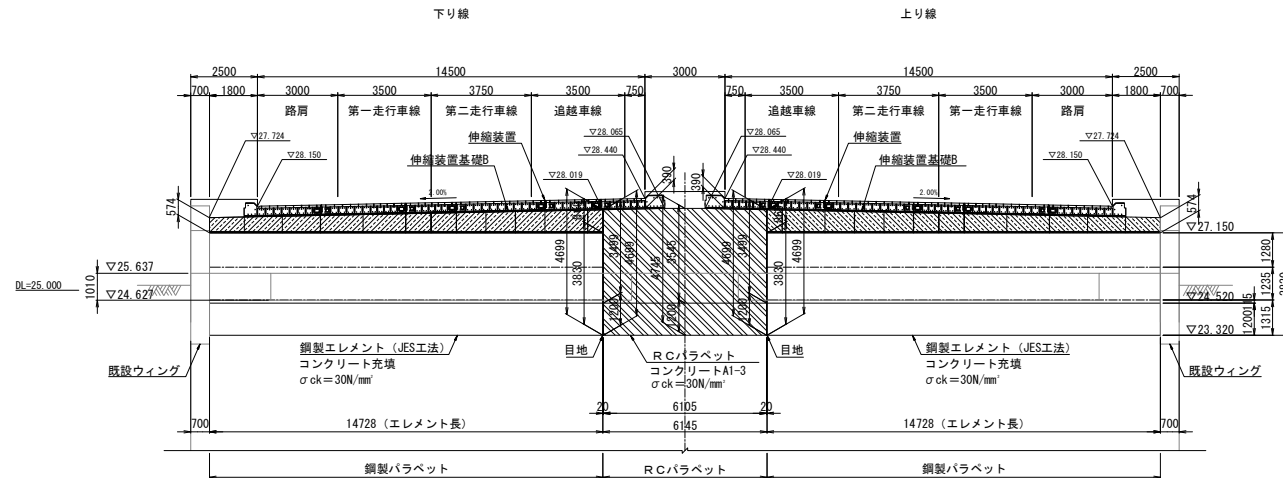
- 注記)
 1. 特記なき材質は全てS400Aとする。
 2. 本図の溶接記号は完全溶け込み溶接とする。
 (F: P溶接)
 3. 特記なきボルト孔径はφ26.5とする。
 4. 既設部材は現地孔明(φ26.5)、新設部材は
 工場孔明(φ26.5)とする。
 5. ◎は既設桁への取付孔明箇所を示す。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	桁端部縦桁延長詳細図 (その10)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NEXCO西日本コンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 加須管理事務所		

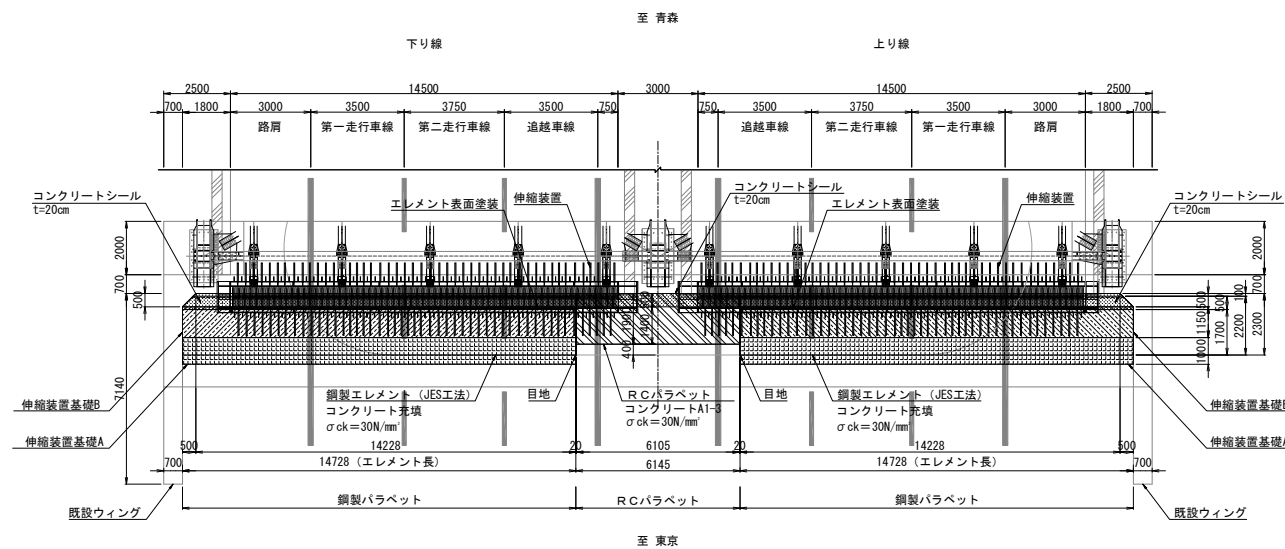
橋台改築構造一般図（その１） S=1/200

(A1橋台)

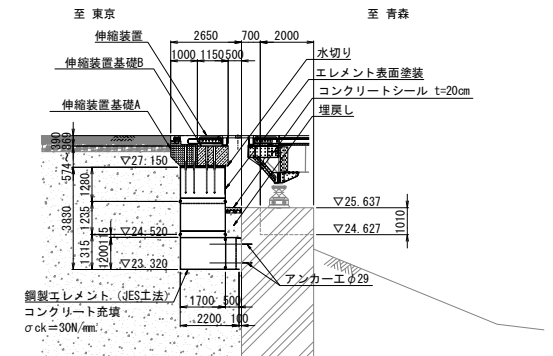
正面図



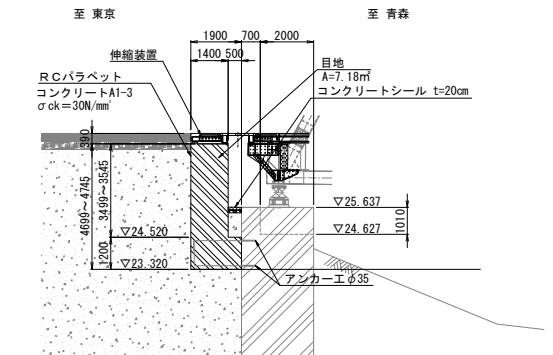
平面図



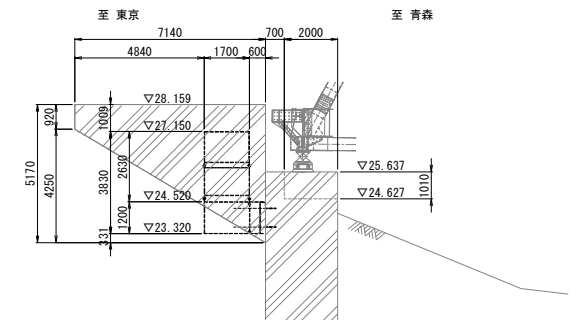
鋼製バラベット部



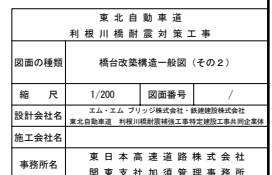
RCバラベット部



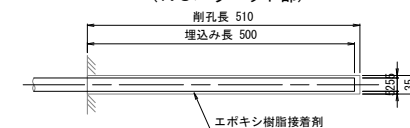
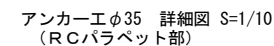
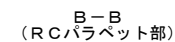
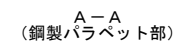
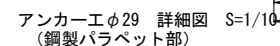
ウィング部



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	橋台改築構造一般図（その１）		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計・施工共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		



(A1橋台アンカー配置図)

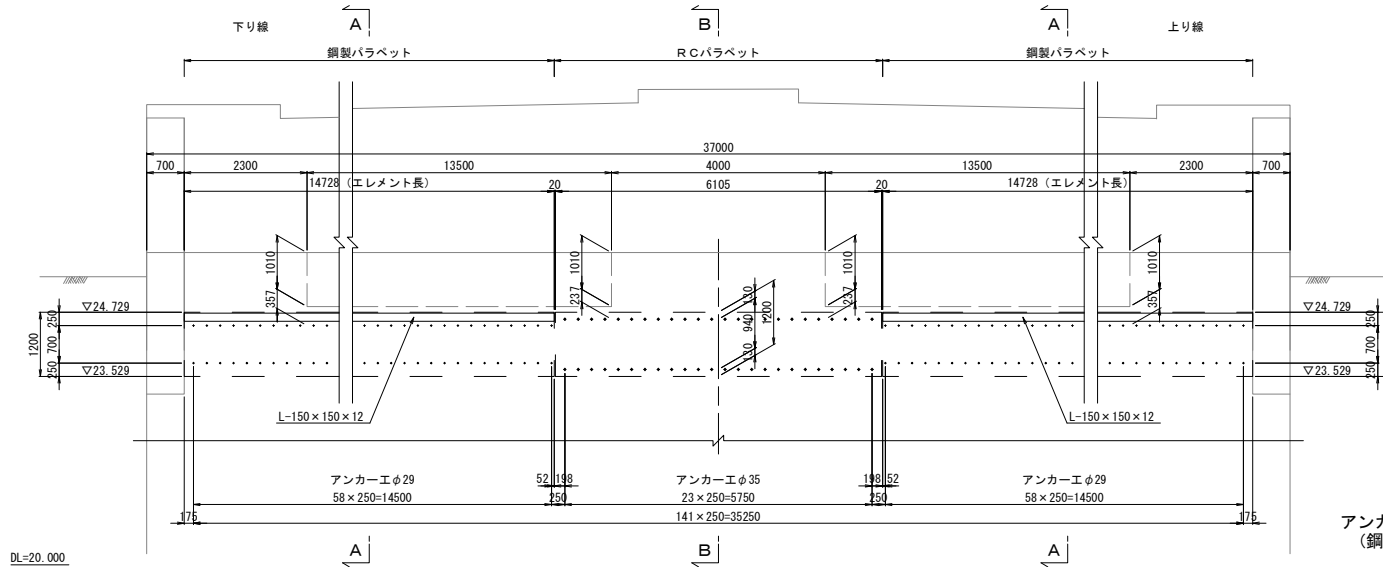


東北自動車道 利根川橋対震対策工事			
図面の種類	橋台改築標準一般図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリック株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補強工事特定建設工事員会		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管区事務所		

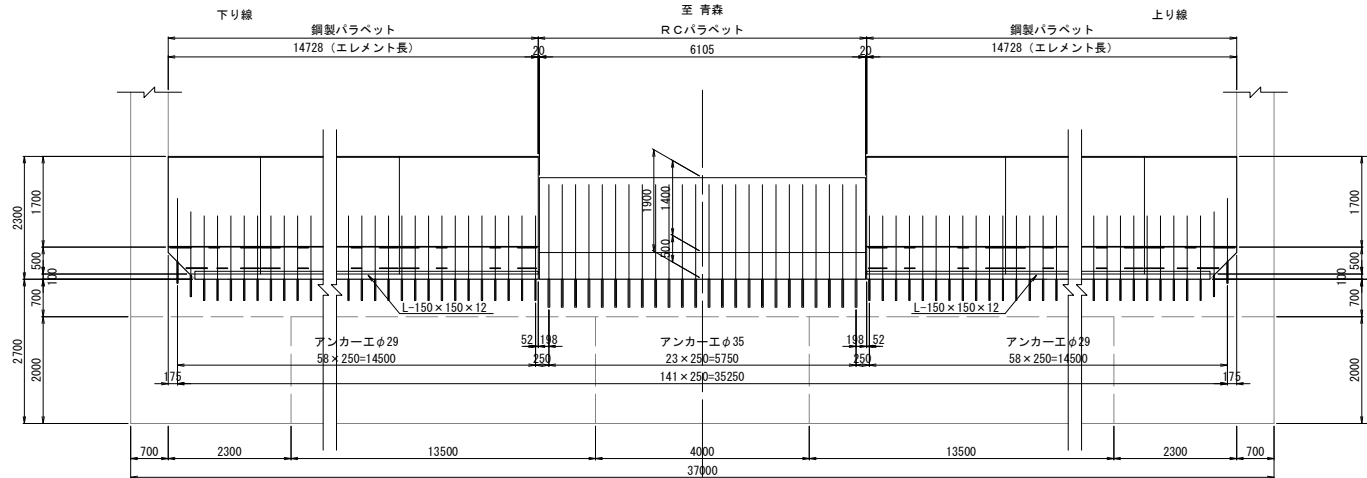
橋台改築構造一般図（その4） S=1/100

(A2橋台アンカー配置図)

正面図

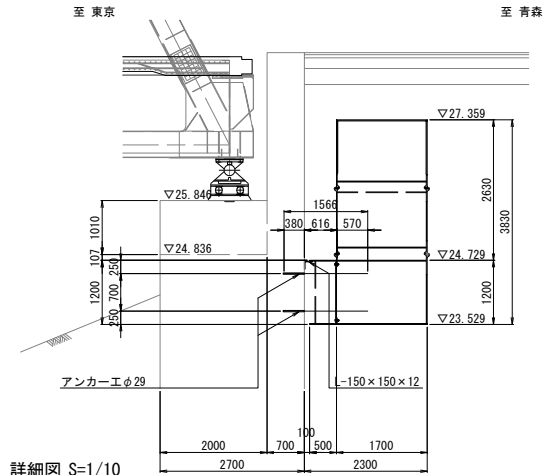


平面図

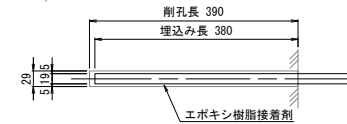


至 東京

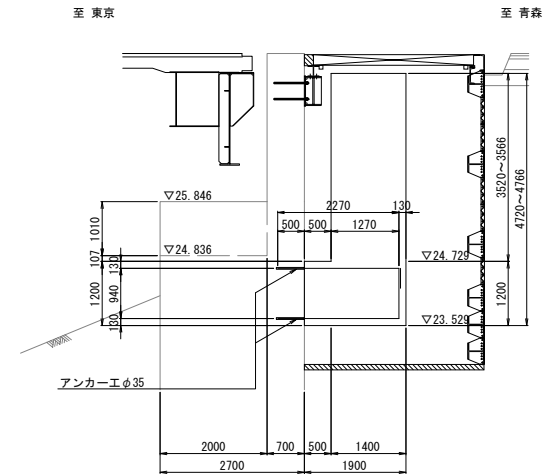
A-A
(鋼製バラベット部)



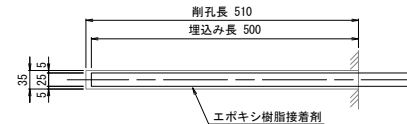
アンカー-Eφ29 詳細図 S=1/10
(鋼製バラベット部)



B-B
(R/Cバラベット部)



アンカー-Eφ35 詳細図 S=1/10
(R/Cバラベット部)

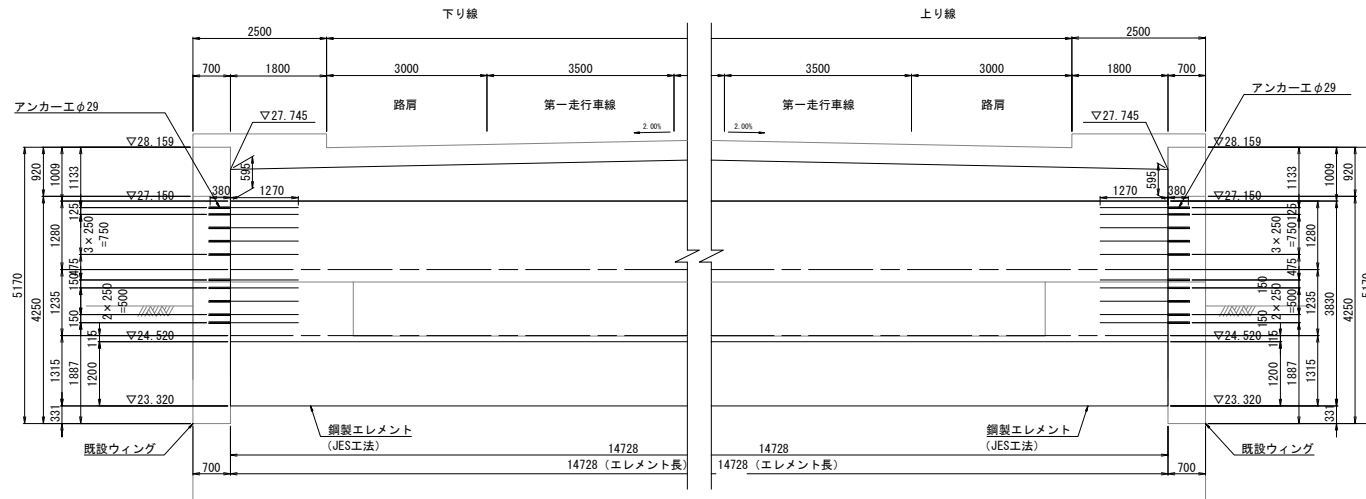


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	橋台改築構造一般図（その4）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・林建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補修工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

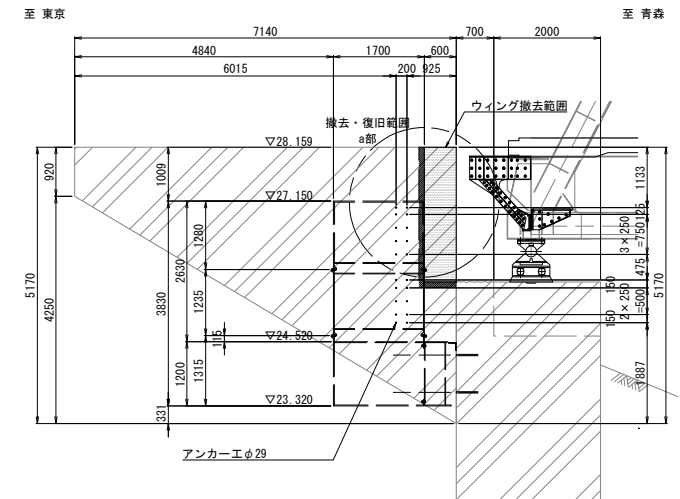
橋台改築構造一般図（その5） S=1/100

(A1橋台ウイング)

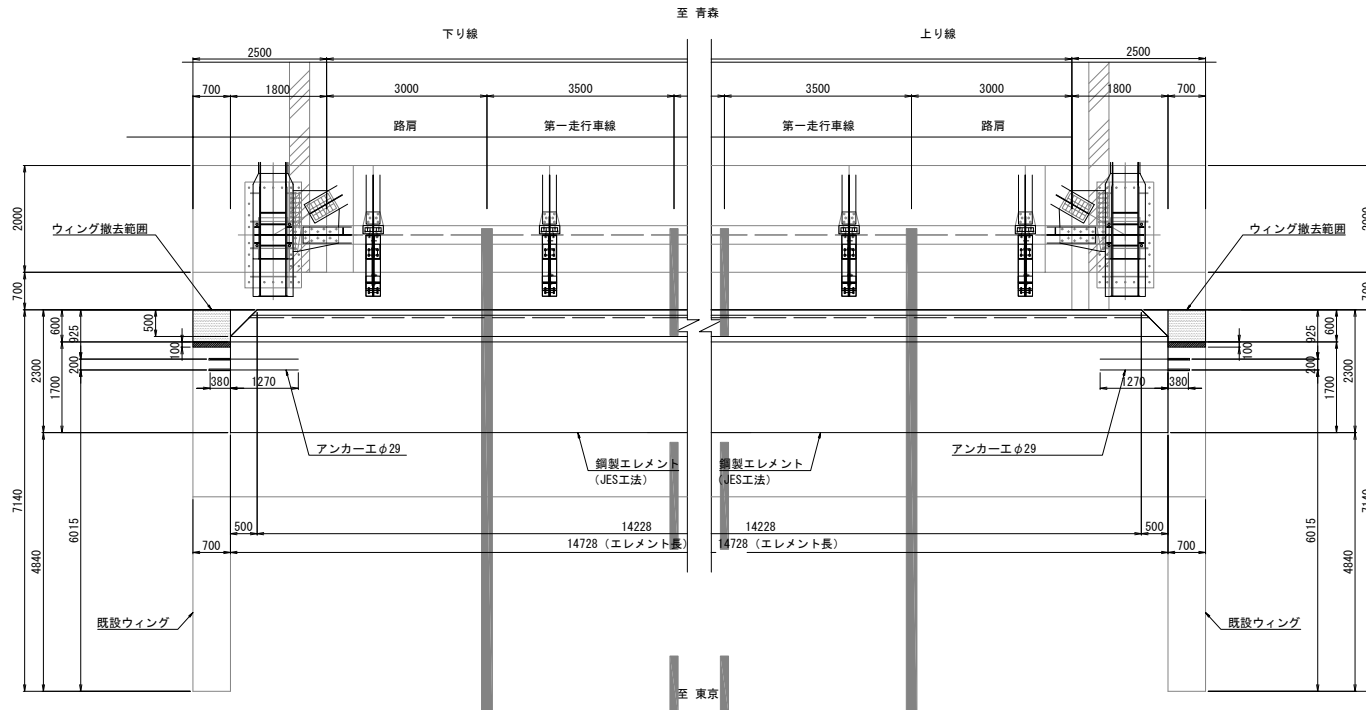
正面図



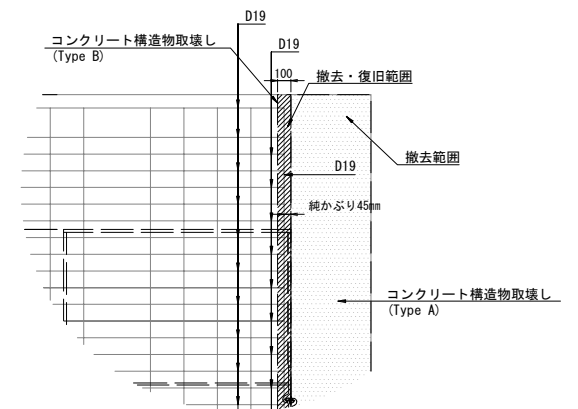
断面図



平面図



a部詳細図 S=1/40



- 注1 アンカー位置は完成図より、既設ウイング配筋を避けた位置で計画しているが、施工に際しては、鉄筋位置を確認の上施工を行うこと。
- 注2 ウイング撤去・仕上げ方法は、「橋台バラベツ・ウイング取壊し図」「断面修復工標準図」参照のこと。

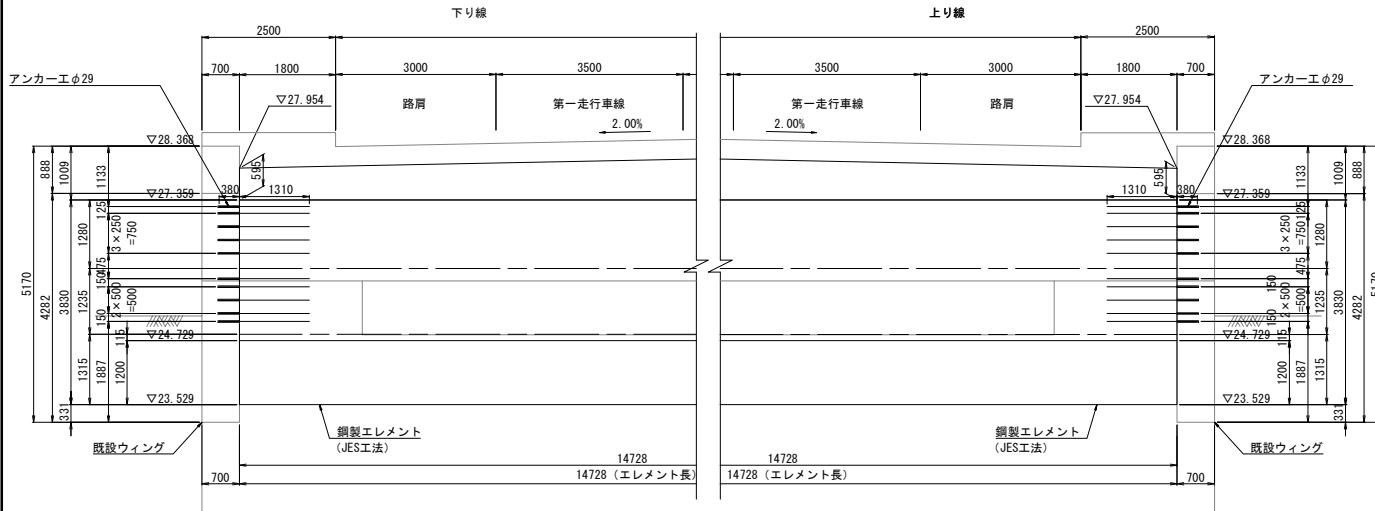
アンカー-Eφ29 詳細図 S=1/10



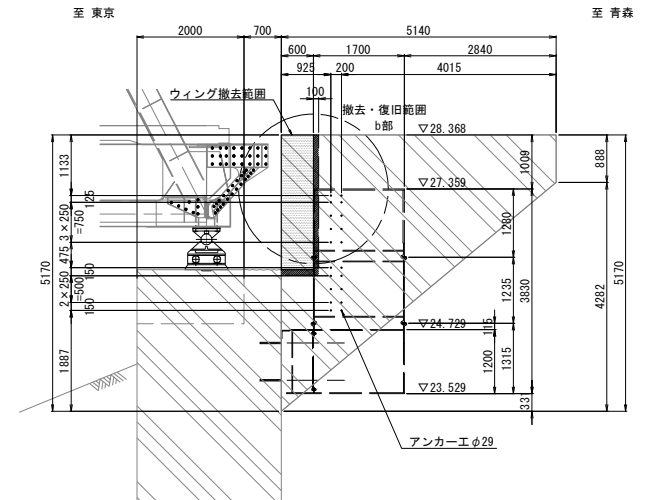
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	橋台改築構造一般図（その5）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁設計株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計・建設工事共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

橋台改築構造一般図（その6） S=1/100 (A2橋台ウイング)

正面図

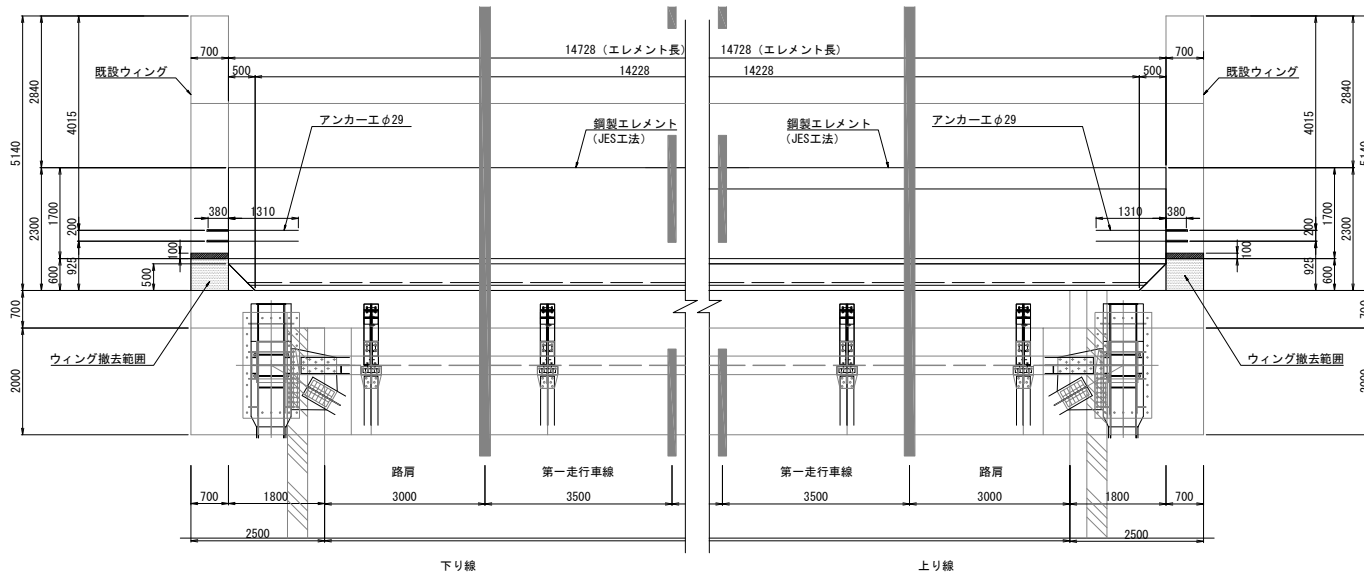


断面図



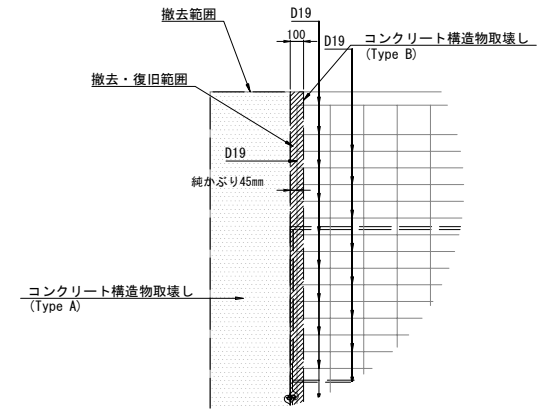
平面図

至 青森



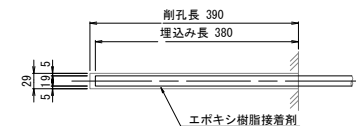
至 東京

b部詳細図 S=1/40



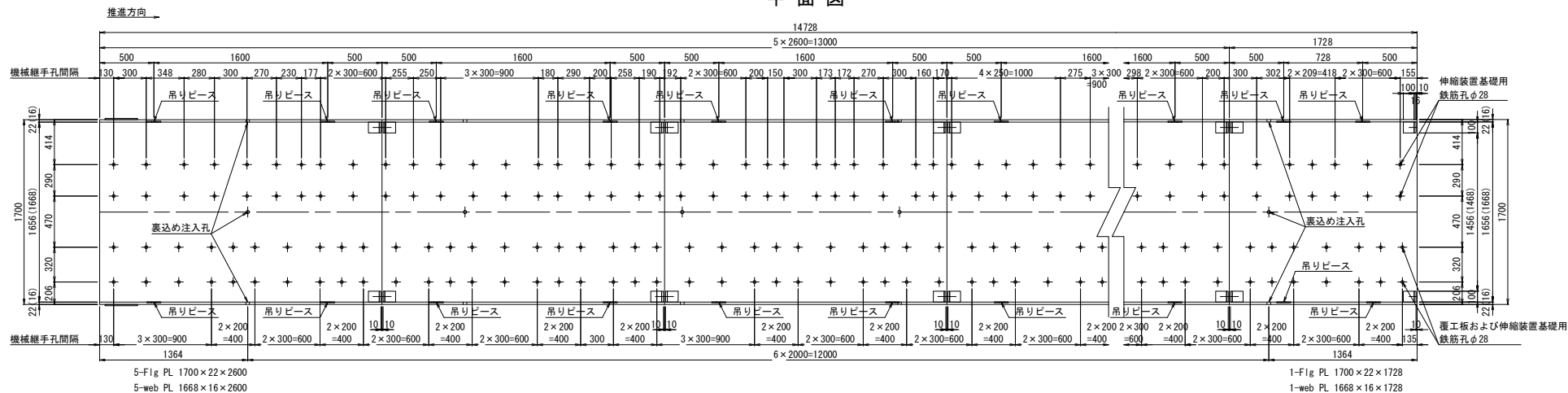
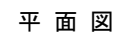
- 注1) アンカー位置は完成図より、既設ウイング配筋を避けた位置で計画しているが、施工に際しては、鉄筋位置を確認の上施工を行うこと。
- 注2) ウイング撤去・仕上げ方法は、「橋台バラベツ・ウイング取壊し図」「断面修復工標準図」参照のこと。

アンカーエφ29 詳細図 S=1/10

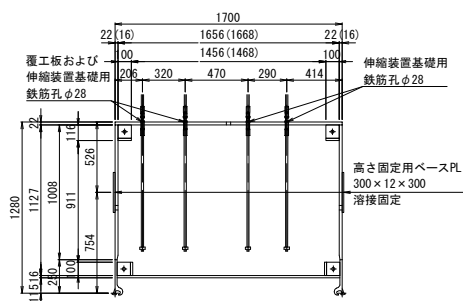


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	橋台改築構造一般図（その6）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フリアン株式会社・林建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

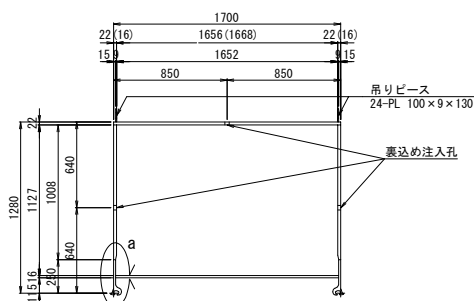
側面図



B-B 断面图

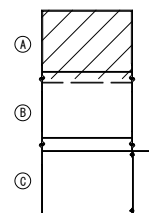


8-PL 100 × 16 × 100

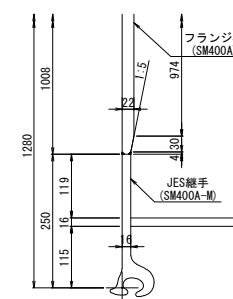


※()内は鋼板16mm箇所寸法を示す。

位置図



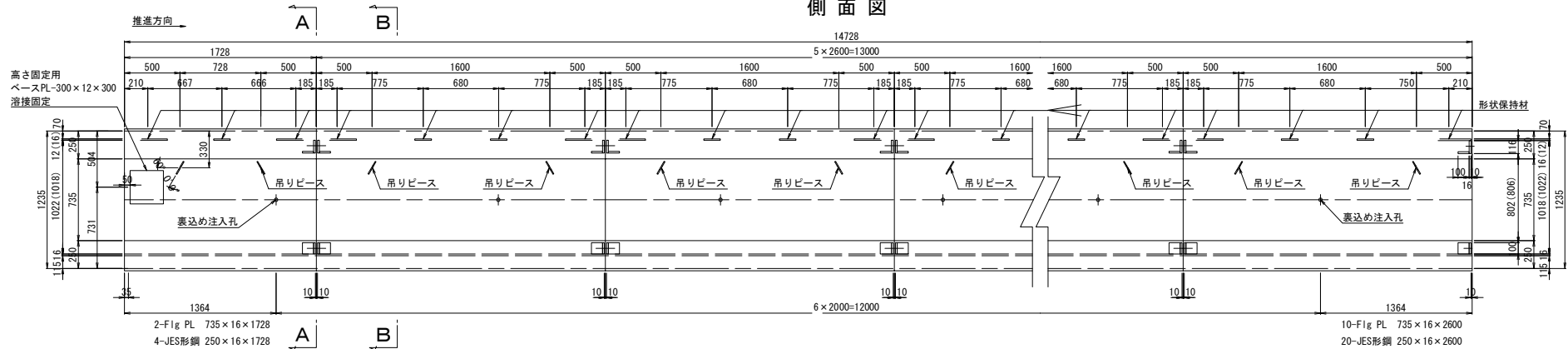
a部詳細図 S=1/10



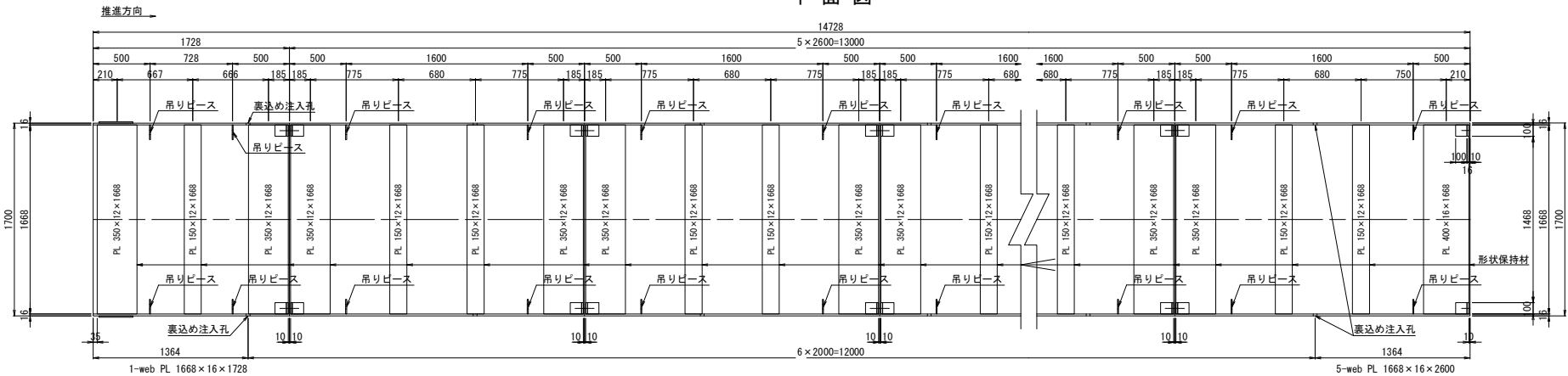
- 注) 1. 継手はJ形彩鋼(SMA400-M)を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質はSMA400とする。
3. 上記以外の部材の材質はSS400とする。
4. フランジは6分割とし、連結孔により結合する。
5. 吊り金具は各分割ointメントに4個とする。
6. エLEMENT連結部については「鋼製ELEMENT詳細図(その2)」を参照する。
7. 裏込注入孔間隔については「鋼製ELEMENT側付割図(その5)」を参照する。
8. 溶接については「鋼製ELEMENT詳細図(その1)」を参照する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事		
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その１）	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	エム・エス・ブリッジ株式会社・緑建築緑株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特設緑図工務員会	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 緑東北利根川耐震対策部	

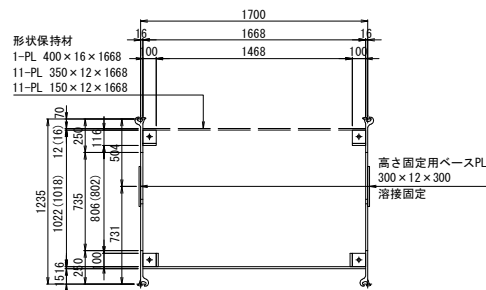
(上り線 A1橋台)
②エレメント
側面図



平面図

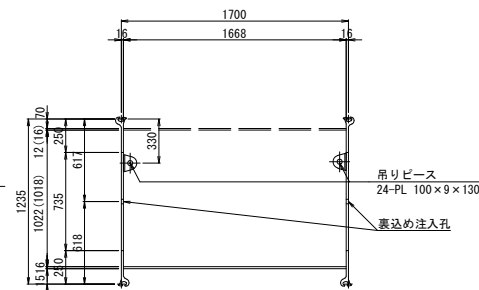


A-A断面図



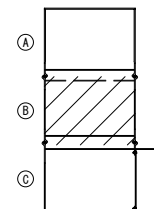
(連結1箇所あたり)
8-PL 100 x 16 x 116
8-PL 100 x 16 x 100

B-B断面図



※ () 内は形状保持材16mm箇所の寸法を示す。

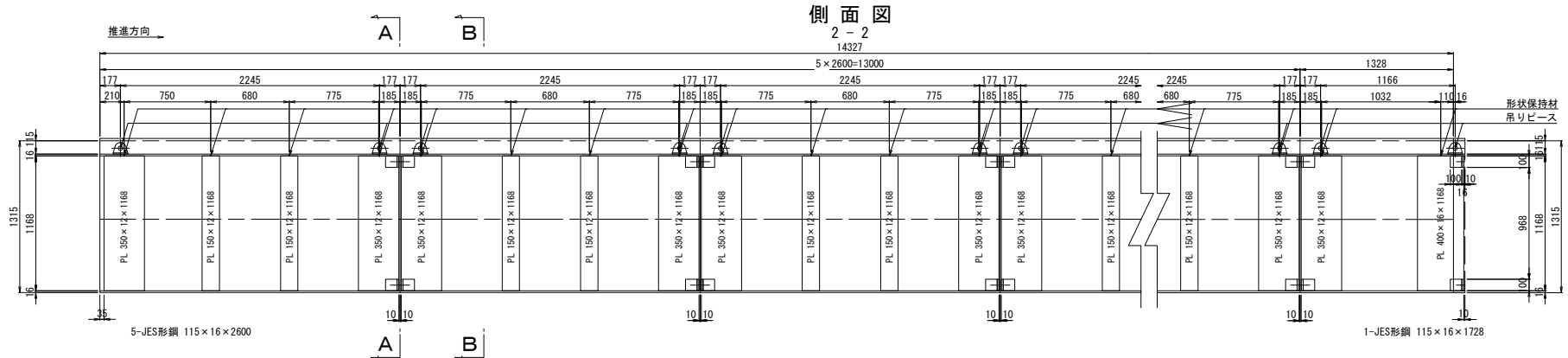
位置図



1. 継手はJES形鋼(SM400A-M)を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質はSM400Aとする。
3. 上記以外の部材の材質はSS400とする。
4. エレメントは6分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割エレメントに4個とする。
6. エレメント連結部については「鋼製エレメント詳細図(その2)」を参照する。
7. 裏込め注入孔間隔については、「鋼製エレメント割付図(その5)」を参照する。
8. 溶接については「鋼製エレメント詳細図(その1)」を参照する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図(その2)		
縮尺	1/40	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

1 - 1
14788

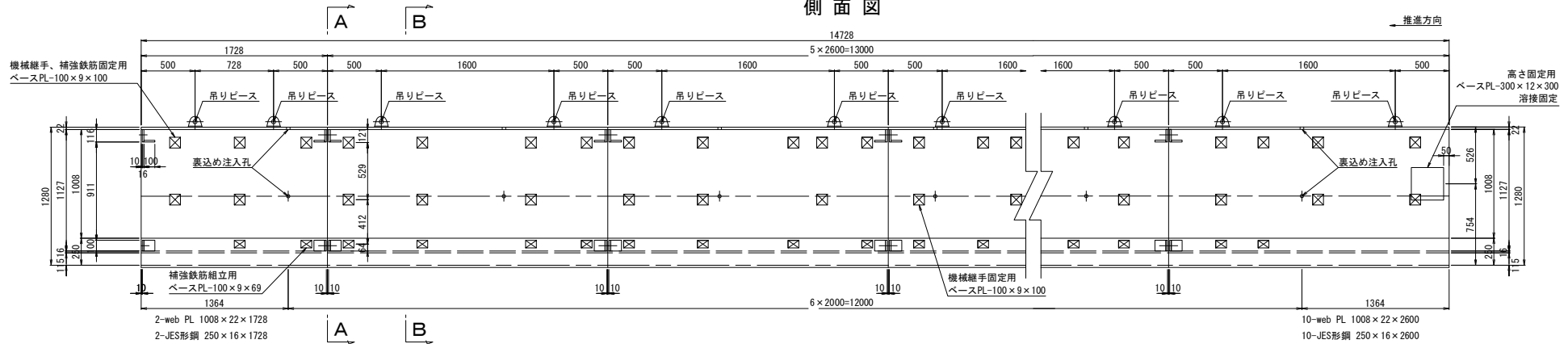


Technical drawings of JES 191 x 16 x 2600 reinforcement bars. The left drawing shows a standard bar with dimensions: total length 200, end segments 55, 90, 55, and a central segment of 105. The right drawing shows a bar with a flange (フランジ) and a reinforcement bar (補強材) with dimensions: total length 200, end segments 55, 90, 55, and a central segment of 105. Both drawings specify JES 191 x 16 x 2600 reinforcement bars and M20 x 60 bolts.

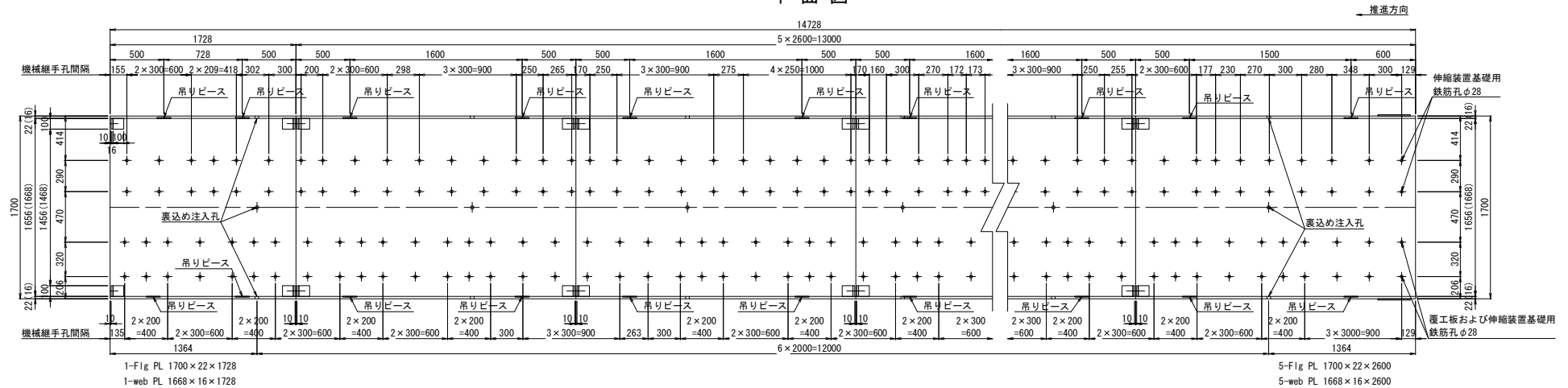
- 注) 1. 継手は J E S 形鋼 (SM400A-M) を使用する。
2. フランジ・ウェブ・連結固定材の材質は SM400A とする。
3. 上記以外の部材の材質は SS400 とする。
4. エLEMENT は 6 分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割 ELEMENT に 4 個とする。
6. 鋼製連結部については「鋼製 ELEMENT 詳細図 (その 2)」を参照する。
7. 裏込注入孔間隔については、「鋼製 ELEMENT 割付図 (その 5)」を参照する。
8. 溶接については「鋼製 ELEMENT 詳細図 (その 1)」を参照する。
9. アンカー-筋に支障する形状保持材は切断する。
10. 補強材のアンカー支障部は孔あけ可とする。
11. 補強材は作業支障箇所の一時的取外し可だが、中埋コンクリート打設時は連結すること。
12. 継手注入後、ハンドホールに蓋を設置しコンクリート打設すること。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼索エレメント一般図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・建築設計株式会社 東北自動車道 利根川耐震対策工事特定建設士事務所企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

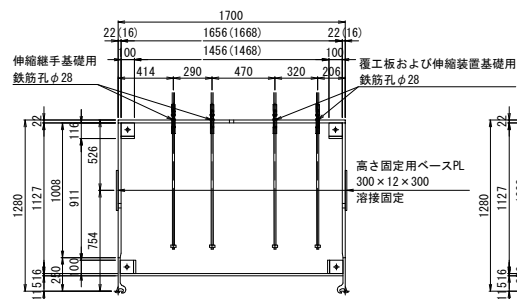
側面図



平面図



A—A 断面図

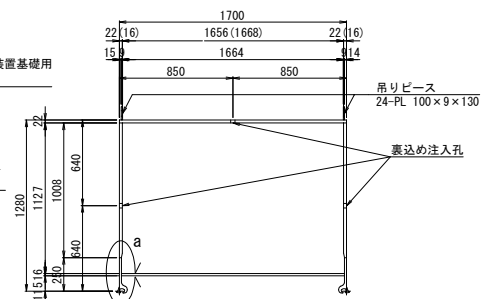


(連結 1 箇所あたり)

8-PL 100 × 16 × 116

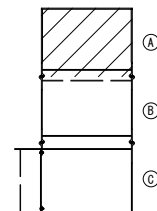
8-PL	100 × 16 × 100
------	----------------

B-B 断面図

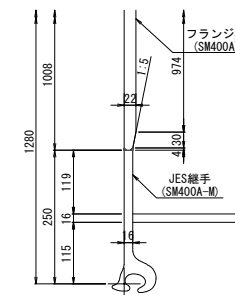


※()内は鋼板16mm箇所寸法を示す。

位置図



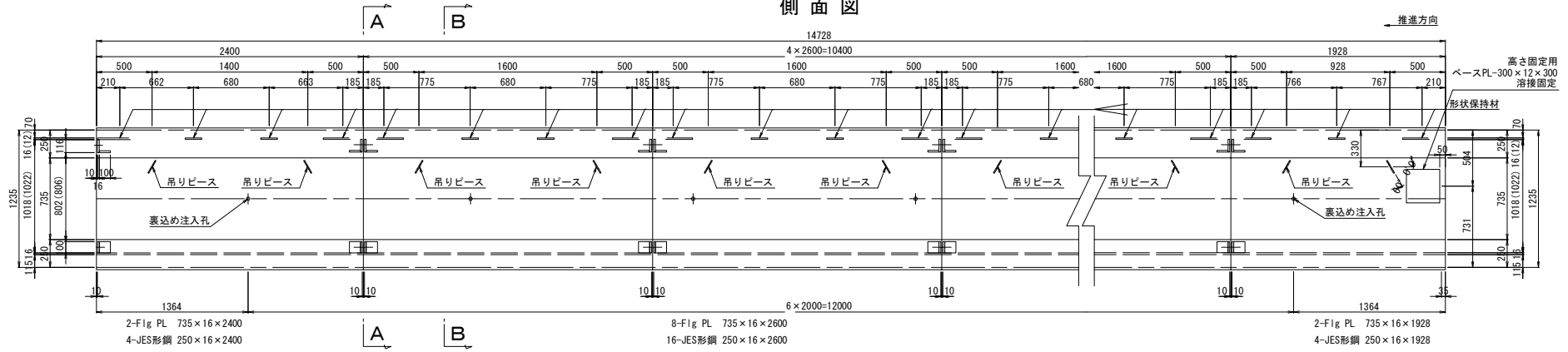
a部詳細図 S=1/10



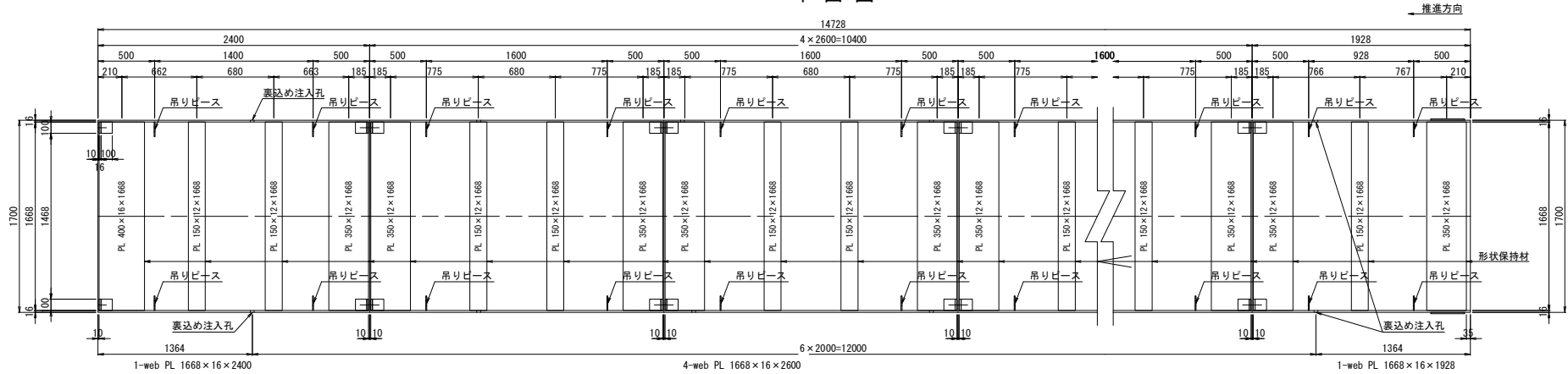
- 注) 1. 継手は J E S 形鋼 (SM400A-M) を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質は SM400A とする。
3. 上記以外の部材の材質は SS400 とする。
4. エレメントは 6 分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割エレメントに 4 個とする。
6. エレメント連結部については「鋼製エレメント詳細図 (その 2)」を参照する。
7. 裏込め注入孔間隔については、「鋼製エレメント付割図 (その 6)」を参照する。
8. 溶接については「鋼製エレメント詳細図 (その 1)」を参照する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼管エレメント一般図 (その5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・鉄線建設株式会社 東北自動車道 利根川耐震補強工事支障復旧工事員企画乗務		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 計画管理課 第五課		

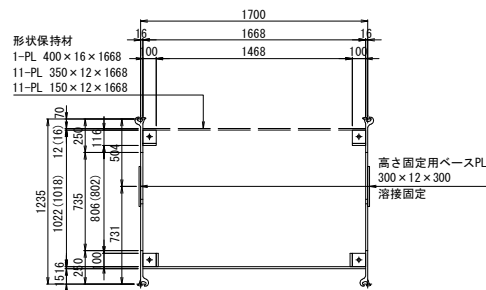
(下り線 A1橋台)
②エレメント
側面図



平面図

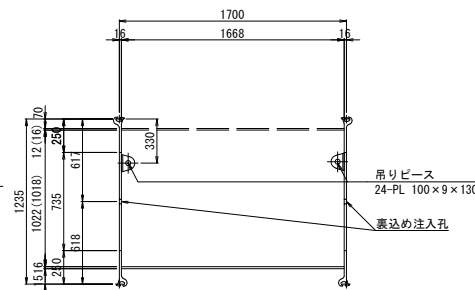


A-A断面図



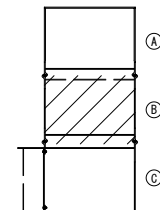
(連結1箇所あたり)
8-PL 100 x 16 x 116
8-PL 100 x 16 x 100

B-B断面図



※ () 内は形状保持材16mm箇所の寸法を示す。

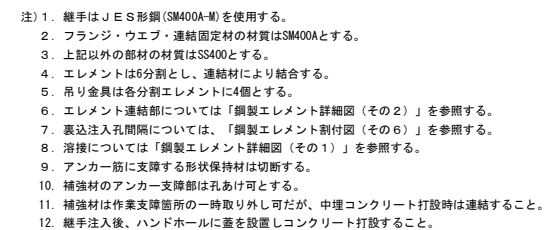
位置図



1. 継手はJES形鋼(SM400A-M)を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質はSM400Aとする。
3. 上記以外の部材の材質はSS400とする。
4. エレメントは6分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割エレメントに4個とする。
6. エレメント連結部については「鋼製エレメント詳細図(その2)」を参照する。
7. 裏込め注入孔間隔については、「鋼製エレメント割付図(その6)」を参照する。
8. 溶接については「鋼製エレメント詳細図(その1)」を参照する。

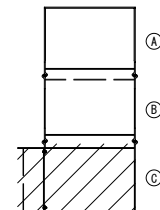
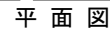
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図(その6)		
縮尺	1/40	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

1 -



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その７）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄線建設株式会社 東北自動車道 利根川耐震補強工事特設建設工事員企画企業		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

③ エレメント
平面図

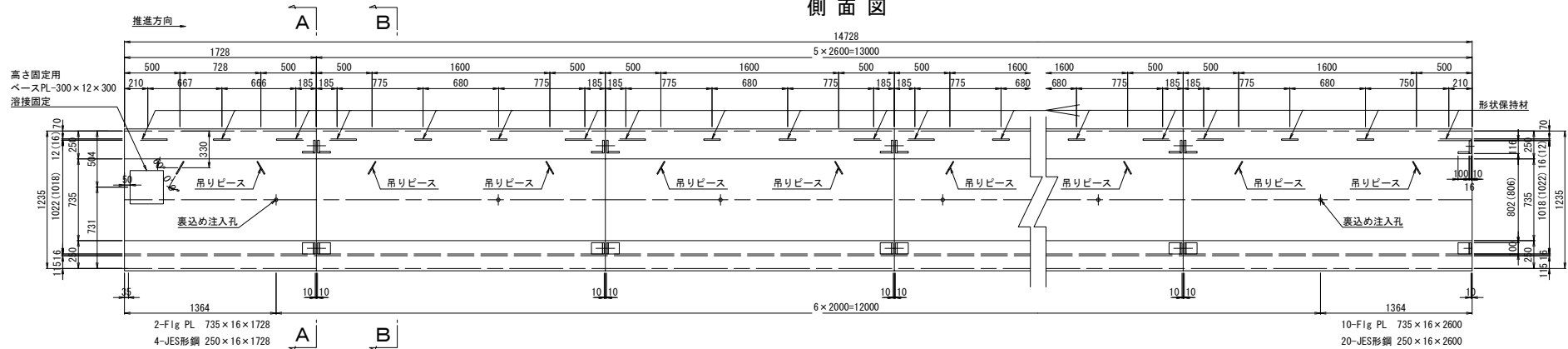


- | | | | |
|----------------------|---|------|---|
| 東北自動車道
利根川橋耐震対策工事 | | | |
| 図面の種類 | エレメント推進工
鋼製エレメント一般図 (その8) | | |
| 縮 尺 | 1/40 | 図面番号 | / |
| 設計会社名 | エム・エム・フジワラ株式会社・緑環建設株式会社
東北自動車道 利根川耐震対策工事特定建設工事員企業株 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路株式会社
関東支社加賀管理事務所 | | |

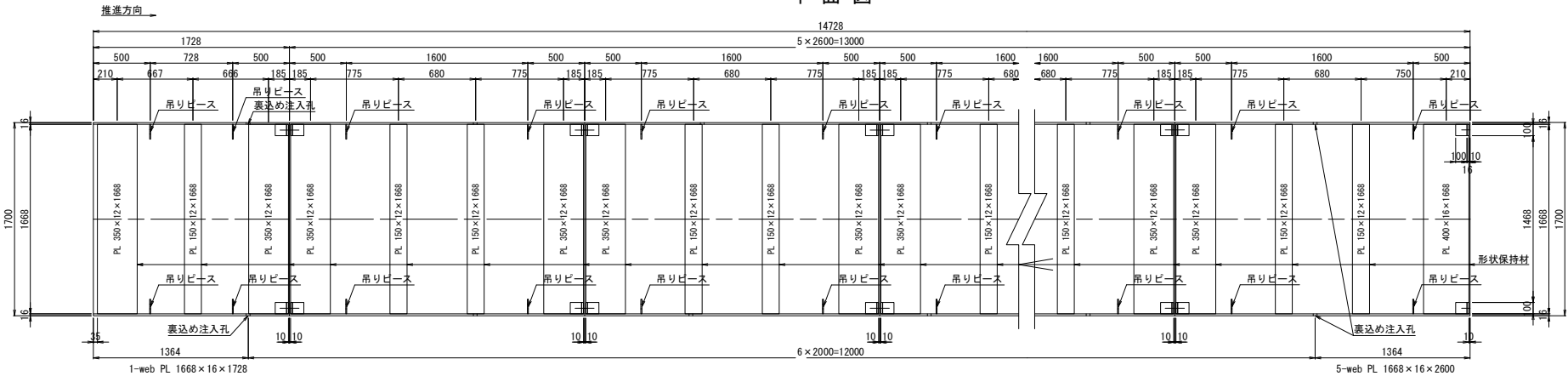
（上り線 A2橋台）

②エレメント

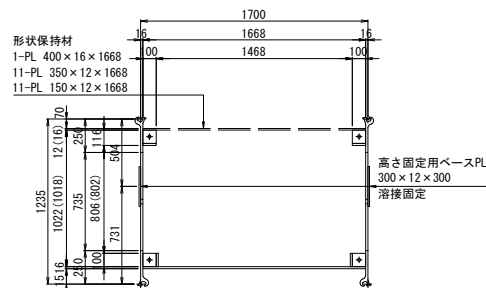
側面図



平面図



A-A断面図

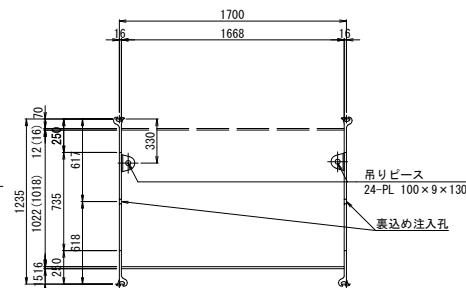


（連結1箇所あたり）

8-PL 100×16×116

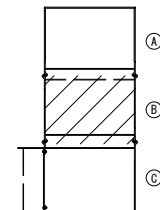
8-PL 100×16×100

B-B断面図



※（ ）内は形状保持材16mm箇所の寸法を示す。

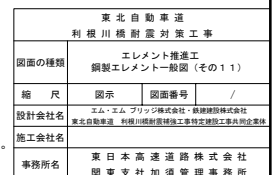
位置図



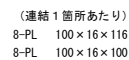
1. 継手はJES形鋼(SM400A-M)を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質はSM400Aとする。
3. 上記以外の部材の材質はSS400とする。
4. エレメントは6分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割エレメントに4個とする。
6. エレメント連結部については「鋼製エレメント詳細図（その2）」を参照する。
7. 裏込め注入孔間隔については、「鋼製エレメント割付図（その7）」を参照する。
8. 溶接については「鋼製エレメント詳細図（その1）」を参照する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その10）		
縮 尺	1/40	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

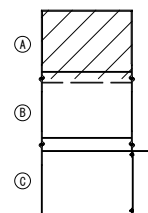
1 - 1



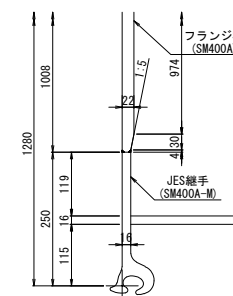
側面図



位置図



a部詳細図 S=1/5



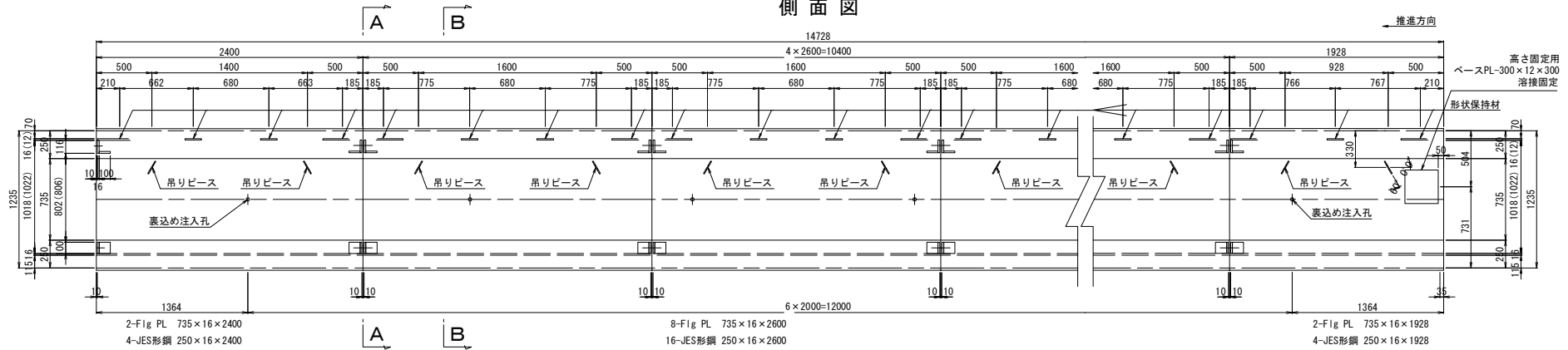
- 注) 1. 継手は J E S 形鋼 (SM400A-M) を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質は SM400A とする。
3. 上記以外の部材の材質は SS400 とする。
4. エレメントは 6 分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割エレメントに 4 個とする。
6. エレメント連結部については「鋼製エレメント詳細図 (その 2)」を参照する。
7. 裏込め注入孔間隔については、「鋼製エレメント付割図 (その 8)」を参照する。
8. 溶接については「鋼製エレメント詳細図 (その 1)」を参照する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その１３）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エフ・アブリッジ株式会社、橋梁設計株式会社 東北自動車道 利根川耐震補強工事特定建設工事関係企業		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 知徳管理事務所		

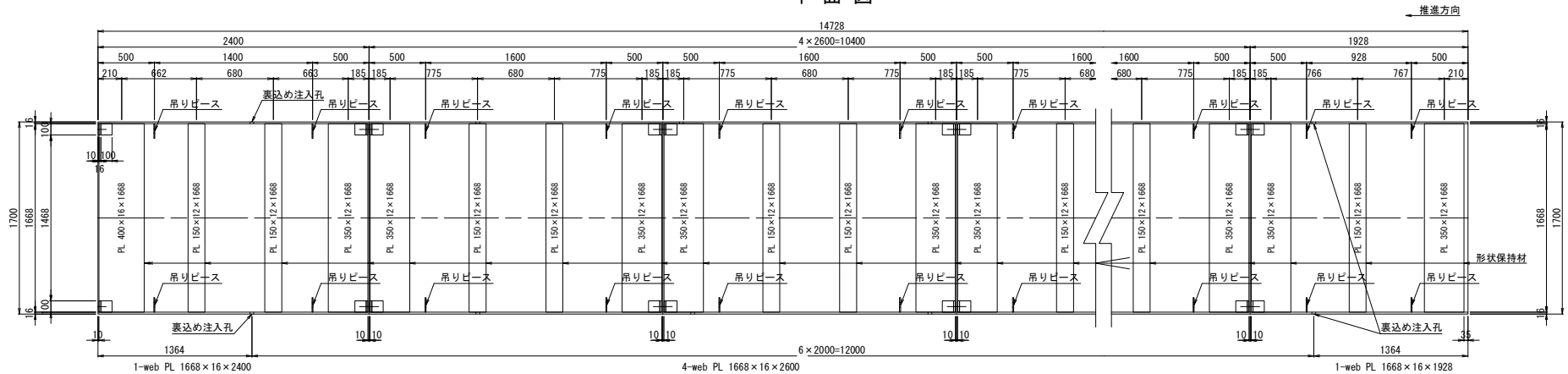
（下り線 A2橋台）

②エレメント

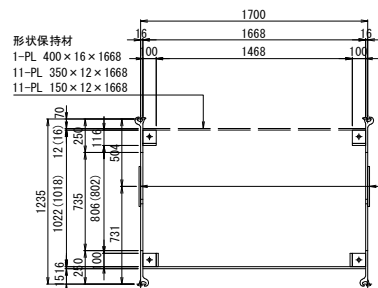
側面図



平面図



A-A断面図

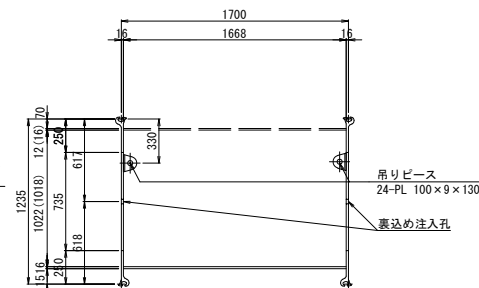


（連結１箇所あたり）

8-PL 100×16×116

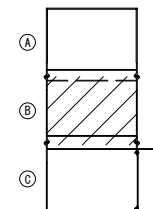
8-PL 100×16×100

B-B断面図



※（ ）内は形状保持材16mm箇所の寸法を示す。

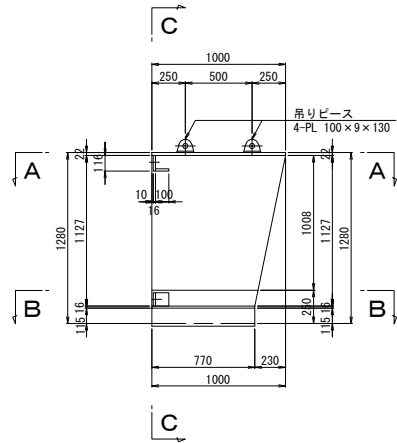
位置図



1. 継手はJES形鋼(SM400A-M)を使用する。
2. フランジ・ウェブの材質はSM400とする。
3. 上記以外の部材の材質はSS400とする。
4. エレメントは6分割とし、連結材により結合する。
5. 吊り金具は各分割エレメントに4個とする。
6. エレメント連結部については「鋼製エレメント詳細図（その2）」を参照する。
7. 裏込め注入孔間隔については、「鋼製エレメント割付図（その8）」を参照する。
8. 溶接については「鋼製エレメント詳細図（その1）」を参照する。

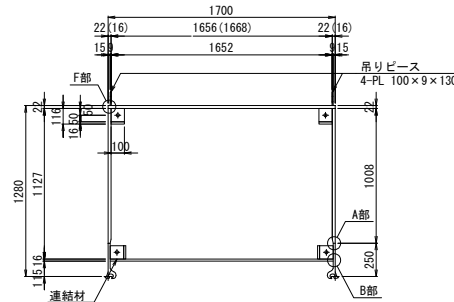
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その１４）		
縮 尺	1/40	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

① エレメント用刃口
側面図



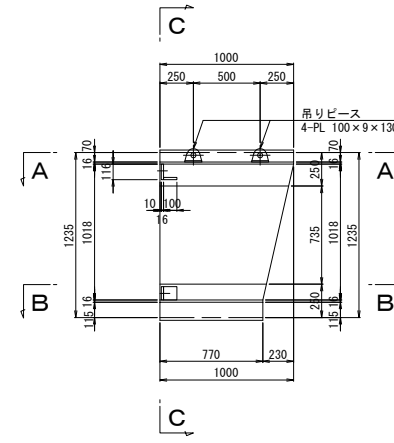
1-PL 1000×22×1700 (SM400A)
2-PL 1000×22×1008 (SM400A)
1-PL 770×16×1668 (SM400A)

C-C断面図



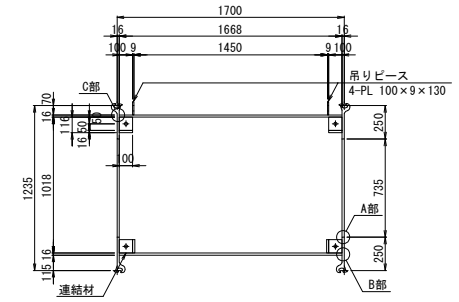
2-JES形鋼 770×16×250 (SM400A-M)
4-PL 100×16×116
4-PL 100×16×100

② エレメント用刃口
側面図



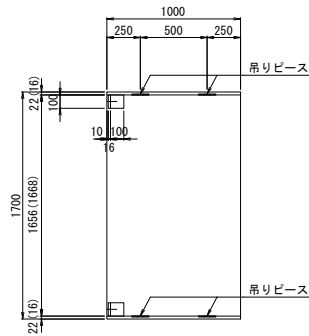
1-PL 1000×16×1668 (SM400A)
2-PL 1000×16×735 (SM400A)
1-PL 770×16×1668 (SM400A)

C-C断面図

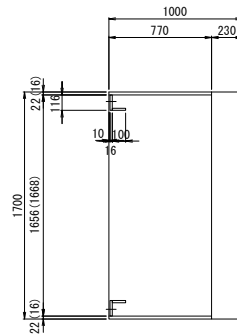


2-JES形鋼 1000×16×250 (SM400A-M)
2-JES形鋼 770×16×250 (SM400A-M)
4-PL 100×16×116
4-PL 100×16×100

A-A断面図

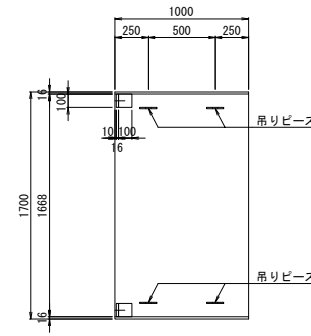


B-B断面図

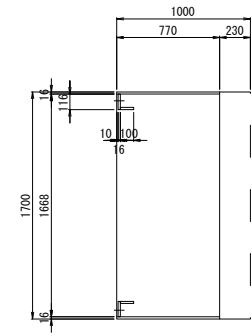


※()内は鋼板16mm箇所の寸法を示す。

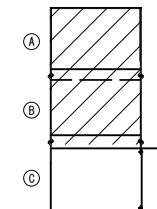
A-A断面図



B-B断面図



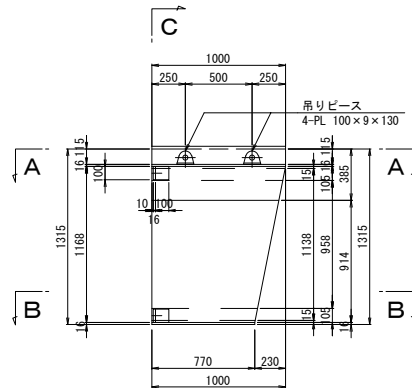
位置図



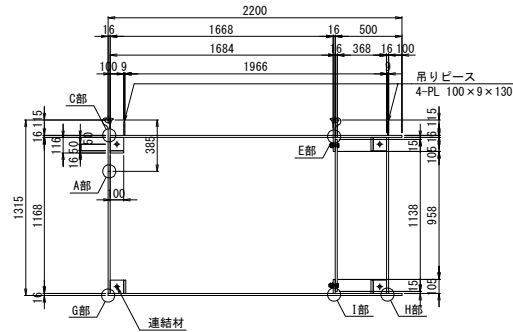
- 注) 1. 継手はJES形鋼を使用する。
2. 特記なき鋼材の材質はSS400とする。
3. 溶接部詳細は、鋼製エレメント詳細図（その１）を参照すること。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その１）		
縮 尺	1/40	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

C-C断面図

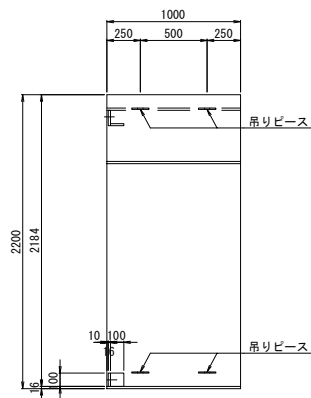


1-PL	1000 × 16 × 1668	(SM400A)
1-PL	1000 × 16 × 2184	(SM400A)
1-PL	1000 × 16 × 914	(SM400A)
1-PL	1000 × 16 × 1138	(SM400A)
1-PL	1000 × 16 × 1168	(SM400A)
2-PL	770 × 16 × 105	(SM400A)
1-PL	770 × 16 × 2200	(SM400A)

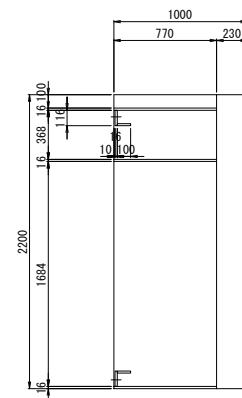


1-JES形鋼 1000×16×385 (SM400A-M)
1-JES形鋼 1000×16×115 (SM400A-M)
4-PL 100×16×116
4-PL 100×16×100

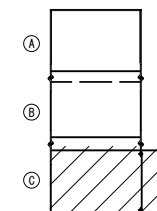
A-A断面図



B-B断面図



位置図

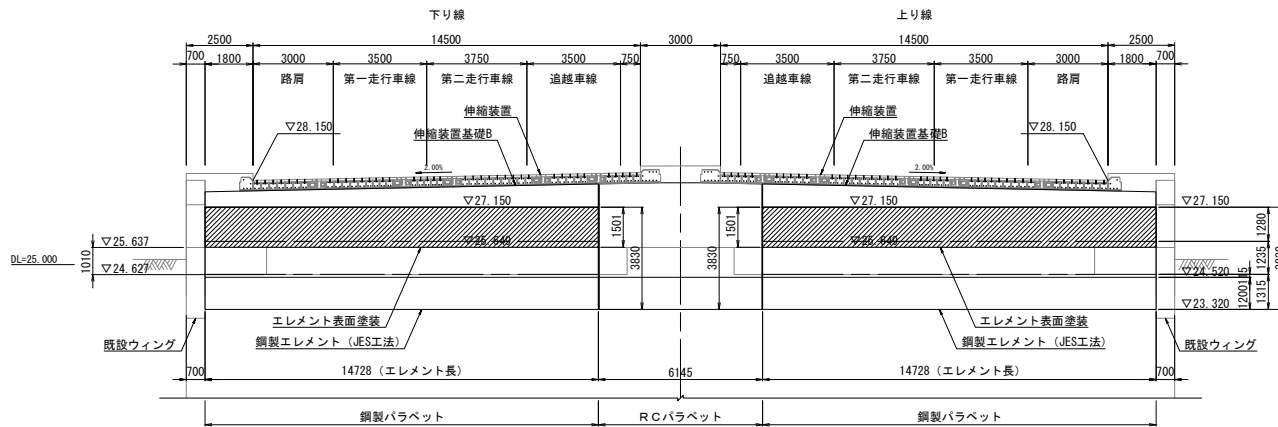


注) 1. 継手は J E S 形鋼を使用する。
2. 特記なき鋼材の材質は SS400 とする。
3. 溶接部詳細は、鋼製エレメント詳細図 (その 1) を参照すること。

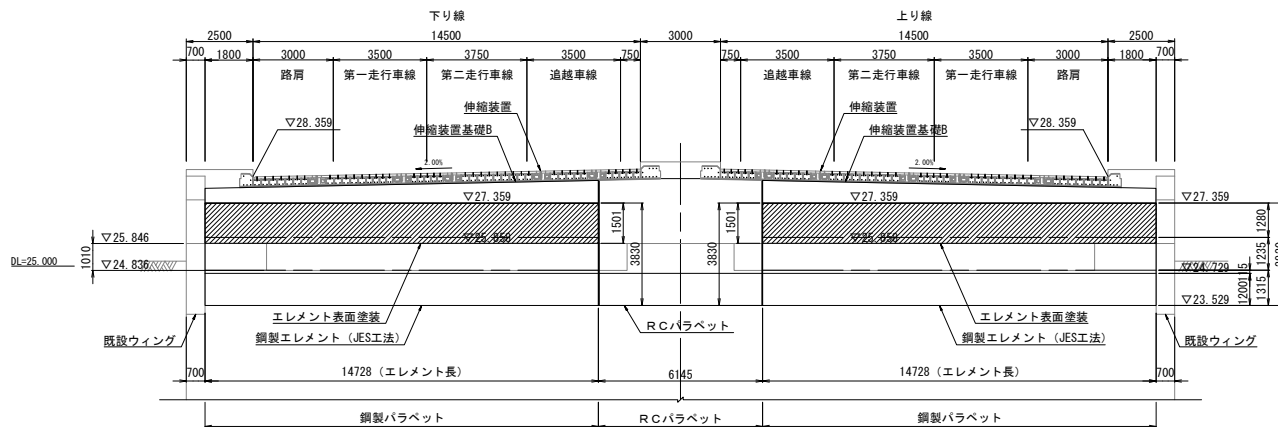
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント一般図（その１８）		
縮 尺	1/40	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・鉄鋼建設株式会社 東北自動車道 利根川耐震補強工事特定建設工事員企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 事業支社加賀管理事務所		

エレメント推進工 鋼製エレメント表面塗装一般図 S=1/200

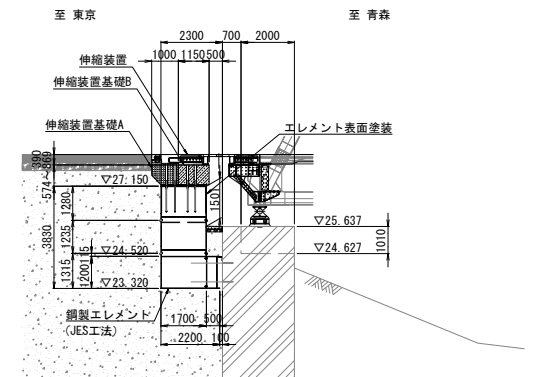
正面図



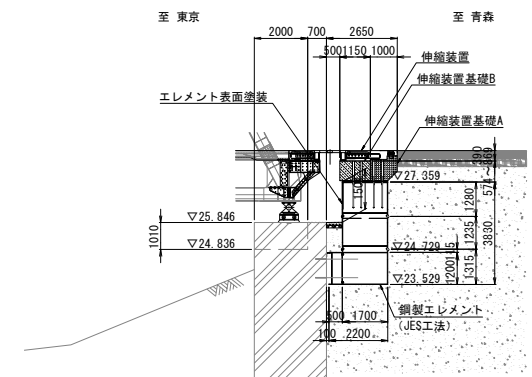
正面図



A1橋台



A2橋台



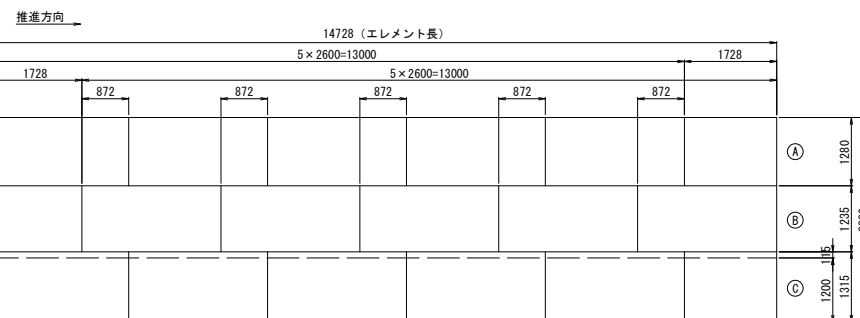
【塗装仕様】

記号	工 程	塗装または素地調整程度	標準使用量 (g/m ²)	塗装間隔	標準膜厚 (μm)
F11	現場塗装 (弱溶剤塗料)	素地調整	G-C (動力工具)	-	-
		下塗り 第1層	有機ジンクリッチペイント	2hr以内	30
		下塗り 第2層	"	1~10日	30
		下塗り 第3層	厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (120μm)	1~10日	90
		下塗り 第4層	"	1~10日	90
		中塗り	ふっ素樹脂塗料中塗り	1~10日	30
		上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗り	1~10日	25

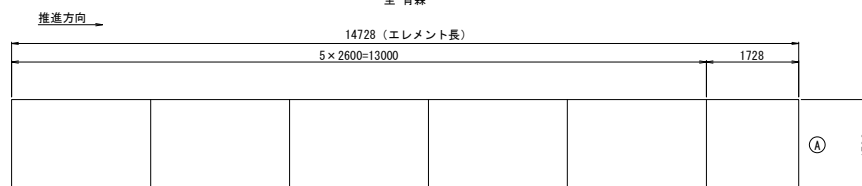
注) 橋台改築におけるJESエレメントの鋼材露出部の塗装仕様は、
構造物施工管理要領 II 建設編「3-7塗装仕様」解説に示されている。
橋梁桁端部の塗装仕様とする。塗装仕様は上部工の現場溶接部および
高力ボルト頭部と同様のF11仕様とする。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント表面塗装一般図		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補強工事暫定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

側面図

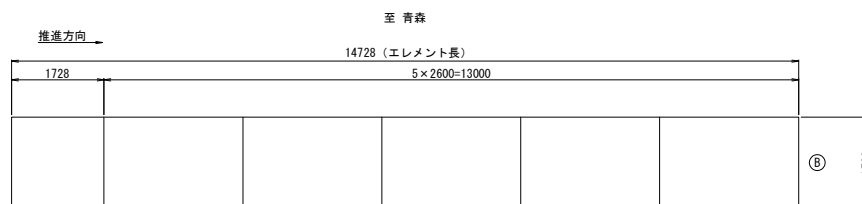


至青森



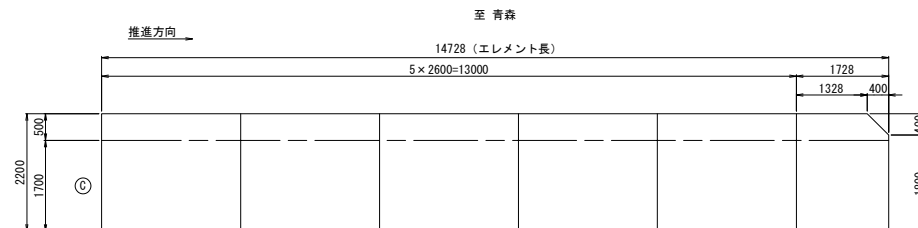
至東京

中段



至東京

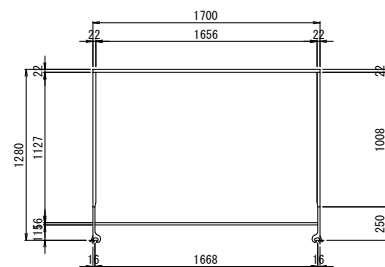
下 段



至 東京

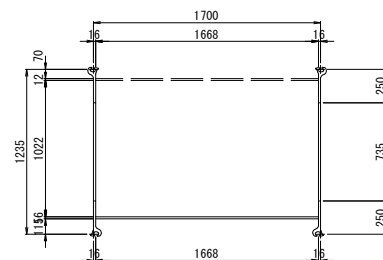
基準エレメント

Ⓐ



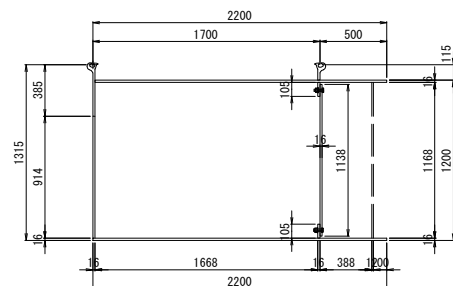
一般エレメント

ⓑ



定着エレメント

③

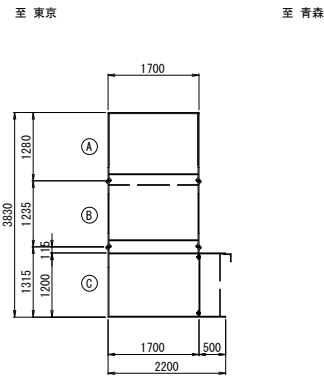


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事		
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その１）	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・秋田建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特設建設工事員会	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社加賀管区建設課	

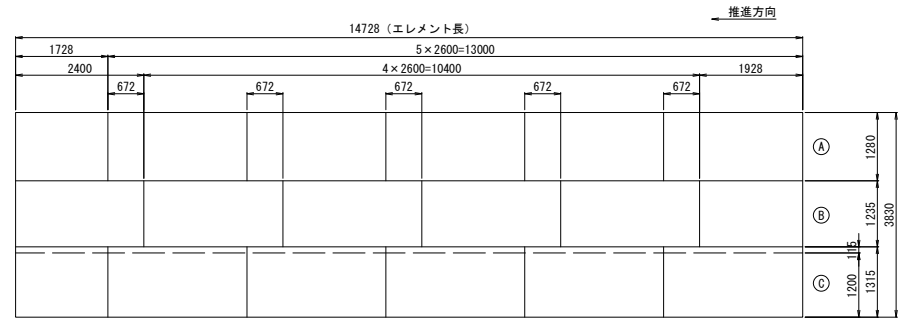
エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その2） S=1/100

（下り線 A1橋台）

断面図



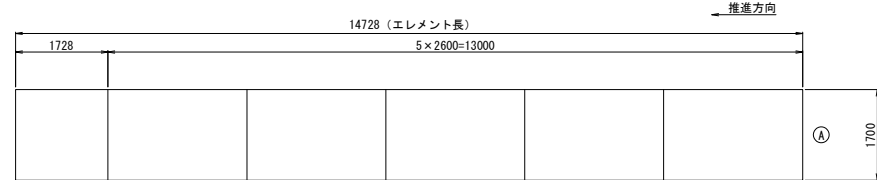
側面図



平面図

上段

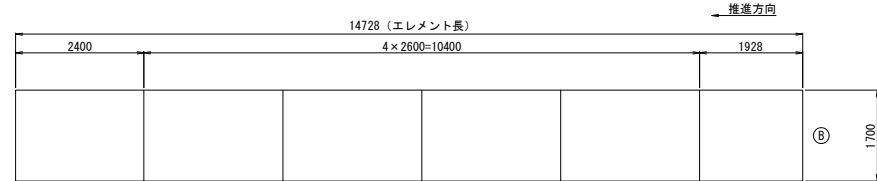
至 青森



至 東京

中段

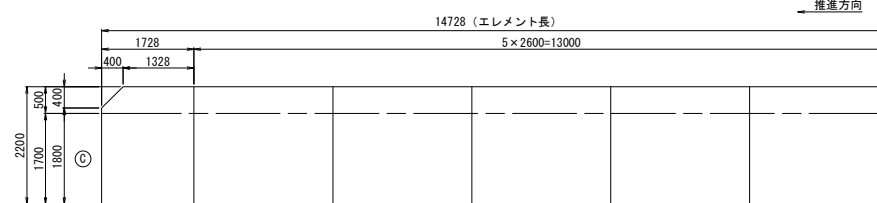
至 青森



至 東京

下段

至 青森

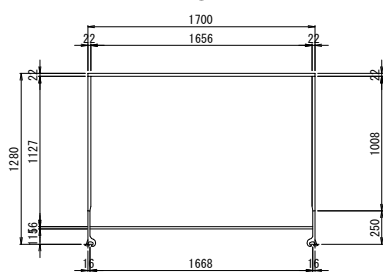


至 東京

エレメント断面図 S=1/40

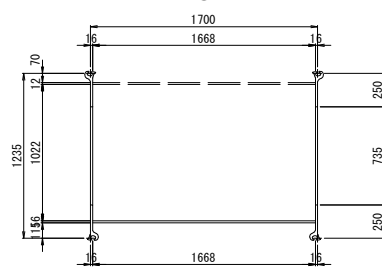
基準エレメント

①



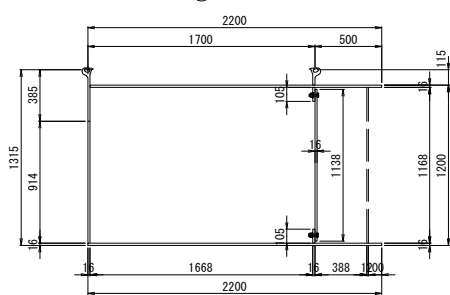
一般エレメント

②



定着エレメント

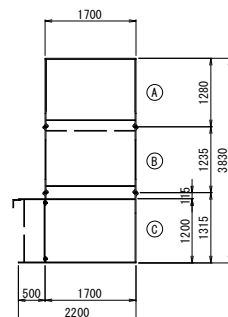
③



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設者		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

側面図

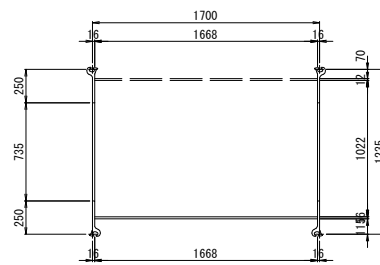
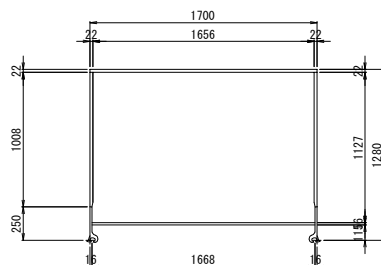
至青森



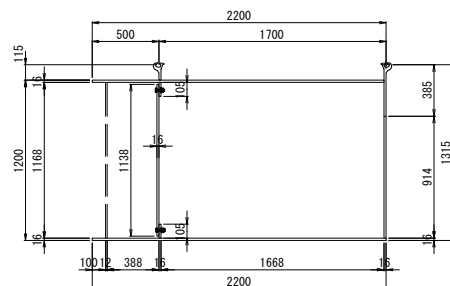
エレメント断面図 S=1/40

一般エレメント

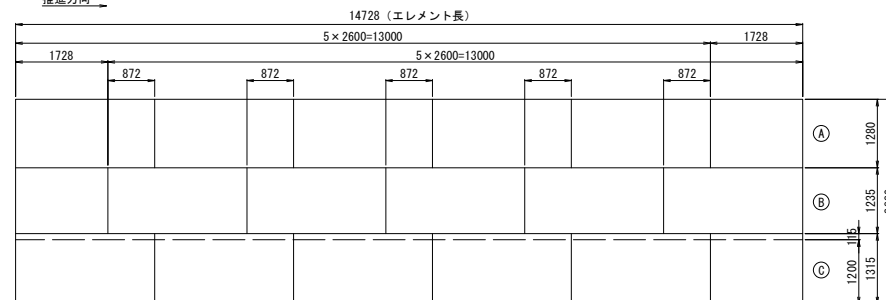
ⓑ



©



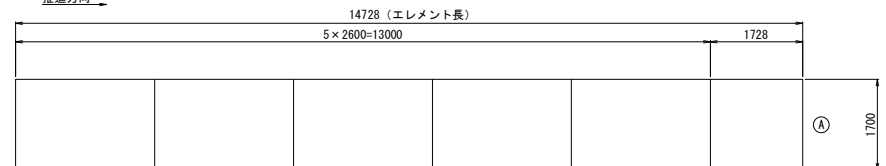
推進方向



上 段

至青森

推進方向

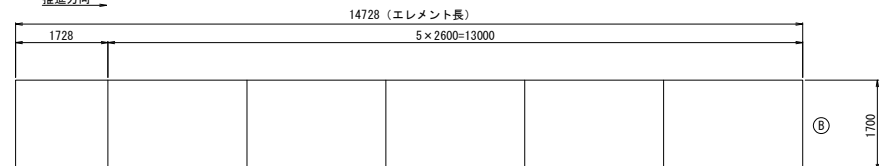


至東京

中段

至青森

推進方向

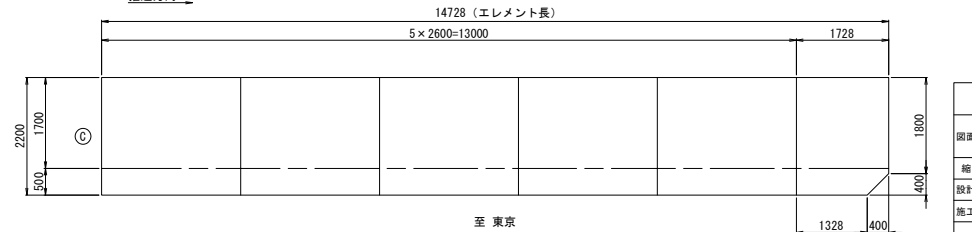


至東京

下 段

至青森

推進方向

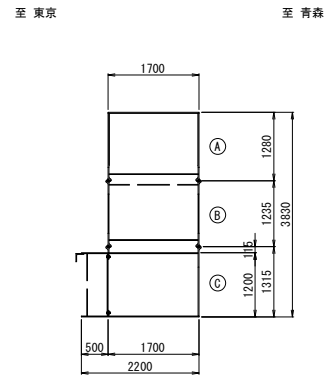


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事建設監工事務所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

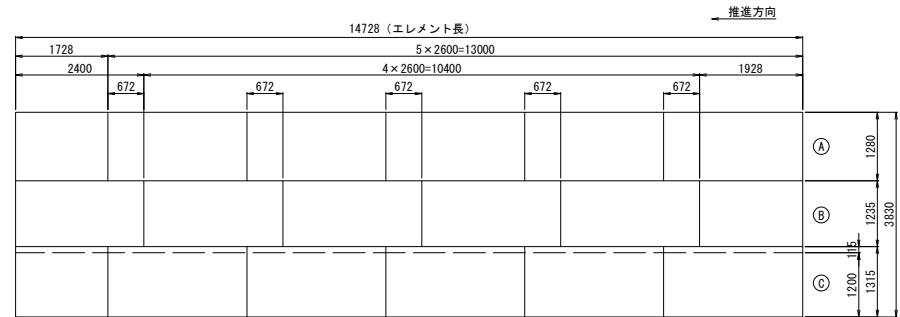
エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その4）S=1/100

（下り線 A2橋台）

断面図



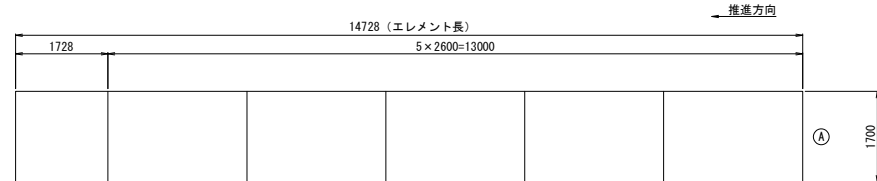
側面図



平面図

上段

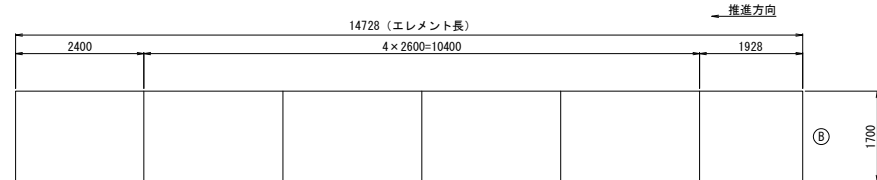
至 青森



至 東京

中段

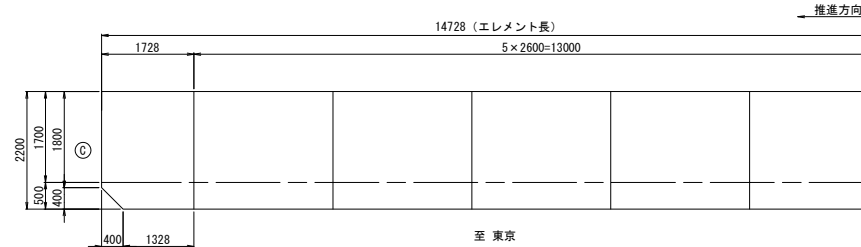
至 青森



至 東京

下段

至 青森

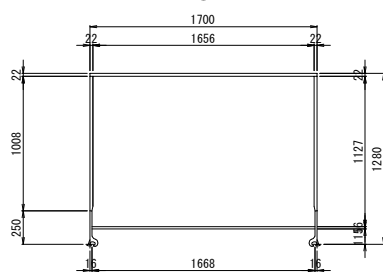


至 東京

エレメント断面図 S=1/40

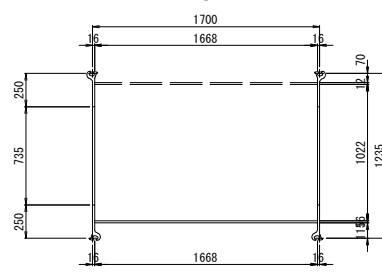
基準エレメント

Ⓐ



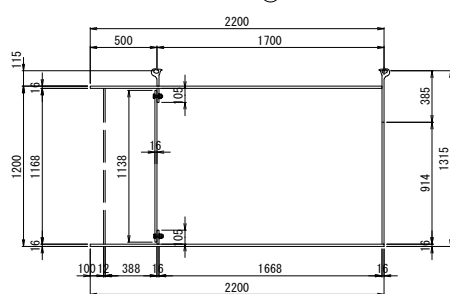
一般エレメント

Ⓑ



定着エレメント

Ⓒ

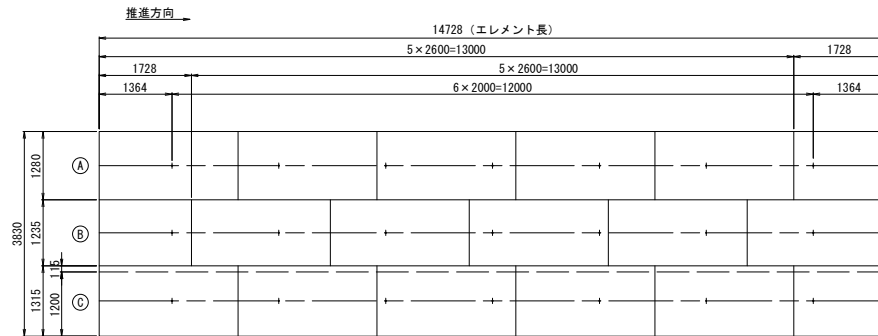


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その4）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

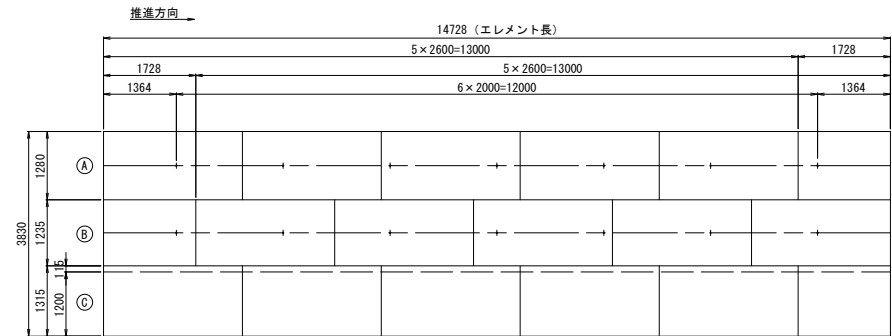
エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その5） S=1/100

（上り線A1橋台 裏込注入孔配置図）

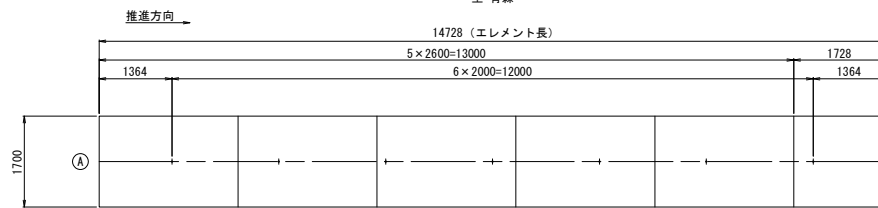
側面図（至東京）



側面図（至青森）

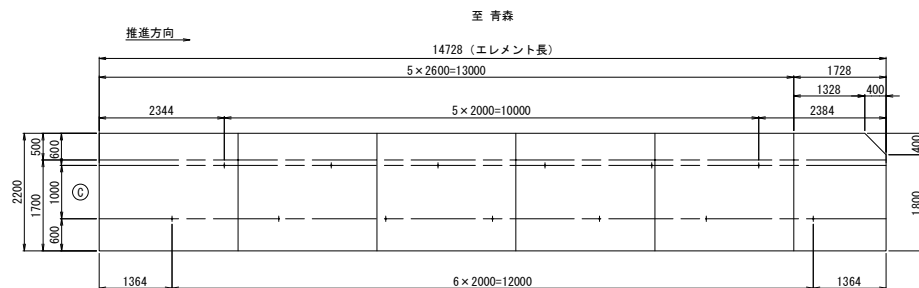


平面図
上 段



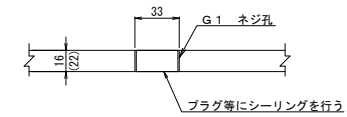
至 東京

下 段



至 東京

裏込注入孔詳細図 S=1/4

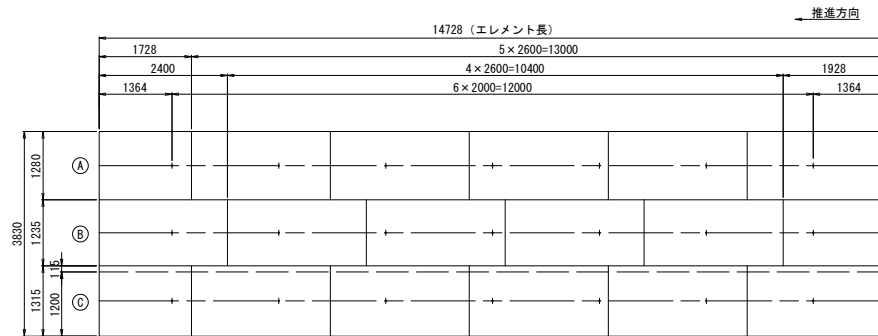


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その5）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社加須管理事務所		

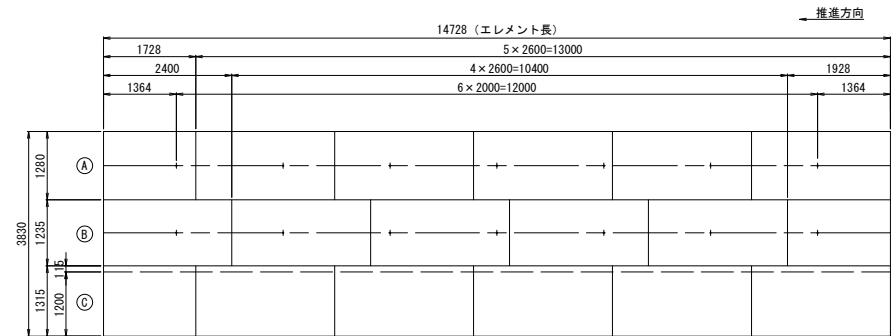
エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その6） S=1/100

（下り線A1橋台 裏込注入孔配置図）

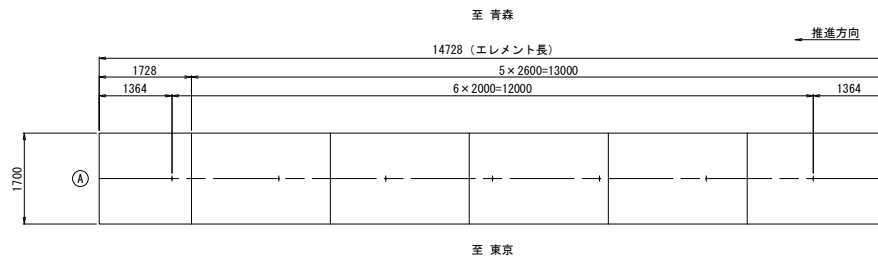
側面図（至東京）



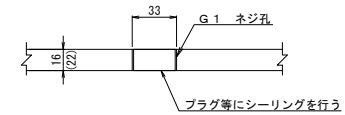
側面図（至青森）



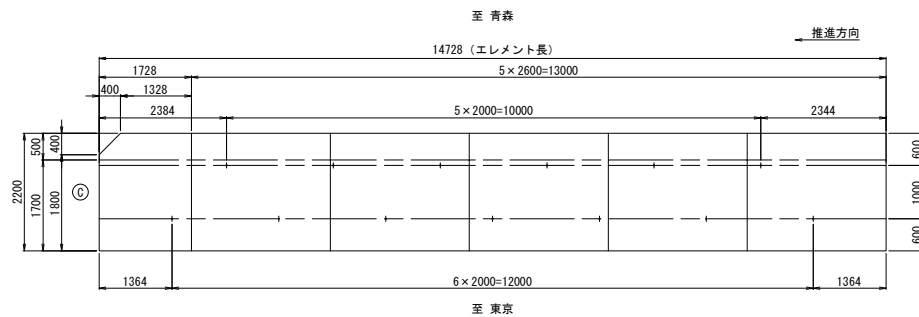
平面図
上段



裏込注入孔詳細図 S=1/4



下段

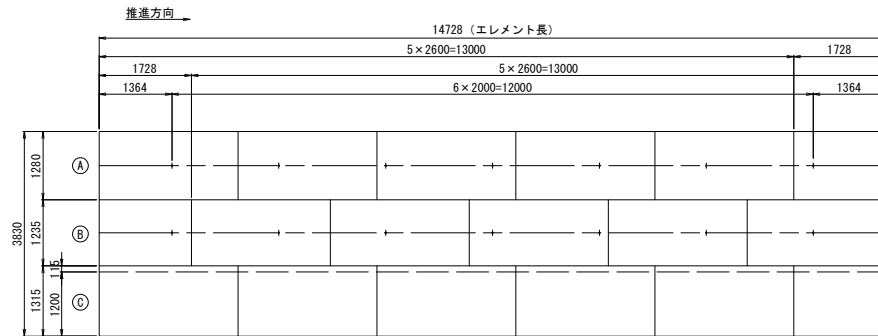


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その6）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

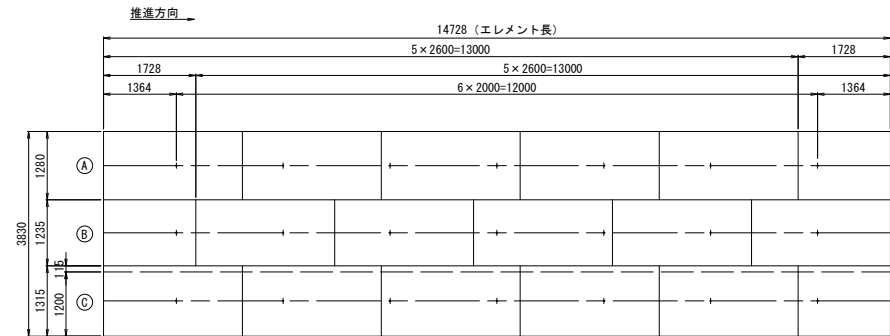
エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その7） S=1/100

（上り線A2橋台 裏込注入孔配置図）

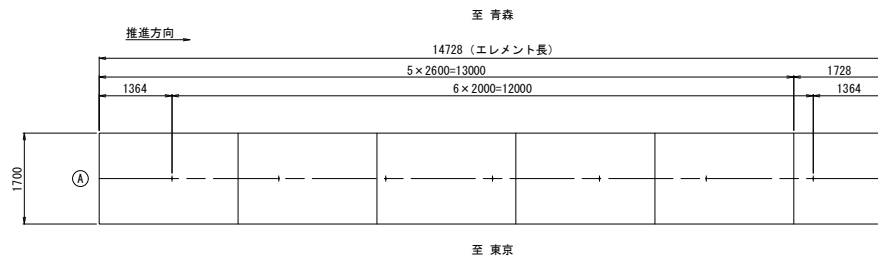
側面図（至東京）



側面図（至青森）

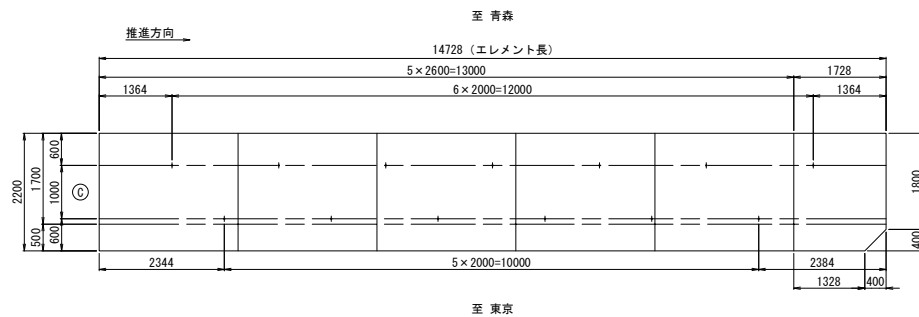


平面図
上 段



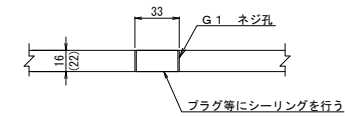
至 東京

下 段



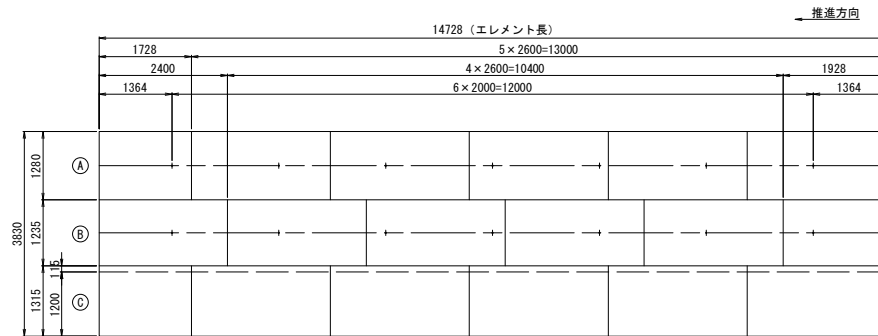
至 東京

裏込注入孔詳細図 S=1/4



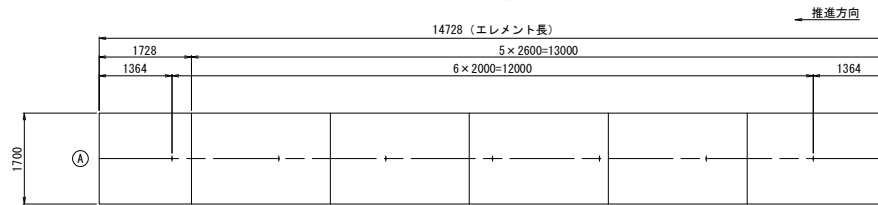
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図（その7）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補修工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

側面図（至東京）



平面图
上段

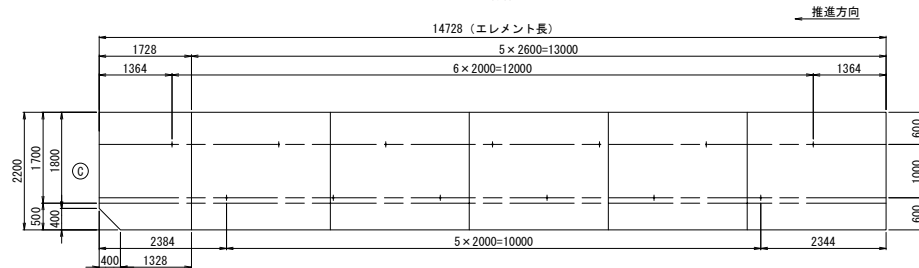
至 青森



至 東京

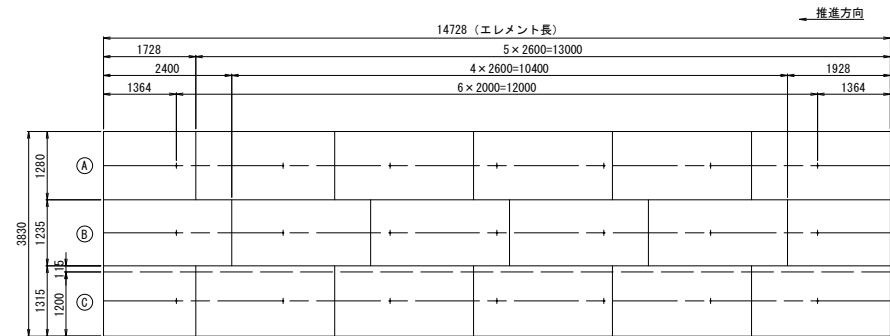
下 段

至 青森

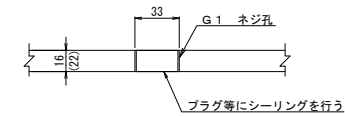


至 東京

側面図（至青森）



裏込注入孔詳細図 S=1/4

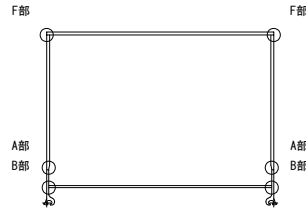


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント割付図(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄線建設株式会社 東北自動車道 利根川耐震対策工事特設建設事務局企業棟		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社加賀管理事務所		

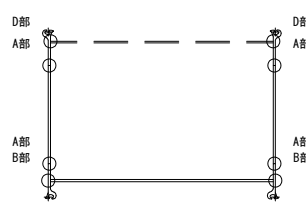
エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図 (その1)

エレメント溶接詳細図 S=1/40

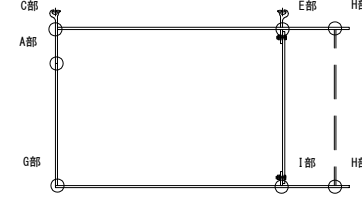
(A)エレメント



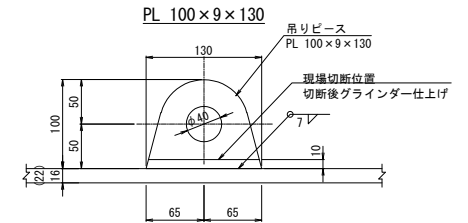
(B)エレメント



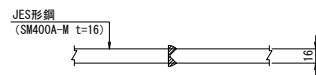
(C)エレメント



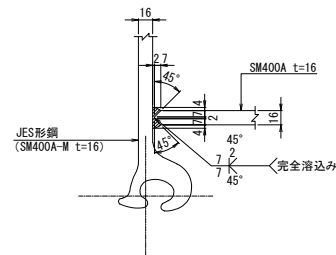
吊りピース詳細図 S=1/6



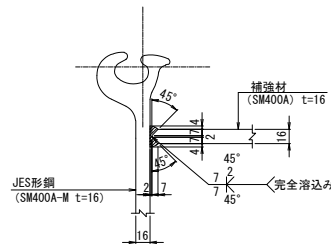
A部詳細図 S=1/6



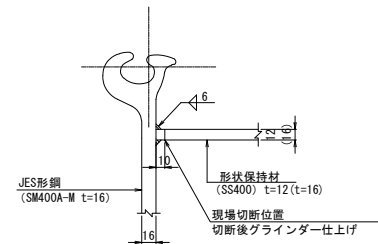
B部詳細図 S=1/6



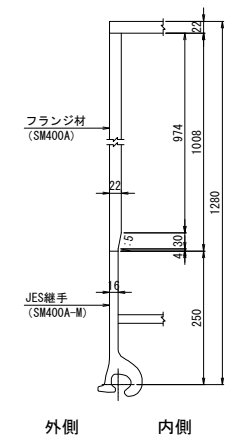
C部詳細図 S=1/6



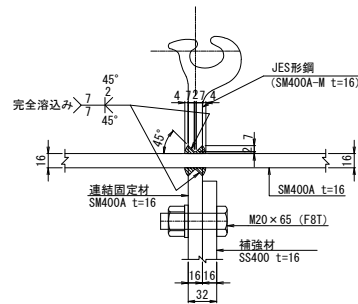
D部詳細図 S=1/6



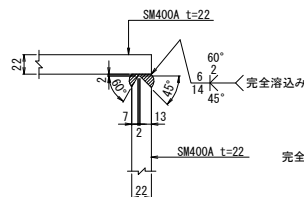
a部詳細図 S=1/10



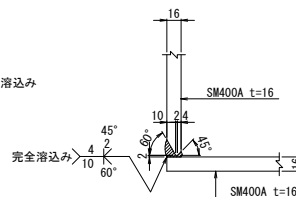
E部詳細図 S=1/6



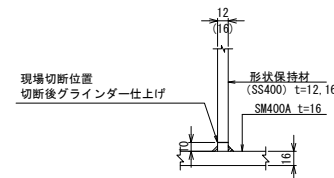
F部詳細図 S=1/6



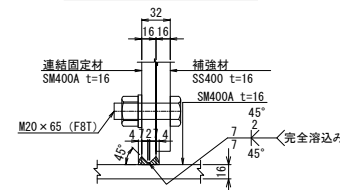
G部詳細図 S=1/6



H部詳細図 S=1/6



I部詳細図 S=1/6

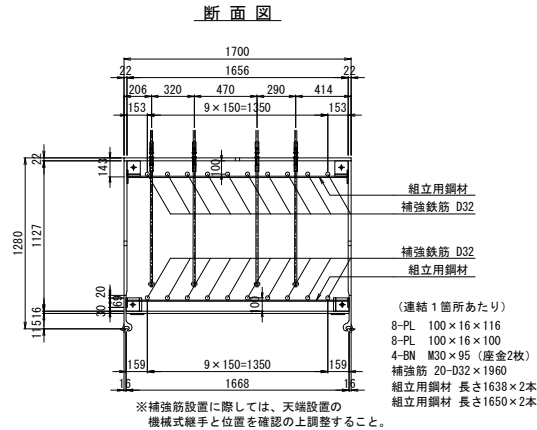


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フリンジ株式会社・株式会社推進工・株式会社東日本自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社加須管理事務所		

エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図（その２）
エレメント接続部詳細図 S=1/20

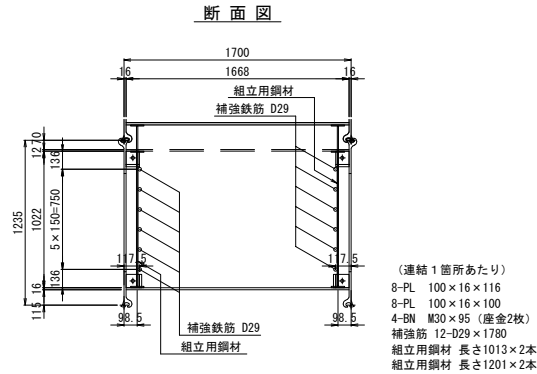
①A エレメント

側面図



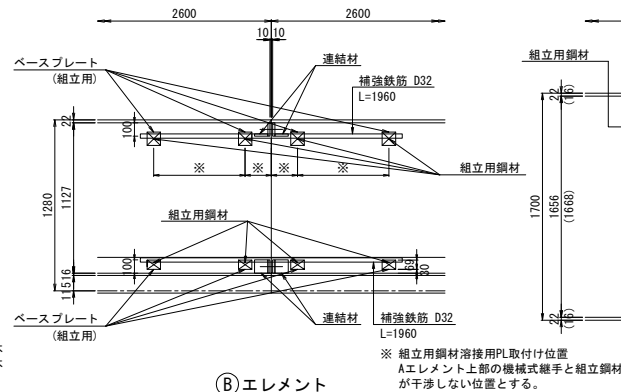
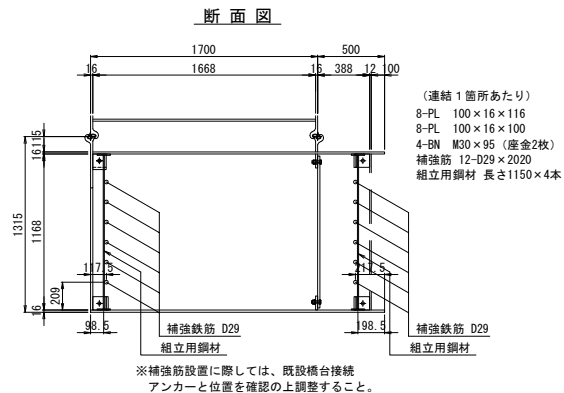
⑧ エレメント

側面図

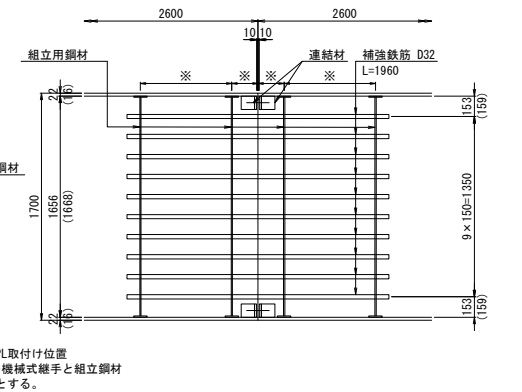


③ エレメント

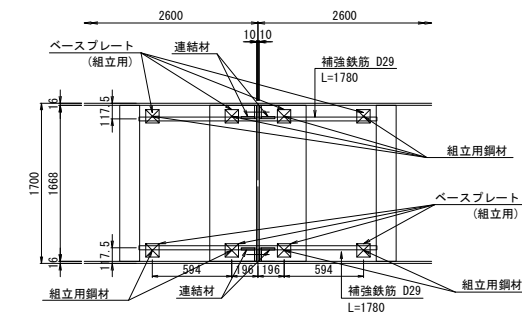
側面図



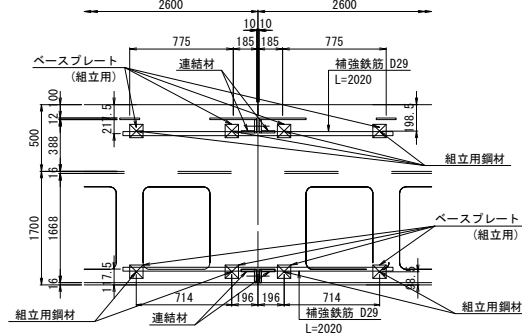
平面图



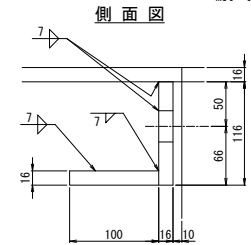
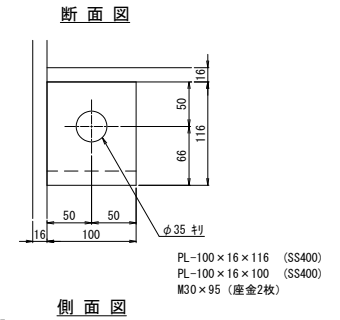
平面图



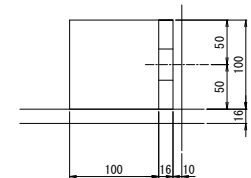
平面图



エレメント連結材詳細図 S=1/3



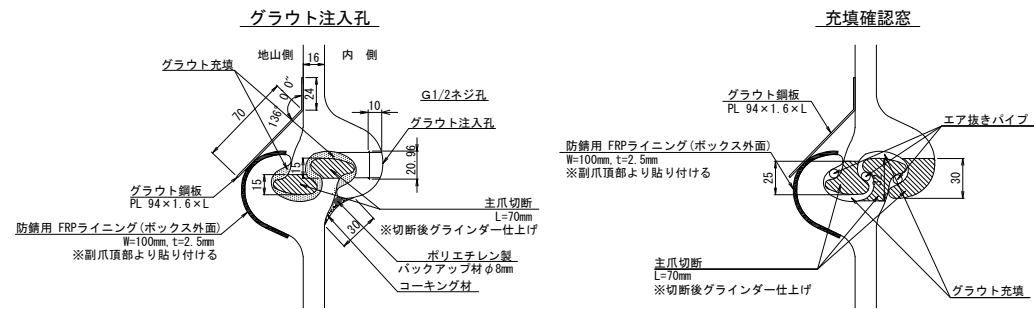
平面图



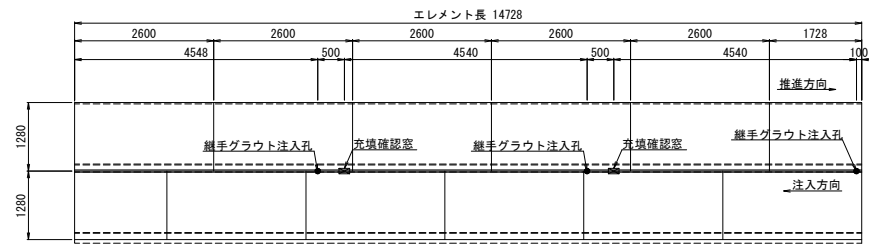
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼板エレメント詳細図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フワジヤ株式会社・鉄線建設株式会社 東北自動車道 利根川耐震補強工事支障箇所工事員企業集		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図（その3）

継手部詳細図 S=1/2



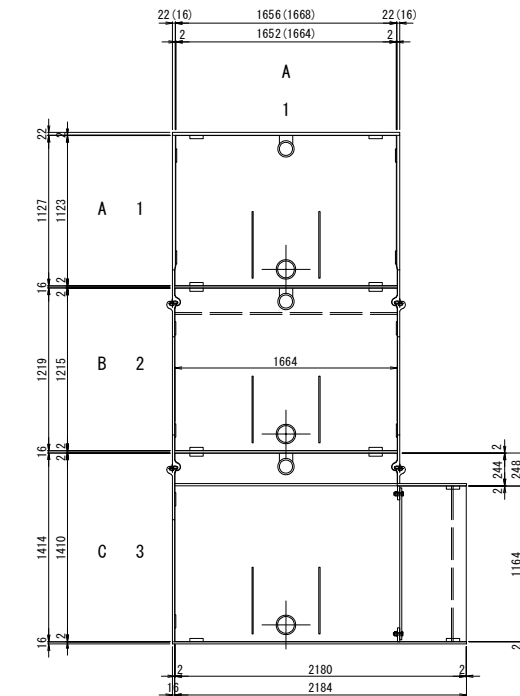
位置図 S=1/100



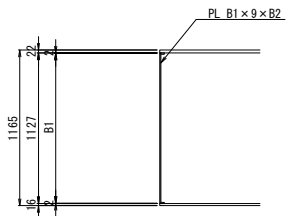
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図 (その4)

仕切板断面配置図 S=1/40

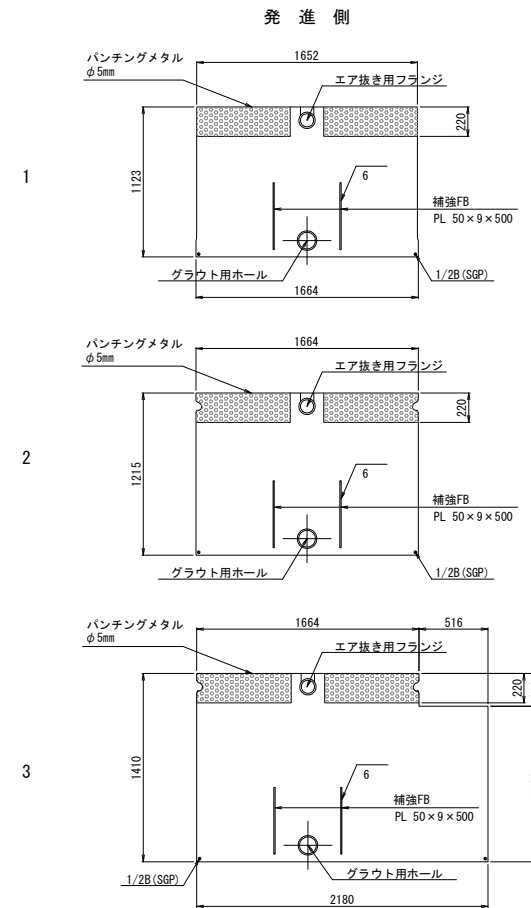


側面図 S=1/20



寸法表	
	B1
①	1123
②	1215
③	1410

仕切板詳細図 S=1/40

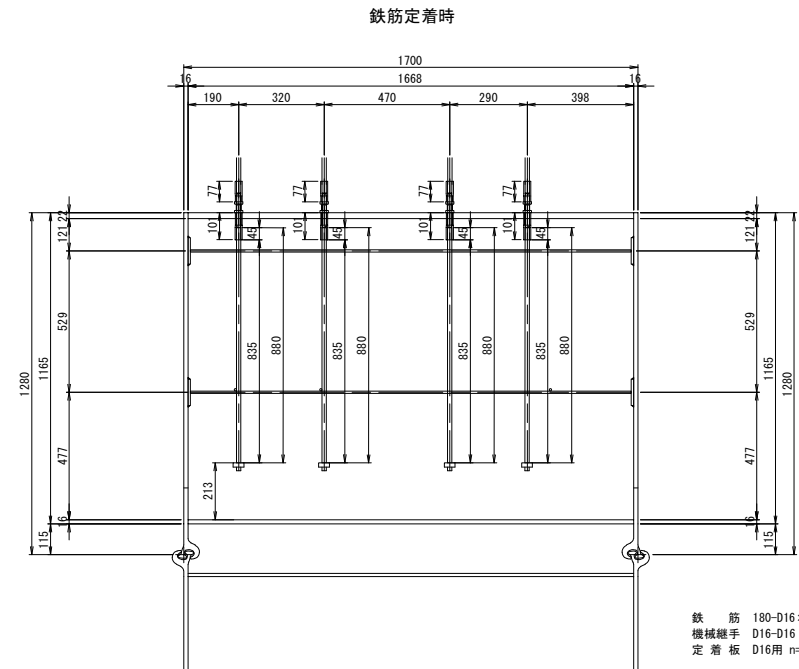
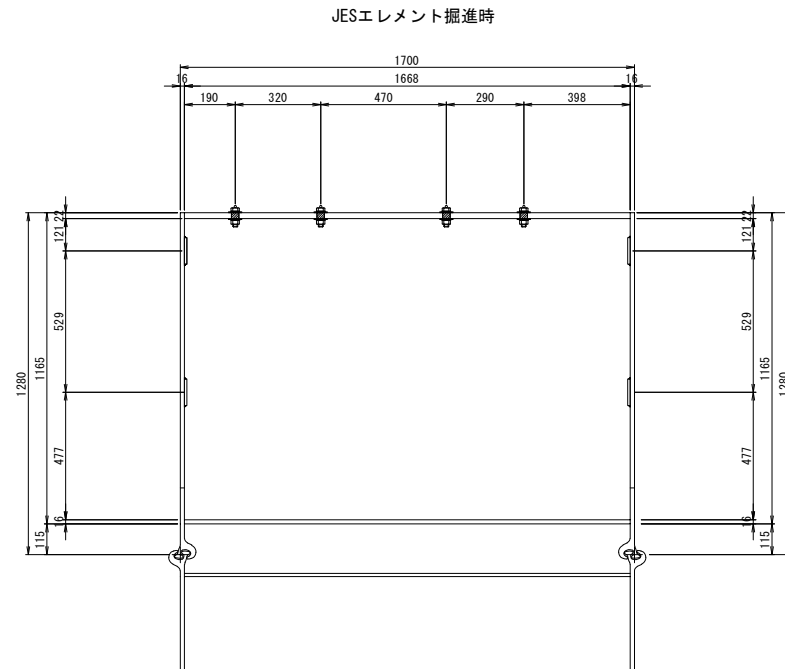


注) 中詰めコンクリートはエレメント1本当りの打設量が多いため、2回に分けて行う。
その際は中仕切板用捨てPLおよび配管受け台用捨てPLを設置して行うこと。

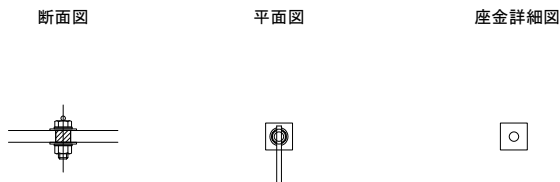
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図 (その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図（その5）

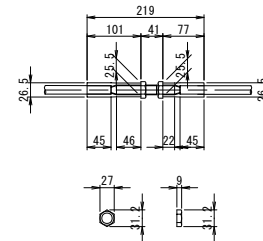
機械継手部詳細図 S=1/20



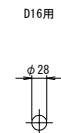
機械継手孔及び仮止めボルト図 S=1/10



機械継手形状図 S=1/10



孔詳細図 S=1/10

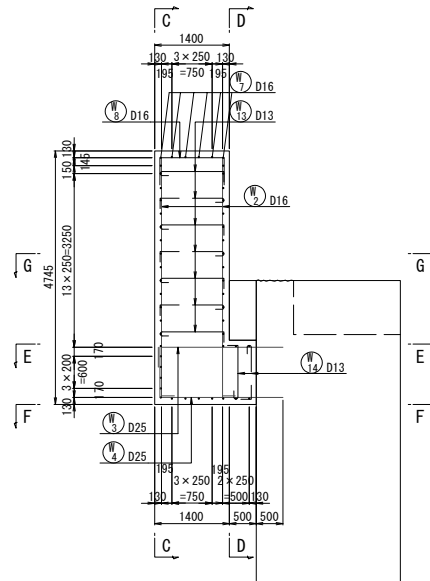


注) 天端の孔は設置するプレキャスト製品決定後、位置および寸法調整すること。

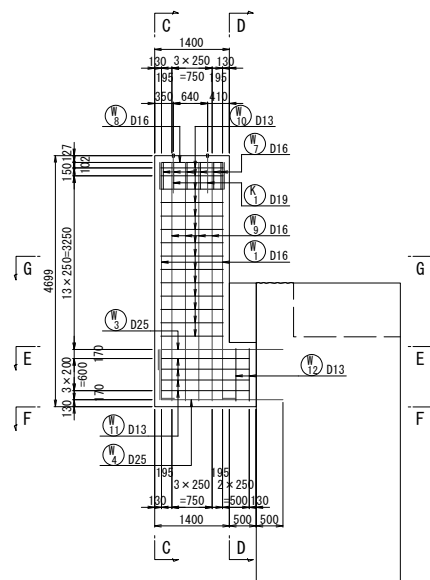
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	エレメント推進工 鋼製エレメント詳細図（その5）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フリンジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補修工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

(A 1 橋台)

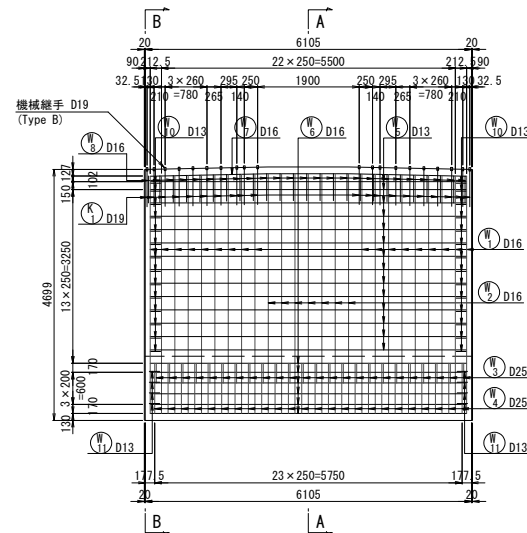
A - A 断面図



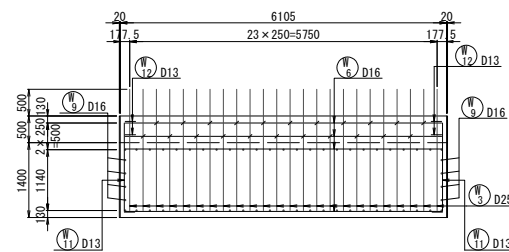
B - B 断面図



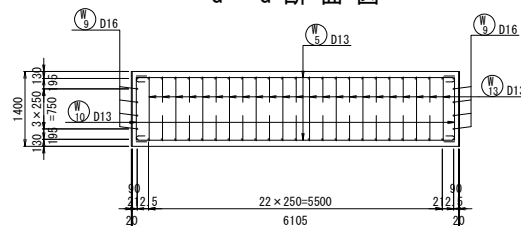
C - C 断面図



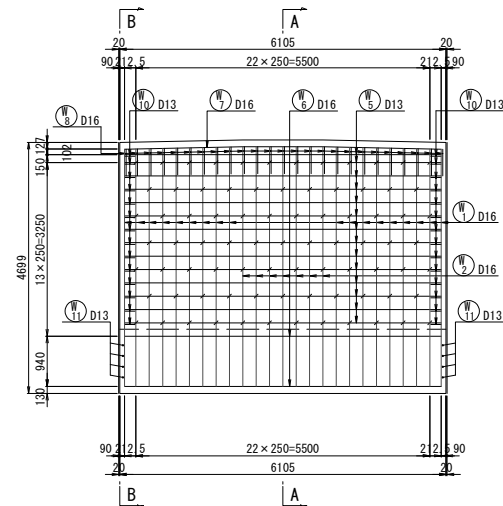
E - E 断面图



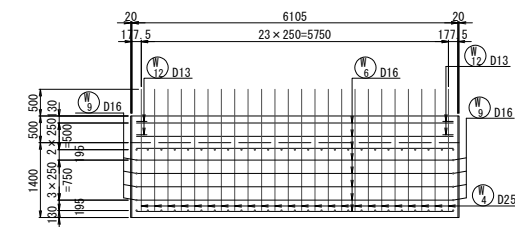
G - G 断面图



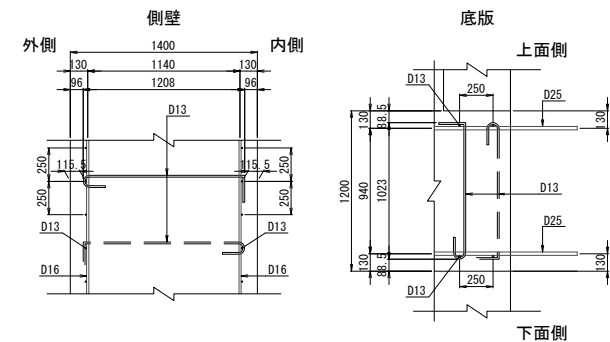
D - D 断面図



F - F 断面图



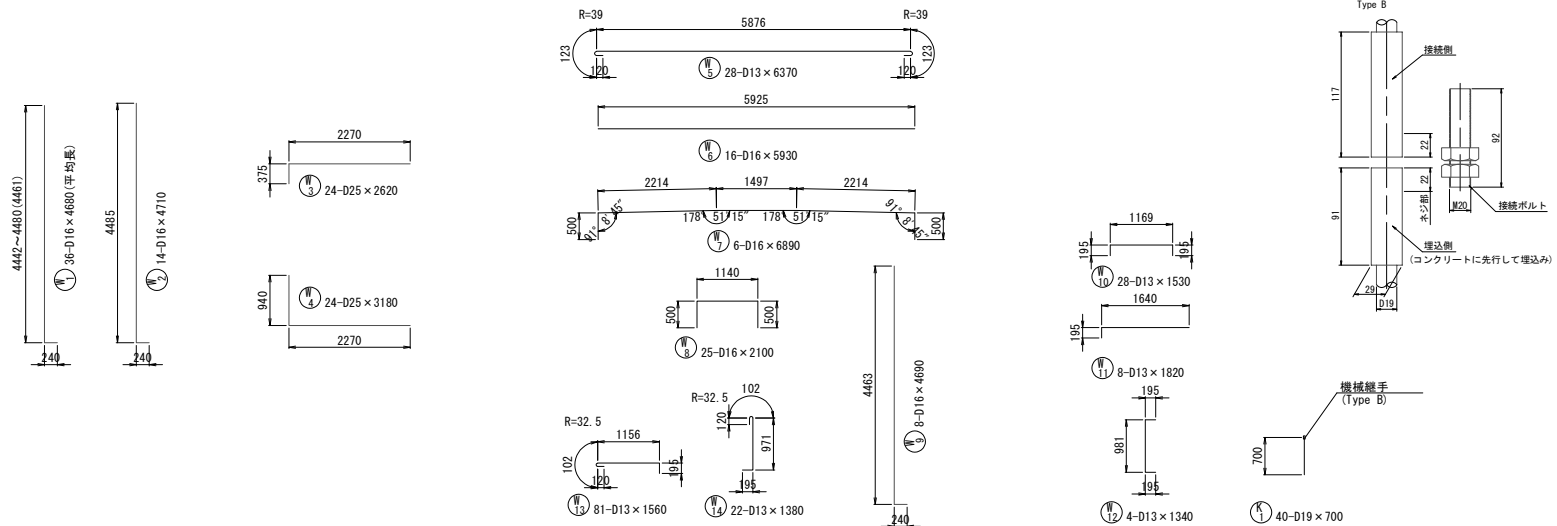
かぶり詳細図 S=1/40



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	RCバラベント配筋図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・建築設計株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事員企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

(A 1 橋台)

加工図



鉄筋重量表

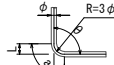
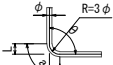
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
W1	D16	4680	36	1.56	7.30	263	(平均長)
W2	D16	4710	14	1.56	7.35	103	
W3	D25	2620	24	3.98	10.43	251	
W4	D25	3180	24	3.98	12.66	304	
W5	D13	6370	28	0.995	6.34	178	
W6	D16	5930	16	1.56	9.25	148	
W7	D16	6890	6	1.56	10.75	65	
W8	D16	2100	25	1.56	3.28	82	
W9	D16	4690	8	1.56	7.32	59	
W10	D13	1530	28	0.995	1.52	43	
W11	D13	1820	8	0.995	1.81	14	
W12	D13	1340	4	0.995	1.33	5	
W13	D13	1560	81	0.995	1.55	126	
W14	D13	1380	22	0.995	1.37	31	
K1	D19	700	40	2.25	1.58	63	[40]
小計						1735	kg
合計							
					D13	397	kg
					D16	720	kg
					D19	63	kg
					D25	555	kg
					合計	1735	kg
機械継手箇所数 (Type B)						40	箇所

※[]内は機械継手箇所数を示す。

鉄筋長算出表

記号		径	本数	L1 (mm)	L2 (mm)	ΔL (mm)	ΣL (mm)
W1	1	D16	2	4442	240	21	4661
	2	"	2	4447	240	21	4666
	3	"	2	4451	240	21	4670
	4	"	2	4456	240	21	4675
	5	"	2	4461	240	21	4680
	6	"	2	4466	240	21	4685
	7	"	2	4471	240	21	4690
	8	"	2	4475	240	21	4694
	9	"	2	4480	240	21	4699
	平均		18	4461	240	21	4680

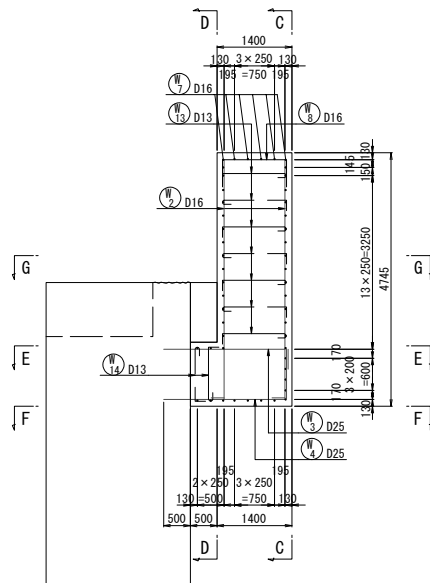
鉄筋曲げ加工表

											
主 筋						スターラップ					
径	$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$ $\theta=90^\circ$			$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$ $\theta=91^\circ$			径	$\theta=90^\circ$ $R=2.5\phi$			
	R	a	ΔL	R	a	ΔL		R	a	ΔL	
D13	39	61	17	39	62	16	D13	32.5	51	16	
D16	48	75	21	48	76	20	D16	40	63	19	
D19	57	90	25	57	91	24					
D22	66	104	28	66	105	27					
D25	75	118	32	75	119	31					

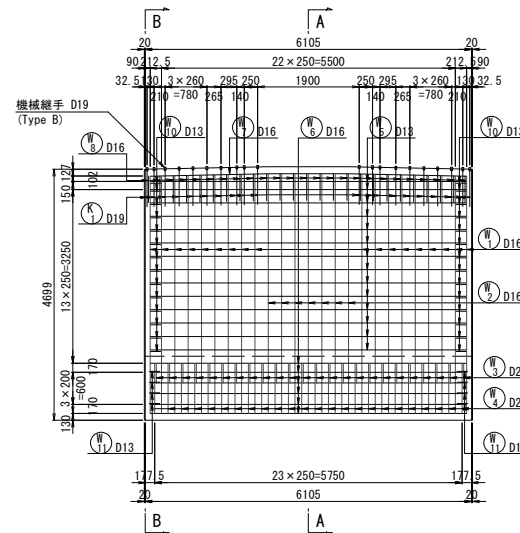
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	RCパラペット配筋図（その2）		
縮尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所		
施工会社名	東北自動車道建設株式会社		
事務所名	関東支社加須管理事務所		

(A2橋台)

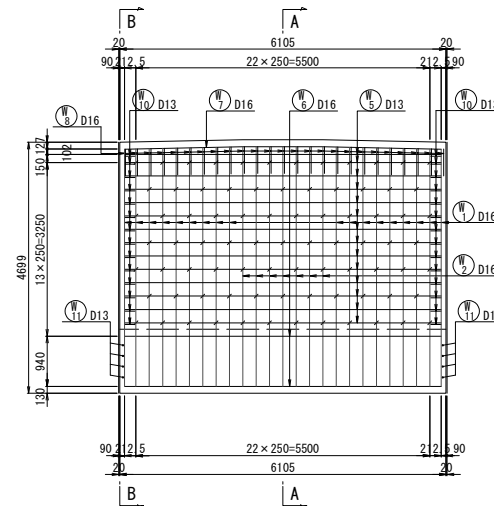
A - A 断面図



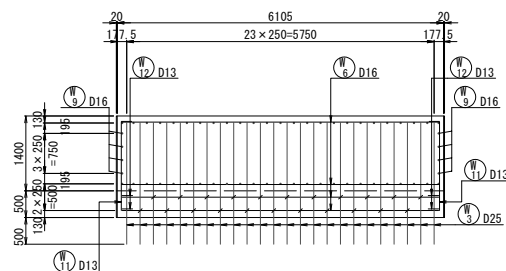
C - C 断面図



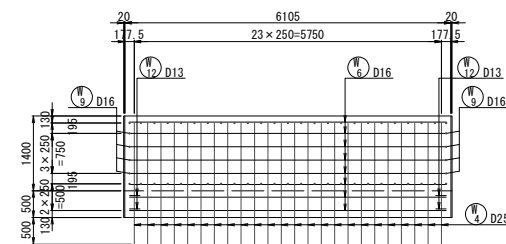
D - D 断面図



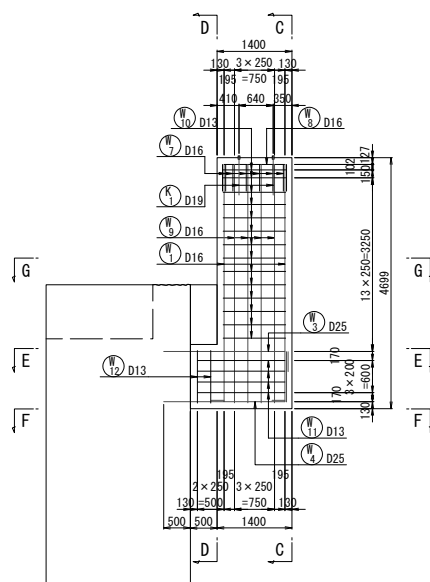
E - E 断面図



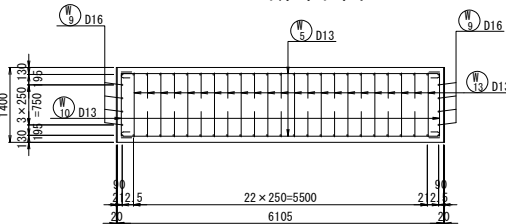
F - F 断面図



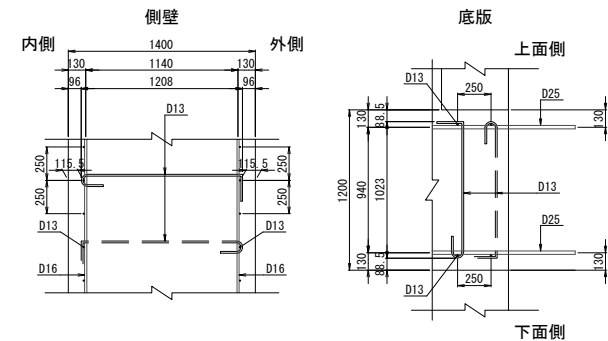
B - B 断面図



G - G 断面図



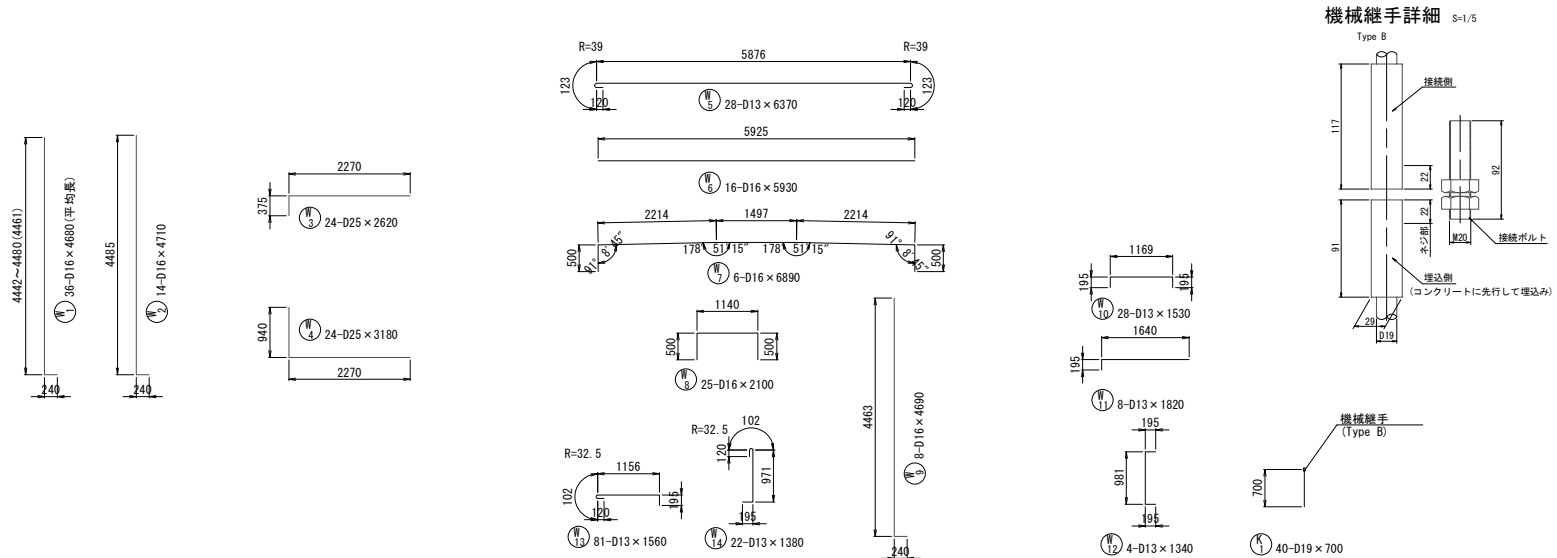
かぶり詳細図 S=1/40



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	RCパラペット配筋図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

(A 2 橋台)

加工図



鉄筋重量表

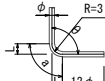
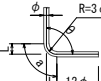
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
W1	D16	4680	36	1.56	7.30	263	└ (平均長)
W2	D16	4710	14	1.56	7.35	103	└
W3	D25	2620	24	3.98	10.43	251	└
W4	D25	3180	24	3.98	12.66	304	└
W5	D13	6370	28	0.995	6.34	178	└
W6	D16	5930	16	1.56	9.25	148	└
W7	D16	6890	6	1.56	10.75	65	└
W8	D16	2100	25	1.56	3.28	82	└
W9	D16	4690	8	1.56	7.32	59	└
W10	D13	1530	28	0.995	1.52	43	└
W11	D13	1820	8	0.995	1.81	14	└
W12	D13	1340	4	0.995	1.33	5	└
W13	D13	1560	81	0.995	1.55	126	└
W14	D13	1380	22	0.995	1.37	31	└
K1	D19	700	40	2.25	1.58	63	└ [40]
小計						1735	kg
合計							
					D13	397	kg
					D16	720	kg
					D19	63	kg
					D25	555	kg
					合計	1735	kg
機械継手箇所数 (Type B)							40 箇所

※[]内は機械継手箇所数を示す。

鉄筋長算出表

記号		径	本数	L1 (mm)	L2 (mm)	ΔL (mm)	ΣL (mm)
W1	1	D16	2	4442	240	21	4661
	2	"	2	4447	240	21	4666
	3	"	2	4451	240	21	4670
	4	"	2	4456	240	21	4675
	5	"	2	4461	240	21	4680
	6	"	2	4466	240	21	4685
	7	"	2	4471	240	21	4690
	8	"	2	4475	240	21	4694
	9	"	2	4480	240	21	4699
	平均		18	4461	240	21	4680

鉄筋曲げ加工表

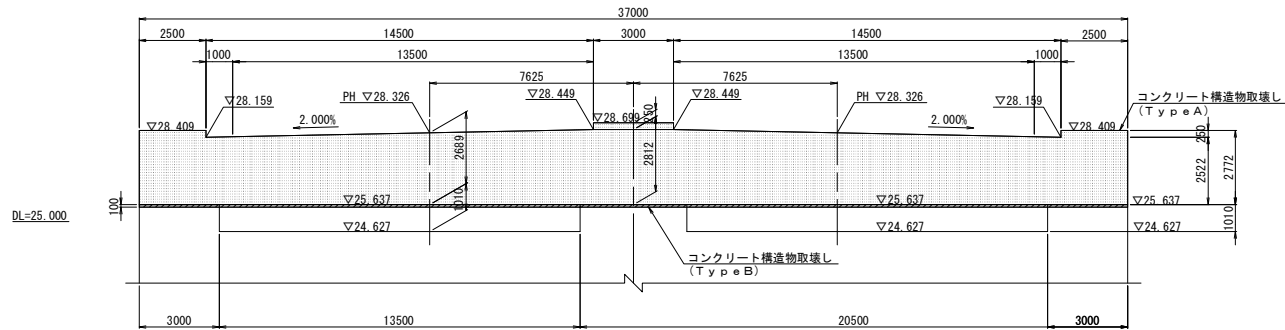
										
主 筋						スターラップ				
径	θ ≤ 90° R= 3 φ θ=90°			θ ≤ 90° R= 3 φ θ=91°			径	θ=90° R= 2.5 φ		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL		R	a	ΔL
D13	39	61	17	39	62	16	D13	32.5	51	16
D16	48	75	21	48	76	20	D16	40	63	16
D19	57	90	25	57	91	24				
D22	66	104	28	66	105	27				
D25	75	118	32	75	119	31				

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	RCパラペット配筋図（その4）		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

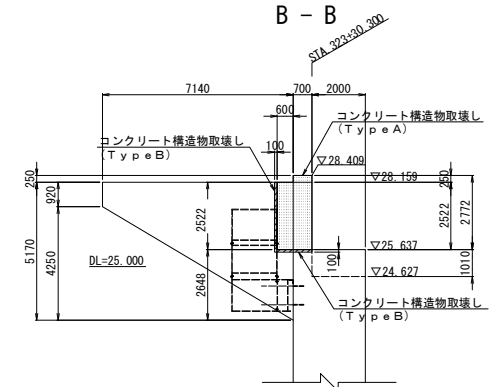
(A1橋台)

正面図

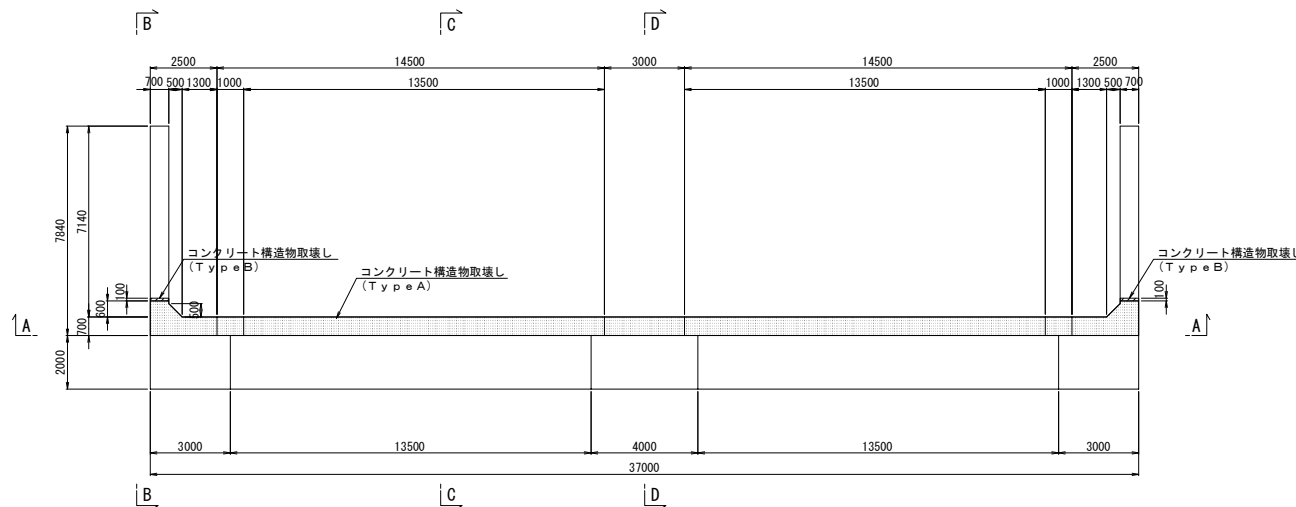
A - A



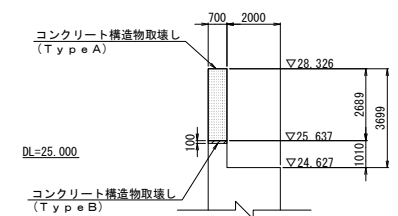
B - B



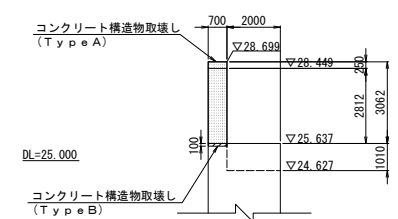
平面図



C - C



D - D



注1:既設の主構天端高については、完成図より推定している。
施工時に現況確認の上、調整すること。

注2:台座の取壊し部については、『既設台座コンクリート取壊し復旧図』を参照とする。

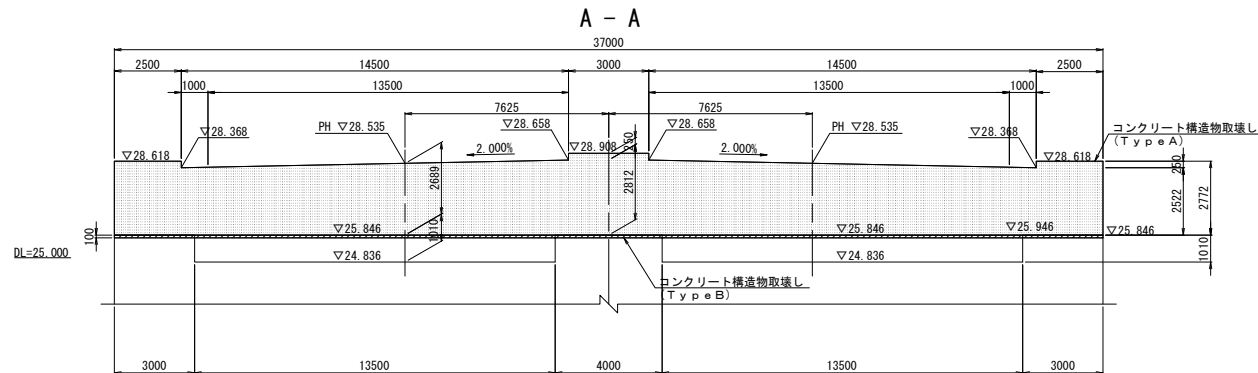
凡例

- コンクリート構造物取壊し (Type A)
- ▨ コンクリート構造物取壊し (Type B)

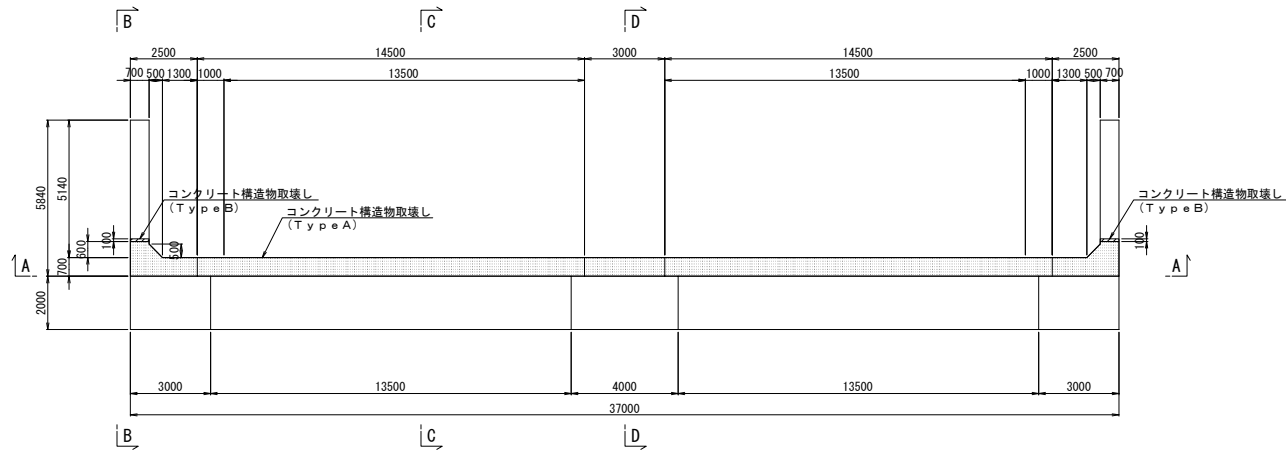
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	橋台パラペット・ウイング 取壊し工図 (その1)		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フリアジ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震補修工事特定建設工事共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

(A2橋台)

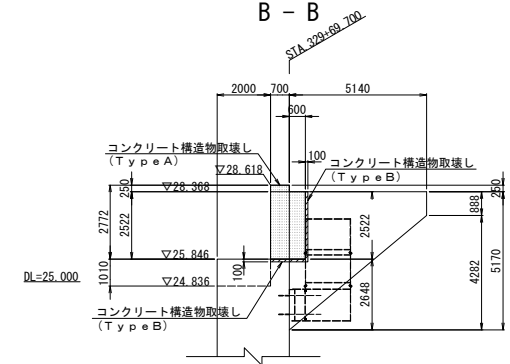
正面図



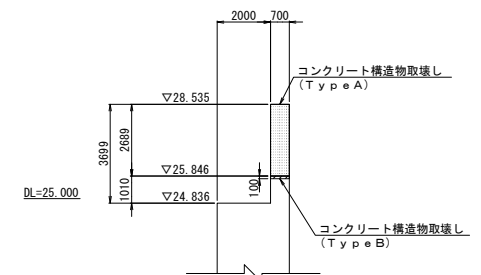
平面図



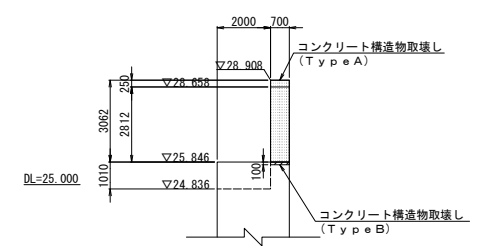
B-B



C-C



D-D



注1:既設の主構天端高については、完成図より推定している。
施工時に現況確認の上、調整すること。

注2:台座の取壊し部については、『既設台座コンクリート取壊し復旧図』を参照とする。

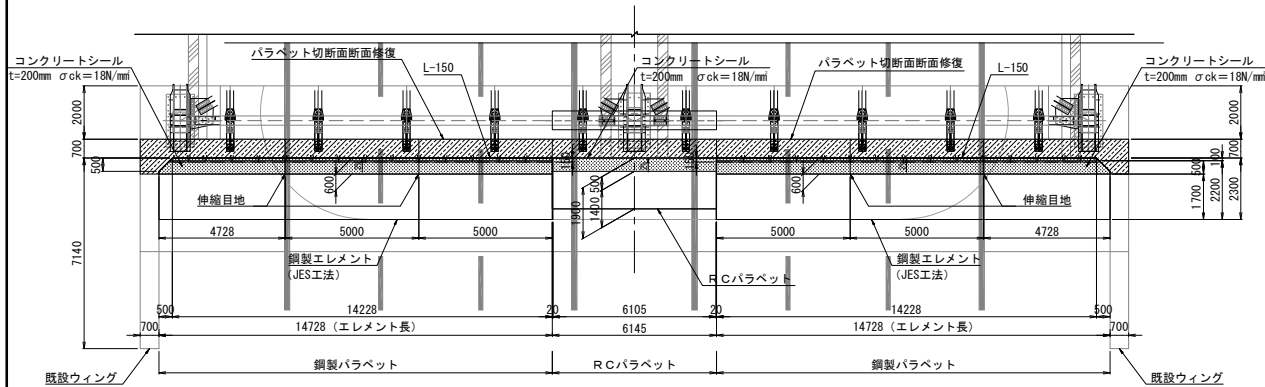
凡例

- コンクリート構造物取壊し (Type A)
▨ コンクリート構造物取壊し (Type B)

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	橋台パラペット・ウイング 取壊し工図 (その2)		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フレッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

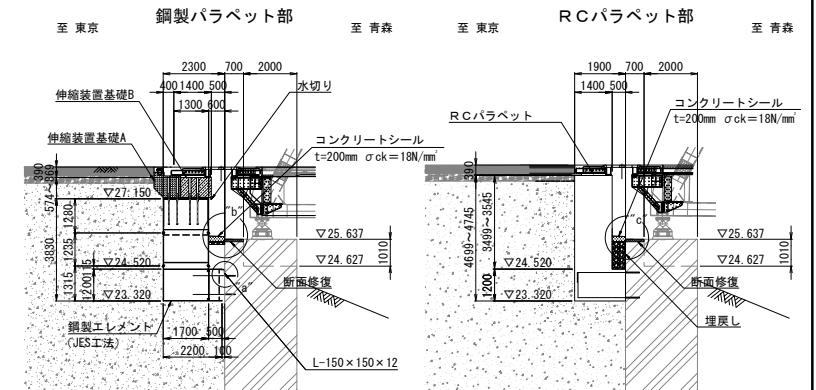
平面図

A1橋台

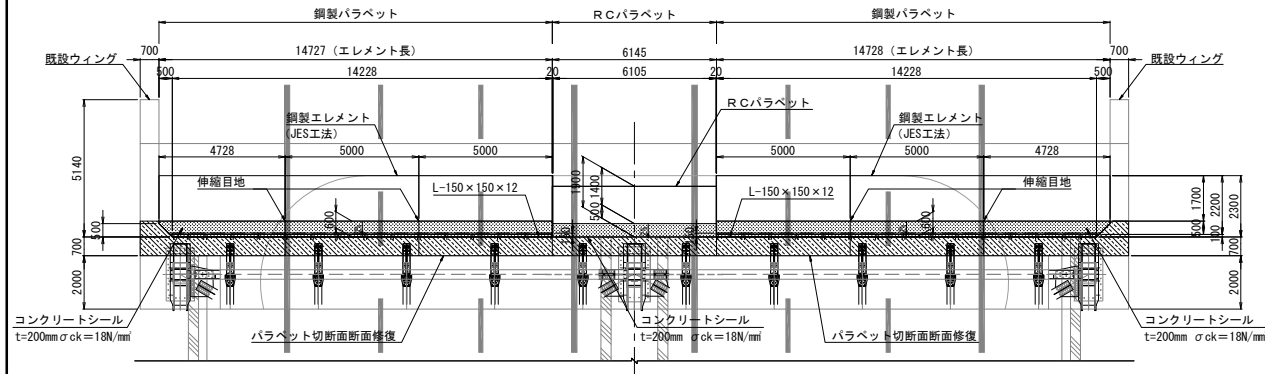


断面図

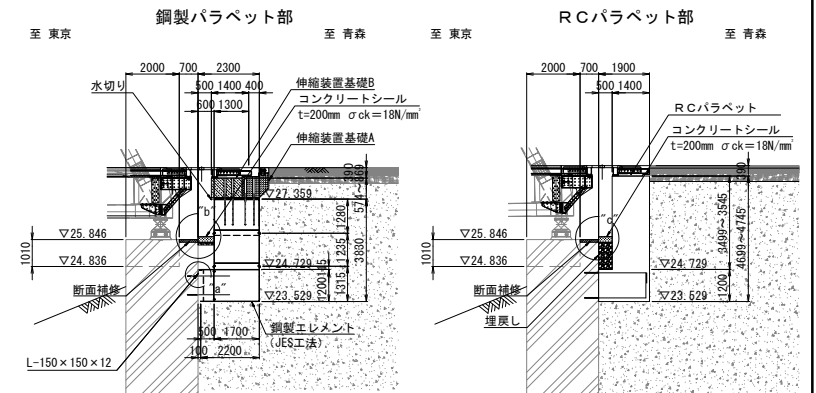
A1橋台



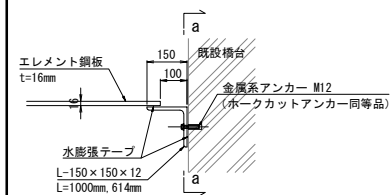
A2橋台



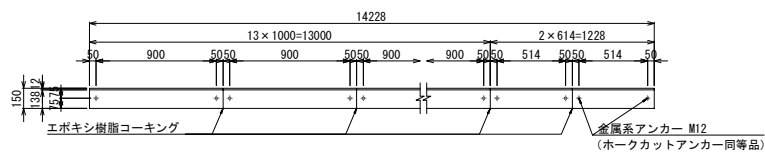
A2橋台



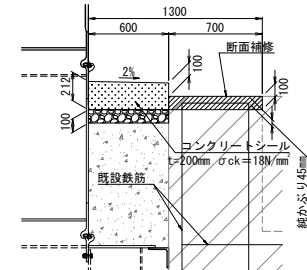
"a"部詳細図 S=1/20



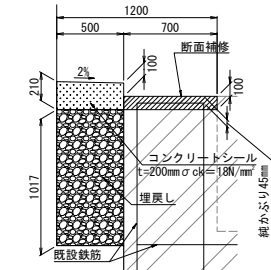
a-a断面図 S=1/40



"b"部詳細図 S=1/40

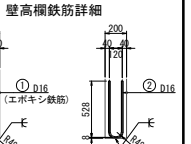


"c"部詳細図 S=1/40

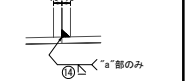


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	断面修復工標準図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁設計株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		
事務所名			

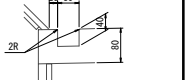
① 6-DB D16x1310 (SD345)
(エポキシ鉄筋)
② 1-DB D16x1140 (SD345)
＜② 7-DB D16x1140 (SD345)＞



"a"部詳細 S=1/12.5



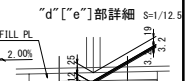
"b"部詳細 S=1/12.5



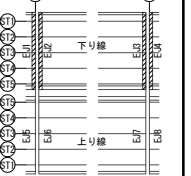
FILL PL



269



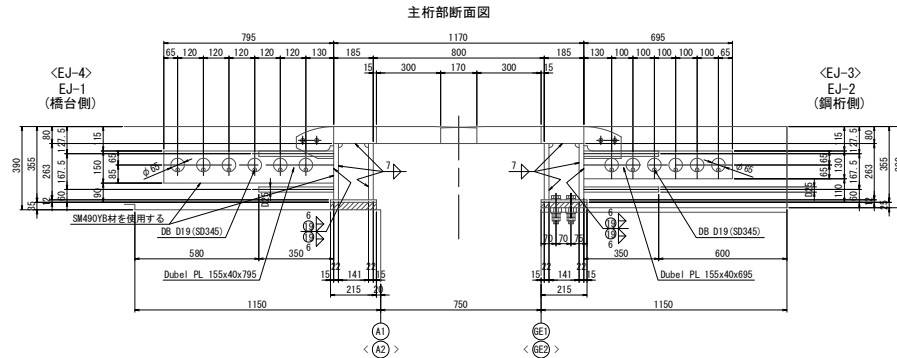
配置図



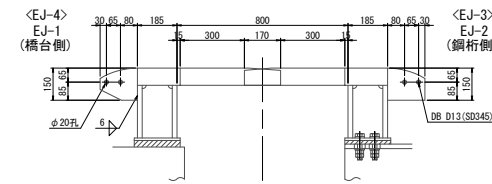
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは3SRとする。
 3. 各部詳細は伸縮装置(その2~5)図面を参照のこと。
 4. 高さ調整プレート詳細は、伸縮装置(その2)を参照のこと。
 5. FILL PL 厚さは $t=19, 3.2\text{mm}$ の組合せとするが、現地据付によっては $t=19, 3.2\text{mm}$ を追加使用する。
 6. 有効幅員、床厚等、縦横位置、架設設置版形状等を現地計測して最終寸法を決定すること。
 7. ☆印部の定着板詳細は「伸縮装置図(その5)」を参照のこと。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	伸縮装置図 (その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・藤建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

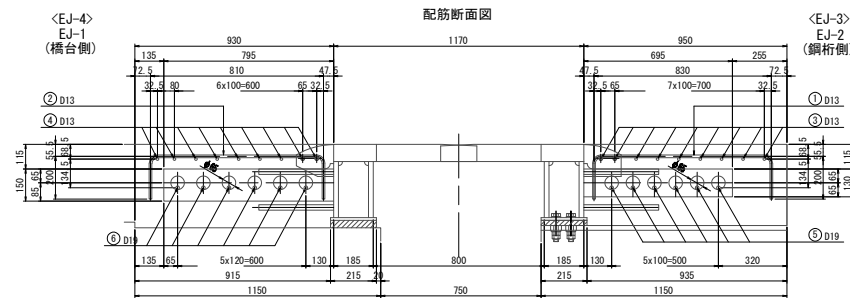
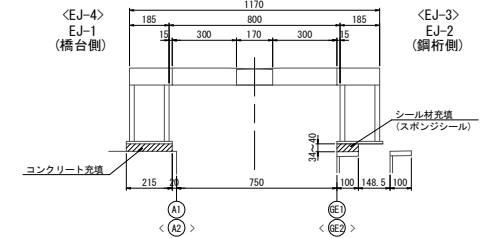
A1<A2>橋台_下り線[1組分]



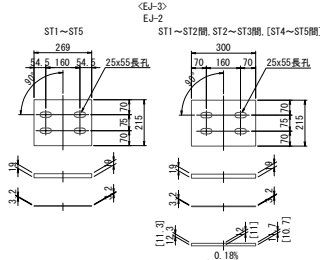
上部定着板部断面図



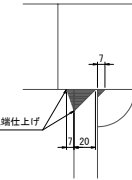
支持点以外断面図



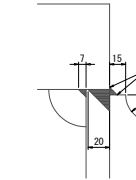
フィラープレート詳細 S=1/25



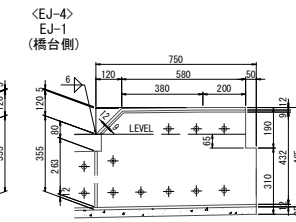
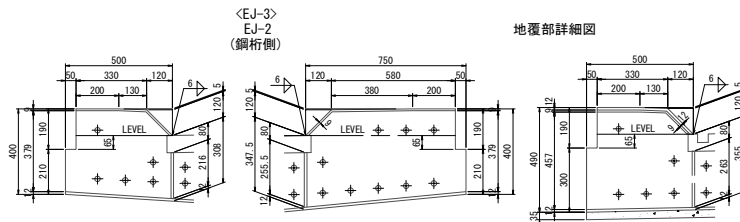
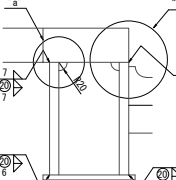
"a"部詳細 S=1/5



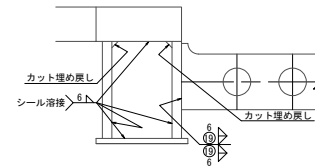
"b"部詳細 S=1/5



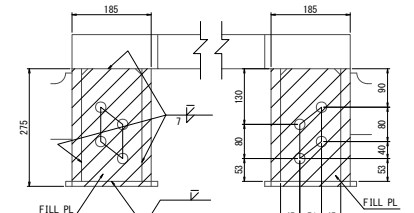
ダイヤフラム溶接詳細 S=1/12.5



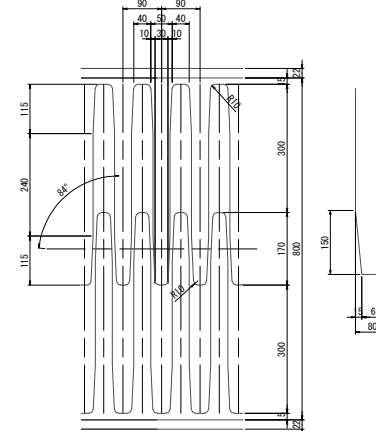
端ダイヤフラム溶接詳細 S=1/12.5



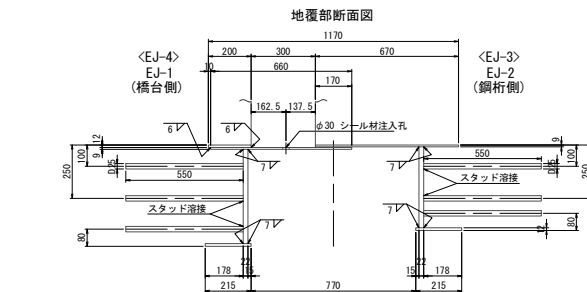
現場継手部断面図 S=1/12.5



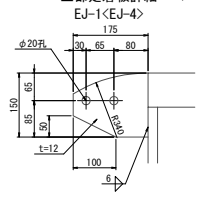
フィンガー詳細 S=1/12.5



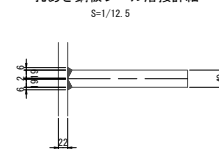
(N=5)
2-FILL PL 185x 4.5x275 (SS400)
<2-FILL PL 185x 4.5x275 (SS400)>



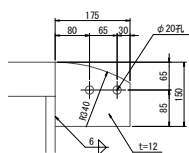
上部定着板詳細 S=1/12.5



孔あき鋼板ジベル溶接詳細 S=1/12.5



EJ-2<EJ-3>

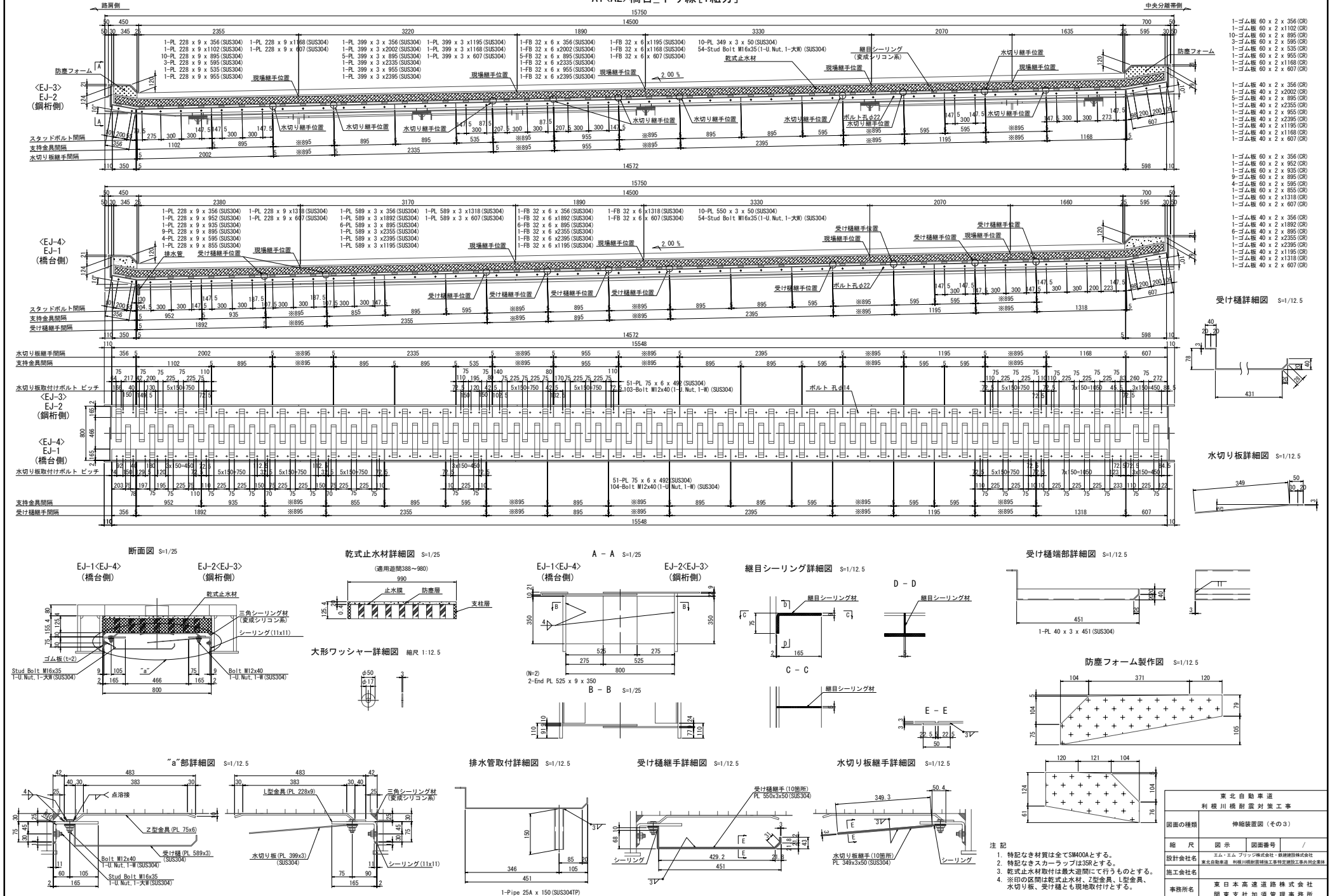


- 注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは3Rとする。
 3. ハンドホール詳細図は「伸縮装置(その5)」を参照とする。
 4. 現地据付によっては<t=4.5>を追加使用する。

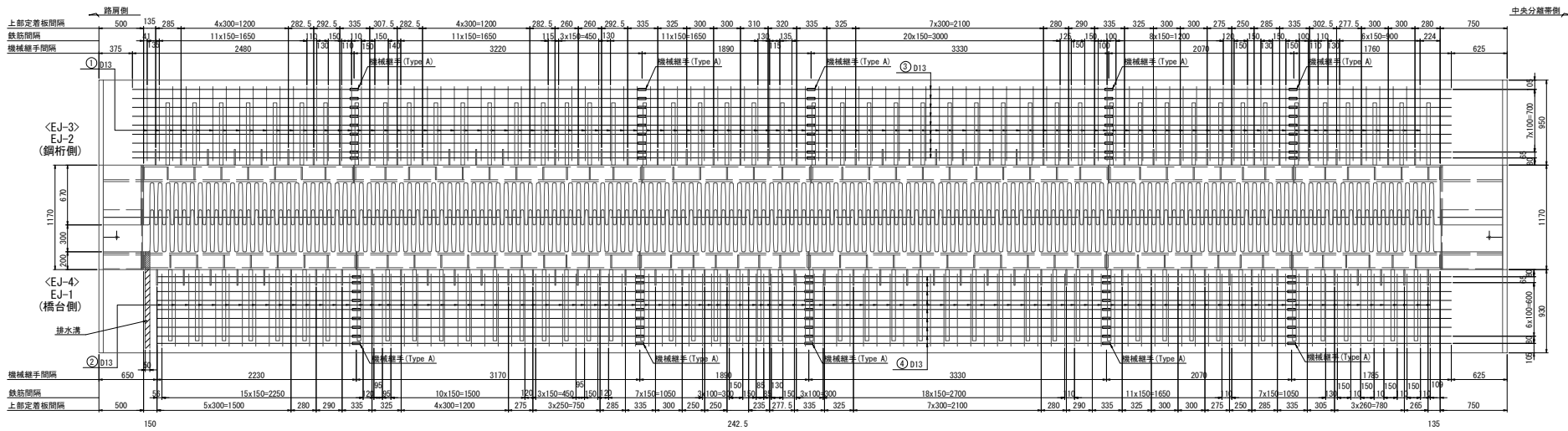
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	伸縮装置図 (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フリアジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事関係企業		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

S=1/50

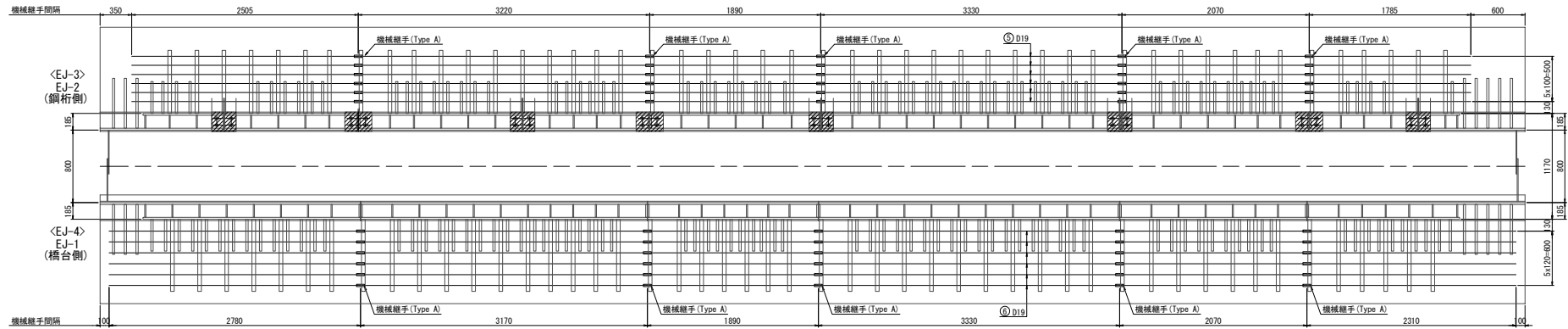
A1<A2>橋台_下り線[1組分]



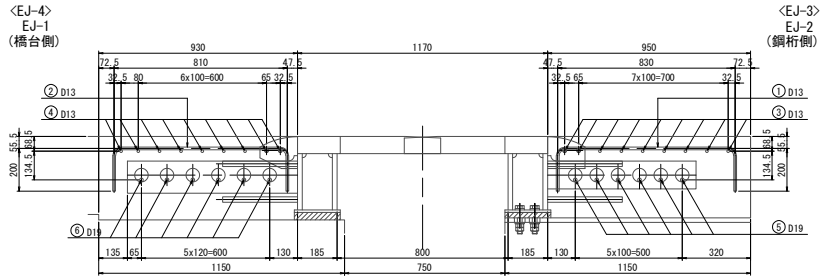
上部定着板配筋図



孔明きベル配筋図



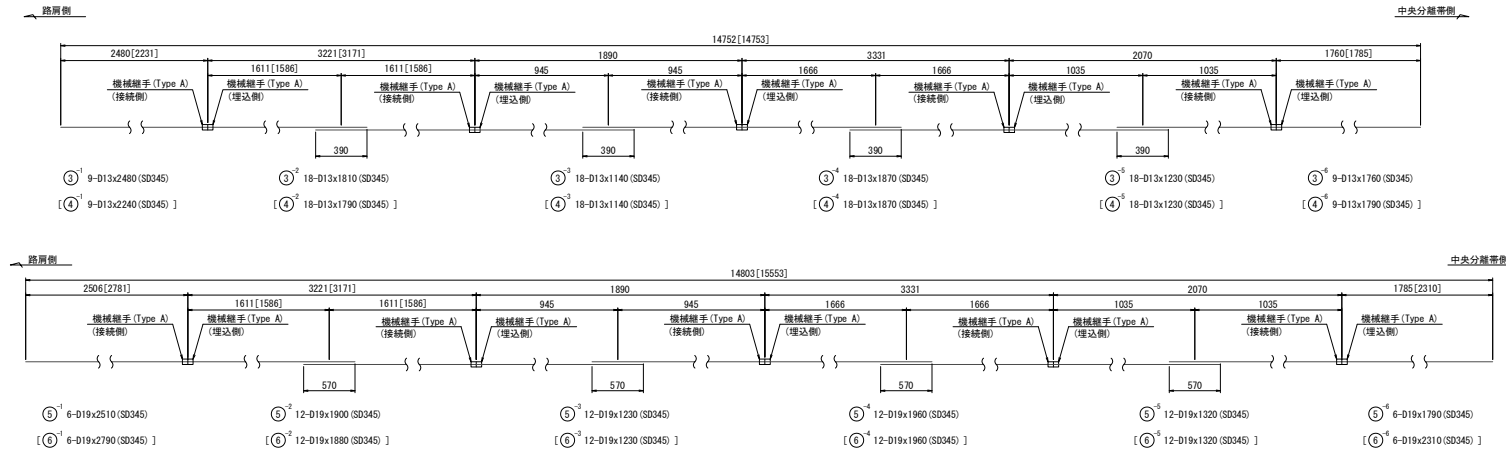
配筋断面図 S=1/25



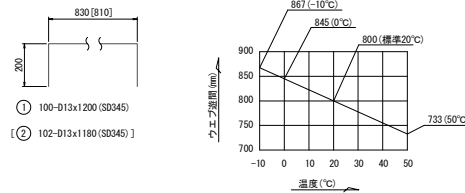
注 記
1. 鉄筋材質は全てSD345とする。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	伸縮装置図 (その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社・株式会社・株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社加須管理事務所		

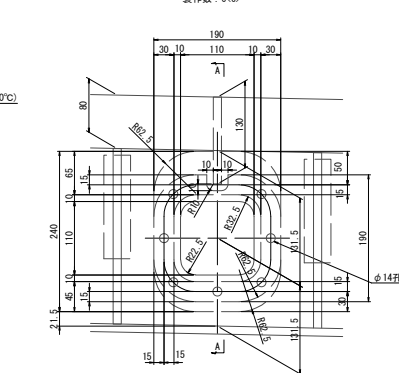
鉄筋加工図



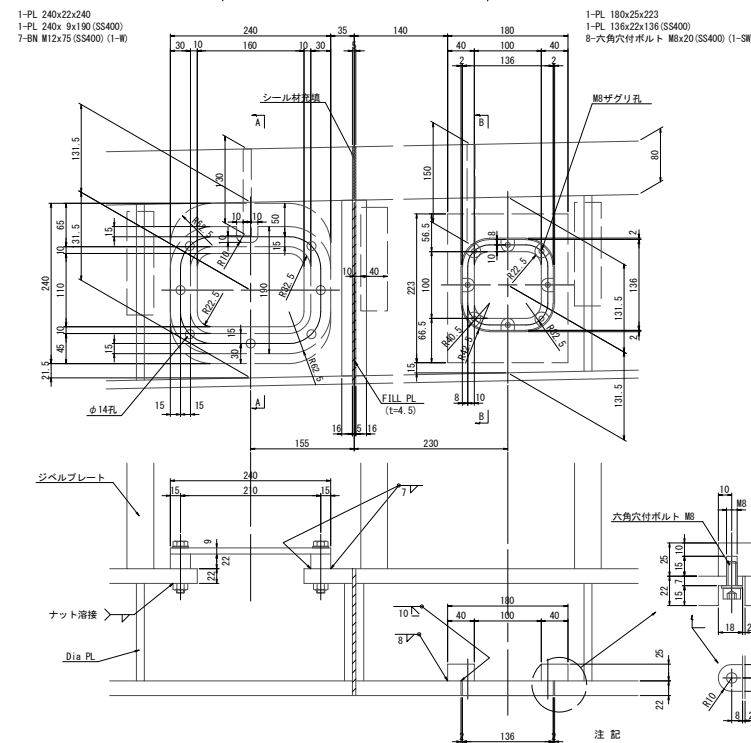
A1, A2据付時温度によるウェブ遊間



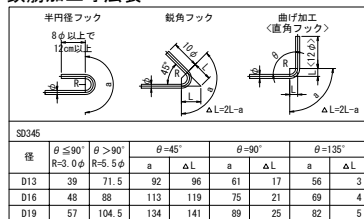
ハンドホール詳細 S=1/12.5
EJ-2<EJ-3>



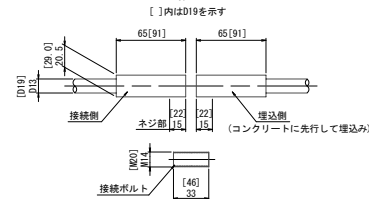
現場継手ハンドホール詳細 S=1/12.5
EJ-1, EJ-2<EJ-3, EJ-4>



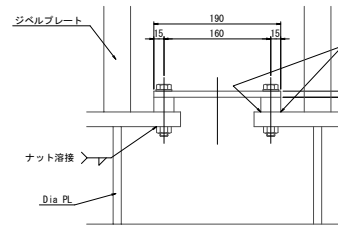
鉄筋加工寸法表



機械継手詳細 S=1/5
(Type A)

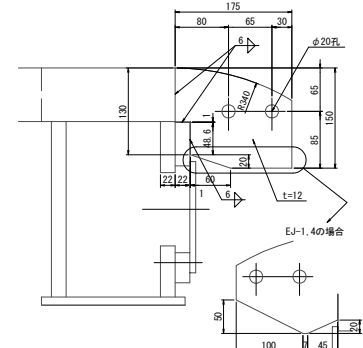


ジベルプレート

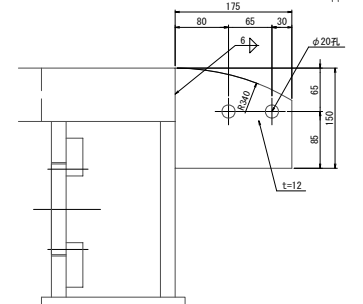


1-PL 190x22x240
1-PL 190x 9x190 (SS400)
7-BN M12x75 (SS400) (1-面)

A - A



B - B



注 記

1. 鉄筋材質は全てSD345とする。
2. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
3. 新規伸縮装置は中央分離帯側から順次取替えを行い、後打ちコンクリート施工後に交通解放させるため、先行取替え側の内側にハンドホールを設置する。

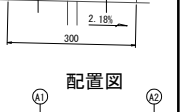
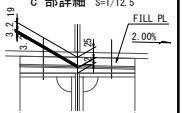
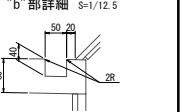
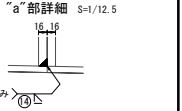
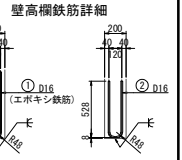
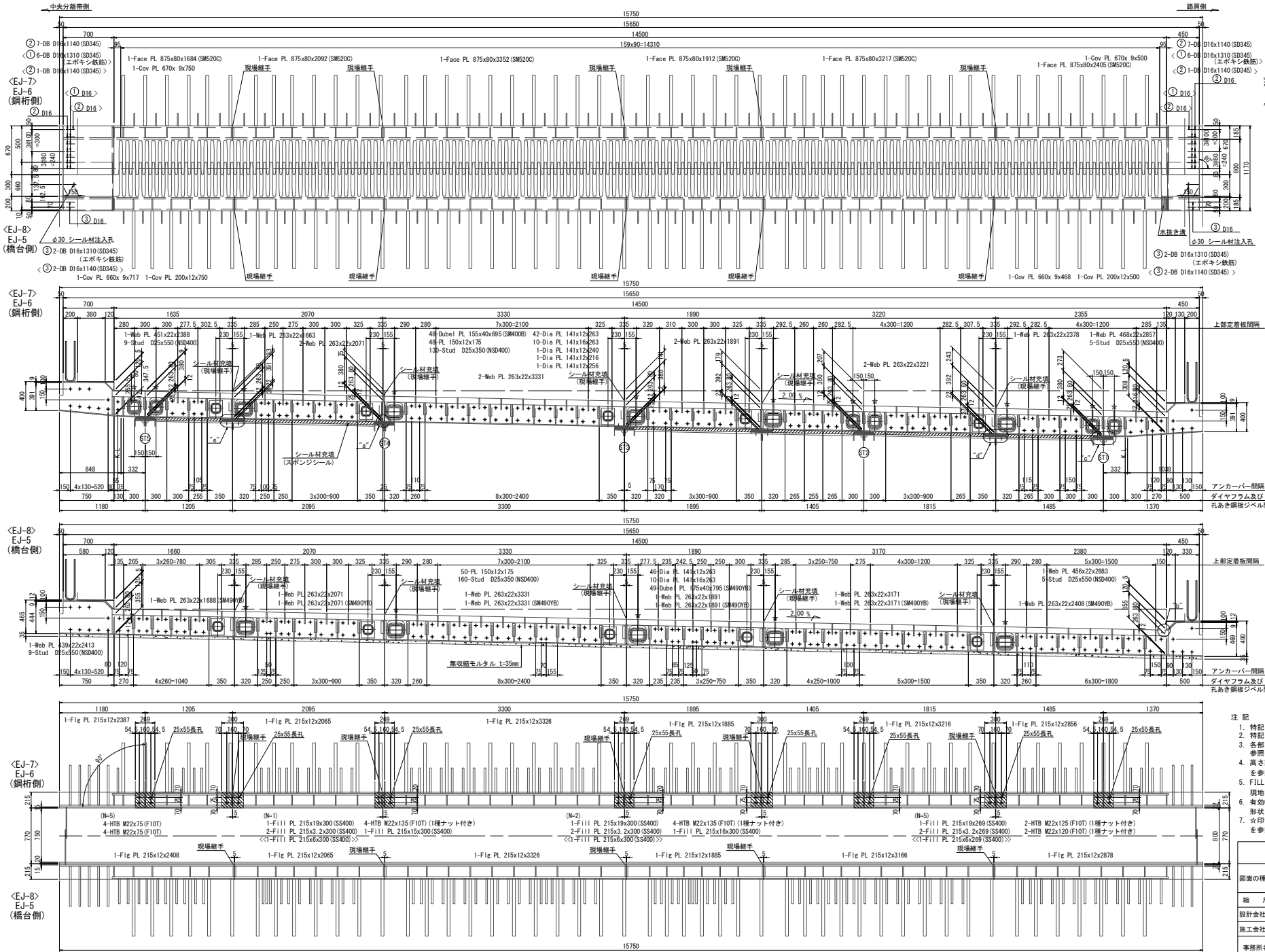
[illegible]

※〔 〕内は機械継手箇所数を示す。

伸縮装置図 (その6) S=1/50

68 / 235

A1<A2>橋台_上り線[1組分]



配置図

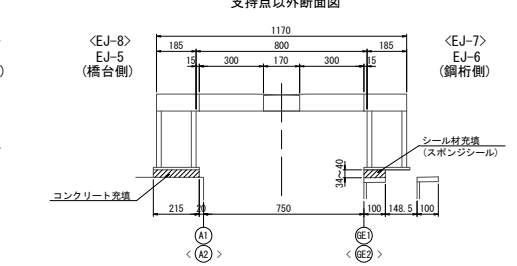
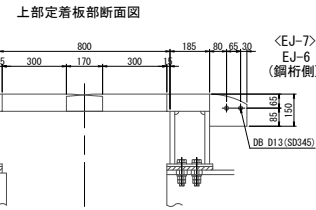
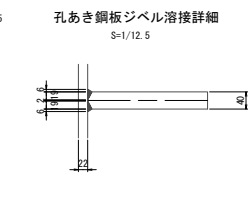
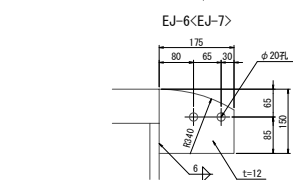
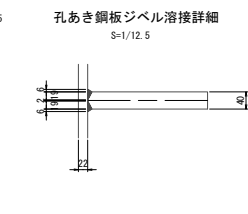
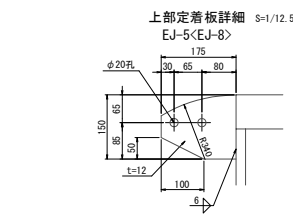
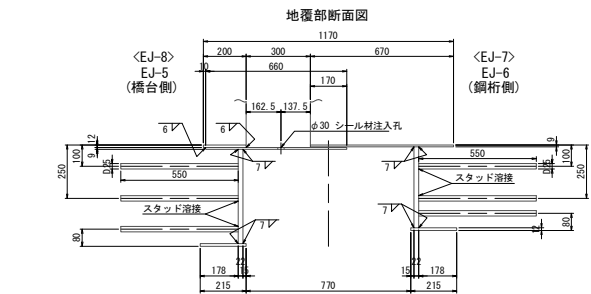
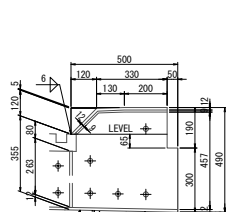
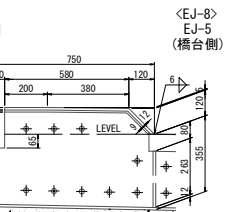
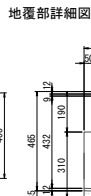
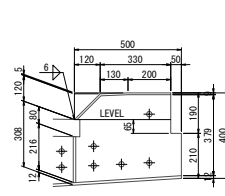
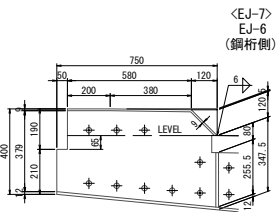
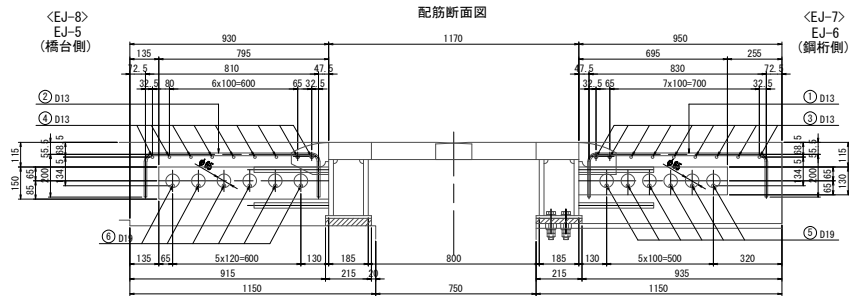
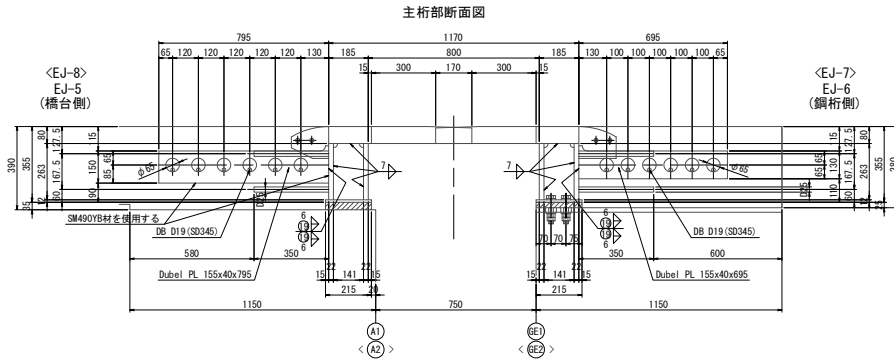


- 注 記
1. 特記なき材質は全てS400Aとする。
 2. 特記なきスカラーは全てS400Aとする。
 3. 各部詳細は伸縮装置(その7~10)図面を参照のこと。
 4. 高さ調整プレート詳細は、伸縮装置(その7)を参照のこと。
 5. FILL PL 厚さはt=19, 3.2mmの組合せとするが、現地据付によっては<t=6>を追加使用する。
 6. 有効幅員、床版厚さ、縦桁位置、架設施工形状を現地計測して確認方法を決定すること。
 7. 矢印部の定着板詳細は「伸縮装置図(その10)」を参照のこと。

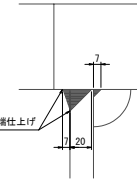
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事	
図面の種類	伸縮装置図(その6)
縮尺	図示
図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・橋梁設計株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事関係会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所

伸縮装置図（その 7）

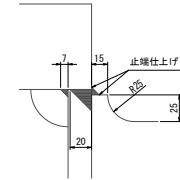
A1<A2>橋台_上り線[1組分]



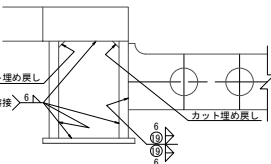
"a" 部詳細 S=1/5



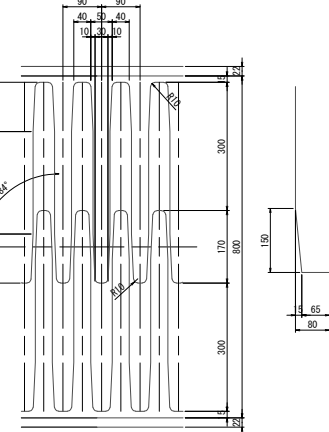
"b" 部詳細 S=1/5



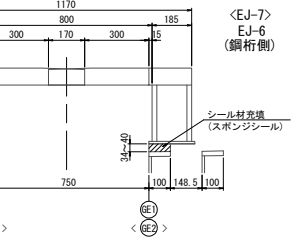
端ダイアフラム溶接詳細 S=1/12.5



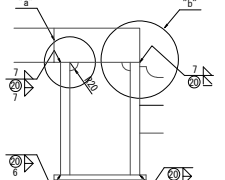
フィンガー詳細 S=1/12.5



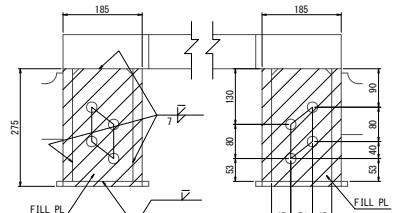
支持点以外断面图



ダイヤフラム溶接詳細 S=1/12.5



現場継手部断面図 S=1/12.5



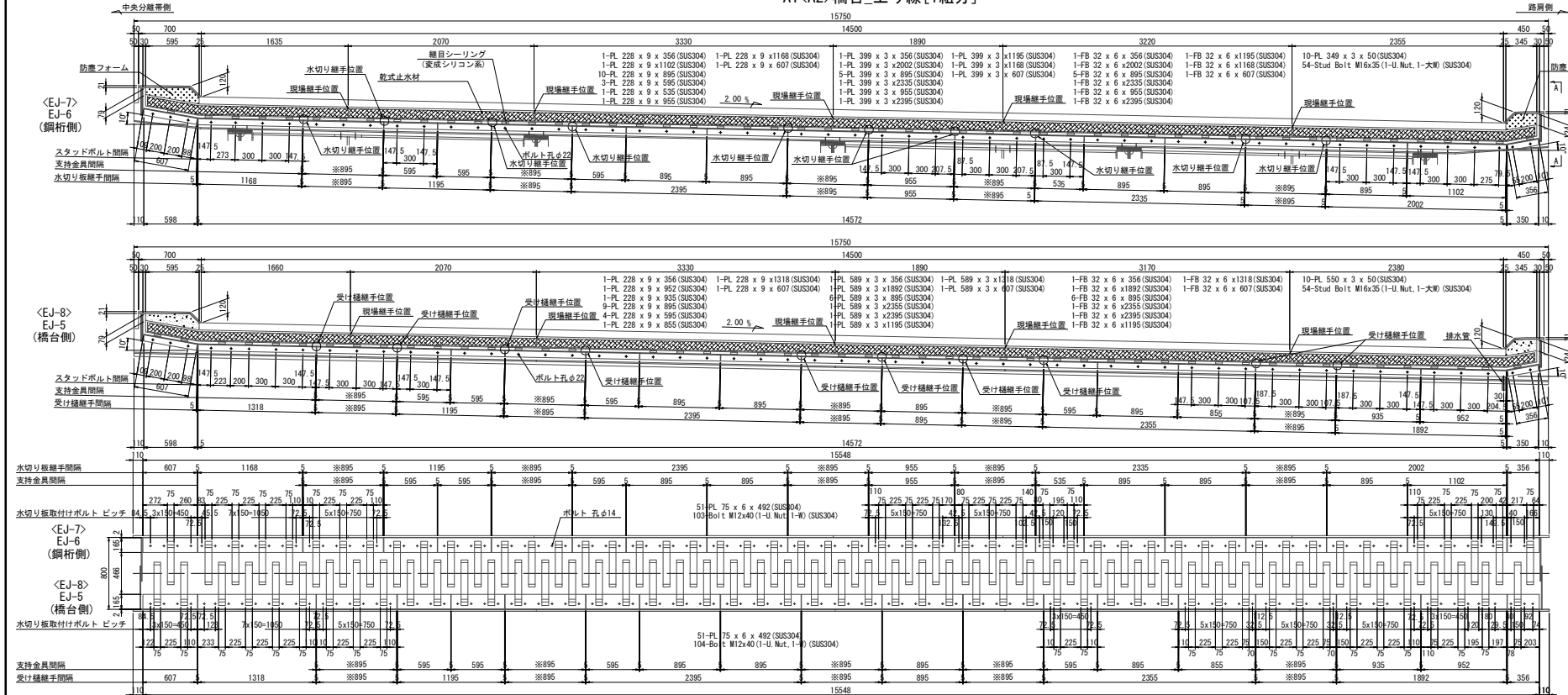
(N=5)
2-FILL PL 185x 4. 5x275 (SS400)
<<2-FILL PL 185x 4. 5x275 (SS400)>>

- 注 記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
 3. ハンドホール詳細図は「伸縮装置(その10)」を参照とする。
 4. 現地据付によっては<<t=4.5>>を追加使用する。

東北自動車道 利根川横断架設対策工事			
図面の種類	伸縮装置図（その7）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フレッジ株式会社・数建建設株式会社 東北自動車道 利根川横断架設工事特定建設工事員会企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

$S=1/50$

A1<A2>橋台_上り線[1組分]



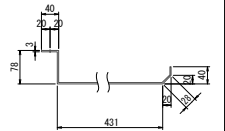
1-ゴム板 60 x 2 x 356 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 1102 (CR)
10-ゴム板 60 x 2 x 895 (CR)
3-ゴム板 60 x 2 x 595 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 535 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 955 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 1168 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 607 (CR)

1-ゴム板	40 x 2 x 356 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 2002 (CR)
5-ゴム板	40 x 2 x 895 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 2355 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 955 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 2395 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 1195 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 1168 (CR)
1-ゴム板	40 x 2 x 607 (CR)

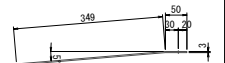
1-ゴム板 60 x 2 x 356 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 952 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 935 (CR)
9-ゴム板 60 x 2 x 895 (CR)
4-ゴム板 60 x 2 x 595 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 855 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 1318 (CR)
1-ゴム板 60 x 2 x 607 (CR)

1-ゴム板 40 x 2 x 356 (CR)
1-ゴム板 40 x 2 x 1892 (CR)
6-ゴム板 40 x 2 x 895 (CR)
1-ゴム板 40 x 2 x 2355 (CR)
1-ゴム板 40 x 2 x 2395 (CR)
1-ゴム板 40 x 2 x 1195 (CR)
1-ゴム板 40 x 2 x 1318 (CR)
1-ゴム板 40 x 2 x 607 (CR)

付随詳細図 S=1/12.5



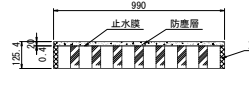
水切り板詳細図 S=1/12.5



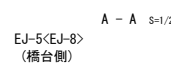
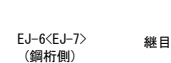
断面図 S=1/25
EJ-5<EJ-8>
(橋台側)

EJ-6<EJ-7>
(鋼析側)

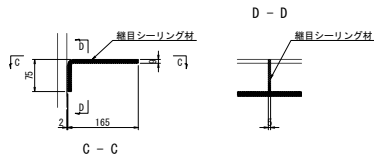
乾式止水材詳細図 S=1/25
(参照) 建築標準 000-000



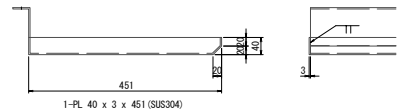
大形ワッシャー詳細図 S=1/12.5


$$A - A \quad S=1/25$$


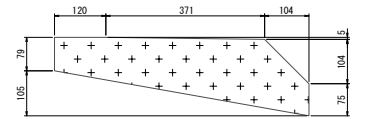
継目シーリング詳細図 S=1/12.5



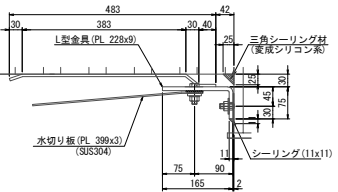
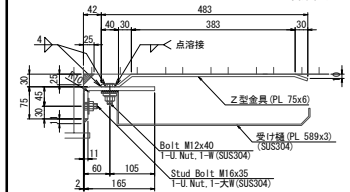
受け樋端部詳細図 S=1/12.5



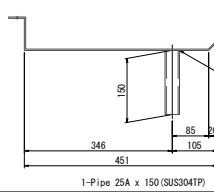
防塵フォーム製作図 S=1/12.5



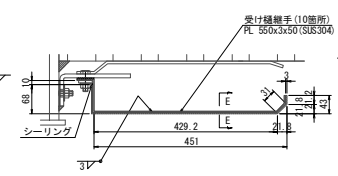
"a"部詳細図 S=1/12.5



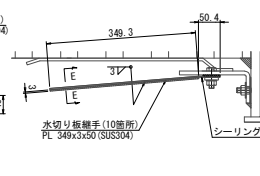
排水管取付詳細図 S=1/12.5



受け継手詳細図 S=1/12.5



水切り板継手詳細図 S=1/12.5



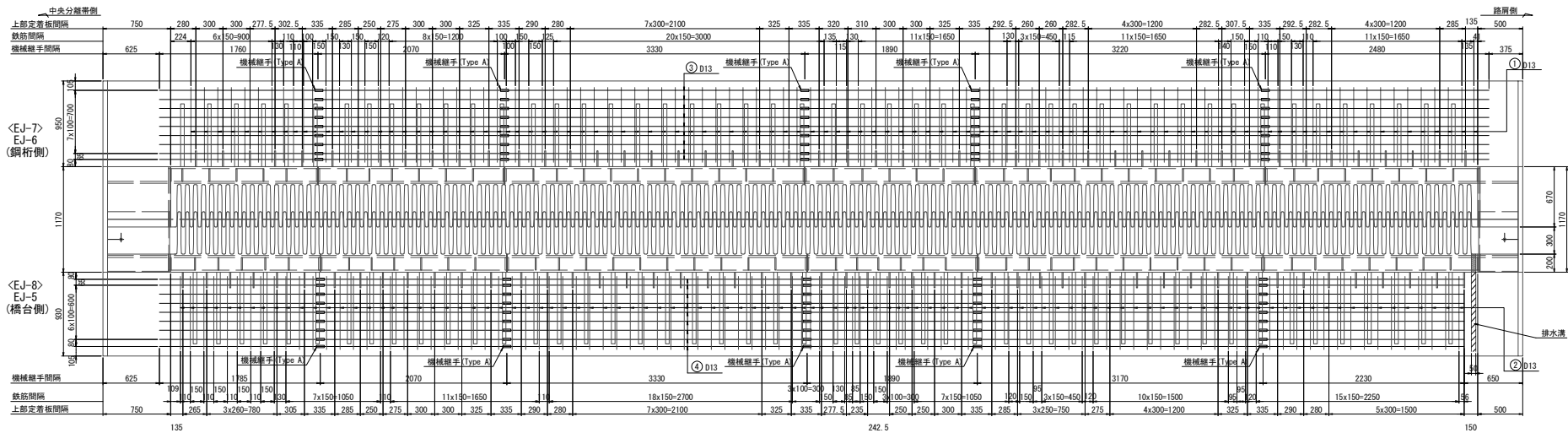
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 乾式止水材取付は最大遊間にて行うものとする。
4. ※印の区間は乾式止水材、Z型金具、L型金具、水切り板、受け樋とも現地取付けとする。

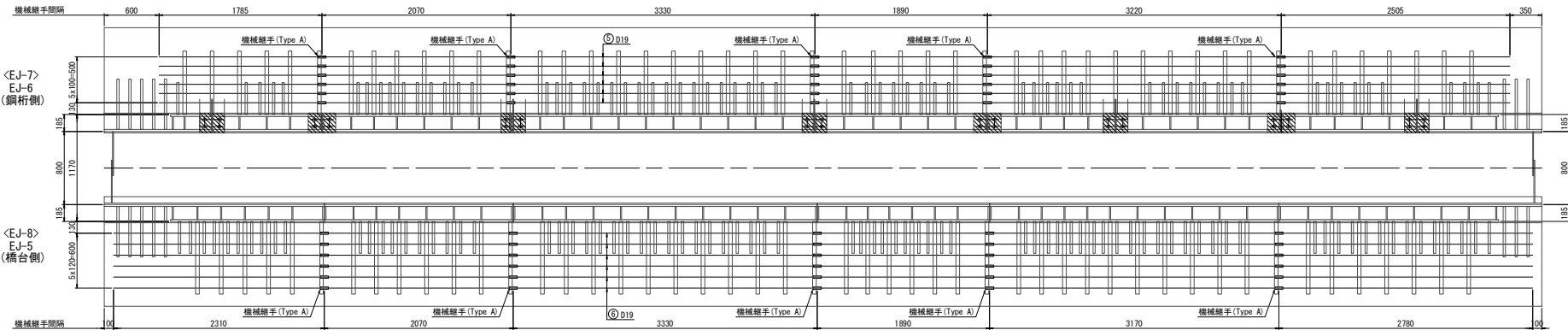
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	伸縮装置図 (その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事員会企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

A1<A2>橋台_上り線[1組分]

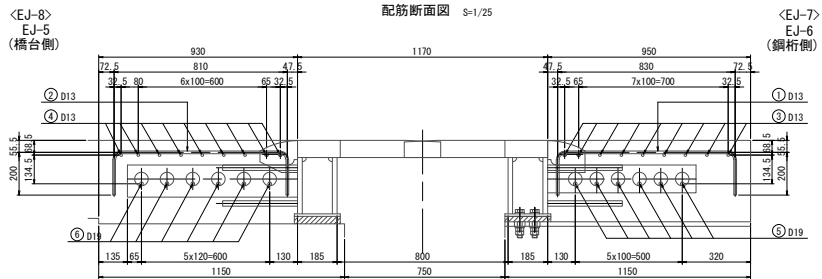
上部定着板配筋図



孔明きジベル配筋図



配筋断面図 S=1/25

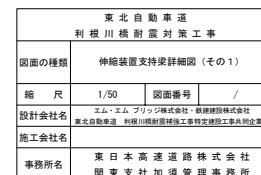


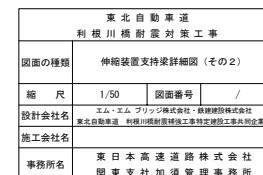
注 記
1. 鉄筋材質は全てSD345とする。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	伸縮装置図 (その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・林建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補修工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

※〔 〕内は機械継手箇所数を示す。

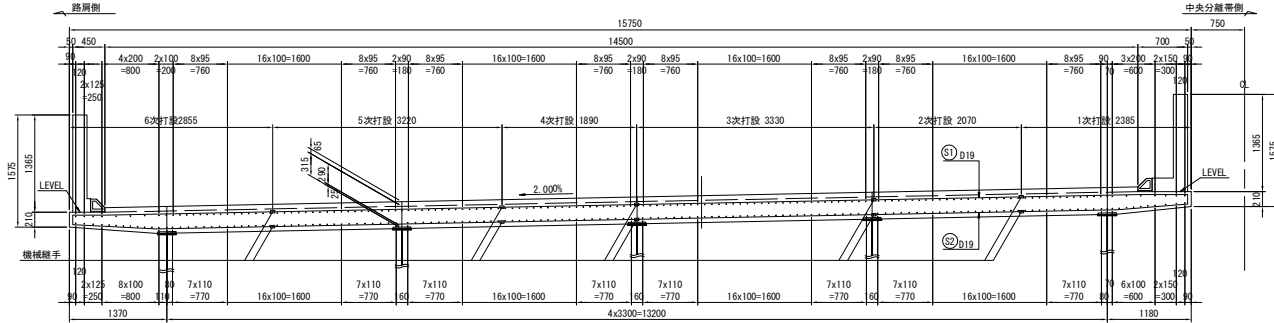
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	伸縮装置図（その１０）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エ・エム・ブリッジ株式会社 幹線建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川耐震対策工事特定建設工事員会企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 開業支社加治道管理事務所		





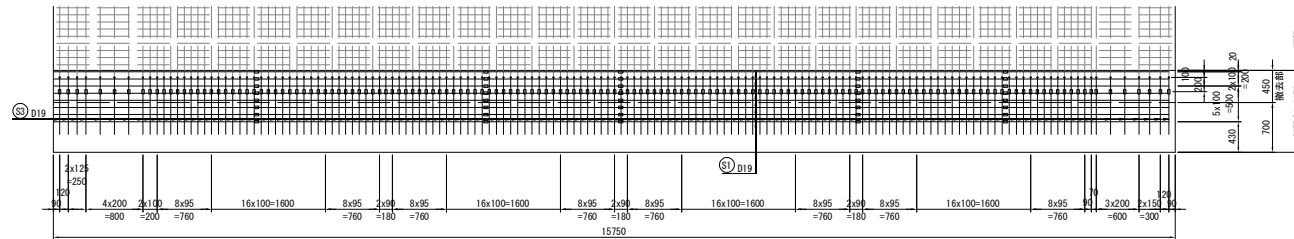
A1<A2>橋台 下り線 (橋梁側)[1組分]

断面図

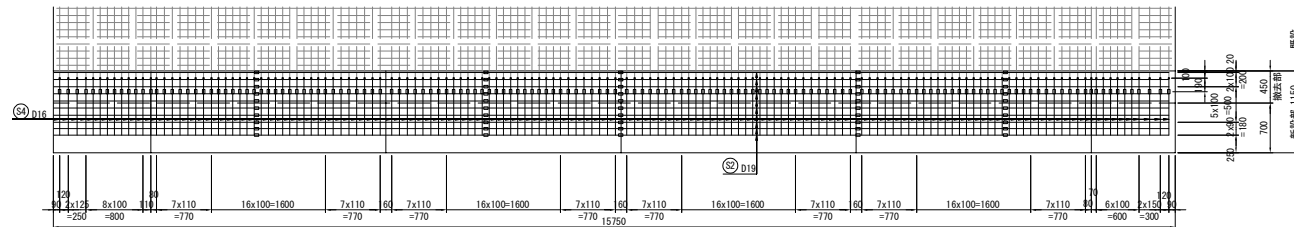


平面図

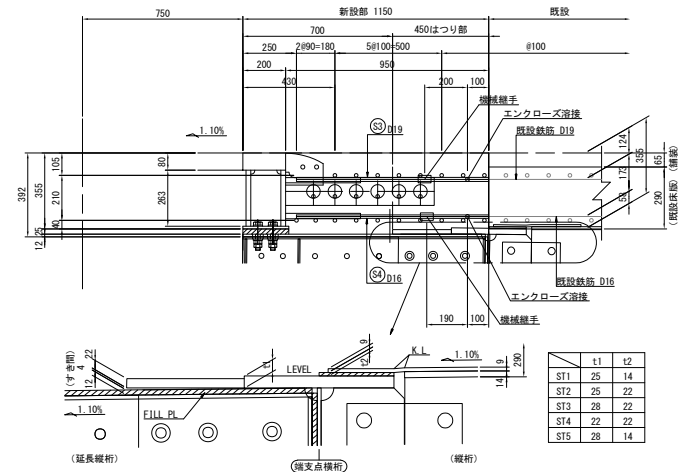
(上 面)



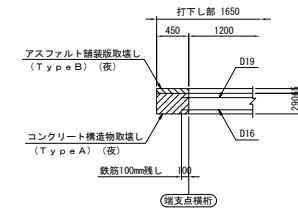
(下 面)



側面図

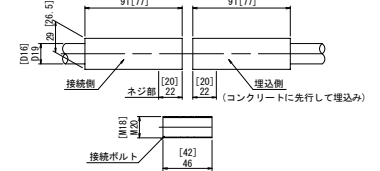


床版はつり詳細図

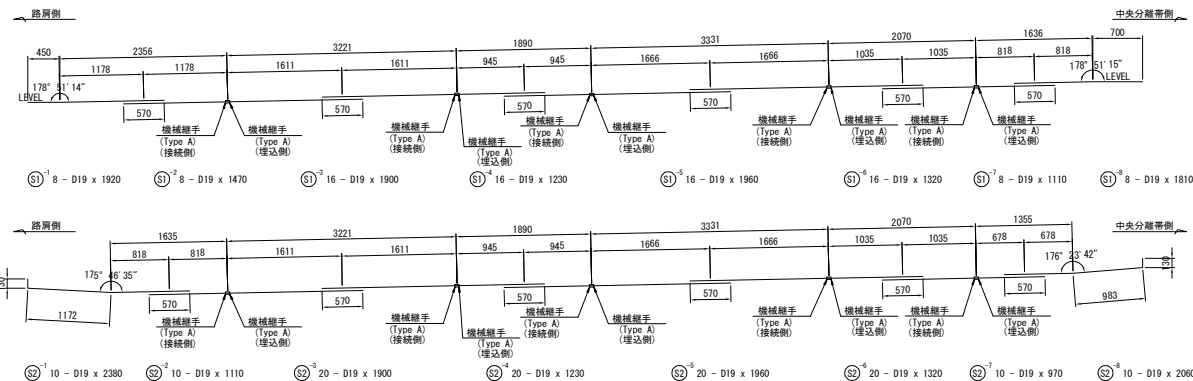


機械継手詳細 S=1/5

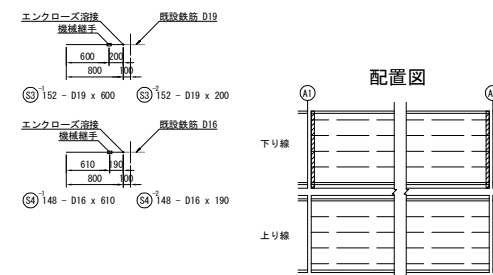
911



注) はつり処理面は入念に清掃処理を行い、
マイクロクラック補修用プライマーを塗布すること。



配置図



注1:延長床版の設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
 注2:特記なき鉄筋の材質は全てSD345とする。
 注3:既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
 現地の配置状況により調整すること。
 注4:橋軸方向の既設鉄筋に接続する鉄筋が、伸縮装置の
 スタッド、孔明きジベルと干渉する場合は 適宜、
 位置調整を行うこと。

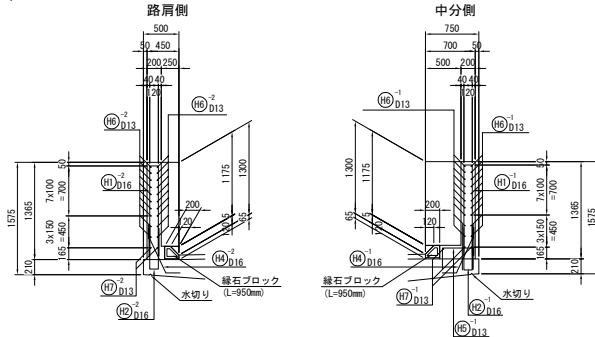
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事員企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社加須管轄事務所		

A1<A2>橋台 下り線 (橋梁側) [1組分]

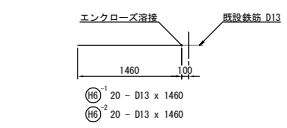
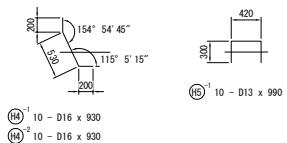
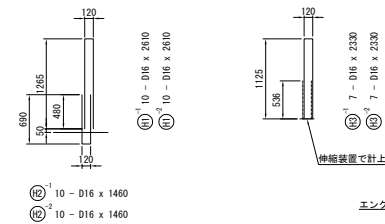
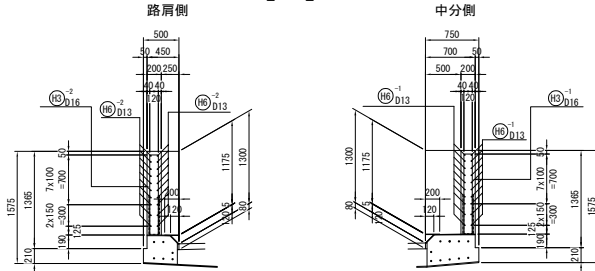
水切り詳細

断面図

1-1



2-2



エンクローズ溶接 既設鉄筋 D13

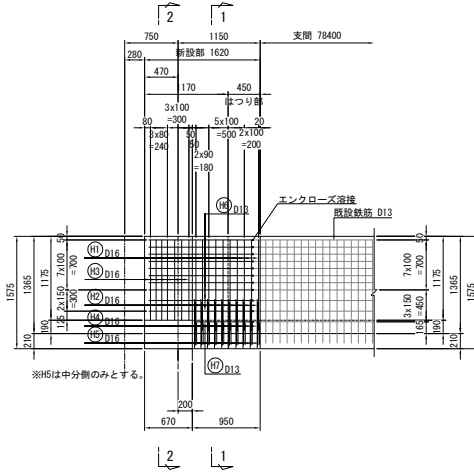
エンクローズ溶接 既設鉄筋 D13

エンクローズ溶接 既設鉄筋 D13

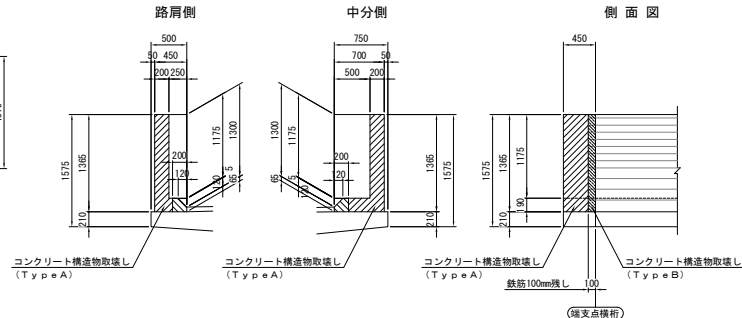
エンクローズ溶接 既設鉄筋 D13

エンクローズ溶接 既設鉄筋 D13

側面図

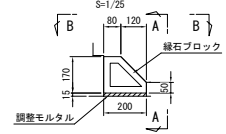


断面図



壁高欄はつり詳細図

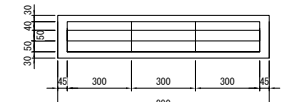
緑石ブロック詳細



A-A S=1/25



B-B S=1/25



注) 既製品990mmから、現地で切断して使用する。

鉄筋質量表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	本当り質量(kg)	質量(kg)	換算
壁高欄 A1側							
中央分離帯側							
H1-1	D16	2610	10	1.56	4.07	41	1
H2-1	"	1460	10	"	2.28	23	1
H3-1	"	2330	7	"	3.63	25	1
H4-1	"	930	10	"	1.45	15	1
H5-1	D13	990	10	0.995	0.985	10	1
H6-1	"	1460	20	"	1.45	29	<20>
H7-1	"	800	3	"	0.796	3	<3>
							146 kg
路肩側							
H1-2	D16	2610	10	1.56	4.07	41	1
H2-2	"	1460	10	"	2.28	23	1
H3-2	"	2330	7	"	3.63	25	1
H4-2	"	930	10	"	1.45	15	1
H6-2	D13	1460	20	0.995	1.45	29	<20>
H7-2	"	800	2	"	0.796	2	<2>
							135 kg
A1側壁高欄合計							281 kg
D16							208 kg
D13							73 kg
壁高欄 A2側							
中央分離帯側							
H1-1	D16	2610	10	1.56	4.07	41	1
H2-1	"	1460	10	"	2.28	23	1
H3-1	"	2330	7	"	3.63	25	1
H4-1	"	930	10	"	1.45	15	1
H5-1	D13	990	10	0.995	0.985	10	1
H6-1	"	1460	20	"	1.45	29	<20>
H7-1	"	800	3	"	0.796	3	<3>
							146 kg
路肩側							
H1-2	D16	2610	10	1.56	4.07	41	1
H2-2	"	1460	10	"	2.28	23	1
H3-2	"	2330	7	"	3.63	25	1
H4-2	"	930	10	"	1.45	15	1
H6-2	D13	1460	20	0.995	1.45	29	<20>
H7-2	"	800	2	"	0.796	2	<2>
							135 kg
A2側壁高欄合計							281 kg
D16							208 kg
D13							73 kg
機械継手箇所数(Type A)							390 箇所
エンクローズ溶接箇所数							390 箇所

※[]内は機械継手箇所数を示す。
※< >内はエンクローズ溶接箇所数を示す。

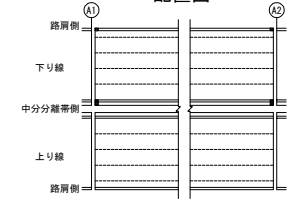
鉄筋質量表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	本当り質量(kg)	質量(kg)	換算
床版							
S1-1	D19	1920	8	2.25	4.32	35	1
S1-2	"	1470	8	"	3.31	26	[8]
S1-3	"	1900	16	"	4.28	68	[8]
S1-4	"	1230	16	"	2.77	44	[8]
S1-5	"	1960	16	"	4.41	71	[8]
S1-6	"	1320	16	"	2.97	48	[8]
S1-7	"	1110	8	"	2.50	20	1
S1-8	"	1810	8	"	4.07	33	1
S2-1	"	2410	10	"	5.42	54	1
S2-2	"	1110	10	"	2.50	25	[10]
S2-3	"	1900	20	"	4.28	86	[10]
S2-4	"	1230	20	"	2.77	55	[10]
S2-5	"	1960	20	"	4.41	88	[10]
S2-6	"	1320	20	"	2.97	59	[10]
S2-7	"	970	10	"	2.18	22	1
S2-8	"	2080	10	"	4.68	47	1
S3-1	"	600	152	"	1.35	205	[152]
S3-2	"	200	152	"	0.450	68	[152]
S4-1	D16	610	148	1.56	0.952	141	[148]
S4-2	"	190	148	"	0.296	44	[148]
							1239 kg
D19							1064 kg
D16							185 kg

鉄筋加工寸法表

半円径フック		鋭角フック		曲げ加工 <直角フック> (直角フック)				
SD345								
径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 45°		θ = 90°	θ = 135°		
	a	a	a	ΔL <td>a</td> <td>ΔL </td>	a	ΔL		
D13	39	71.5	92	96	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	89	25	82	5

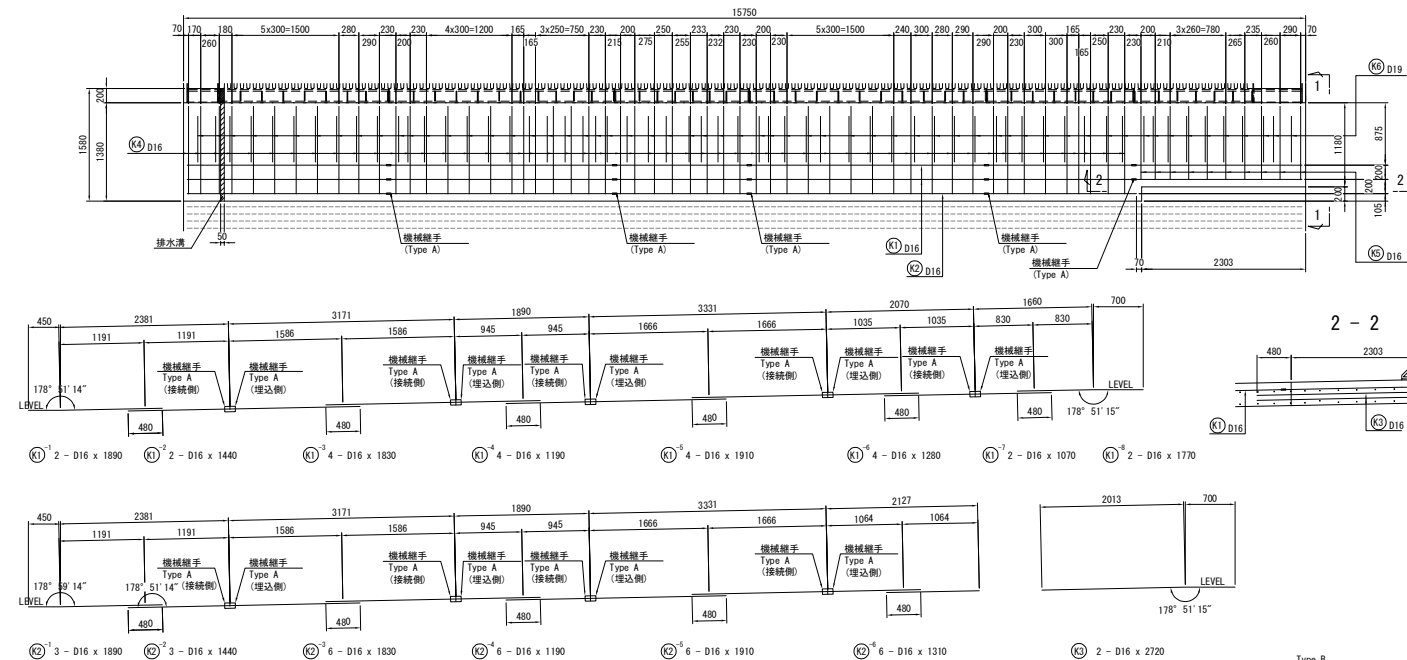
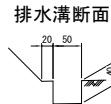
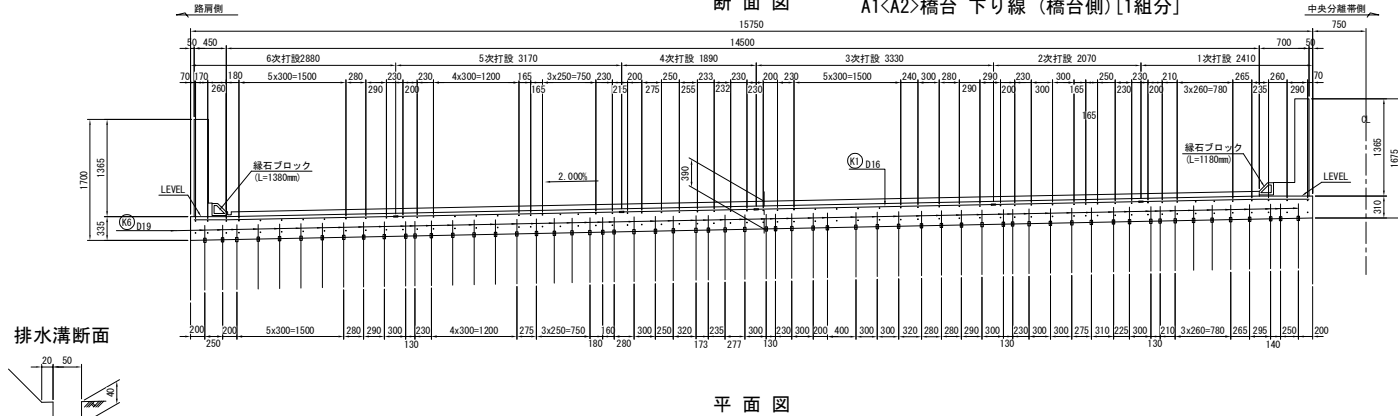
配置図



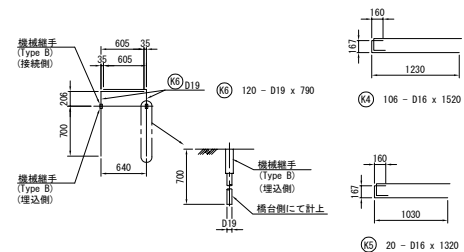
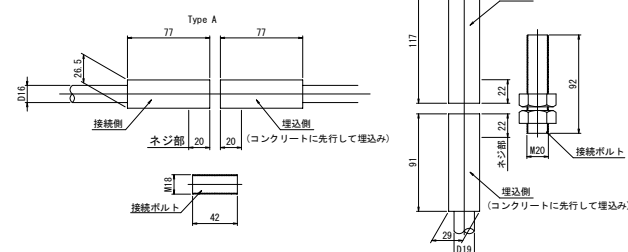
注1: 延長床版の設計基準強度はσck=30N/mm²とする。
注2: 特記なき鉄筋の材質は全てSD345とする。
注3: 既設鉄筋の配置形状は完成面より想定しているため
現場の配置状況により調整すること。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・橋梁設計株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 加須管理事務所		

断面図 A1<A2>橋台 下り線 (橋台側) [1組分]



機械継手詳細 S=1/5



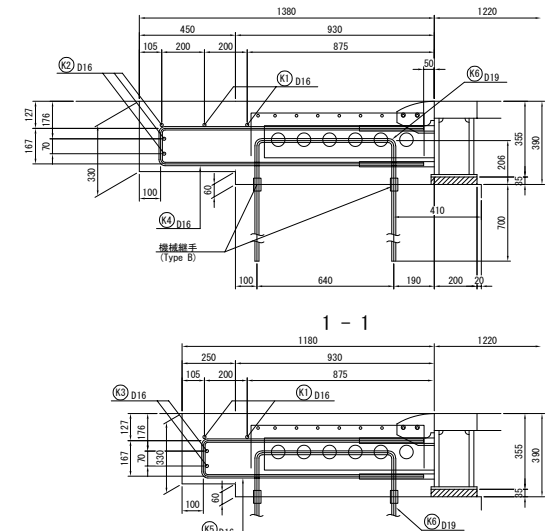
鉄筋加工寸法表

鉄筋質量表

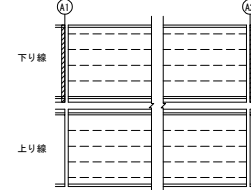
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
圧板							
K1-1	D16	1890	2	1.56	2.95	6	—
K1-2	〃	1440	2	〃	2.25	5	→ [2]
K1-3	〃	1830	4	〃	2.85	11	→ [2]
K1-4	〃	1190	4	〃	1.86	7	→ [2]
K1-5	〃	1910	4	〃	2.98	12	→ [2]
K1-6	〃	1280	4	〃	2.00	8	→ [2]
K1-7	〃	1070	2	〃	1.67	3	→
K1-8	〃	1770	2	〃	2.76	6	—
K2-1	〃	1890	3	〃	2.95	9	—
K2-2	〃	1440	3	〃	2.25	7	→ [3]
K2-3	〃	1830	6	〃	2.85	17	→ [3]
K2-4	〃	1190	6	〃	1.86	11	→ [3]
K2-5	〃	1910	6	〃	2.98	18	→ [3]
K2-6	〃	1310	6	〃	2.04	12	→
K3	〃	2720	2	〃	4.35	8	—
K4	〃	1520	106	〃	2.37	251	—
K5	〃	1320	20	〃	2.06	41	—
K6	D19	790	120	2.25	1.78	214	← [120]
						646	kg
						D19	214 kg
						D16	432 kg
						機械線手首数 (Type A)	22 箇所
						機械線手首数 (Type B)	120 箇所

※〔 〕内は機械継手箇所数を示す。

側 面 図



配置図

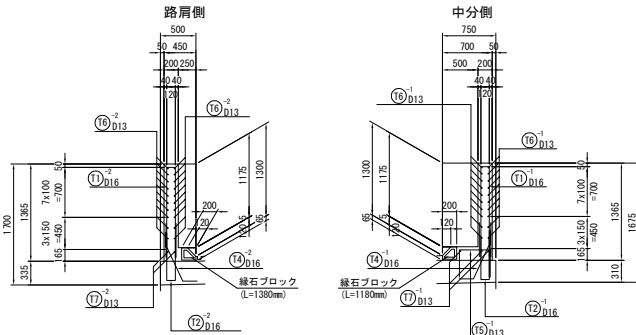


注1:延長床版の設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
 注2:特記なき鉄筋の材質は全てSD345とする。
 注3:既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
 現地の配置状況により調整すること。
 注4:緑石ブロック詳細は「延長床版配筋図(その2)」を
 参照のこと。

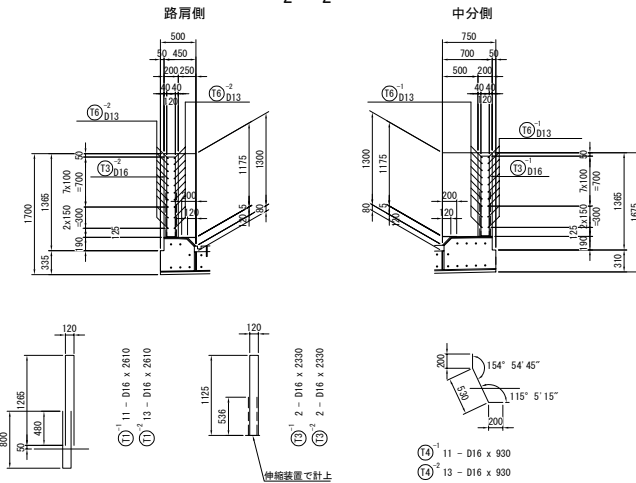
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・建築設計株式会社 東北自動車道 利根川耐震補強工事特定建設工事員企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

断面図

1 - 1



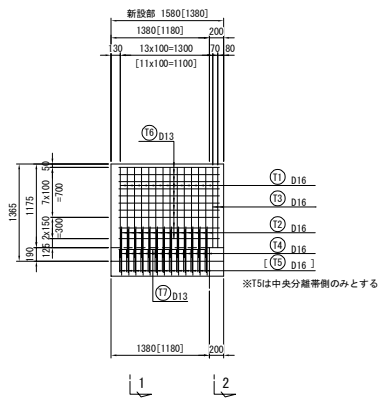
2 - 2



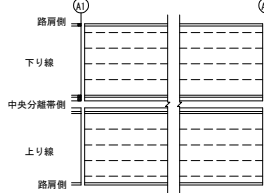
側面図

路肩側 [中央分離帯側]

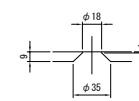
1 2



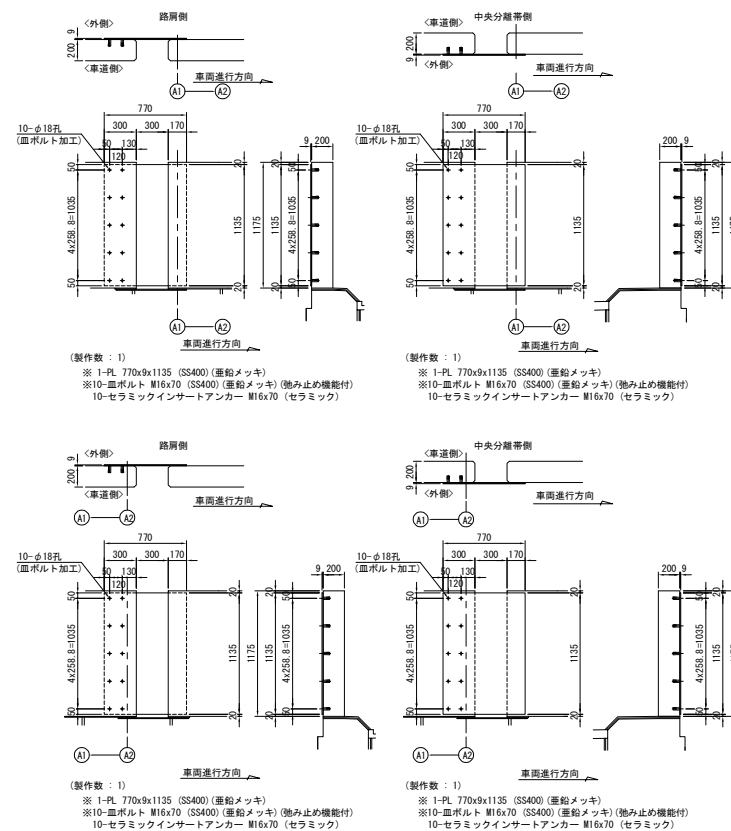
配置図



皿ボルト加工詳細 縮尺 1:50



壁高欄塞ぎ板詳細 S=1/50



鉄筋加工寸法表

径	半円径フック		鋭角フック		曲げ加工 〔直角フック〕	
	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 45°	θ = 90°	θ = 135°	
	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	61	56
D16	48	88	113	119	75	69

鉄筋質量表

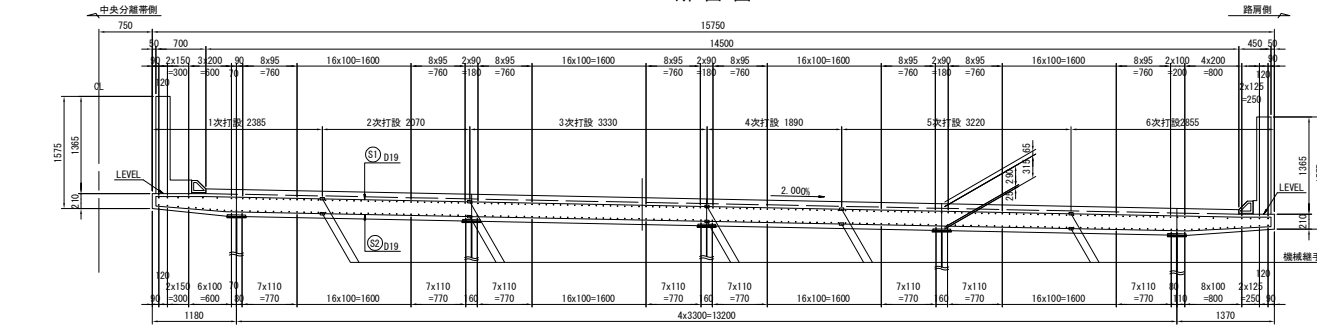
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
壁高欄 A1側							
中央分離帯側							
T1-1	D16	2610	11	1.56	4.07	45	∥
T2-1	"	1680	11	"	2.62	29	∪
T3-1	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-1	"	930	11	"	1.45	16	∪
T5-1	D13	1150	11	0.995	1.14	13	∪
T6-1	"	1210	20	"	1.20	24	—
T7-1	"	1010	3	"	1.00	3	—
							137 kg
路肩側							
T1-2	D16	2610	13	1.56	4.07	53	∥
T2-2	"	1680	13	"	2.62	34	∪
T3-2	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-2	"	930	13	"	1.45	19	∪
T5-2	D13	1410	20	0.995	1.40	28	—
T6-2	"	1210	2	"	1.20	2	—
T7-2	"	1210	2	"	1.20	2	—
							143 kg
壁高欄 A2側							
中央分離帯側							
T1-1	D16	2610	11	1.56	4.07	45	∥
T2-1	"	1680	11	"	2.62	29	∪
T3-1	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-1	"	930	11	"	1.45	16	∪
T5-1	D13	1150	11	0.995	1.14	13	∪
T6-1	"	1210	20	"	1.20	24	—
T7-1	"	1010	3	"	1.00	3	—
							137 kg
路肩側							
T1-2	D16	2610	13	1.56	4.07	53	∥
T2-2	"	1680	13	"	2.62	34	∪
T3-2	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-2	"	930	13	"	1.45	19	∪
T5-2	D13	1410	20	0.995	1.40	28	—
T6-2	"	1210	2	"	1.20	2	—
T7-2	"	1210	2	"	1.20	2	—
							143 kg
A1側壁高欄合計							280 kg
D16							210 kg
D13							70 kg
A2側壁高欄合計							280 kg
D16							210 kg
D13							70 kg

注1: 延長床版の設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
 注2: 特記なき鉄筋の材質は全てSD345とする。
 注3: 既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
 現場の配置状況により異なること。
 注4: 緑石ブロック詳細は「延長床版配筋図(その2)」を
 参照のこと。
 注5: ※印部材は溶融亜鉛メッキを施す。
 付着量はJIS H 8641 H0ZT77 とする。
 但し、ボルトナット類はJIS H 8641 H0ZT49 とする。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・緑石建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

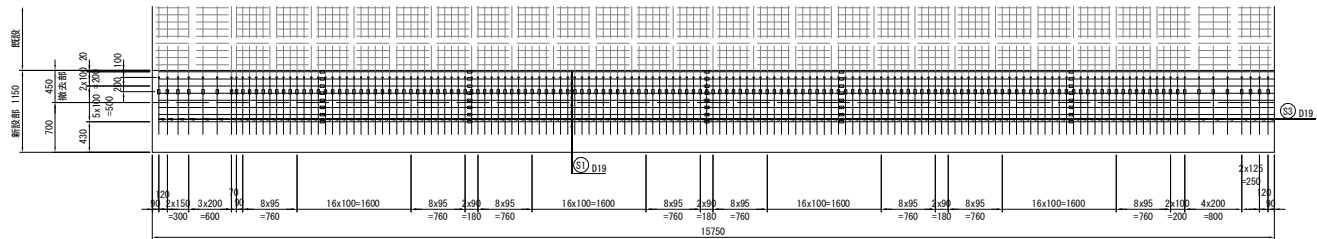
断面図

A1<A2>橋台 上り線 (橋梁側) [1組分]

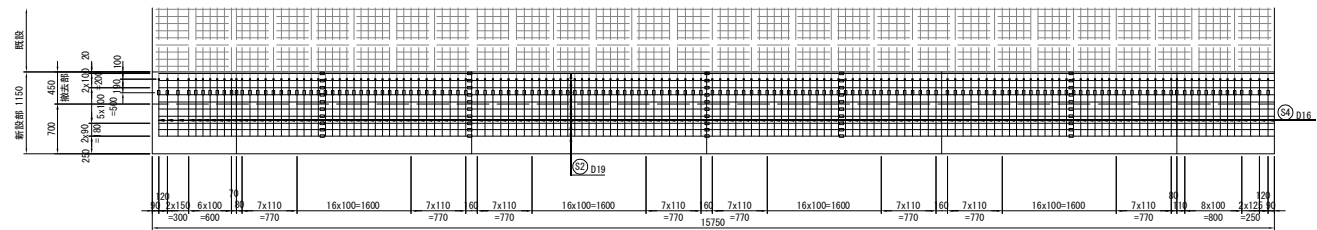


平面図

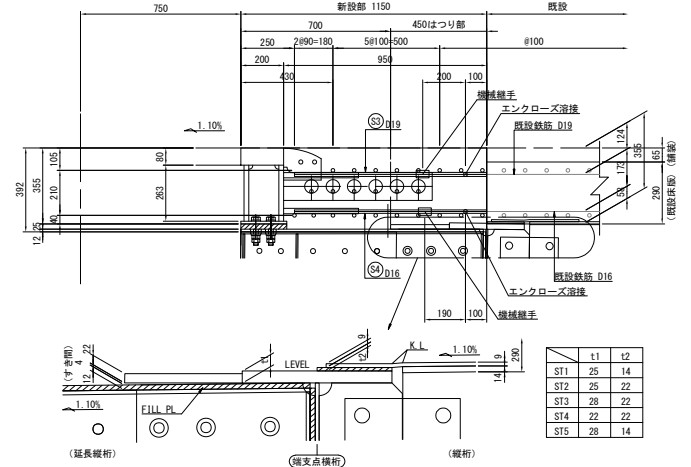
(上面)



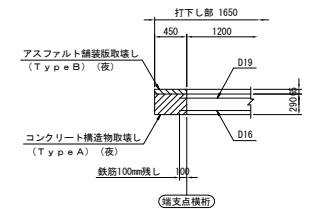
(下面)



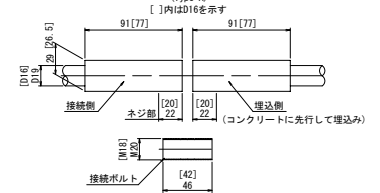
側面図



床版はつり詳細図

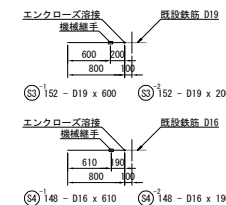
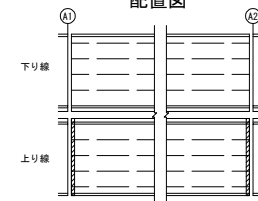


機械継手詳細



注1 はつり処理面は入念に清掃処理を行い、
マイクロラック補修用プライマーを塗布すること。

配置図



注1: 延長床版の設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
注2: 特記なき鉄筋の材質は全て S3045 とする。
注3: 既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
既設の配置状況により調整すること。
注4: 橋軸方向の既設鉄筋に接続する鉄筋が、伸縮装置の
スタッド、孔明けジベルと干渉する場合は 適宜、
位置調整を行うこと。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁設計株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社加須管理事務所		

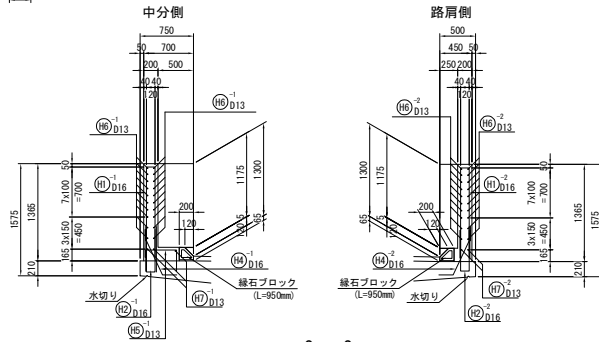
A1<A2>橋台 上り線 (橋梁側)[1組分]

水切り詳細

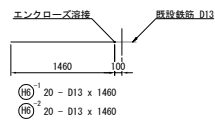
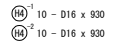
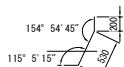
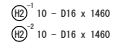
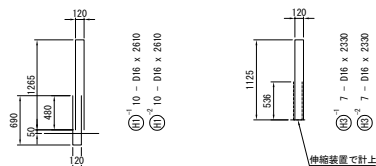
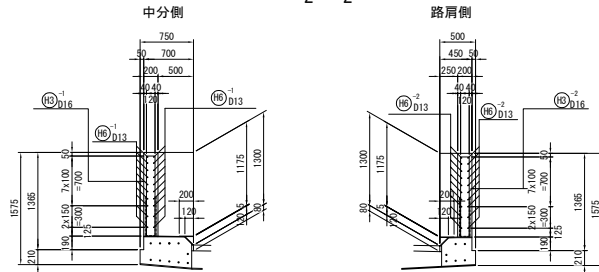


断面図

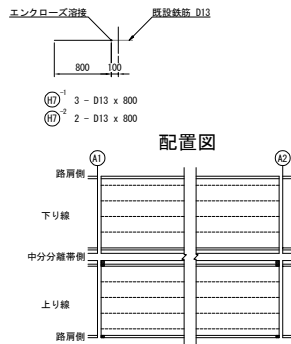
1 - 1



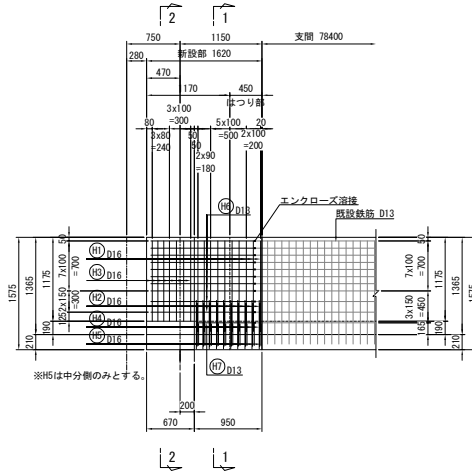
2 - 2



配置図

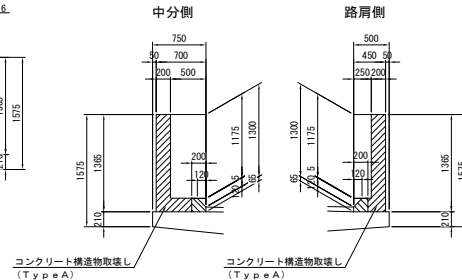


側面図



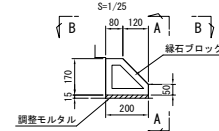
※H5は中分側のみとする。

断面図

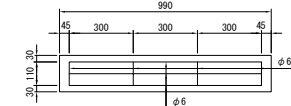
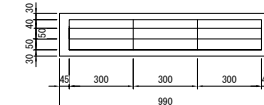


壁高欄はつり詳細図

縁石ブロック詳細

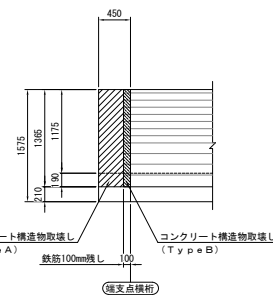


$A - A_{S=1/25}$


$$B - B_{S=1/25}$$


注) 既製品990mmから、現地で切断して使用する。

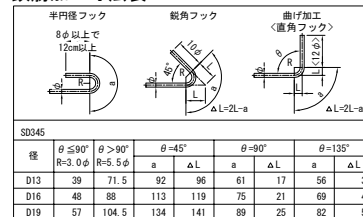
側面図



鉄筋質量表

[illegible]

鉄筋加工寸法表



S0345								
徑	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0 ϕ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5 ϕ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	61	17	56	
D16	48	88	113	119	75	21	69	
D19	57	104.5	134	141	89	25	82	

鉄筋質量表

[illegible]

※〔 〕内は機械継手箇所数を示す。
※〈 〉内はエンクローズ溶接箇所数を示す。

鉄筋質量表

[illegible]

注1:延長床板の設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。
注2:特記なき鉄筋の材質は全てSD345とする。
注3:既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
現地の配置状況により調整すること。

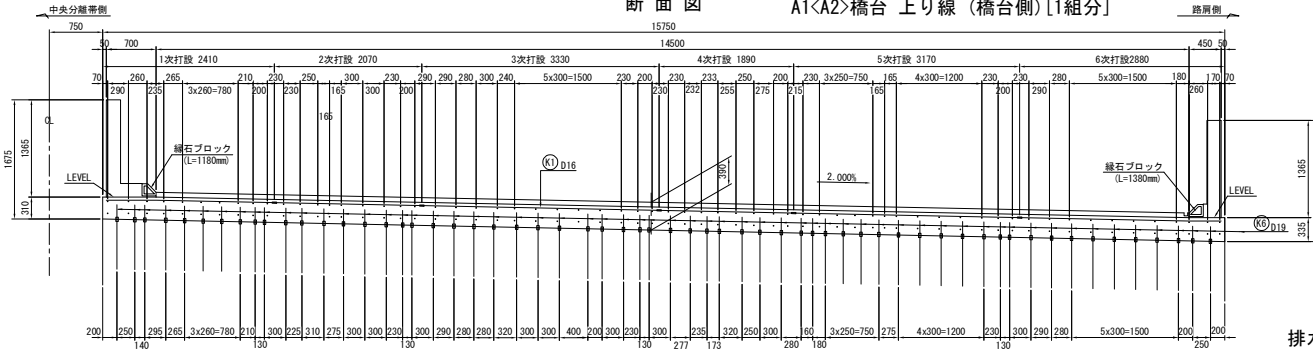
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特設監理事務局企業棟		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

延長床版配筋図(その7)

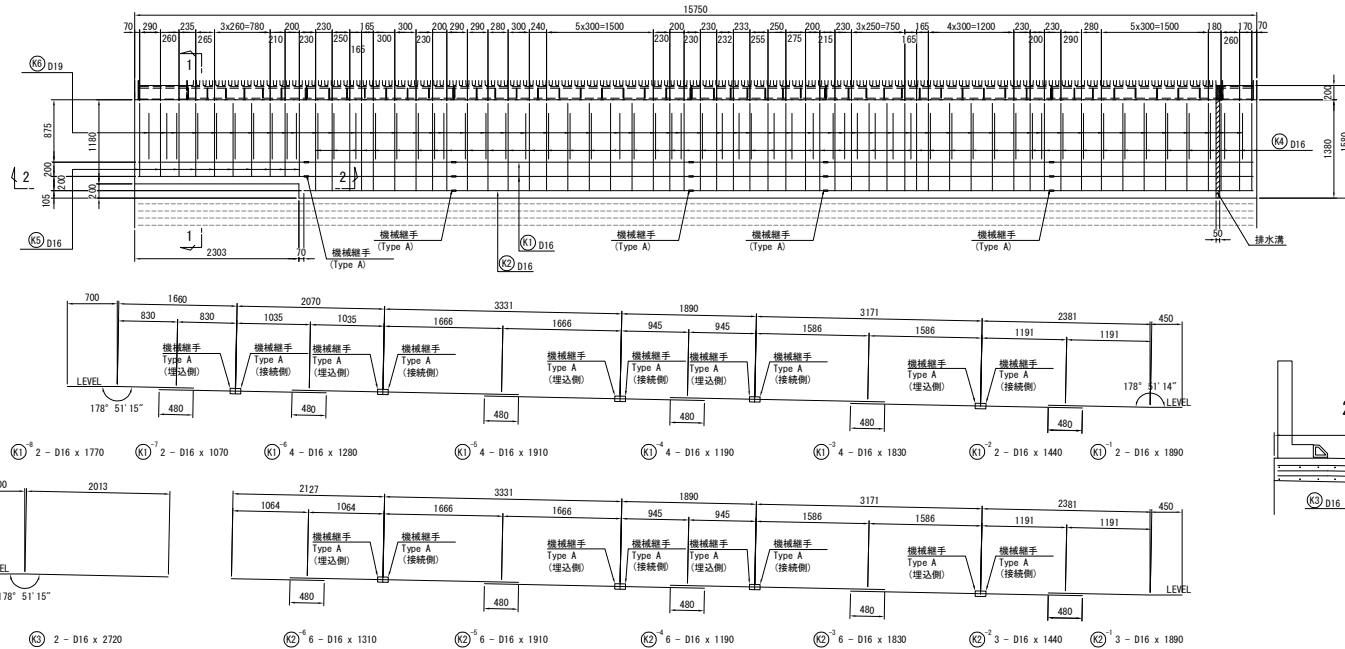
S=1/75

81 / 235

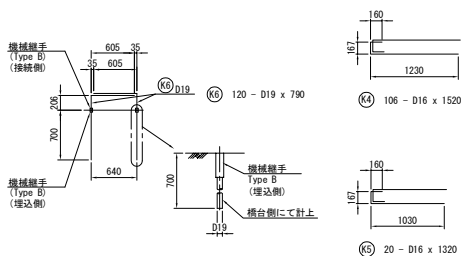
断面図 A1<A2>橋台 上り線 (橋台側) [1組分]



平面図

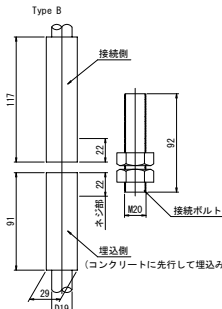
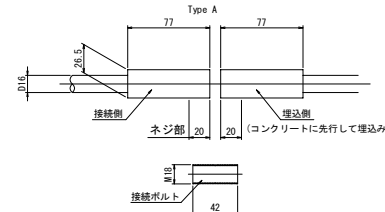


機械継手詳細 S=1/5



鉄筋加工寸法表

半円径フック		直角フック		曲げ加工 <直角フック>	
8φ以上 12mm以上		R=3.0φ		R=5.5φ	
θ=90°		θ=45°		θ=90°	
a		a		a	
ΔL		ΔL		ΔL	
D16		D16		D16	
D19		D19		D19	

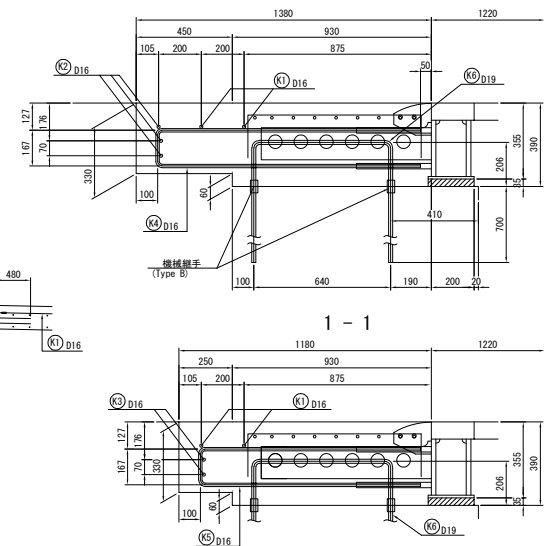


鉄筋質量表

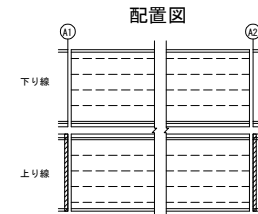
記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	本当り質量(kg)	質量(kg)	備考
床版							
K1-1	D16	1890	2	1.56	2.95	6	—
K1-2	"	1440	2	"	2.25	5	[2]
K1-3	"	1830	4	"	2.85	11	[2]
K1-4	"	1190	4	"	1.86	7	[2]
K1-5	"	1910	4	"	2.98	12	[2]
K1-6	"	1280	4	"	2.00	8	[2]
K1-7	"	1070	2	"	1.67	3	—
K1-8	"	1770	2	"	2.76	6	—
K2-1	"	1890	3	"	2.95	9	—
K2-2	"	1440	3	"	2.25	7	[3]
K2-3	"	1830	6	"	2.85	17	[3]
K2-4	"	1190	6	"	1.86	11	[3]
K2-5	"	1910	6	"	2.98	18	[3]
K2-6	"	1310	6	"	2.04	12	—
K3	"	2720	2	"	4.24	8	—
K4	"	1520	106	"	2.37	251	—
K5	"	1320	20	"	2.06	41	—
K6	D19	790	120	2.25	1.78	214	[120]
						646	kg
						D19	214 kg
						D16	432 kg
						機械継手箇所数 (Type A)	22 箇所
						機械継手箇所数 (Type B)	120 箇所

※[]内は機械継手箇所数を示す。

側面図



配置図



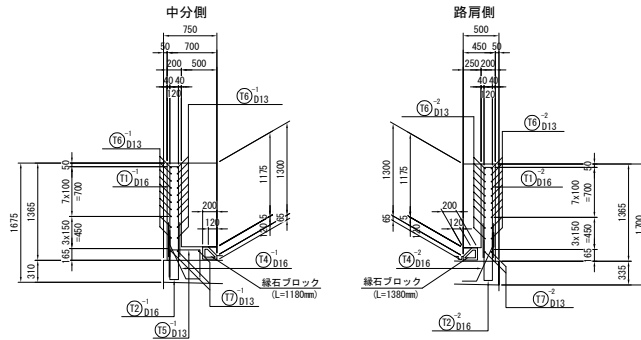
注1: 延長床版の設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
 注2: 特記なき鉄筋の材質は全てSD345とする。
 注3: 既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
 現地の配置状況により調整すること。
 注4: 緑石ブロック詳細は「延長床版配筋図(その6)」を
 参照のこと。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・橋梁設計株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 加賀管理事務所		

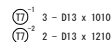
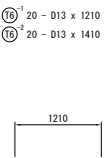
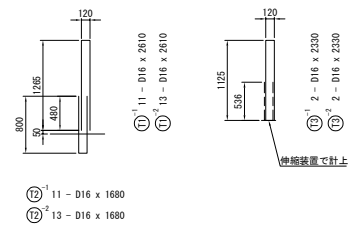
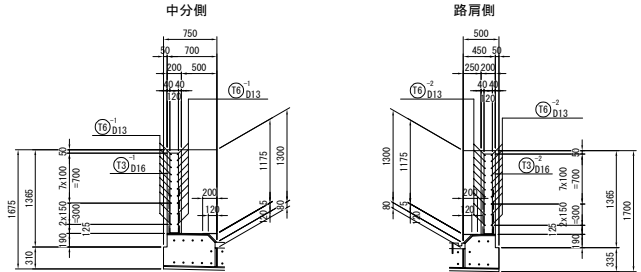
A1<A2>橋台 上り線 (橋台側) [1組分]

断面図

1 - 1

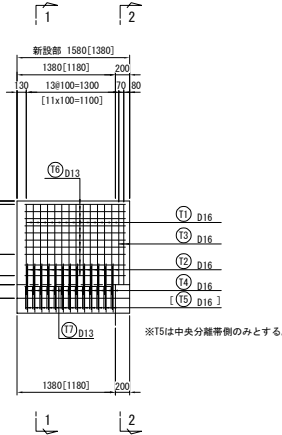


2 - 2

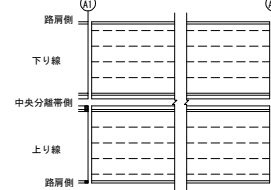


側面図

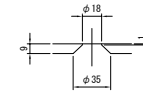
路肩側 [中央分離帯側]



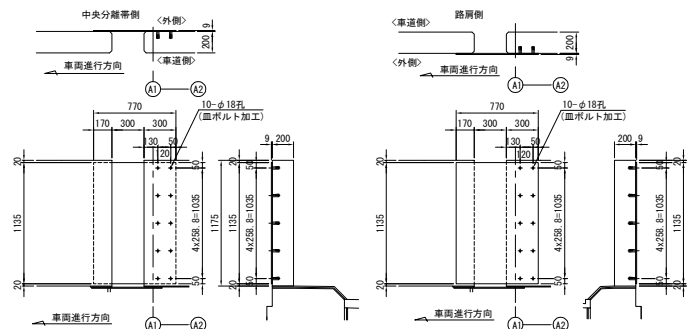
配置図



皿ボルト加工詳細 S=1/50

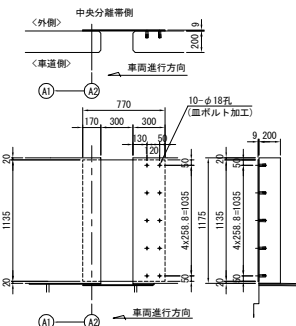


壁高欄さき板詳細 S=1/50

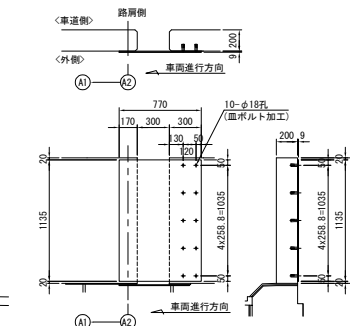


(製作数: 1)
※ 1-PL 770x9x1135 (SS400) (亜鉛メッキ)
※10-皿ボルト M16x70 (SS400) (亜鉛メッキ) (締め止め機能付)
10-セラミックインサートアンカー M16x70 (セラミック)

(製作数: 1)
※ 1-PL 770x9x1135 (SS400) (亜鉛メッキ)
※10-皿ボルト M16x70 (SS400) (亜鉛メッキ) (締め止め機能付)
10-セラミックインサートアンカー M16x70 (セラミック)



(製作数: 1)
※ 1-PL 770x9x1135 (SS400) (亜鉛メッキ)
※10-皿ボルト M16x70 (SS400) (亜鉛メッキ) (締め止め機能付)
10-セラミックインサートアンカー M16x70 (セラミック)



(製作数: 1)
※ 1-PL 770x9x1135 (SS400) (亜鉛メッキ)
※10-皿ボルト M16x70 (SS400) (亜鉛メッキ) (締め止め機能付)
10-セラミックインサートアンカー M16x70 (セラミック)

鉄筋加工寸法表

S3045	半円径フック		鋭角フック		曲げ加工 <直角フック>	
	径	θ ≤ 90° R=3.0φ R=5.5φ	θ = 45°	θ = 90°	θ = 135°	
		a	a	a	a	a
D13	39	71.5	92	96	61	56
D16	48	88	113	119	75	69

鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
壁高欄 A1側							
中央分離帯側							
T1-1	D16	2610	11	1.56	4.07	45	∥
T2-1	"	1680	11	"	2.62	29	∪
T3-1	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-1	"	930	11	"	1.45	16	∪
T5-1	D13	1150	11	0.995	1.14	13	∪
T6-1	"	1210	20	"	1.20	24	—
T7-1	"	1010	3	"	1.00	3	—
						137	kg

路肩側							
T1-2	D16	2610	13	1.56	4.07	53	∥
T2-2	"	1680	13	"	2.62	34	∪
T3-2	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-2	"	930	13	"	1.45	19	∪
T5-2	D13	1410	20	0.995	1.40	28	—
T6-2	"	1210	2	"	1.20	2	—
						143	kg

		A1側壁高欄合計		280		kg	
		D16		210		kg	
		D13		70		kg	

壁高欄 A2側							
中央分離帯側							
T1-1	D16	2610	11	1.56	4.07	45	∥
T2-1	"	1680	11	"	2.62	29	∪
T3-1	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-1	"	930	11	"	1.45	16	∪
T5-1	D13	1150	11	0.995	1.14	13	∪
T6-1	"	1210	20	"	1.20	24	—
T7-1	"	1010	3	"	1.00	3	—
						137	kg

路肩側							
T1-2	D16	2610	13	1.56	4.07	53	∥
T2-2	"	1680	13	"	2.62	34	∪
T3-2	"	2330	2	"	3.63	7	∥
T4-2	"	930	13	"	1.45	19	∪
T5-2	D13	1410	20	0.995	1.40	28	—
T6-2	"	1210	2	"	1.20	2	—
						143	kg

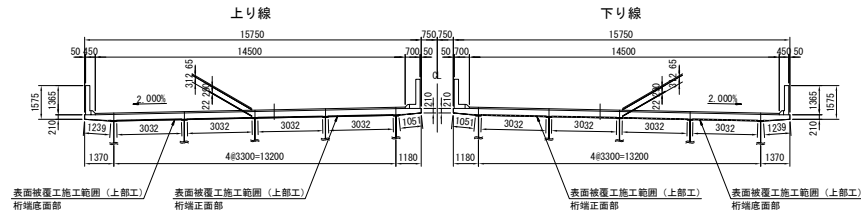
		A2側壁高欄合計		280		kg	
		D16		210		kg	
		D13		70		kg	

注1: 延長床版の設計基準強度は $\sigma_{ok} = 30N/mm^2$ とする。
注2: 特記なき鉄筋の材質は全てS3045とする。
注3: 既設鉄筋の配置形状は完成図より想定しているため
形状の配置状況により調整すること。
注4: 緑石ブロック詳細は「延長床版配筋図(その6)」を
参照のこと。
注5: ※印刷材は滑融亜鉛メッキを施す。
付着量はJIS H 8641 HZT77 とする。
但し、ボルトナット類はJIS H 8641 HZT49とする。

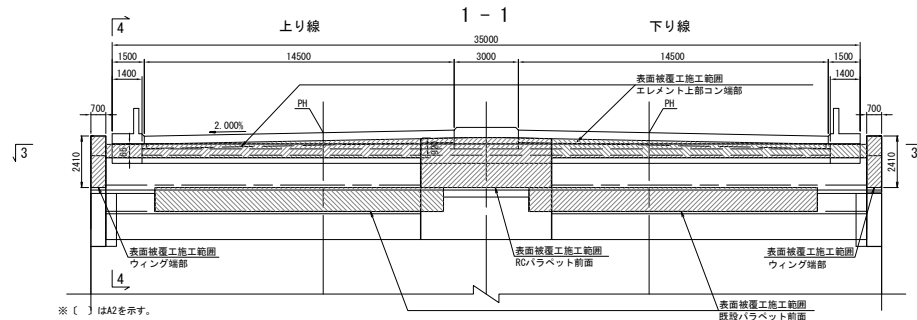
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	延長床版配筋図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリック株式会社・緑石ブロック株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事関係会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

A1 A2橋台共通

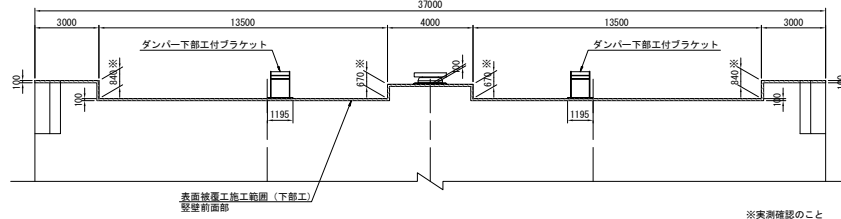
上部工断面図



橋台正面図

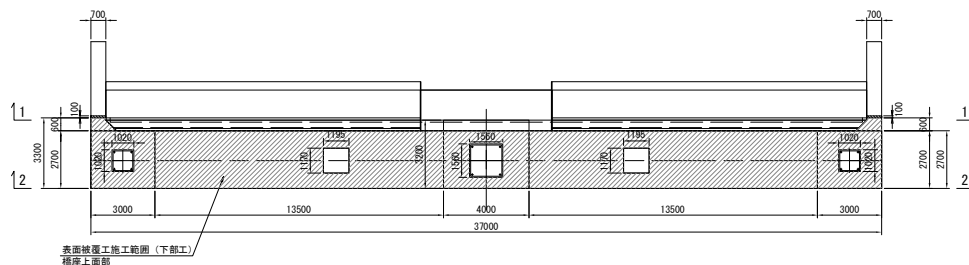


2 - 2

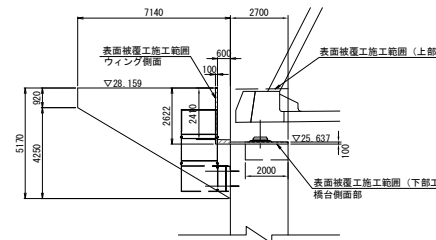


橋台平面図

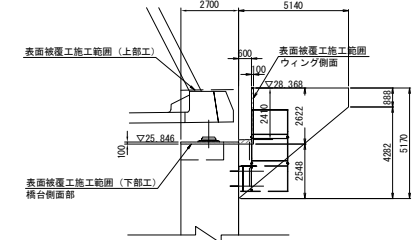
3 - 3



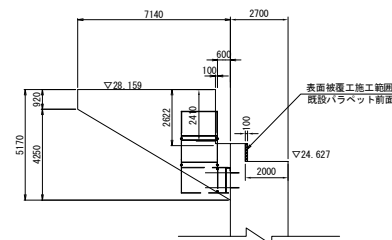
4 - 4 (A1)



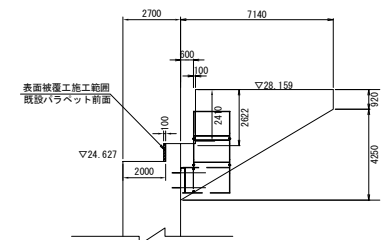
4 - 4 (A2)



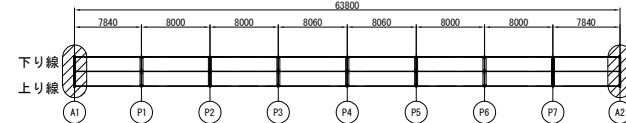
4 - 5 (A1)



4 - 5 (A2)



配置図



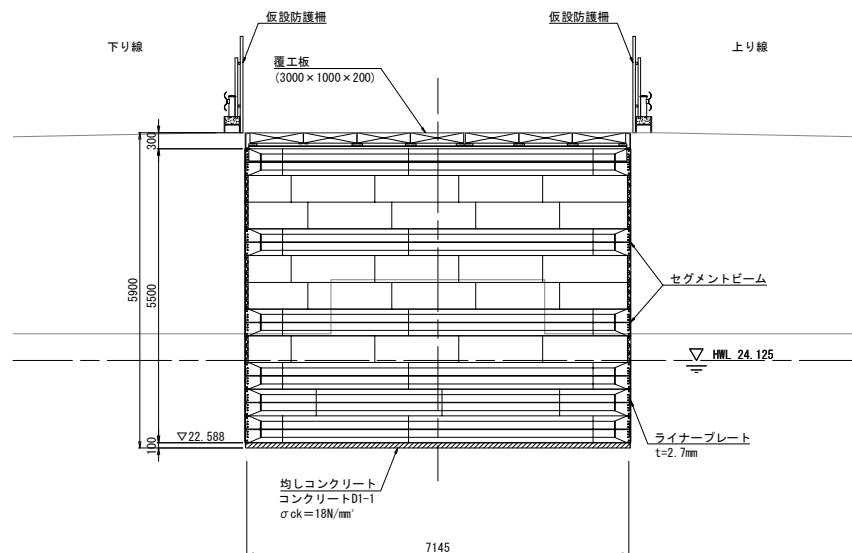
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	コンクリート表面被覆工詳細図		
縮尺	1/250	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理株式会社		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

構造物掘削図 (その1)

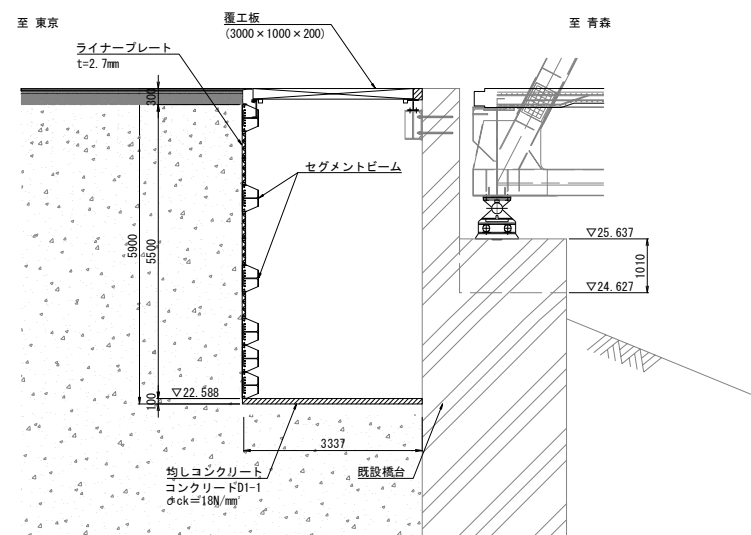
S=1/100

A1橋台

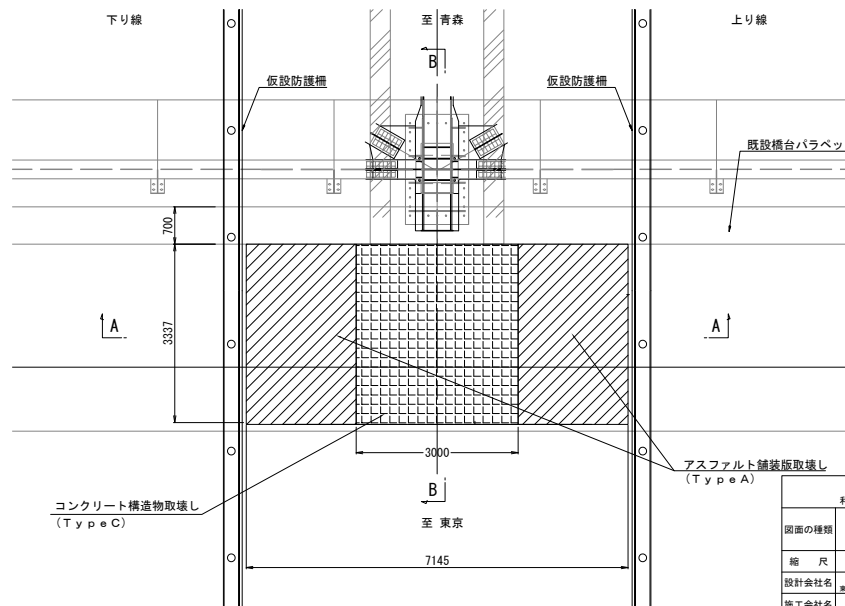
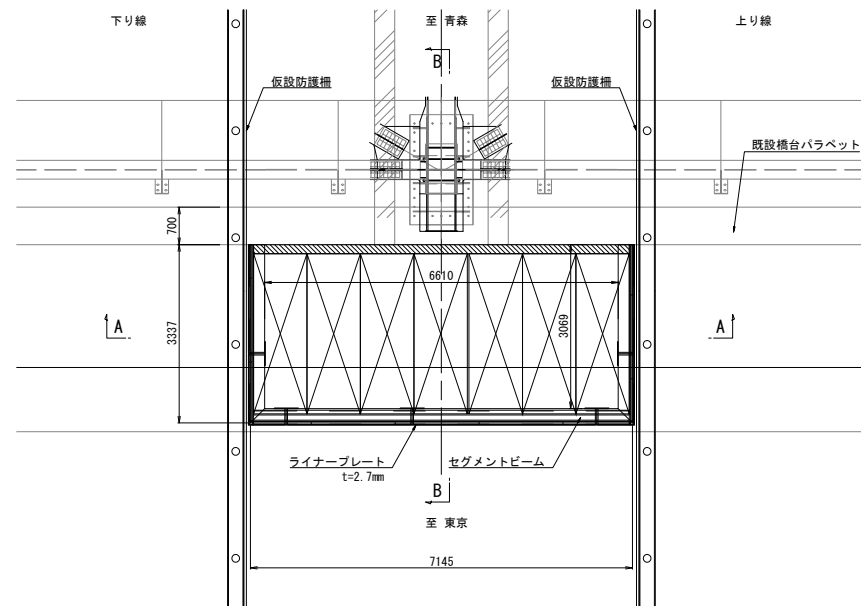
A-A断面図



B-B断面図

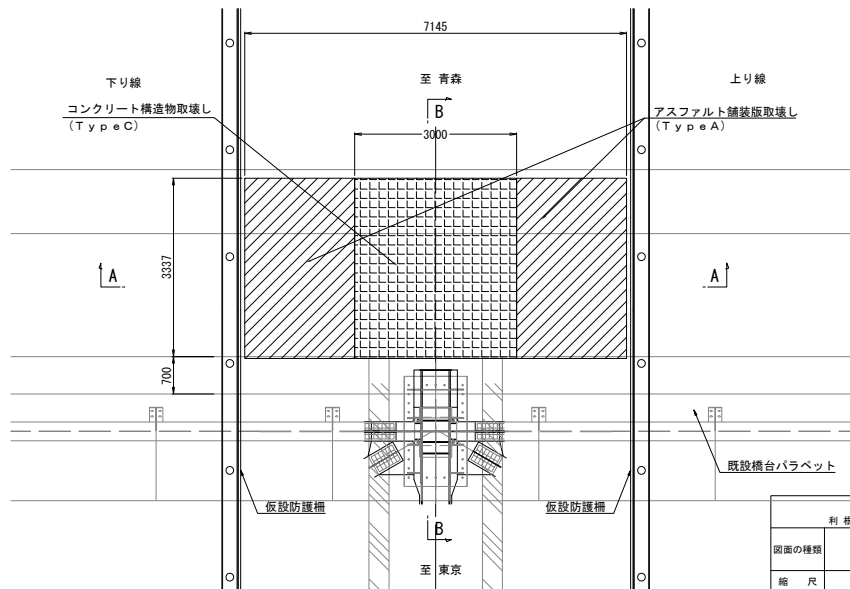
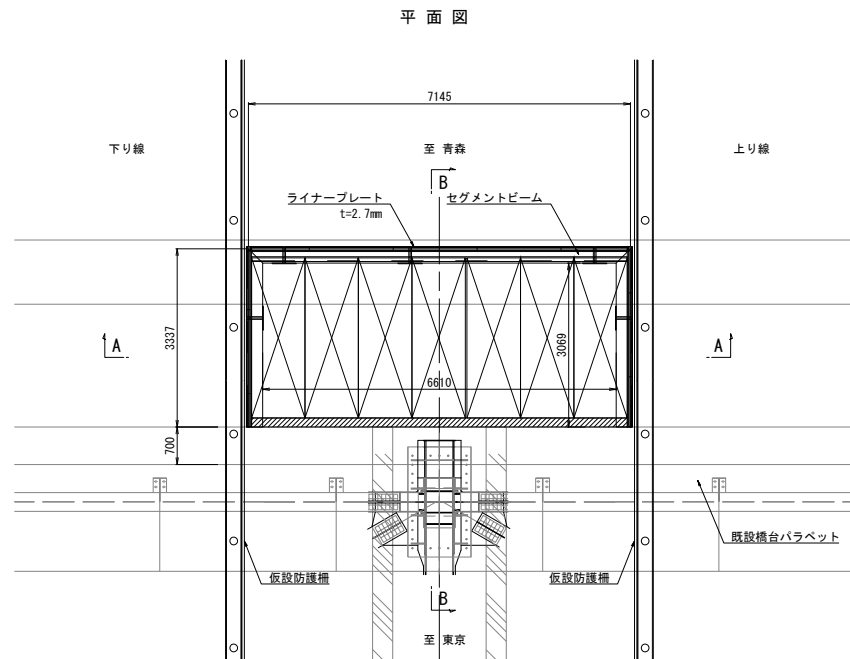
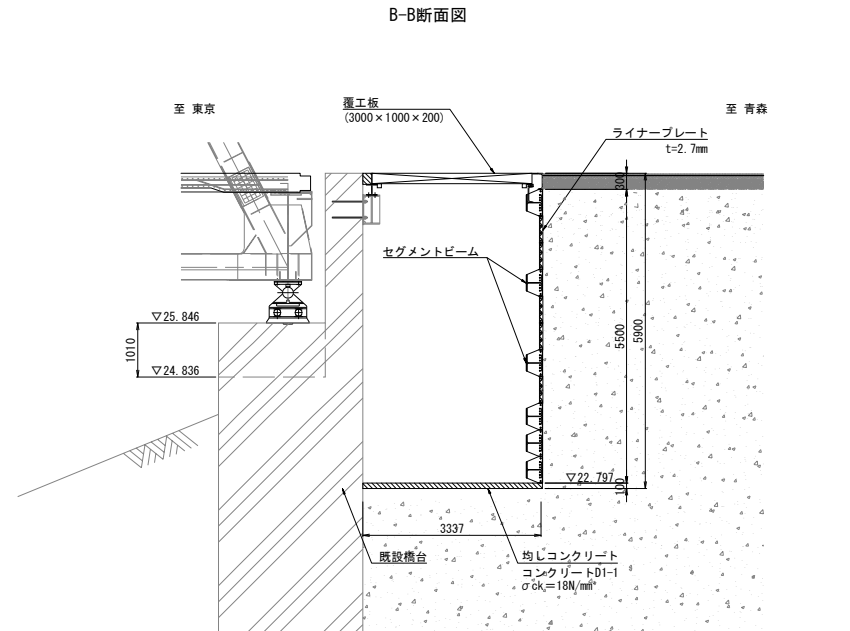
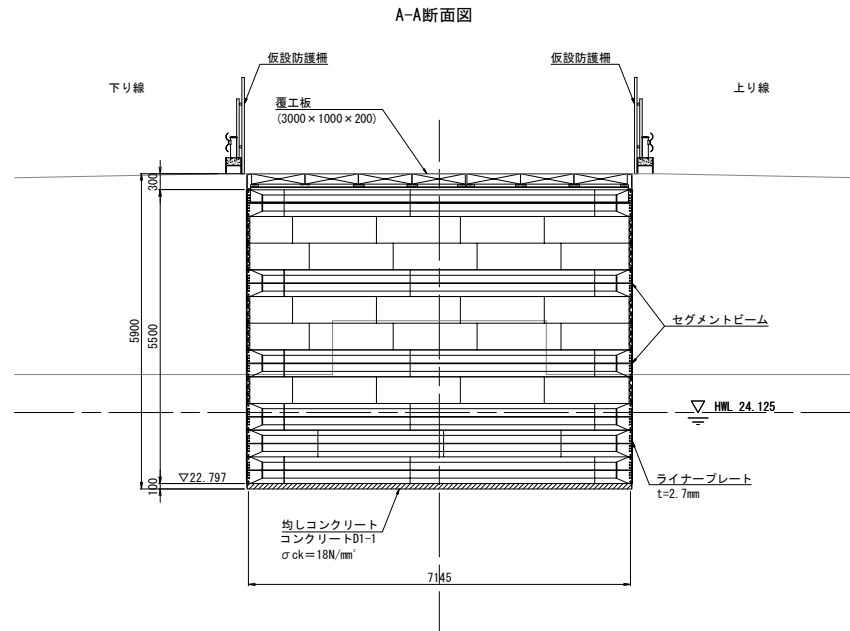


平面図



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図 (その1)		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・建設技研株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

構造物掘削図（その2） S=1/100
A2橋台



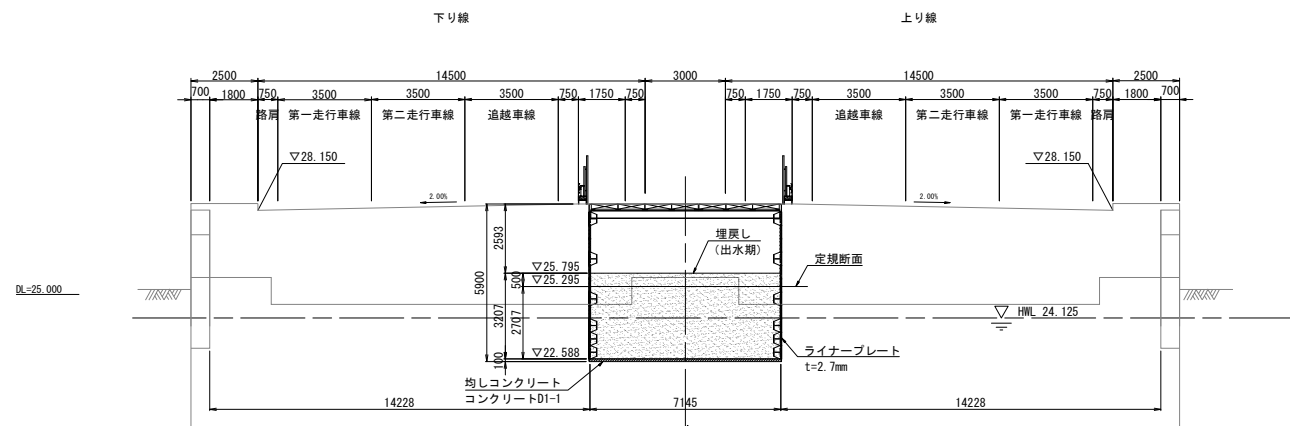
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図（その2）		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・建設技研株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計・監理・施工共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

構造物掘削図（その3）

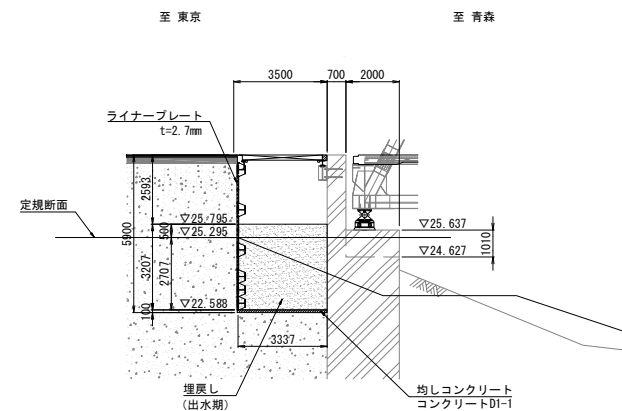
S=1/200

A1橋台 出水期

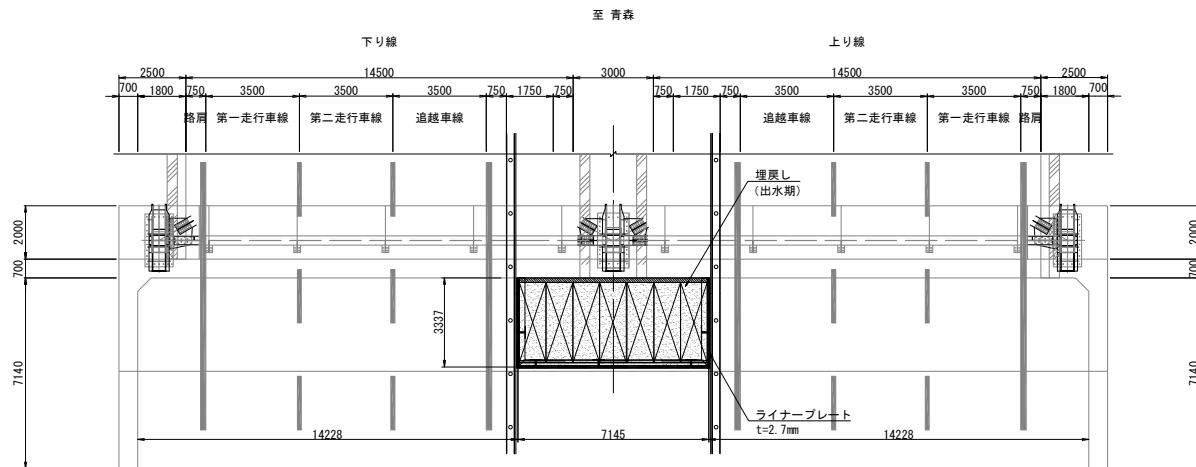
正面図



立坑部



平面図

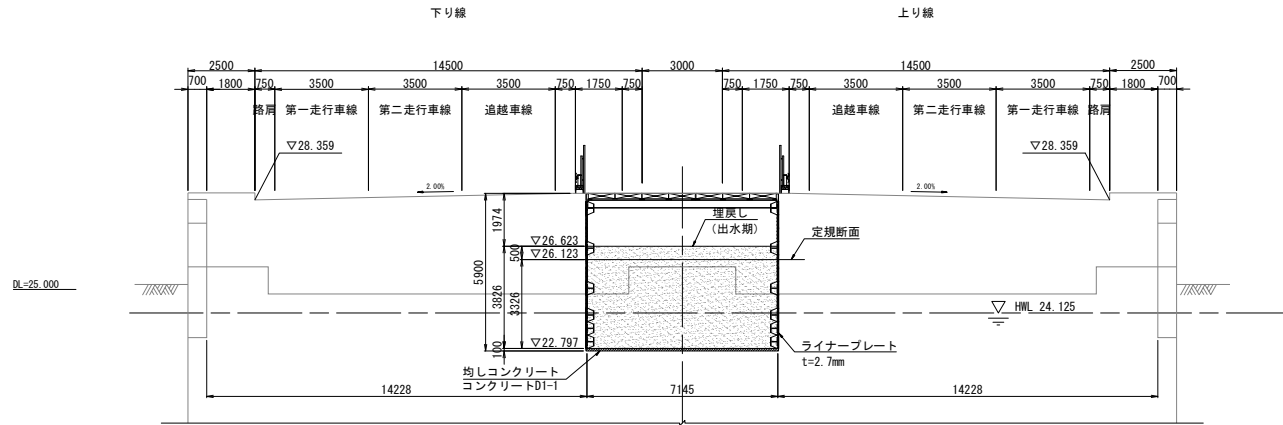


注) 出水期の埋戻し時、ライナープレートは撤去しない。

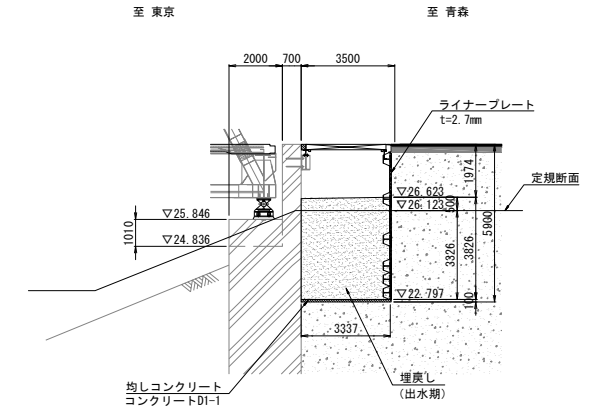
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図（その3）		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

構造物掘削図（その4） S=1/200
A2橋台 出水期

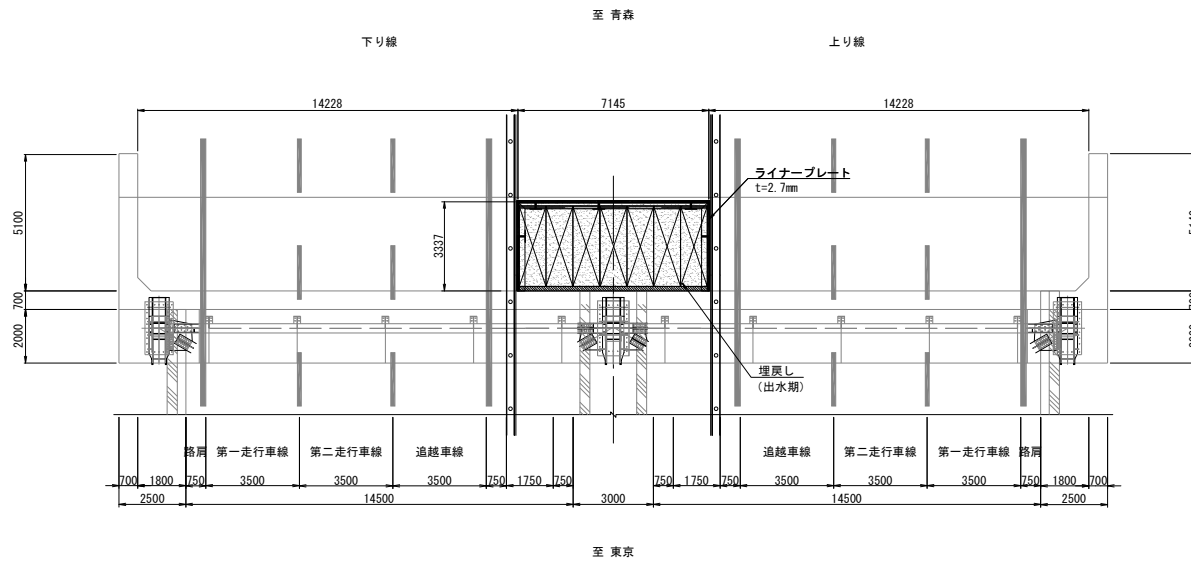
正面図



立坑部



平面図

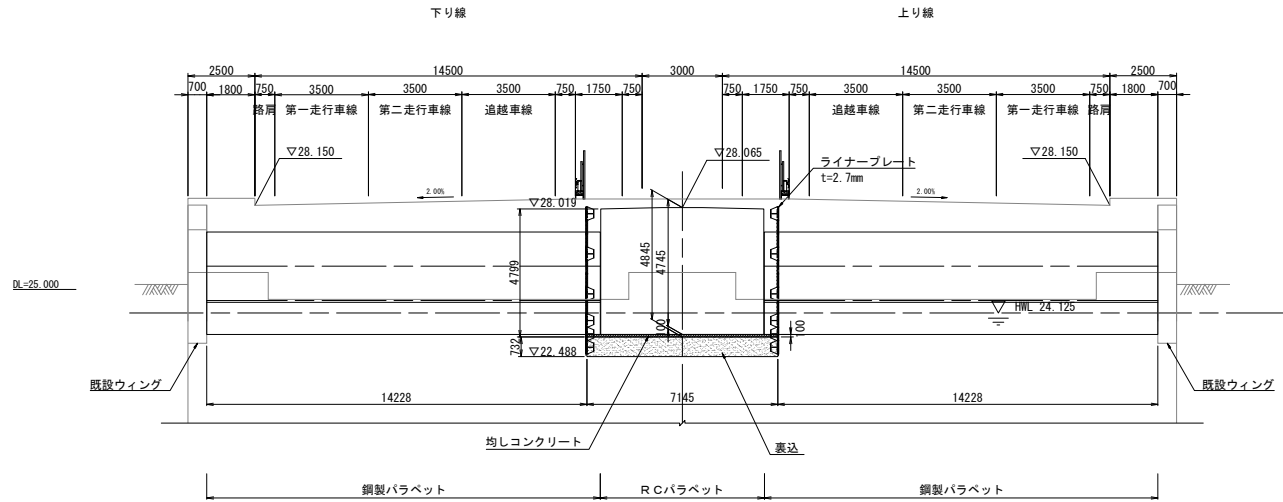


注) 出水期の埋戻し時、ライナープレートは撤去しない。

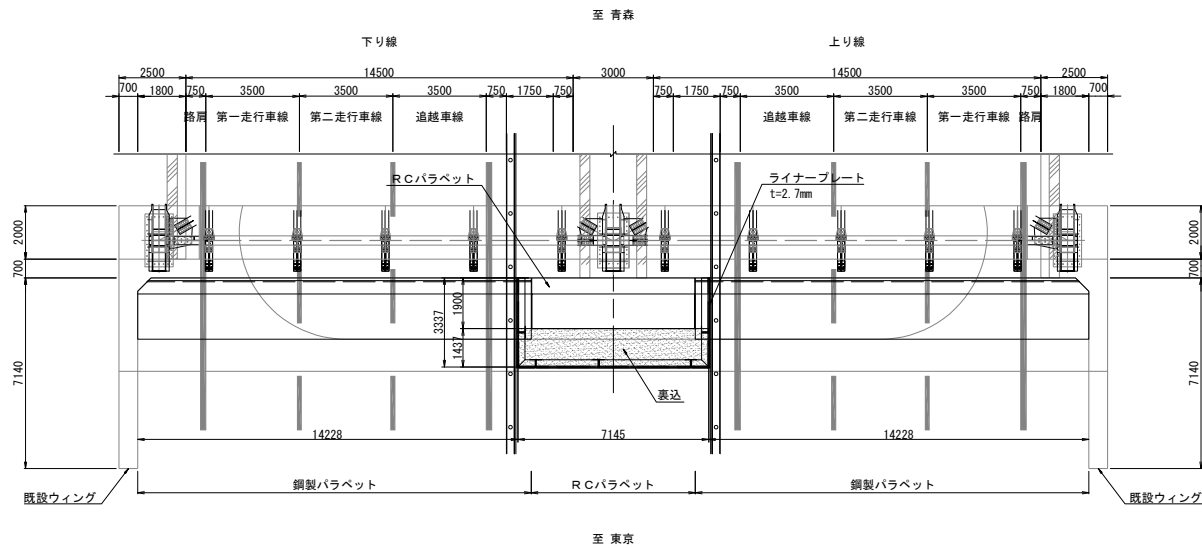
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図（その4）		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設設計事務所 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

構造物掘削図（その5） S=1/200
A1橋台

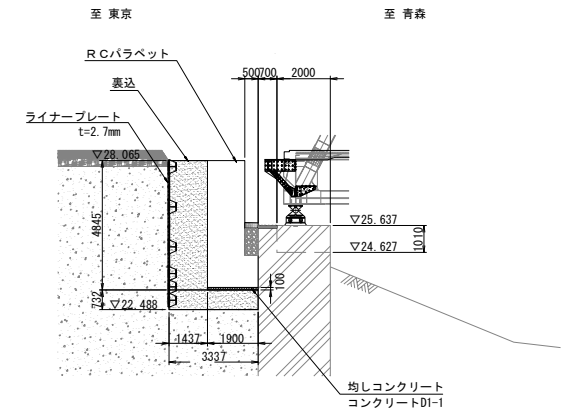
正面図



平面図



RCパラベット部

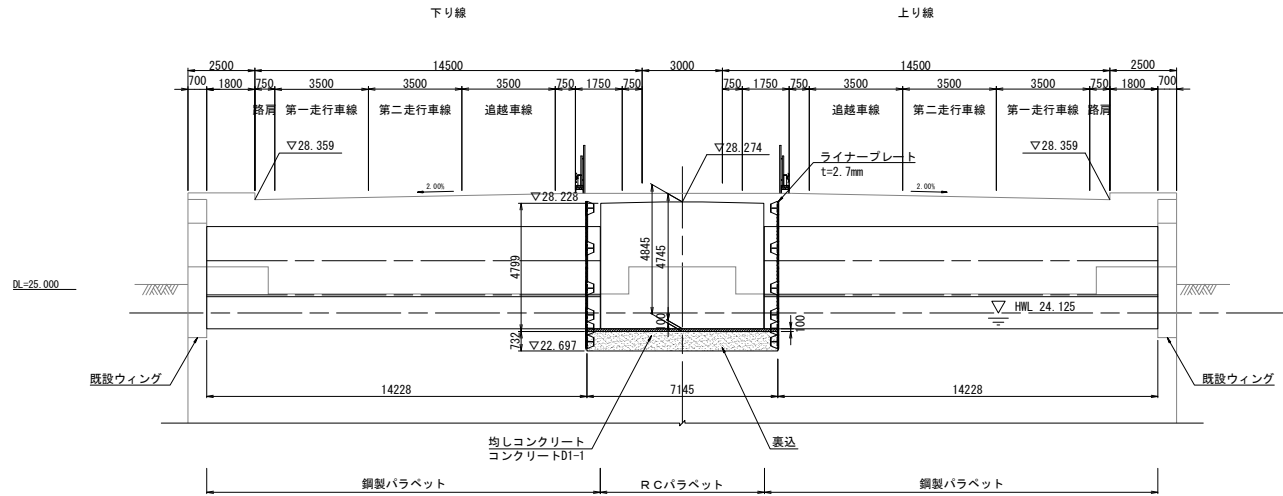


注) 最終的な埋戻しはライナープレート・立坑の均しコンクリートを撤去する。

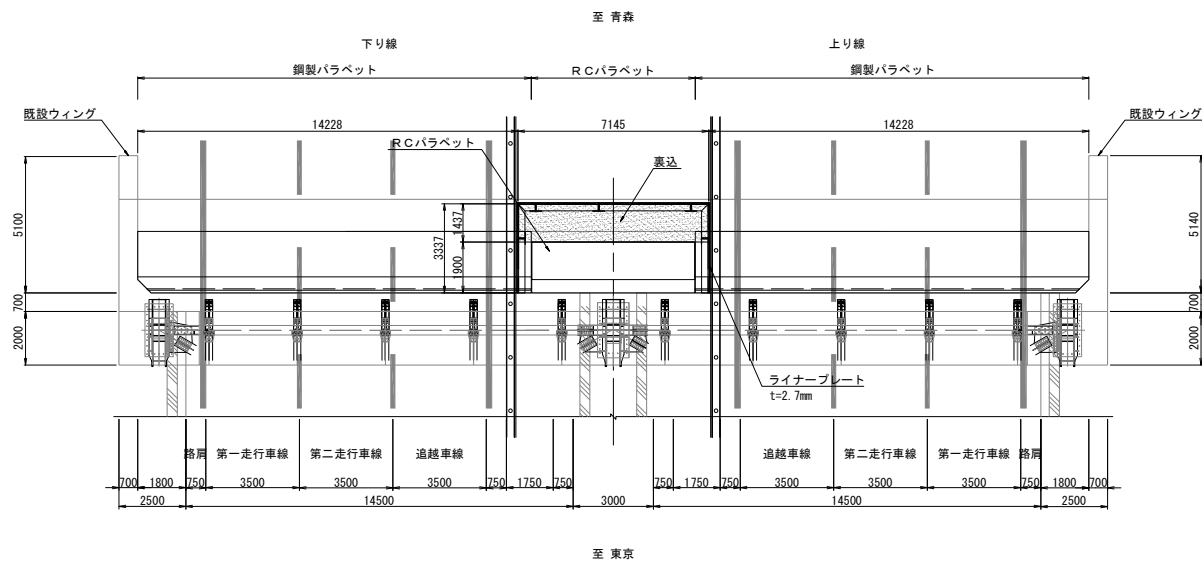
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図（その5）		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設設計事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

A2橋台

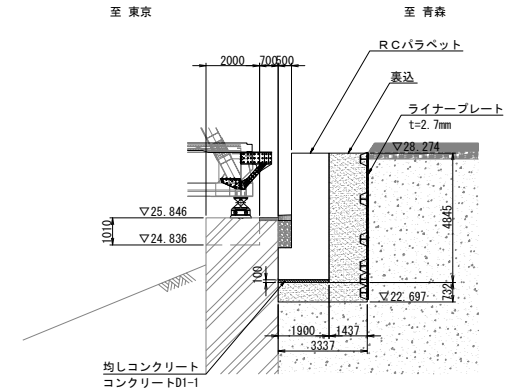
正面図



平面図



RCパラペット部



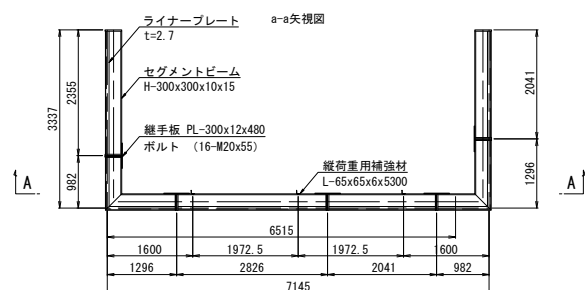
注) 最終的な埋戻しはライナープレート・立坑の均しコンクリートを撤去する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物断面図（その6）		
縮 尺	1/200	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特設建設事務局企業係		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

構造物掘削図（その7）

S=1/100

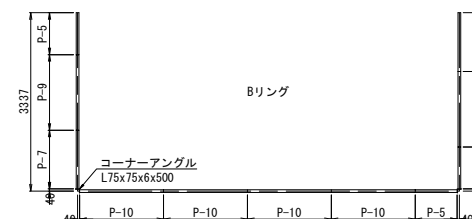
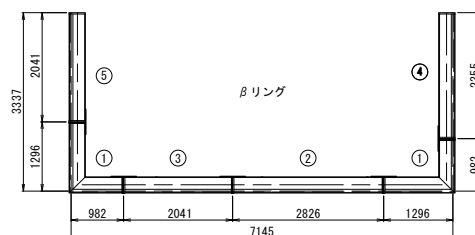
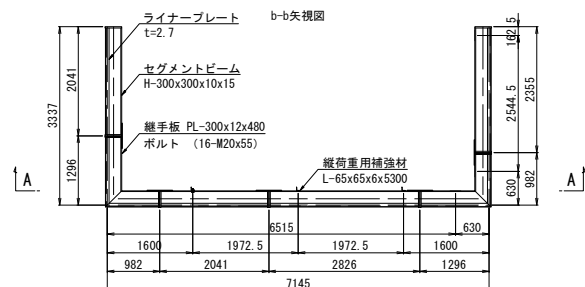
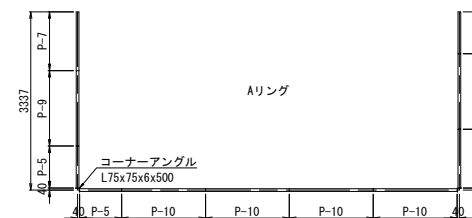
平面図



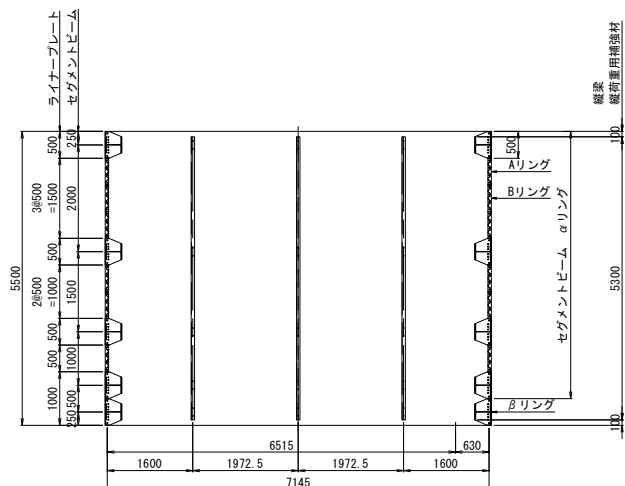
セグメントビーム構成図



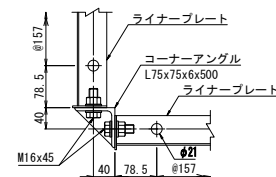
ライナープレート構成図



A-A断面図



コーナー部詳細図（参考図）S=1/5

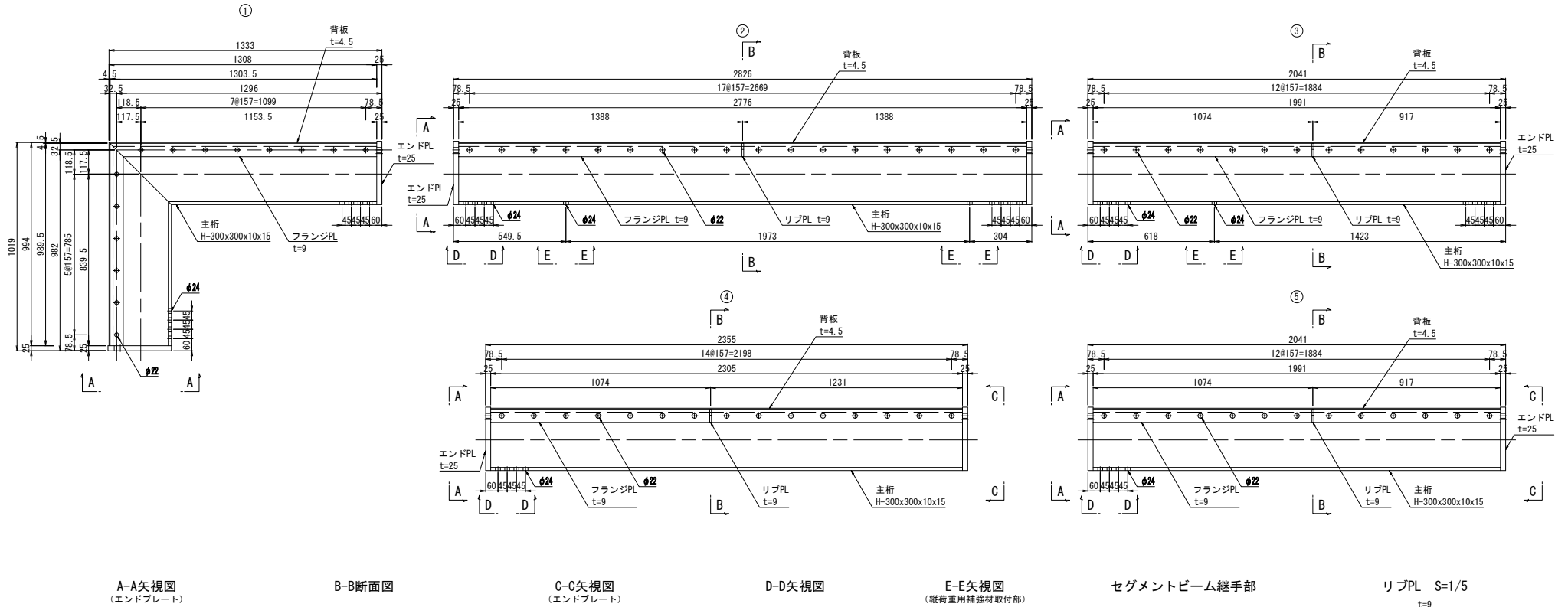


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図（その7）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

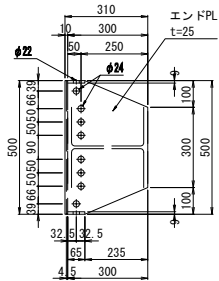
構造物掘削図（その8）

S=1/100

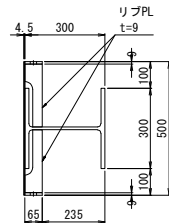
セグメントビーム構成図
(H-300x300x10x15)



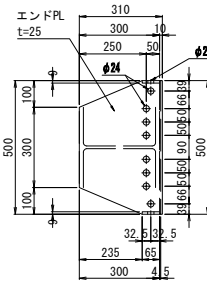
A-A矢視図
(エンドプレート)



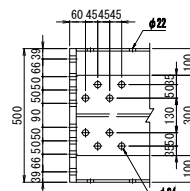
B-B断面図



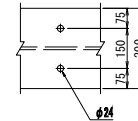
C-C矢視図
(エンドプレート)



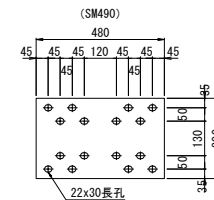
D-D矢視図



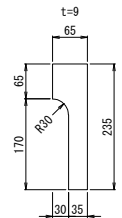
E-E矢視図
(縦荷重用補強材取付部)



セグメントビーム継手部



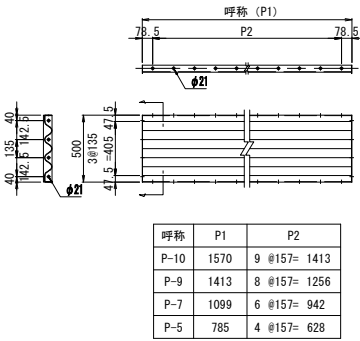
リブPL S=1/5



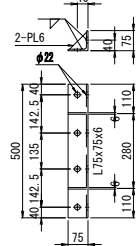
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	構造物掘削図（その8）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社設計事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

構造物掘削図（その9）

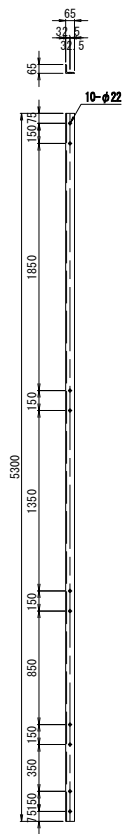
ライナープレート S=1/40



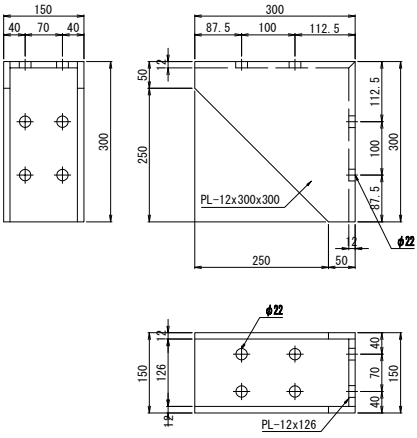
コーナーアングル S=1/20



縦荷重用補強材 S=1/40
(L=65x65x6)



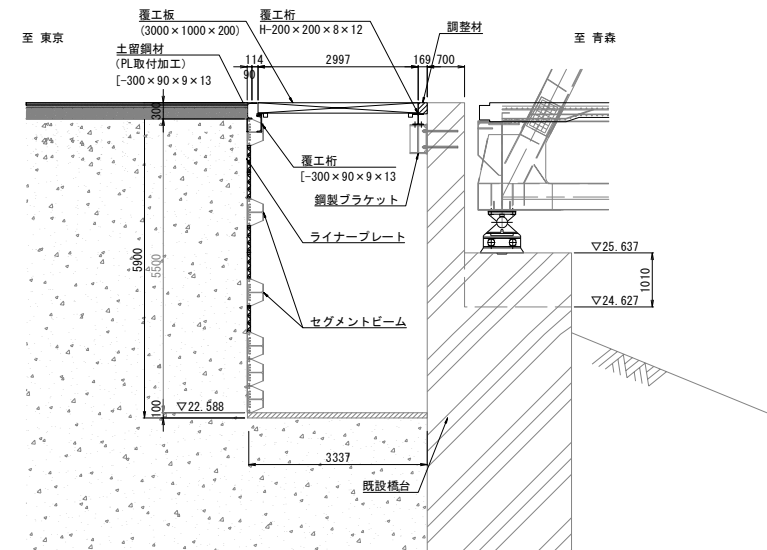
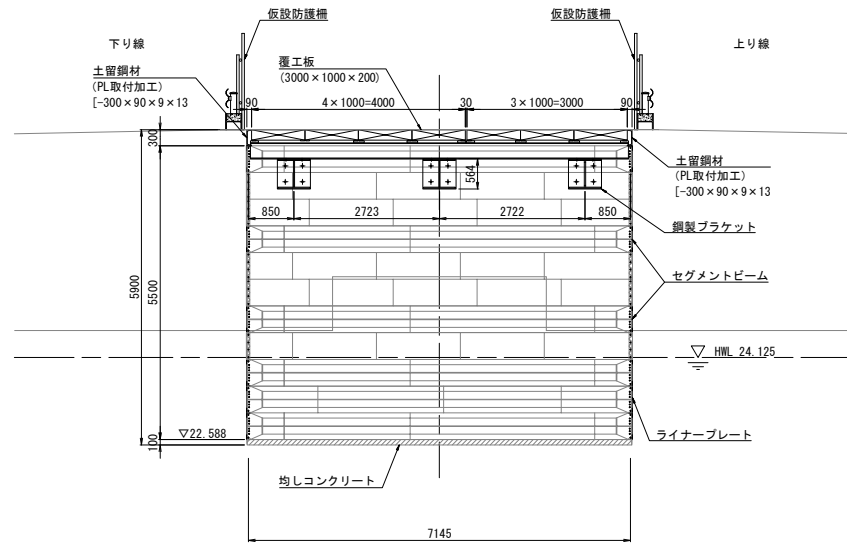
火打ち部材 S=1/10
(PL=12x300x300)



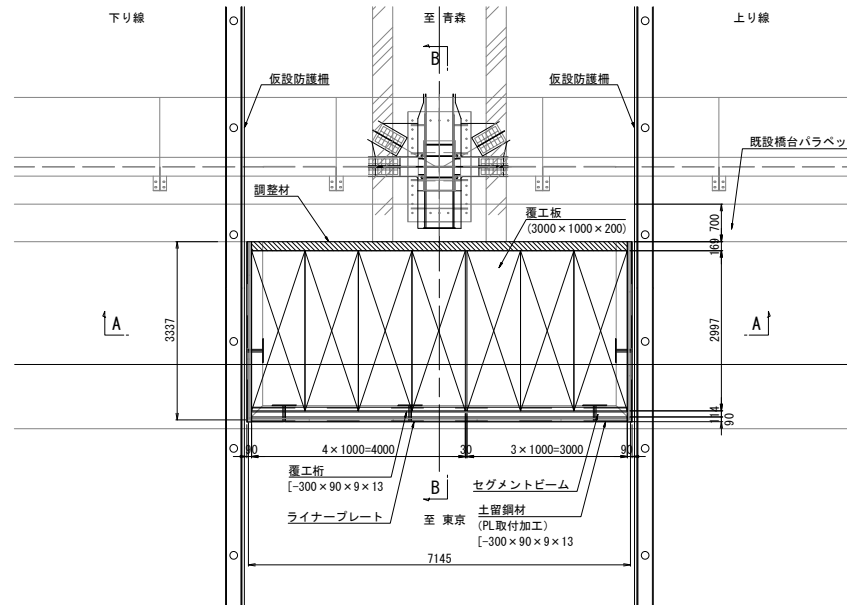
資材表		D24-LPK-1391			
品名	サイズ (mm)	単位質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ライナープレート(L=2.7)・・・B3327×L7145×H6500					
ライナープレート	P-10	28.0	24	824.0	黒皮品
ライナープレート	P-9	23.0	12	283.2	黒皮品
ライナープレート	P-7	18.0	12	223.2	黒皮品
ライナープレート	P-5	13.0	12	168.0	黒皮品
縦立ボルト	M18×30(4.8)	0.137	488	66.8	黒皮品
縦立ボルト	M18×45(8.8、セグメントビーム用)	0.138	808	111.5	黒皮品
縦立ボルト	M18×45(8.8、CA用)	0.138	80	11.0	黒皮品
コーナーアングル	L75×75×6×800	3.88	12	48.6	黒皮品 PL-8付
セグメントビーム(D200)・・・リング&8分銅ノリリング					
セグメントビーム①	L=2332	28.0	10	280.0	黒皮品 (背板、フランジPL、エンドPL) 含む
セグメントビーム②	L=2828	38.0	5	190.0	黒皮品 (背板、フランジPL、 エンドPL、リブPL) 含む
セグメントビーム③	L=2841	28.0	5	140.0	黒皮品 (背板、フランジPL、 エンドPL、リブPL) 含む
セグメントビーム④	L=2838	32.0	5	160.0	黒皮品 (片側端部手用孔無し) 含む
セグメントビーム⑤	L=2841	28.0	5	140.0	黒皮品 (背板、フランジPL、 エンドPL、リブPL) 含む
縦字板(BM480)	PL200×12×480	13.38	25	334.5	黒皮品
縦字ボルト	M20×35(10.8)	0.580	400	232.0	黒皮品 (側手板用)
縦字ボルト	M20×80(10.8)	0.369	200	73.8	黒皮品 (エンドPL用)
小計				1183.7	kg
火打ち部材	PL-12×300×300/150	11.8	8	94.4	黒皮品
火打ち部材取付ボルト	M20×80(8.8)	0.276	88	24.3	黒皮品
縦荷重用補強材	L65×65×6×3300	24.1	9	216.9	黒皮品
縦荷重用補強材取付ボルト	M20×50(8.8)	0.275	30	8.3	黒皮品
小計				201.4	kg
合計				1188.1	kg

※鋼手板はSMA490材を適用する。

B-B断面图

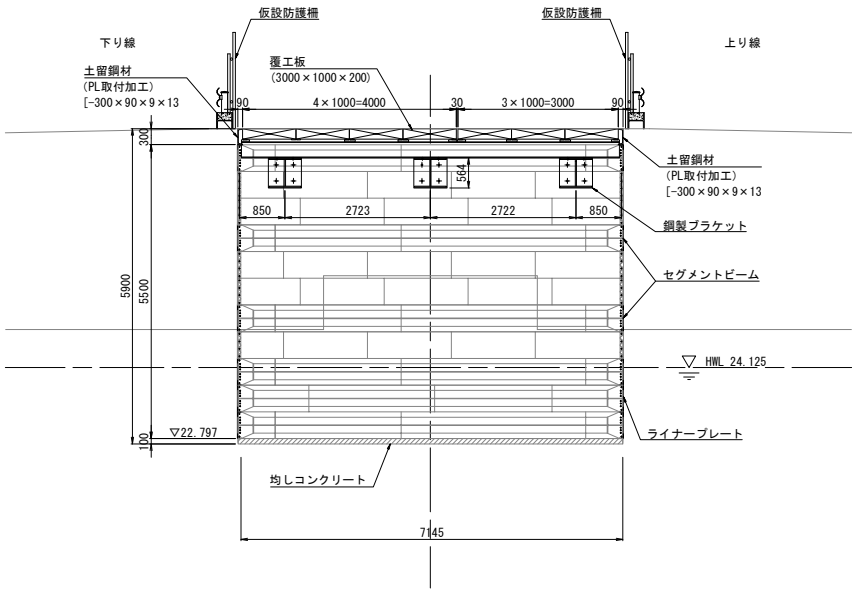


平面図

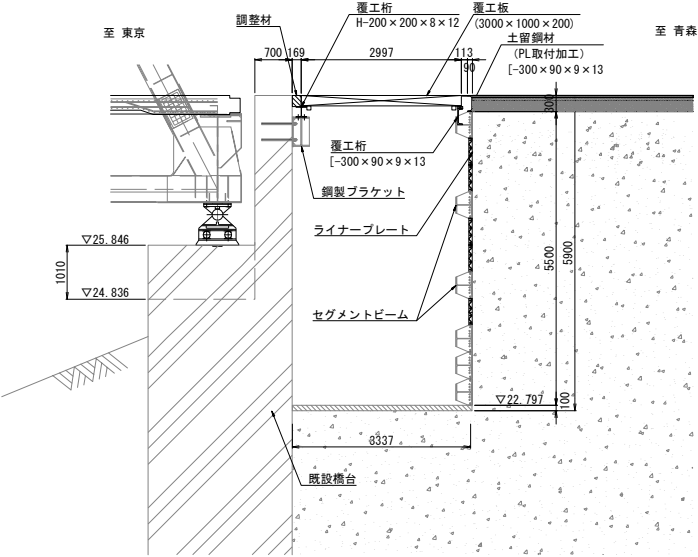


東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１）		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特設建設事務局企業棟		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

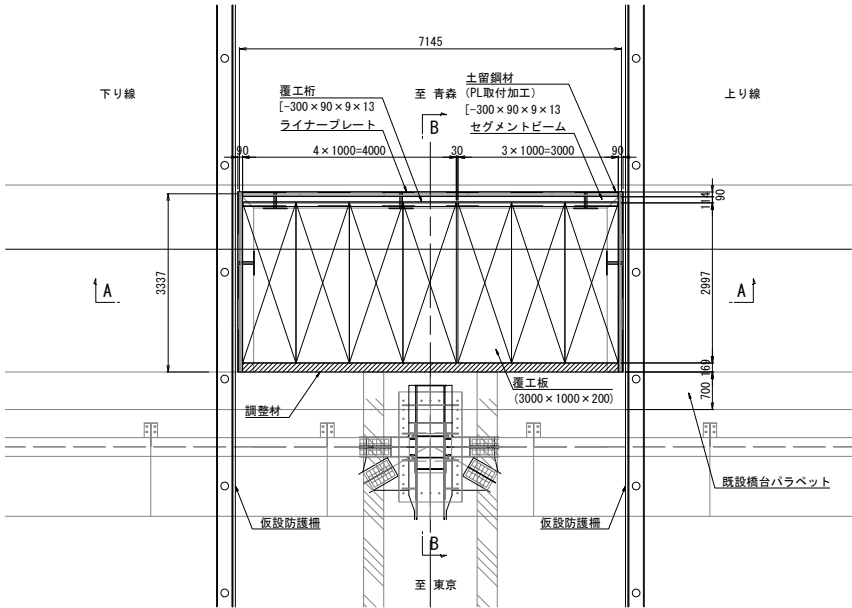
A-A断面図



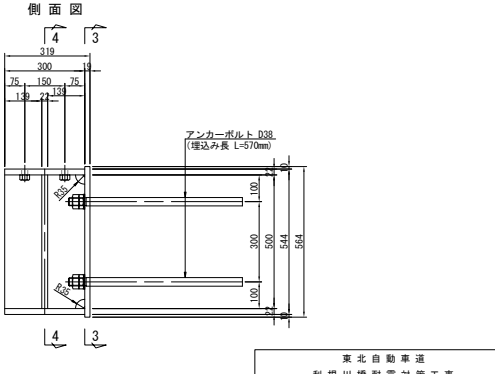
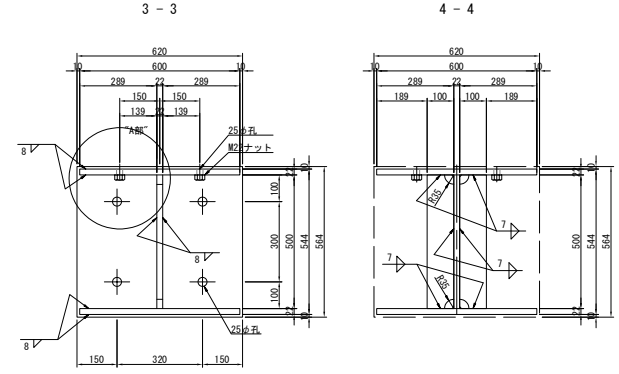
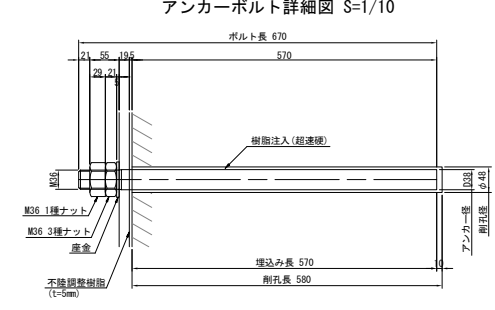
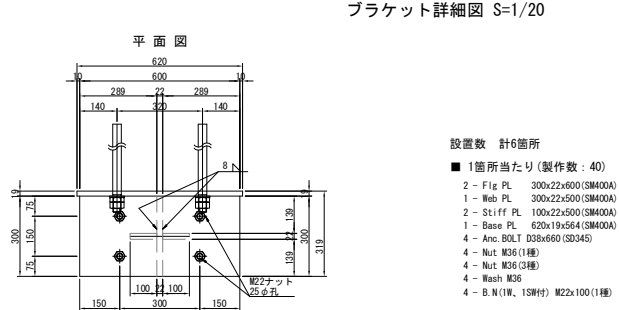
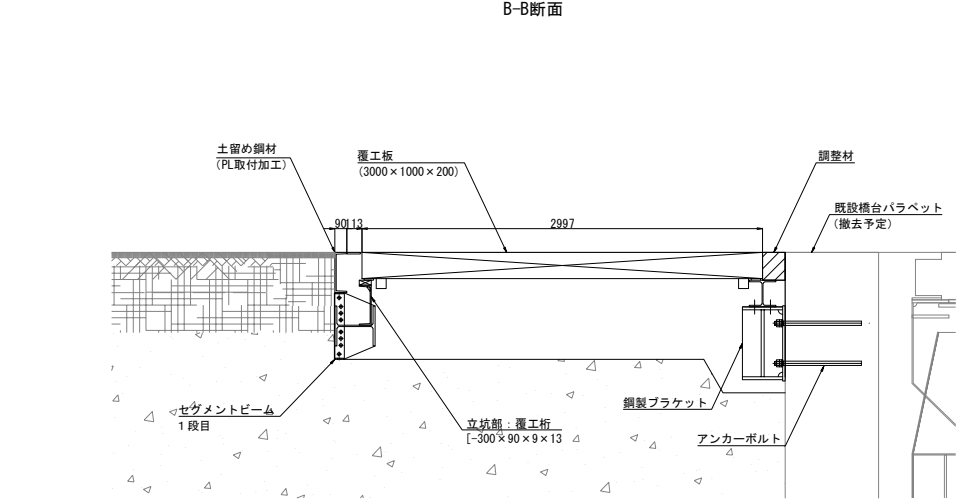
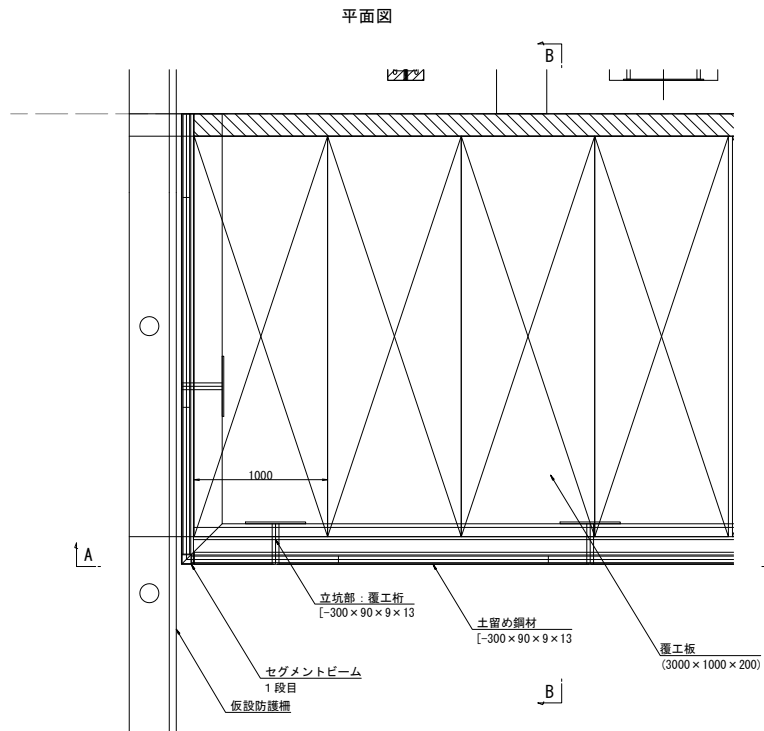
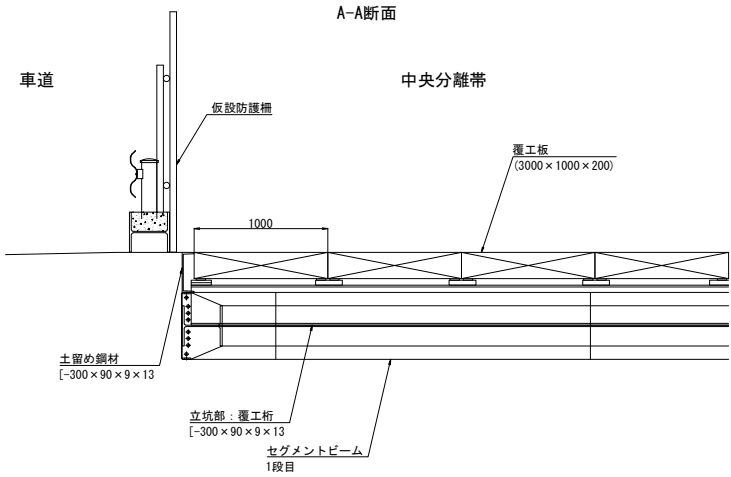
B-B断面図



平面図



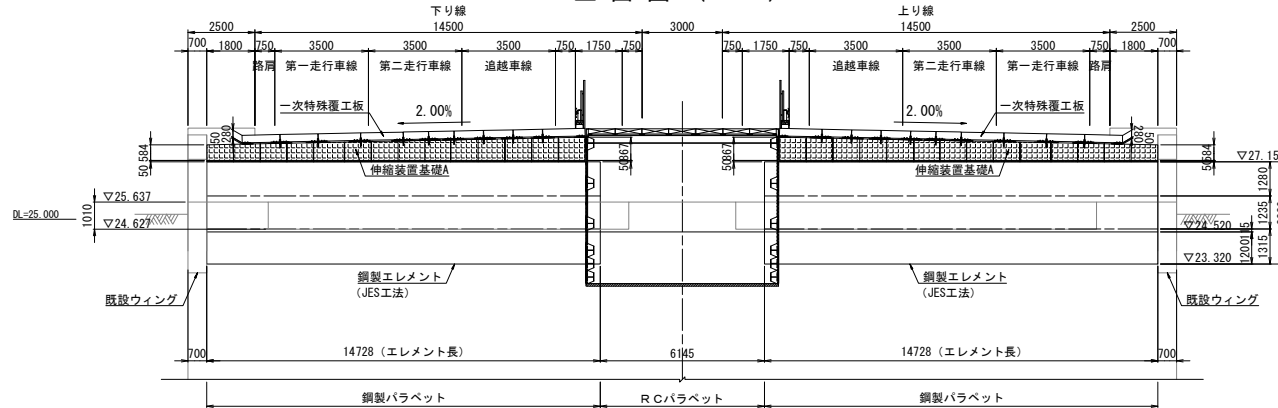
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その2）		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		



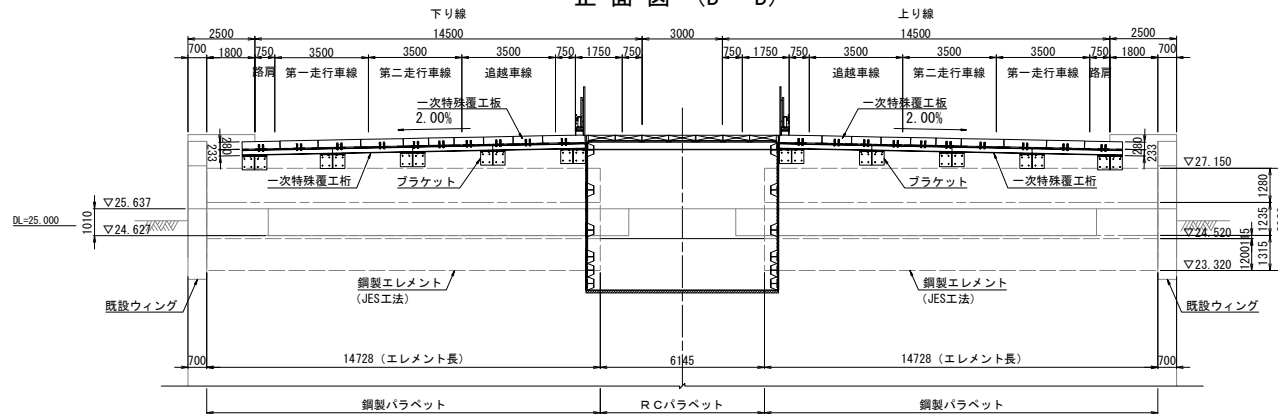
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・株式会社建設設計事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

A1橋台 一次覆工一般図

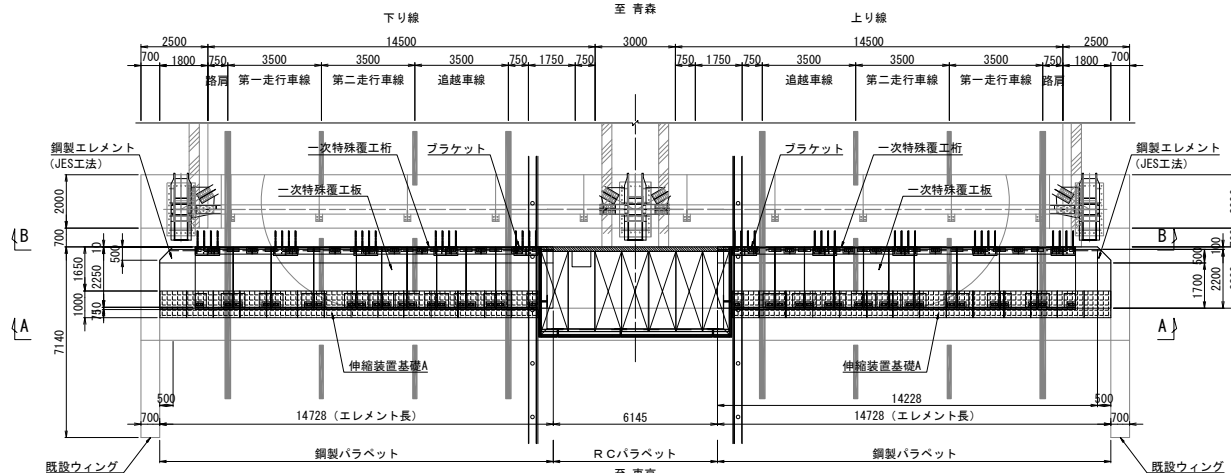
正面図 (A-A)



正面図 (B-B)

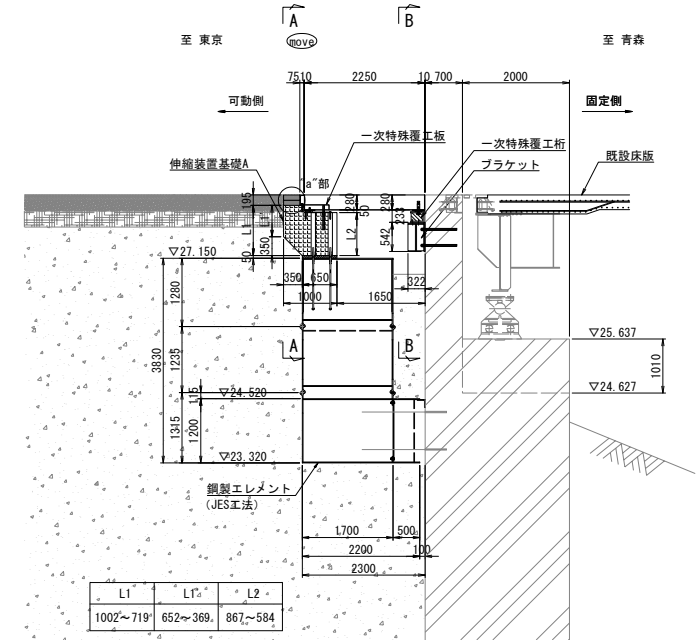


平面図



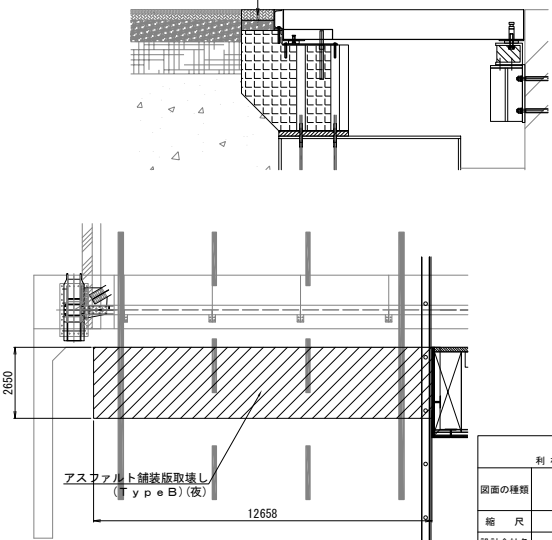
断面図 S=1/100

鋼製バラベット部



"a"部詳細図 S=1/50

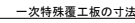
基層用遮水性アスファルト(100mm)
アスファルト安定処理(95mm)



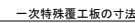
注) 1. 覆工板下面には浮き上がり防止ワイヤーを設置する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その4）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

A - A



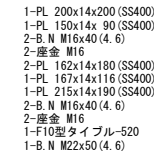
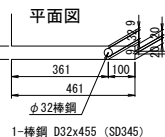
B - B



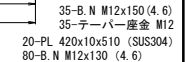
14500



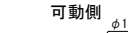
至 東京

$$S=1/40$$

$$S=1/20$$


S=1/20



$S=1/40$


$$S=1/20$$


※スプリングワッシャーとする

ボルト部詳細

M16

ナジミ層

青層 $t=1\text{mm}$

E $t=1\text{mm}$

SS400 (9mm)

SS400 (2.3mm)

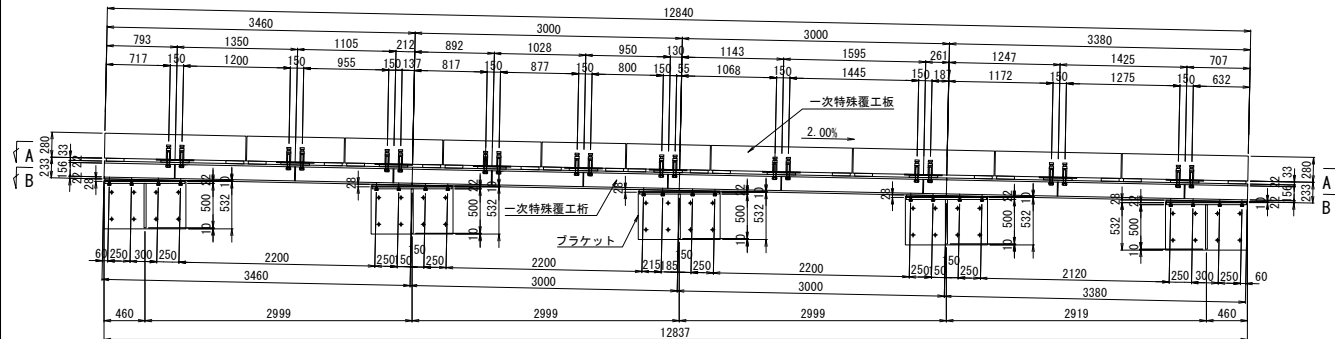
クロロプレン

$\Sigma t=6\text{mm} \times 2\text{層}$

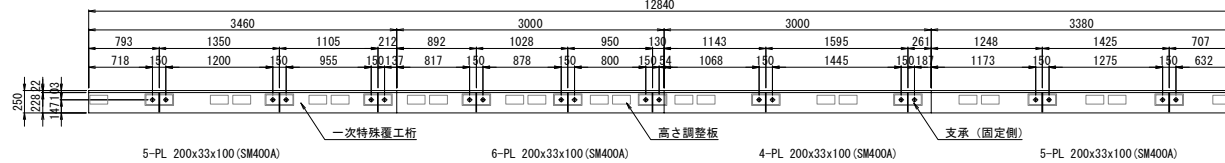
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その５）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事技術監理事務局企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

A1橋台 上り線一次特殊覆工桁詳細図

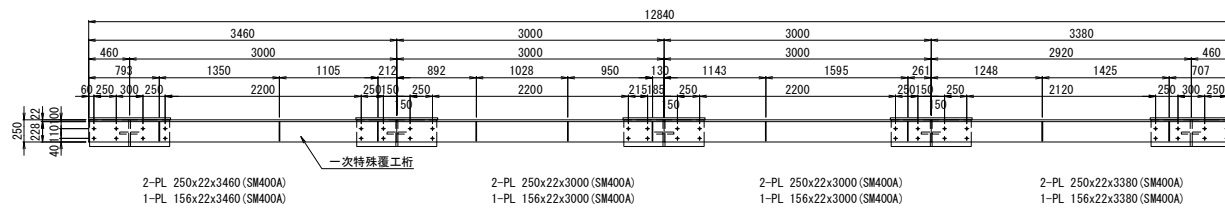
正面図



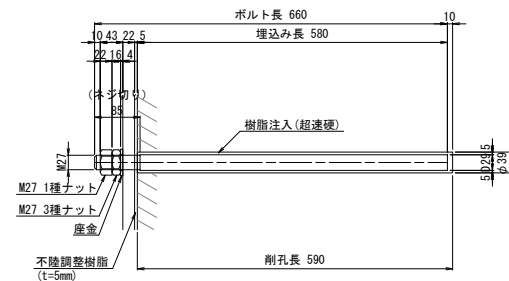
A - A



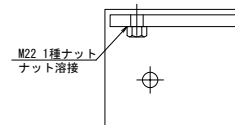
B - B



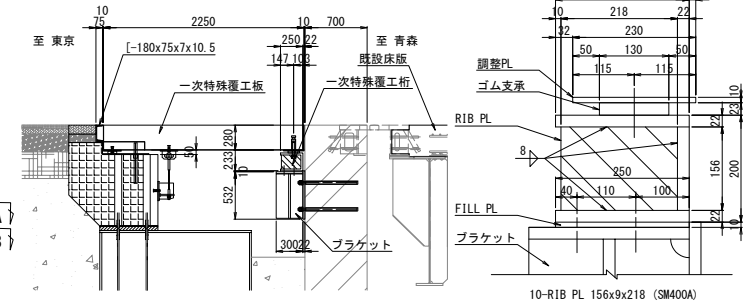
アンカーボルト詳細図 S=1/10



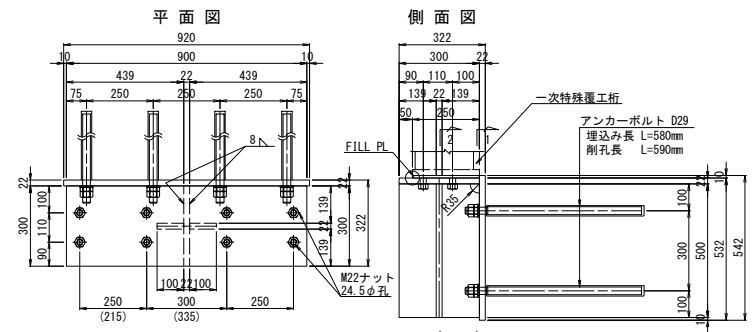
"A"部詳細図 S=1/10



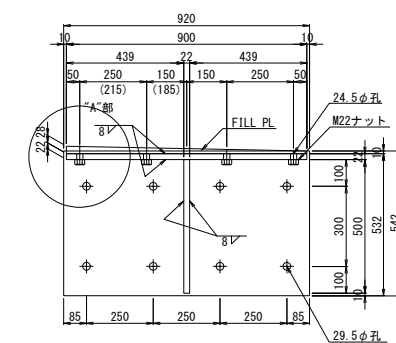
断面図



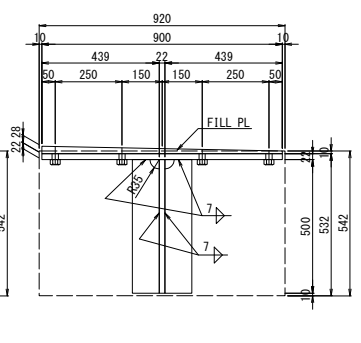
ブラケット詳細図 S=1/20



1 -



2 - 2



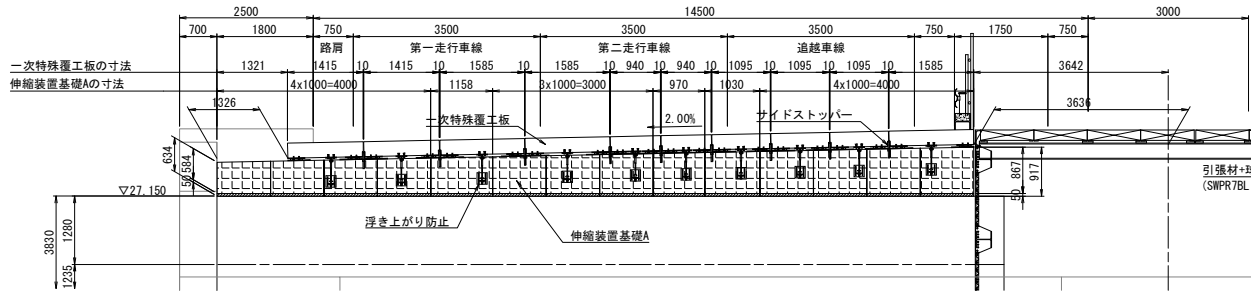
1箇所当たり(製作数:5)

- 1 - Fig PL 300x22x900 (SM400A)
1 - Web PL 300x22x500 (SM400A)
2 - Stiff PL 100x22x500 (SM400A)
1 - Base PL 920x22x542 (SM400A)
8 - Anc. BOLT D29x660 (SD345)
8 - Nut M27 (1種)
8 - Nut M27 (3種)
8 - Wash M27
8 - B.N (1SW付) M22x110 (4.6) (1種ナット)
1 - FILL PL 250x28x900 (SS400)

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その6）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特別監理工事員企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 茨城県 水戸市 加須 御車場事務所		

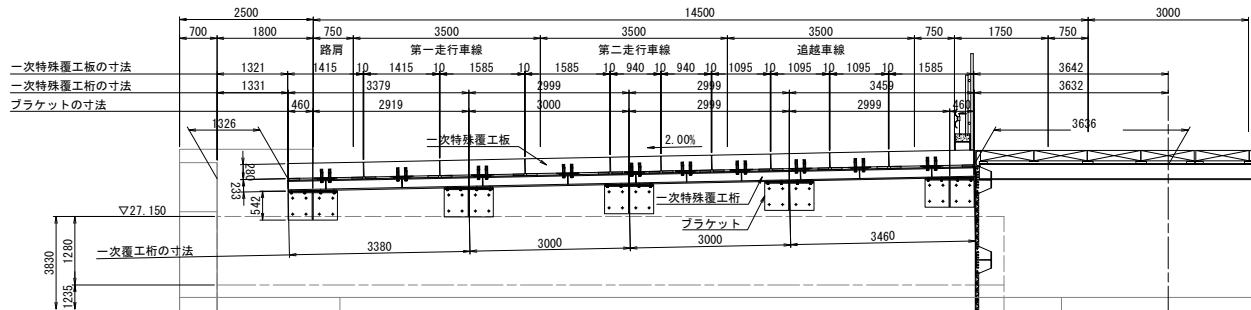
正面図

A - A

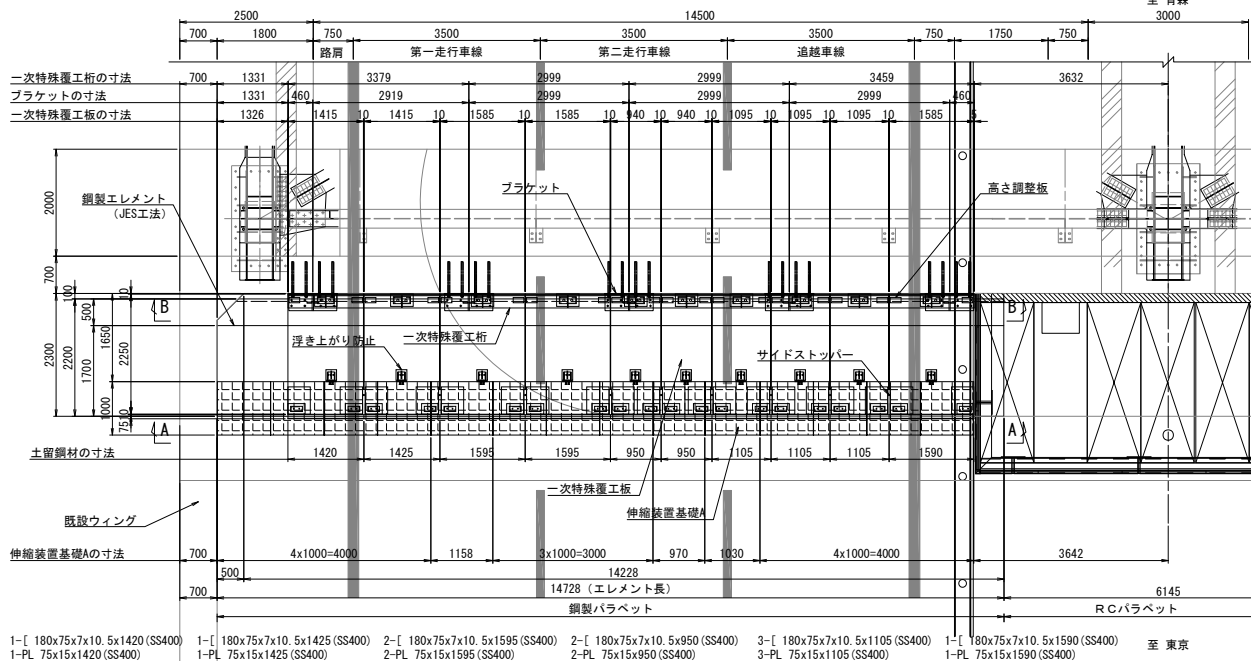


正面図

B - B



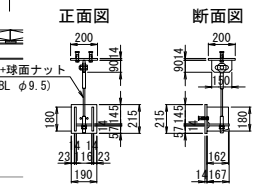
平面図



1-[180x75x7x10. 5x1420 (SS400) 1-[180x75x7x10. 5x1425 (SS400) 2-[180x75x7x10. 5x1595 (SS400) 2-[180x75x7x10. 5x950 (SS400) 3-[180x75x7x10. 5x1105 (SS400) 1-[180x75x7x10. 5x1590 (SS400)
1-PL 75x15x1420 (SS400) 1-PL 75x15x1425 (SS400) 2-PL 75x15x1595 (SS400) 2-PL 75x15x950 (SS400) 3-PL 75x15x1105 (SS400) 1-PL 75x15x1590 (SS400)

浮き上がり防止詳細図

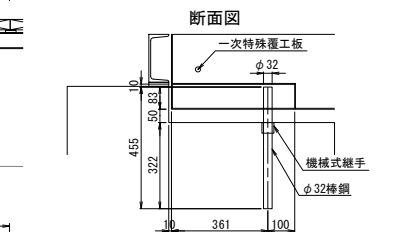
S=1/40



- 1-PL 200x14x200 (SS400)
- 1-PL 150x14x 90 (SS400)
- 2-B. N M16x40 (4. 6)
- 2-座金 M16
- 2-PL 162x14x180 (SS400)
- 1-PL 167x14x116 (SS400)
- 1-PL 215x14x190 (SS400)
- 2-B. N M16x40 (4. 6)
- 2-座金 M16
- 1-F10型タイプル-520
- 1-B. N M22x50 (4. 6)

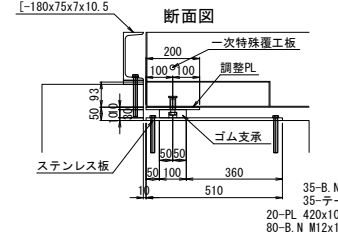
サイドストッパー詳細図

S=1/20



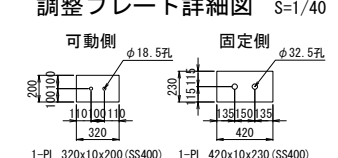
"a"部詳細図

S=1/20



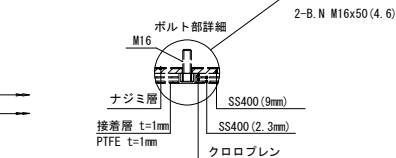
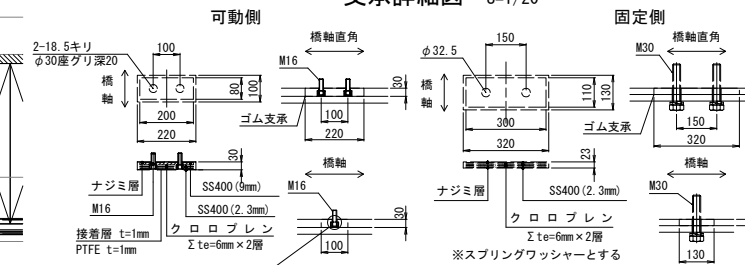
調整プレート詳細図

S=1/40



支承詳細図

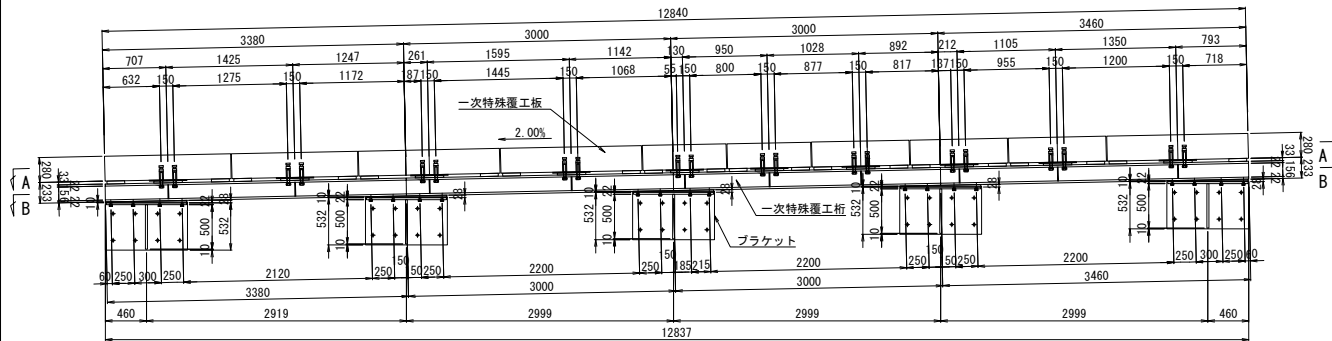
S=1/20



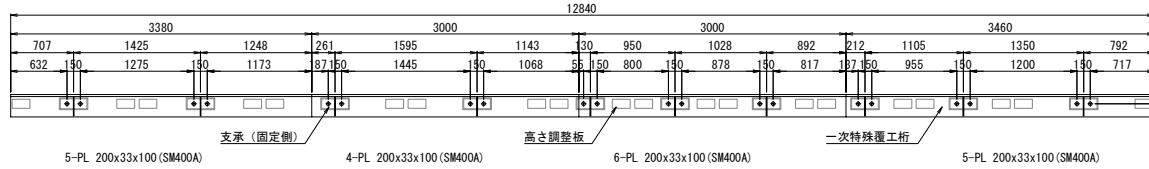
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その7）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計・施工共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

A1橋台 下り線一次特殊覆工桁詳細図

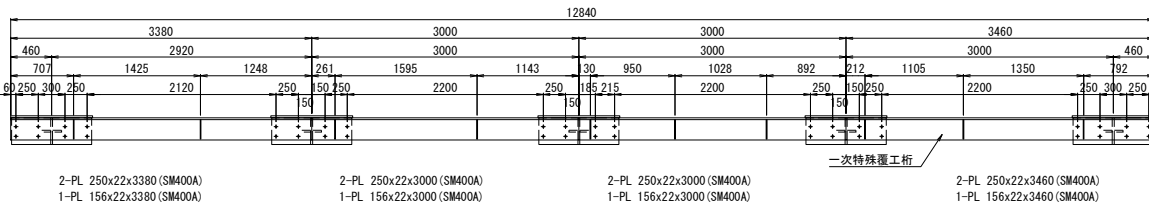
正面図



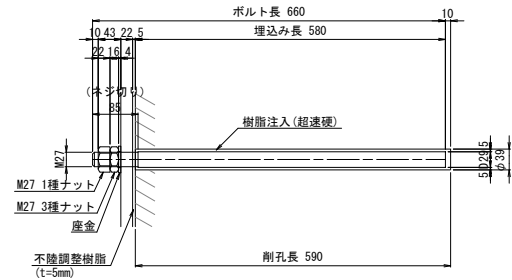
A - A



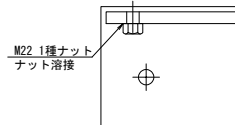
B - B



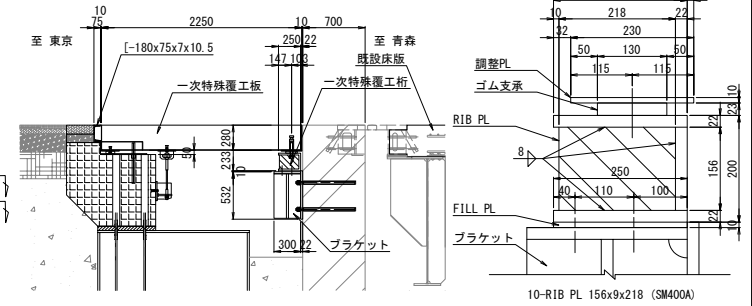
アンカーボルト詳細図 S=1/10



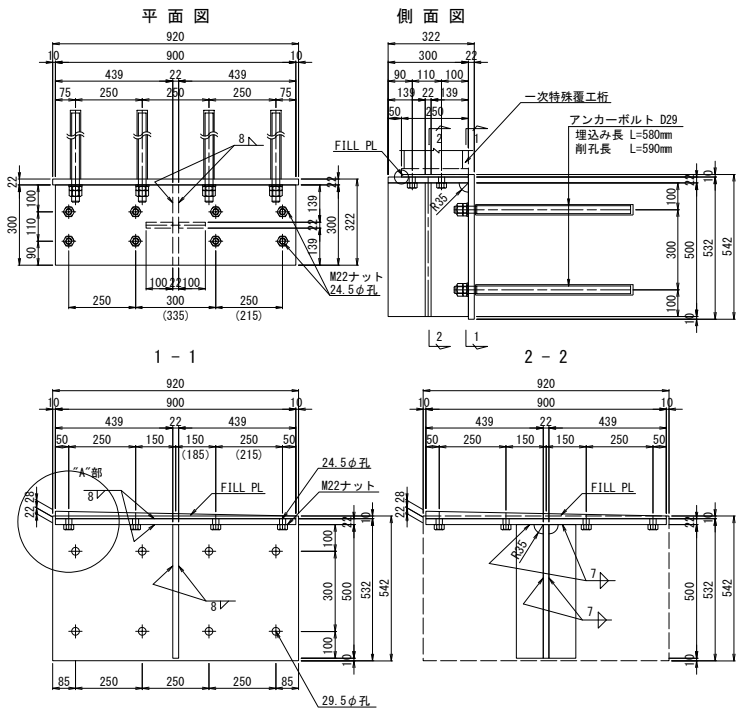
"A"部詳細図 S=1/10



断面図



ブラケット詳細図 S=1/20

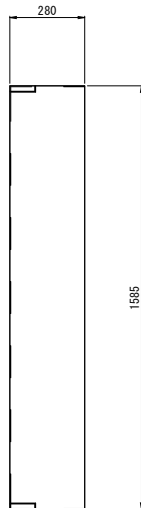


1箇所当たり(製作数:5)

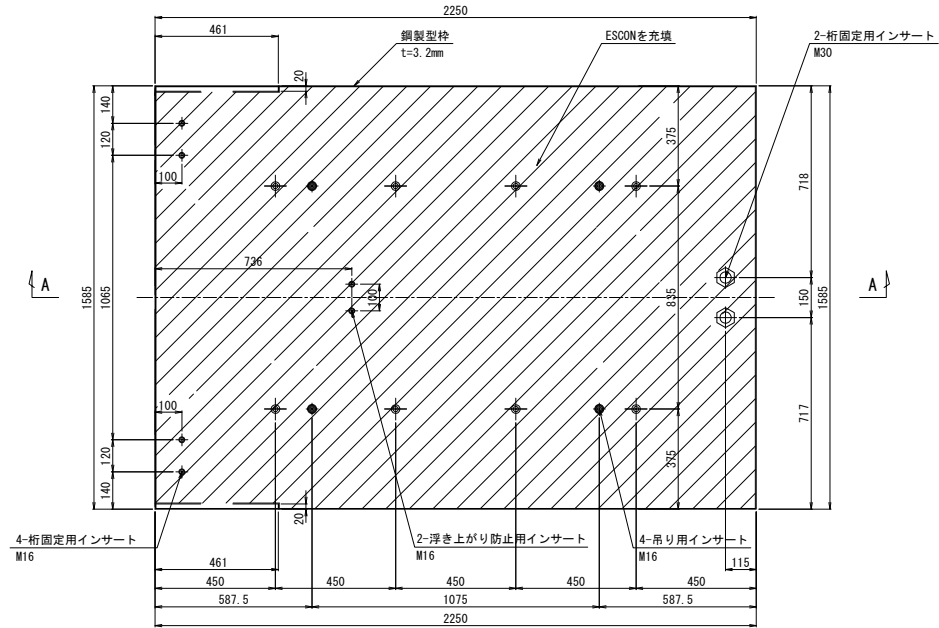
- 1 - Fig PL 300x22x900 (SM400A)
1 - Web PL 300x22x500 (SM400A)
2 - Stiff PL 100x22x500 (SM400A)
1 - Base PL 920x22x542 (SM400A)
8 - Anc. BOLT D29x660 (SD345)
8 - Nut M27 (1種)
8 - Nut M27 (3種)
8 - Wash M27
8 - B.N (1SW付) M22x110 (4.6) (1種ナット)
1 - FILL PL 250x28x900 (SS400)

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事		
図面の種類	仮設置工概工図（その8）	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事員会事務	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所	

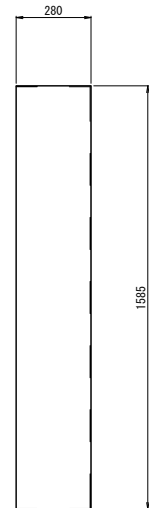
左側面図



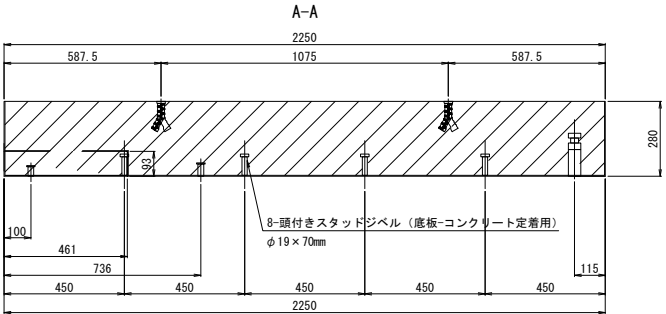
平面図



右側面図



断面図



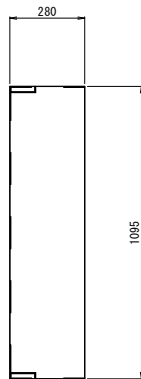
材料表

(1枚当り)					
種別	規格	単位	数量	備考	
プレキャスト版	コンクリート	$\sigma_{ck}=150N/mm^2$	m ³	1.0	超高強度合成繊維補強コンクリート
	鋼板 (鋼製型枠)	t=3.2mm、メッキなし	m ²	5.707	SB400A
	鉄筋	D25 (SD345)	kg	115	
		D19 (SD345)	kg	168	
	吊り用インサート	Yインサート, M16, L=100	個	4	
	桁固定用インサート	Pインサート, M16, L=50	個	4	
		高ナットインサート, M30, L=140	個	2	
	浮き上がり防止用インサート	M16, L=50	個	2	
	頭付きスタッドジベル	φ19×70mm	個	8	

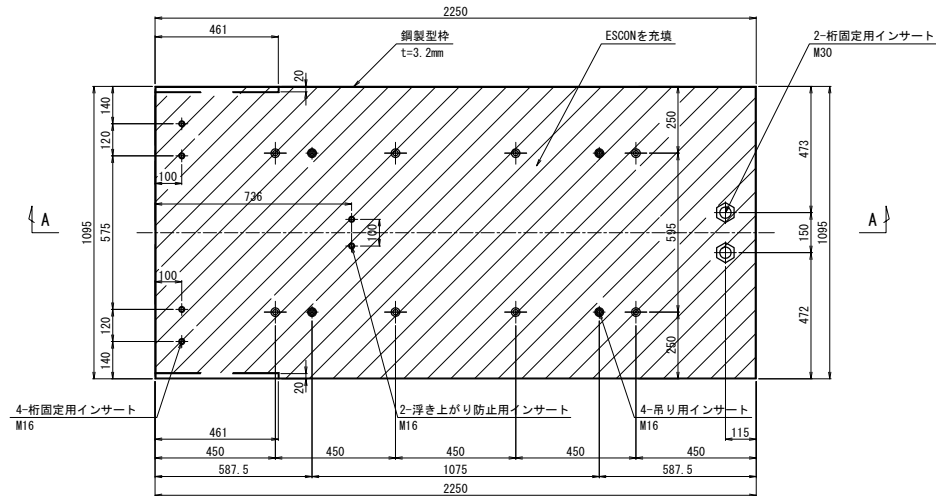
床版重量: 2.45t

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その9）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロッグ株式会社・株式会社建設技術研究所 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

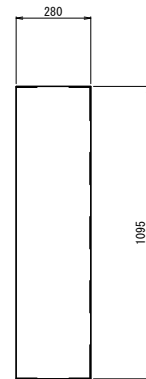
左側面図



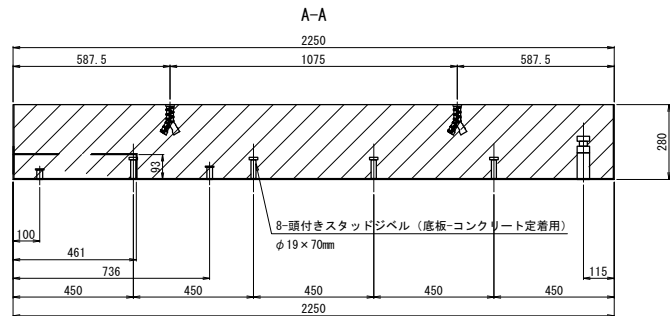
平面図



右側面図



断面図



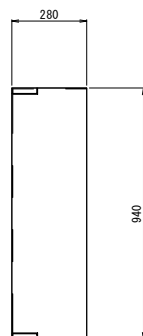
材料表

(1枚当り)					
種別	規格	単位	数量	備考	
プレキャスト版	コンクリート	$\sigma_{ck}=150N/mm^2$	m ³	0.7	超高強度合成繊維補強コンクリート
	鋼板(鋼製型枠)	t=3.2mm、メッキなし	m ²	4.330	SM400A
	鉄筋	D25 (SD345)	kg	80	
		D19 (SD345)	kg	115	
	吊り用インサート	Yインサート, M16, L=100	個	4	
	桁固定用インサート	Pインサート, M16, L=50	個	4	
		高ナットインサート, M30, L=140	個	2	
	浮き上がり防止用インサート	M16, L=50	個	2	
	頭付きスタッドジベル	φ19×70mm	個	8	

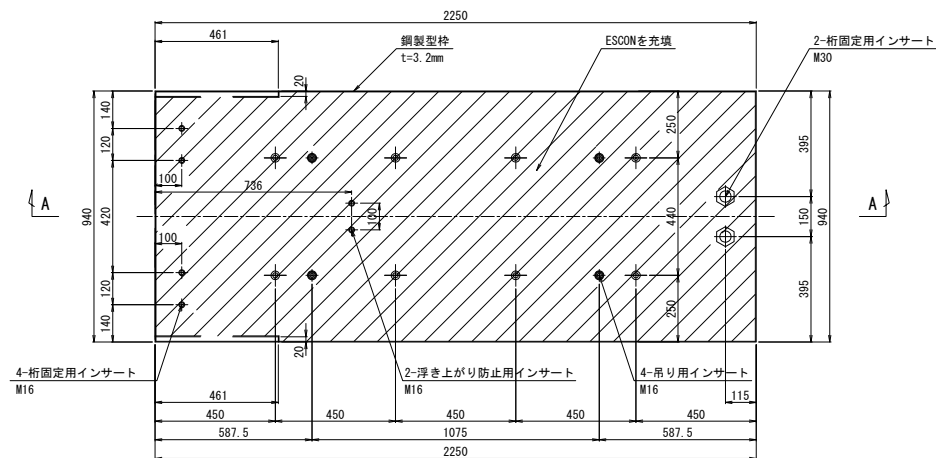
床版重量: 1.72t

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１０）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・森建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補修工事暫定建設工事関係企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

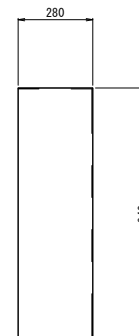
左側面図



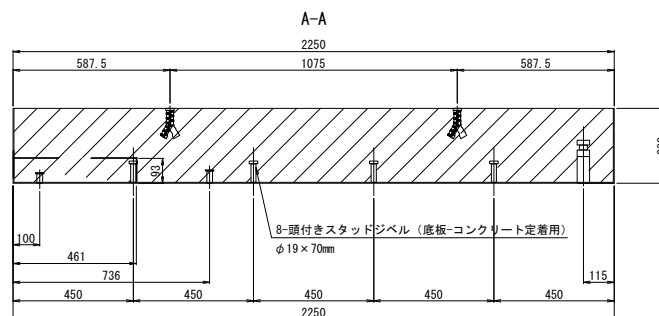
平面图



右側面図



断面図



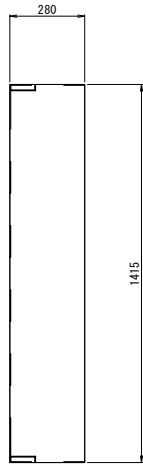
材料表

	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト版	コンクリート	$\sigma_{ck}=150\text{N/mm}^2$	m ³	0.6	超高強度合成繊維補強コンクリート
	鋼板(鋼製型枠)	t=3, 2mm, メッキなし	m ²	3.894	SM400A
	鉄筋	D25 (SD345) D19 (SD345)	kg	69	
			kg	100	
	吊り用インサート	Yインサート, M16, L=100	個	4	
	桁固定用インサート	Pインサート, M16, L=50	個	4	
		高ナットインサート, M30, L=140	個	2	
	浮き上がり防止用インサート	M16, L=50	個	2	
	頭付きスタッドジベル	$\phi 19 \times 70\text{mm}$	個	8	

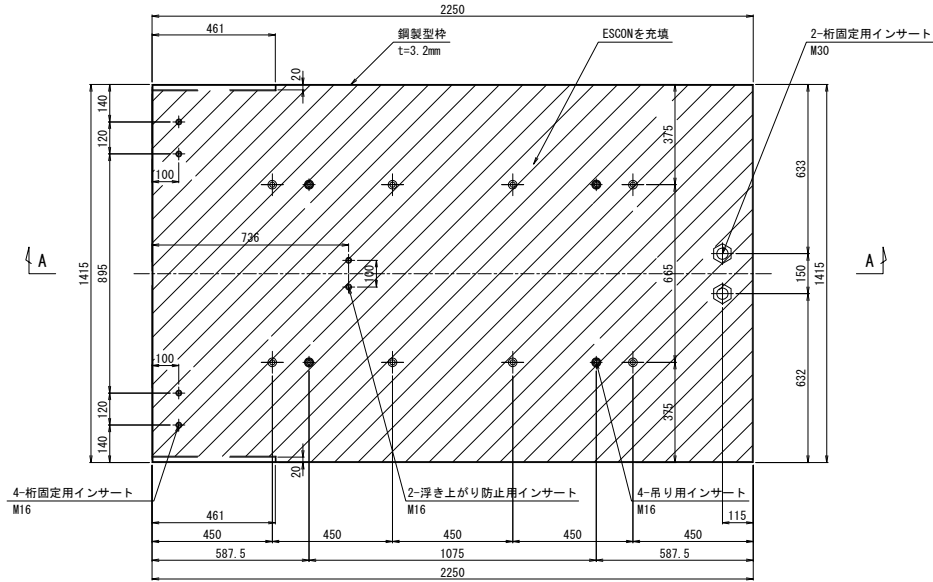
床版重量: 1.47t

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１１）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリック株式会社・鉄建建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事員会全		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社加賀管理事務所		

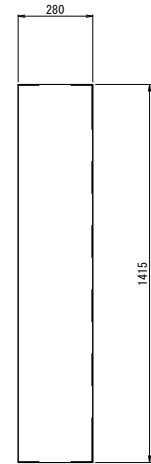
左側面図



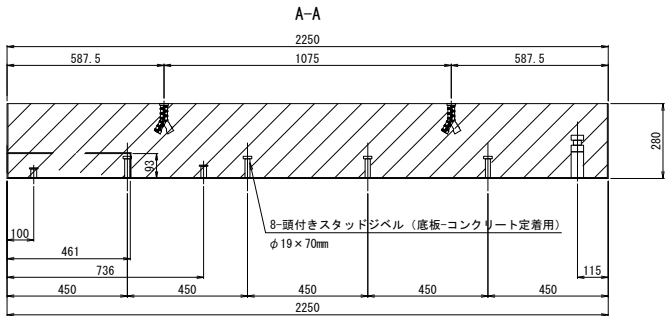
平面図



右側面図



断面図



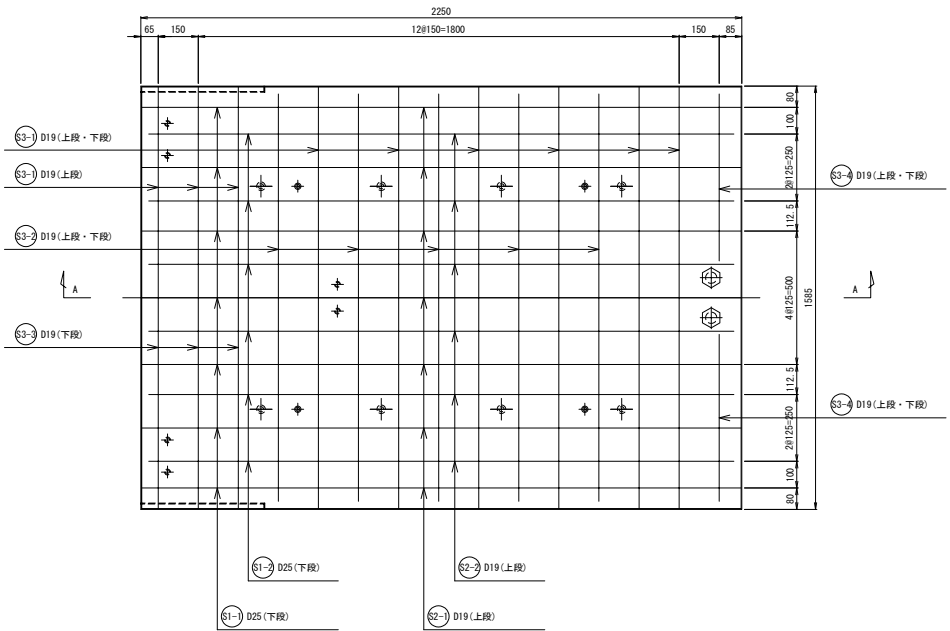
材料表

(1枚当り)					
種別	規格	単位	数量	備考	
プレキャスト版	コンクリート	$\sigma_{ck}=150N/mm^2$	m ³	0.9	超高強度合成繊維補強コンクリート
	鋼板(鋼製型枠)	t=3.2mm、メッキなし	m ²	5.229	SM400A
	鉄筋	D25 (SD345)	kg	105	
		D19 (SD345)	kg	152	
	吊り用インサート	Yインサート, M16, L=100	個	4	
	桁固定用インサート	Pインサート, M16, L=50	個	4	
		高ナットインサート, M30, L=140	個	2	
	浮き上がり防止用インサート	M16, L=50	個	2	
	頭付きスタッドジベル	φ19×70mm	個	8	

床版重量: 2.21t

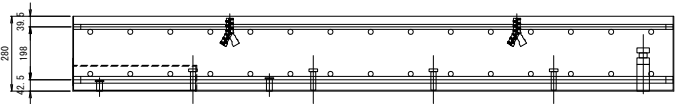
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１２）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・建設機械株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震補修工事暫定建設工事関係企業様		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

平面図

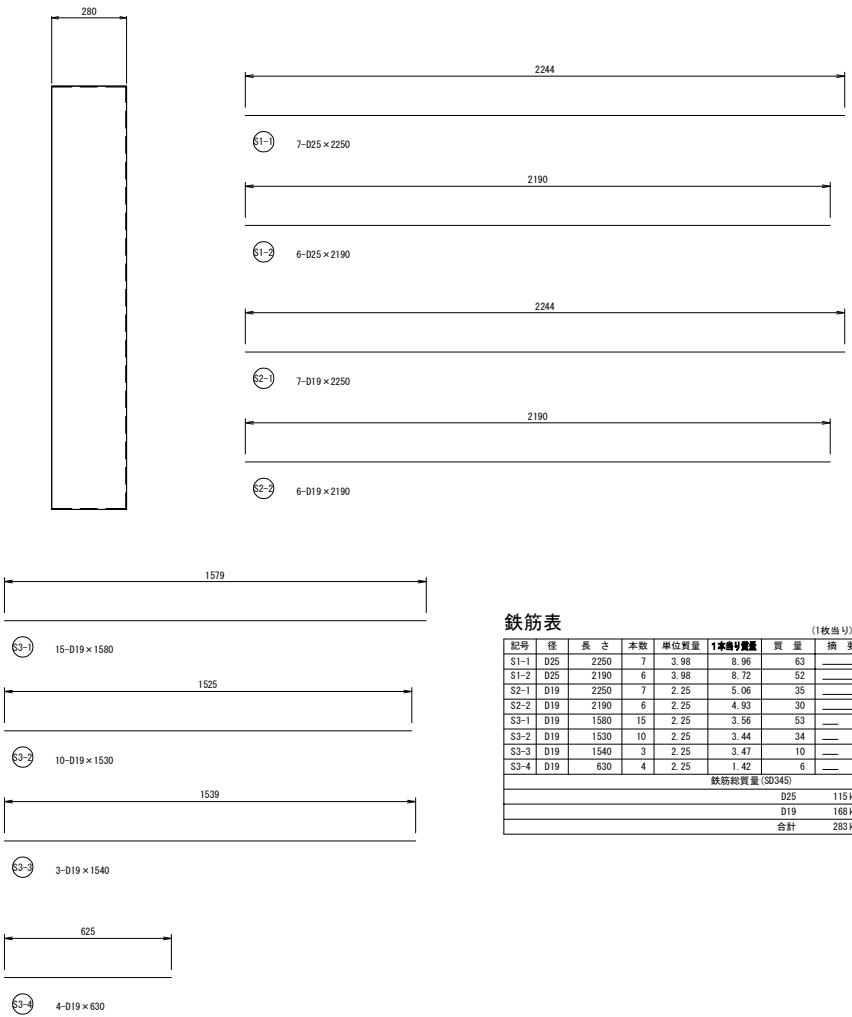


断面図

A-A



右側面図

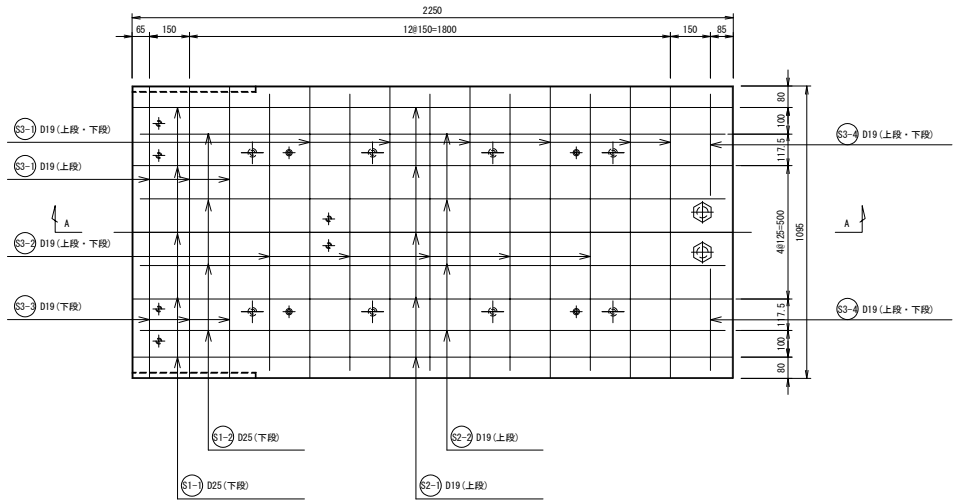


鉄筋表

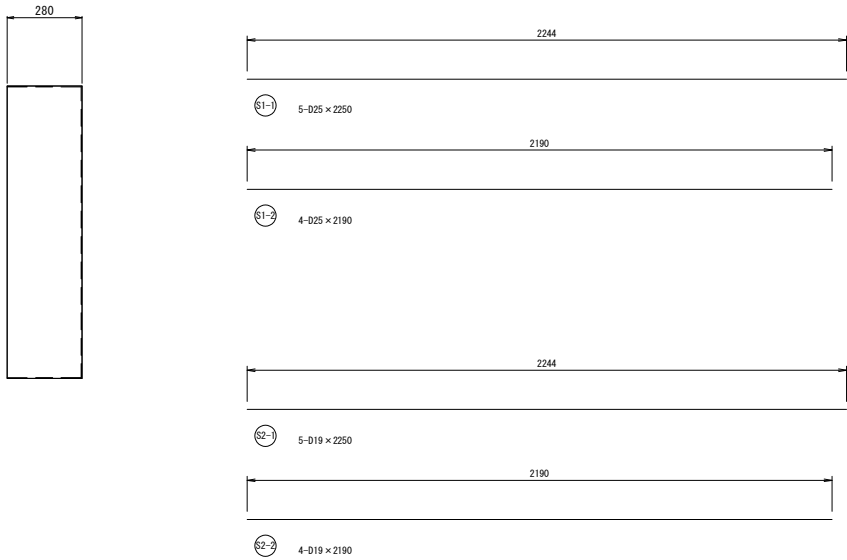
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本質量	質量	摘要
S1-1	D25	2250	7	3.98	8.96	63	—
S1-2	D25	2190	6	3.98	8.72	52	—
S2-1	D19	2250	7	2.25	5.06	35	—
S2-2	D19	2190	6	2.25	4.93	30	—
S3-1	D19	1580	15	2.25	3.56	53	—
S3-2	D19	1530	10	2.25	3.44	34	—
S3-3	D19	1540	3	2.25	3.47	10	—
S3-4	D19	630	4	2.25	1.42	6	—
鉄筋総質量 (S345)							—
D25							115 kg
D19							168 kg
合計							283 kg

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フロンティア株式会社・株式会社建設事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

平面図

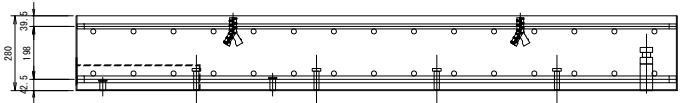


右側面図



断面図

A-A

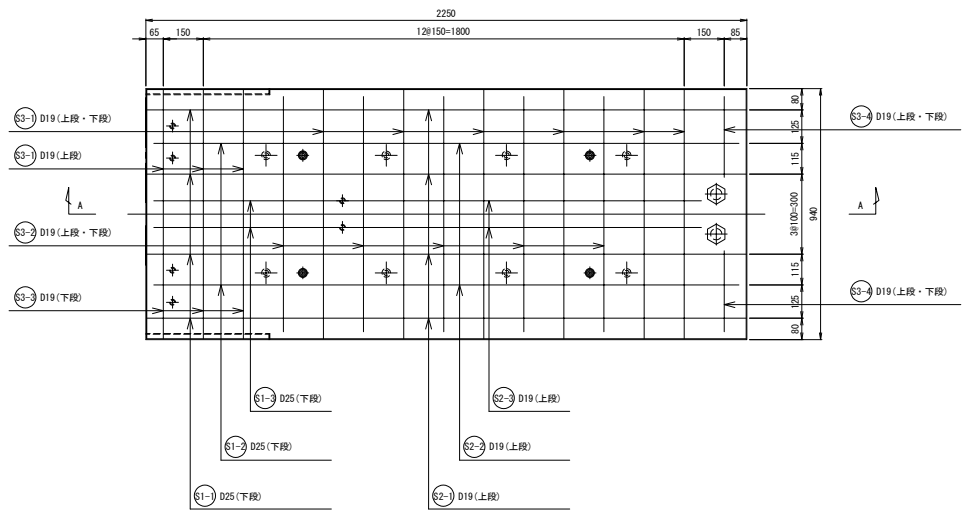


鉄筋表

(1枚当り)							
記号	種	長 さ	本数	単位質量	1本重り質量	質 量	備 考
S1-1	D25	2250	5	3.98	8.96	45	—
S1-2	D25	2190	4	3.98	8.72	36	—
S2-1	D19	2250	5	2.25	5.06	25	—
S2-2	D19	2190	4	2.25	4.93	20	—
S3-1	D19	1090	15	2.25	2.46	37	—
S3-2	D19	1040	10	2.25	2.34	23	—
S3-3	D19	1050	3	2.25	2.36	7	—
S3-4	D19	380	4	2.25	0.855	3	—
鉄筋総質量 (SD345)							
D25						80 kg	
D19						115 kg	
合計						195 kg	

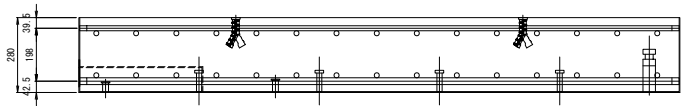
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１４）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フレッシング株式会社・株式会社建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計監理株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

平面図

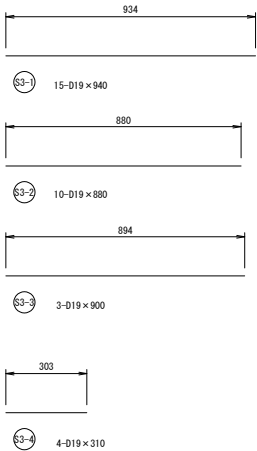
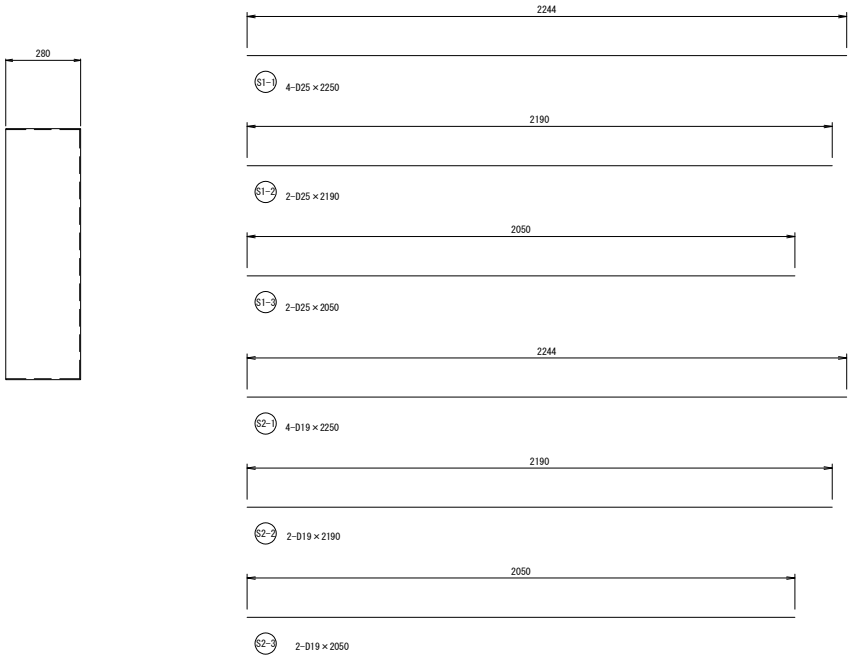


断面図

A-A



右側面図



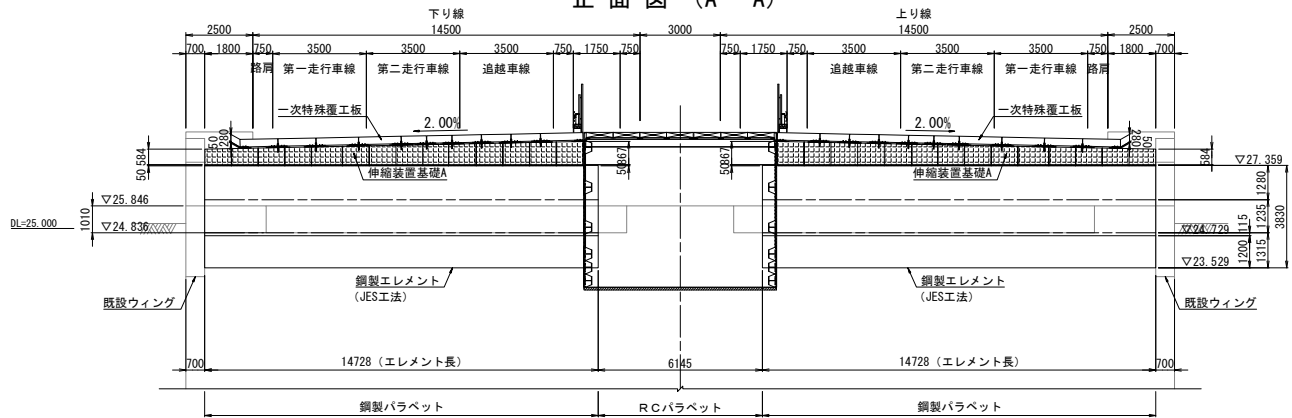
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本単り質量	質量	摘要
S1-1	D25	2250	4	3.98	8.96	36	――
S1-2	D25	2190	2	3.98	8.72	17	――
S1-3	D25	2050	2	3.98	8.16	16	――
S2-1	D19	2250	4	2.25	5.06	20	――
S2-2	D19	2190	2	2.25	4.93	10	――
S2-3	D19	2050	2	2.25	4.61	9	――
S3-1	D19	940	15	2.25	2.12	32	――
S3-2	D19	880	10	2.25	1.98	20	――
S3-3	D19	900	3	2.25	2.03	6	――
S3-4	D19	310	4	2.25	0.698	3	――
鉄筋総質量 (SD345)							
D25						69 kg	
D19						100 kg	
合計						169 kg	

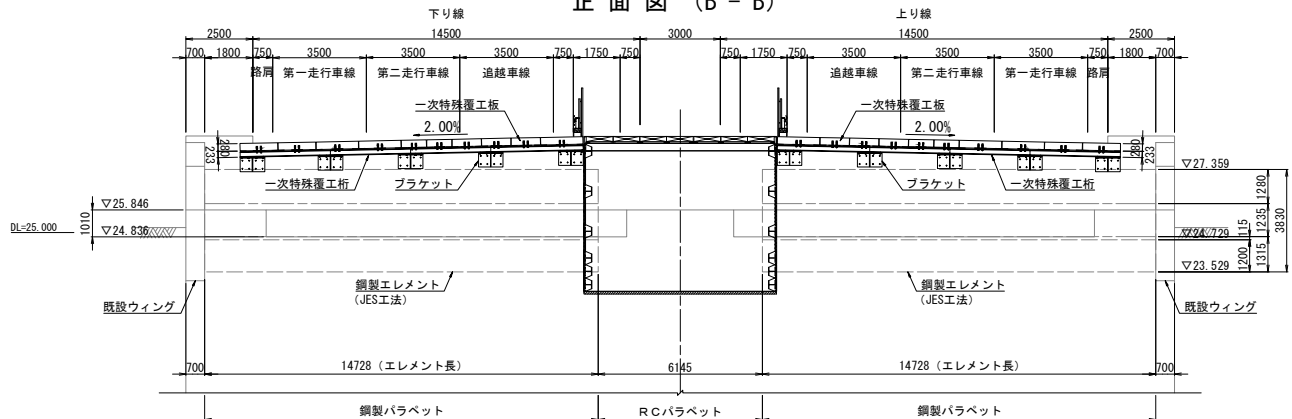
東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１５）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フリース株式会社・株式会社設計事務所		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

A2橋台 一次覆工一般図

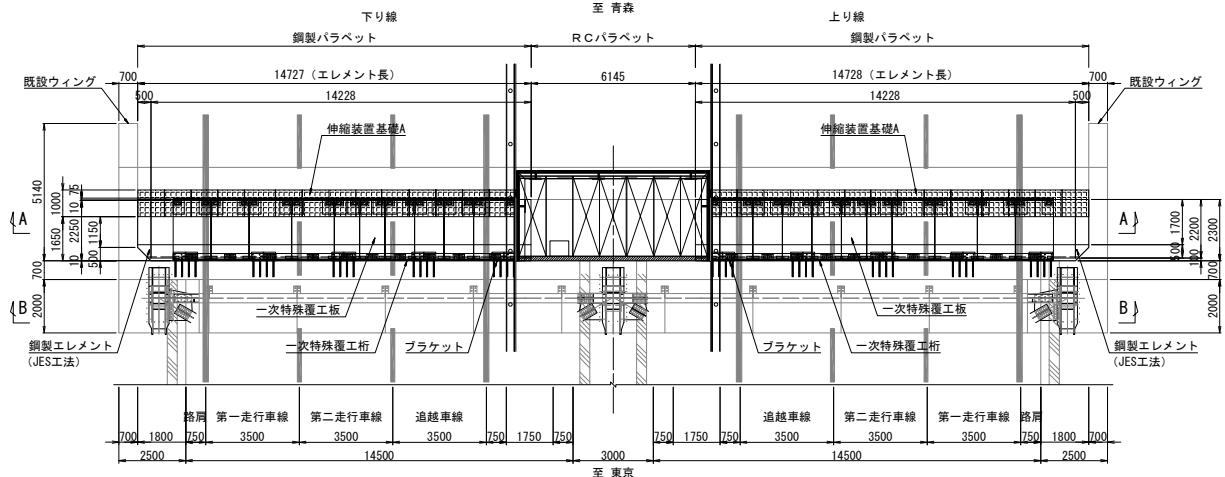
正面図 (A - A)



正面図 (B - B)

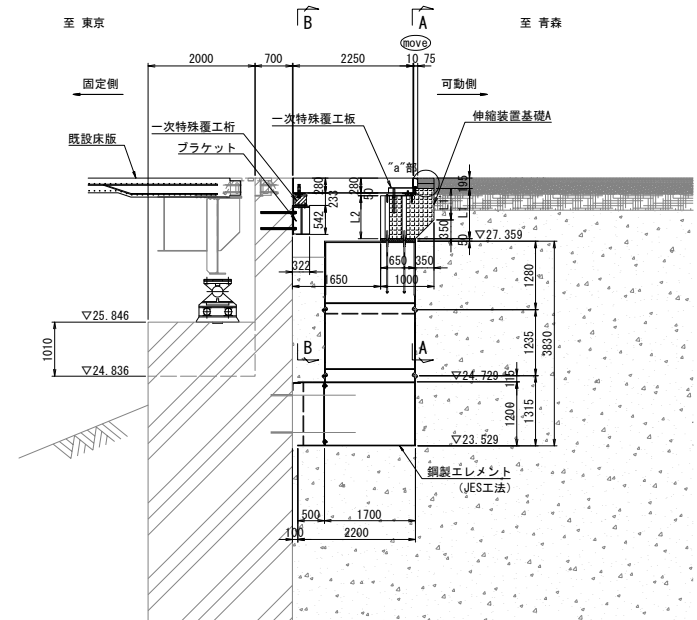


平面図



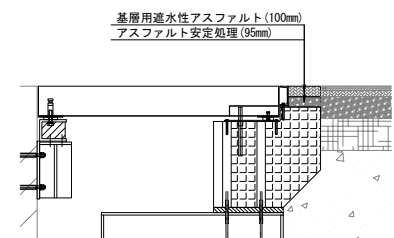
断面図 S=1/100

鋼製パラペット部



L1	L1'	L2
1002~719	652~369	867~584

"a"部詳細図 S=1/50

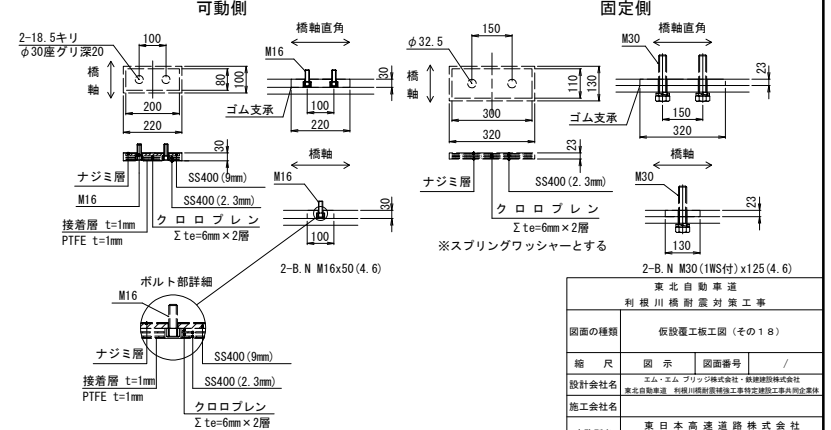
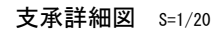
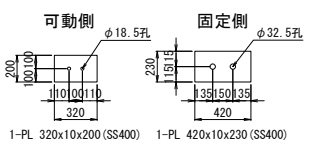
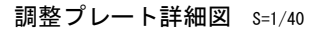
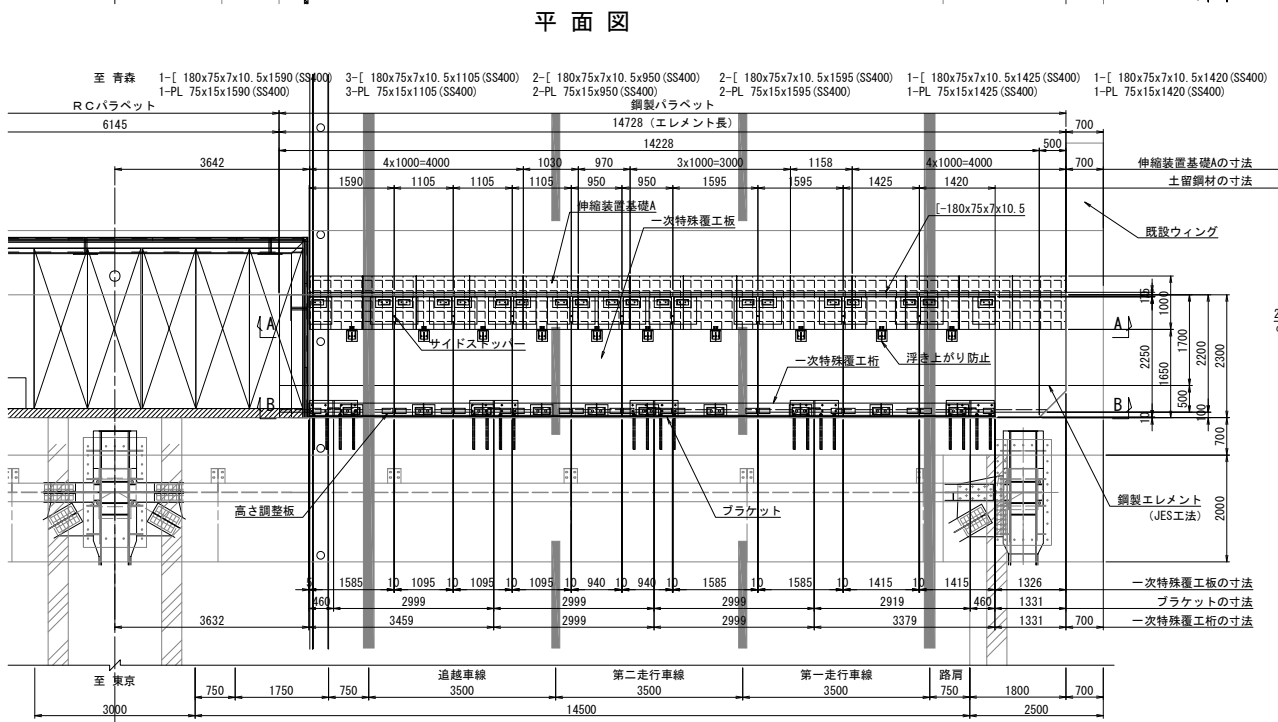
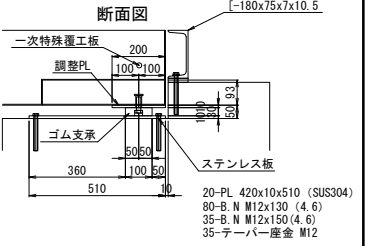
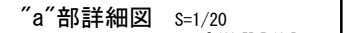
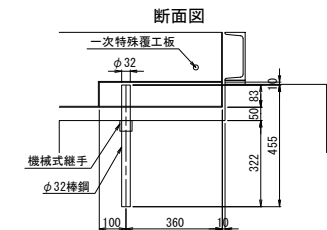
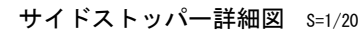
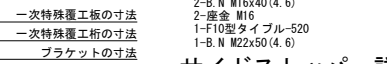
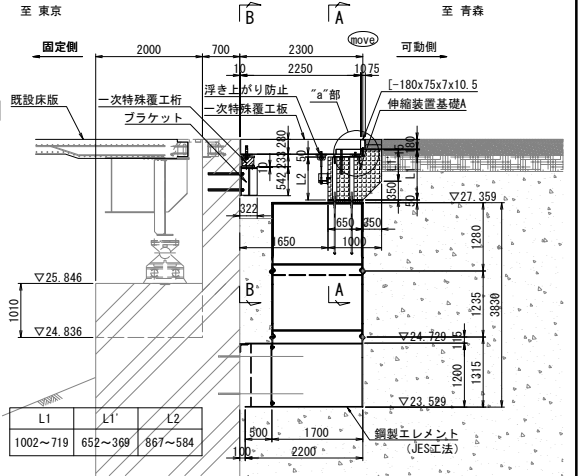
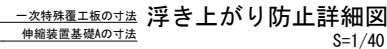


注) 1. 覆工板下面には浮き上がり防止ワイヤーを設置する。

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工図（その１７）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・橋梁建設株式会社		
施工会社名	東北自動車道 利根川橋耐震対策工事設計・施工共同企業体		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加須管理事務所		

断面図
鋼製パラペット部

至 青森



東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設工區施工図（その１８）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・ブリッジ株式会社・藤建設株式会社 東北自動車道 利根川橋耐震対策工事特定建設工事共同企業体		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 加須管理事務所		

一次特殊覆工桁詳細図S=1/10

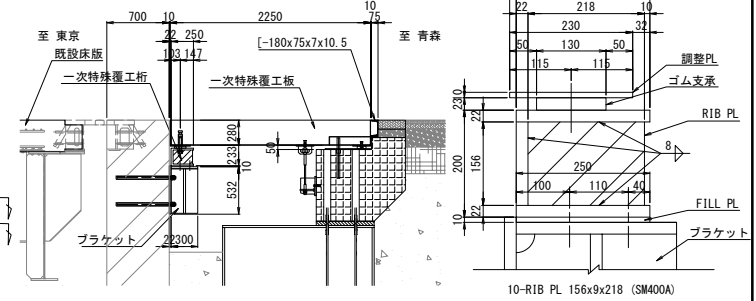
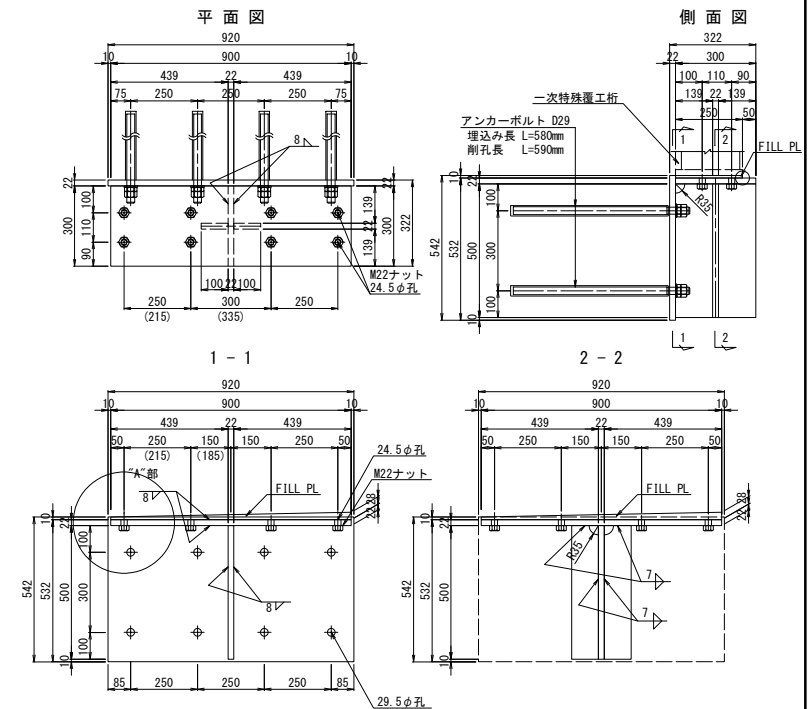


Figure 1: Plan view of the bridge deck layout. The diagram shows a cross-section of the bridge deck with various dimensions and labels. The total width is 3460mm. The deck is divided into sections with widths of 793, 1350, 1105, 212, 892, 1028, 950, 130, 1143, 1595, 261, 1248, 1425, and 707mm. The spacing between the centerlines of the girders is 3000mm. The height of the deck is 250mm. The labels indicate the number of girders and their spacing: 5-PL 200x33x100 (SM400A), 6-PL 200x33x100 (SM400A), 4-PL 200x33x100 (SM400A), and 5-PL 200x33x100 (SM400A). The labels also indicate the location of the '一次特殊覆工工' (Primary special paving work) and the '高さ調整板' (Height adjustment plate). The '支承 (固定側)' (Support (Fixed side)) is also indicated.

Technical drawing of a bridge structure showing dimensions and reinforcement details. The drawing includes a plan view with various dimensions (e.g., 3460, 3000, 12840, 3380) and a cross-section view showing reinforcement bars (e.g., 2-PL 250x22x3460, 1-PL 156x22x3460). A note indicates "一次特殊置工桁" (One-time special truss work).

M22 1種ナット
ナット溶接



- 1箇所当たり(製作数:5)
- 1 - Flg PL 300x22x900 (SM400A)
 - 1 - Web PL 300x22x500 (SM400A)
 - 2 - Stiff PL 100x22x500 (SM400A)
 - 1 - Base PL 920x22x542 (SM400A)
 - 8 - Anc. BOLT D29x660 (SD345)
 - 8 - Nut M27 (1種)
 - 8 - Nut M27 (3種)
 - 8 - Wash M27
 - 8 - B.N (1SW付) M22x110 (4.6) (1種ナット)
 - 1 - FILL PL 250x28x900 (SS400)

東北自動車道 利根川橋耐震対策工事			
図面の種類	仮設覆工板工面（その１９）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	エム・エム・フジワラ株式会社・緑誠建設株式会社 東北自動車道 利根川耐震対策工事特定建設工事員企業株		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社加賀管理事務所		

